

能勢町介護予防・日常生活圏域二一ズ調査
報告書(案)

第10期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けて

令和 8(2026)年 月

能勢町

目 次

1. 調査の目的	1
2. 調査概要	1
3. 報告書作成にあたって	1
4. 調査結果	2
回答者の属性	2
問1 あなたのご家族や生活状況について	3
問2 からだを動かすことについて	12
問3 食べることについて	26
問4 毎日の生活について	44
問5 地域での活動について	62
問6 就労について	71
問7 たすけあいについて	75
問8 健康について	87
問9 認知症にかかる相談窓口の把握について	101
問10 認知症について	106
問11 その他	112
リスクを有する高齢者	148

1. 調査の目的

能勢町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査は、能勢町第 10 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定にむけて、一般高齢者、介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援者を対象に、日常生活圏域ごとに地域の抱える課題の特定に資することなどを目的として実施しました。

2. 調査概要

調査期間	令和 8 年 3 月 23 日～令和 8 年 4 月 22 日
調査方法	郵送による調査票の配布・回収
調査対象者	介護保険第 1 号被保険者のうち、非認定者、介護保険要支援認定者及び事業対象者
調査対象者数	3,481
有効回答	2,263
回収率	65.0%

3. 報告書作成にあたって

① 経年変化を見るため、比較可能なものは

- 第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のためのニーズ調査(令和2年5月)
- 第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のためのニーズ調査(令和5年4月)
- 第10期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のためのニーズ調査(令和 8 年4月)

との比較を行いました。

② 年齢、性別、要介護度は介護保険情報を参照して集計しました。参照できなかった者(22 名)は「不明」としています。

③ 必要に応じて、年齢区分別、性別、家族構成別、要介護度別、介護状態別によるクロス集計を行いました。「不明」や「無回答」はクロス集計から除きました。

④ 家族構成別は問問 1-1 で、「1.1 人暮らし」と回答された方を「ひとり暮らし」、「2.夫婦 2 人暮らし(配偶者 65 歳以上)」「3.夫婦 2 人暮らし(配偶者 64 歳以下)」「4.息子・娘との 2 世帯」「5.その他」のいずれかに回答された方を「ひとり暮らし以外」として、集計しました。

⑤ 介護状態別は問 1-2 で、「1 介護・介助は必要ない」と回答された方を「介護は不要」、「2 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「3 現在、何らかの介護を受けている」と回答された方を「介護は不要」として、集計しました。

⑥ わかりやすい報告書にするため、本文はグラフ表示による説明を行い、集計表は巻末に掲載するようにしました。

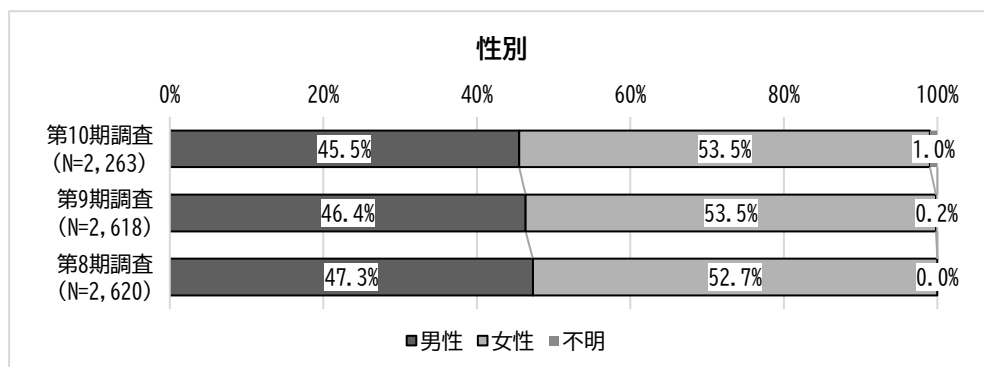
⑦ 割合(%)は端数処理(小数点第2位で四捨五入)を行っているため、合計が 100%にならない場合があります。

4. 調査結果

回答者の属性

① 性別

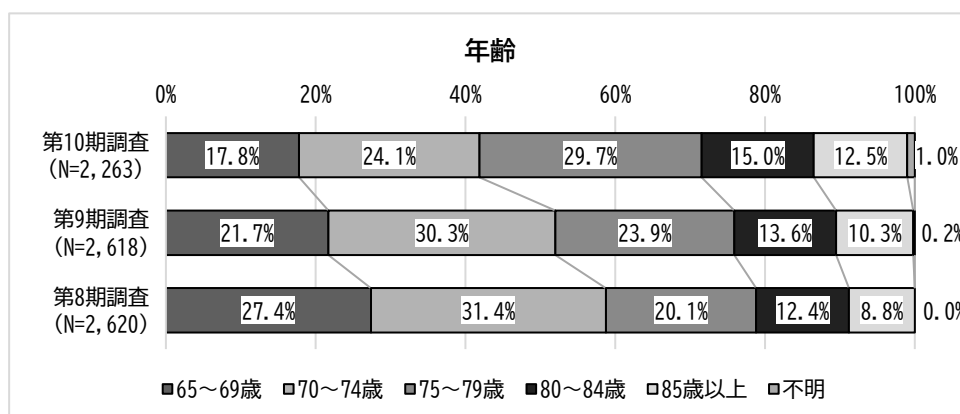
「女性」が 53.5%に
対し、「男性」は
45.5%と、「女性」が
「男性」を 8.0 ポイント
上回っています。経年
変化はみられません。



② 年齢区分

「75～79歳」が
29.7%でもっとも多く、
次いで「70～74歳」が
24.1%、「65～69歳」が
17.8%、「80～84歳」が
15.0%、「85歳以上」が
12.5%となっています。

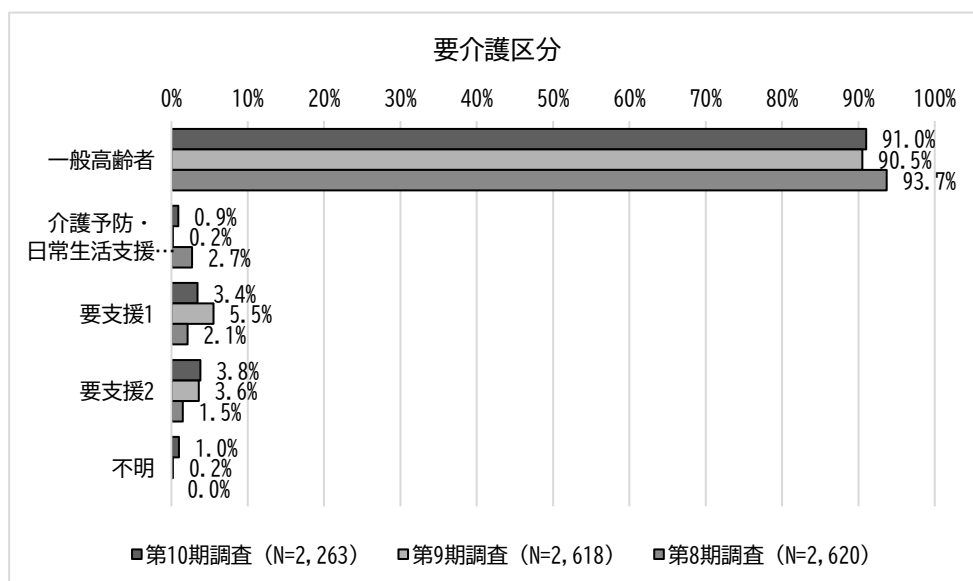
経年変化では回答者
の高齢化がみられます。



③ 要介護区分

「一般高齢者」が
91.0%でもっとも多く、
次いで「要支援 2」が
3.8%、「要支援 1」が
3.4%、「介護予防・日常
生活支援総合事業対象
者」が 0.9%となっていま
す。

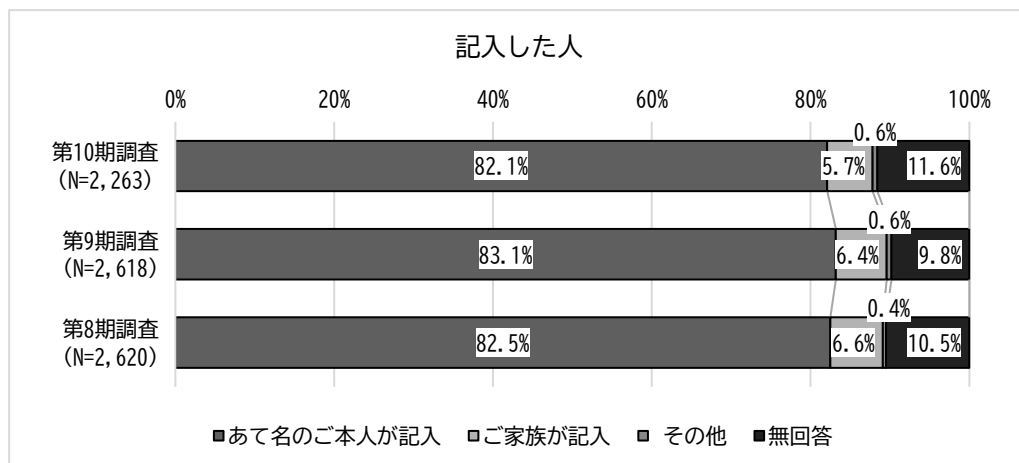
有意な経年変化はみら
れません。



④ 調査票を記入されたのはどなたですか

「あて名のご本人が記入」が82.1%でもっとも多く、次いで「ご家族が記入」が5.7%、「その他」が0.6%となっています。

有意な経年変化はみられません。



問1 あなたのご家族や生活状況について

問1-1 家族構成をお教えてください。(○はひとつ)

① 全体の傾向と経年変化

家族構成は「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が46.5%でもっとも多く、次いで「息子・娘との2世帯」が16.3%、「1人暮らし」が16.0%となっており、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」と「1人暮らし」を合わせた62.5%が高齢者のみの世帯となっています。

経年変化をみると、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」と「1人暮らし」を合わせた高齢者のみの世帯は、第8期の57.4%、第9期の58.9%から62.5%へと増加傾向がみられ、「1人暮らし」は第8期の13.9%から、第9期、第10期とも16.0%へと増加しています。

② 男女別の傾向

男性は「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の50.5%と「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」の5.3%を合わせた55.8%が夫婦世帯となっており、女性の夫婦世帯45.4%を10.4ポイント上回っています。一方、「1人暮らし」は女性が19.0%に対し、男性は12.8%と女性が6.2ポイント上回り、「息子・娘との2世帯」も、女性が18.1%に対し、男性が14.2%と、女性が3.9ポイント上回っています。女性は男性に比して長寿なことから、配偶者との死別が、女性の単身化や子どもとの同居につながっていると考えられます。

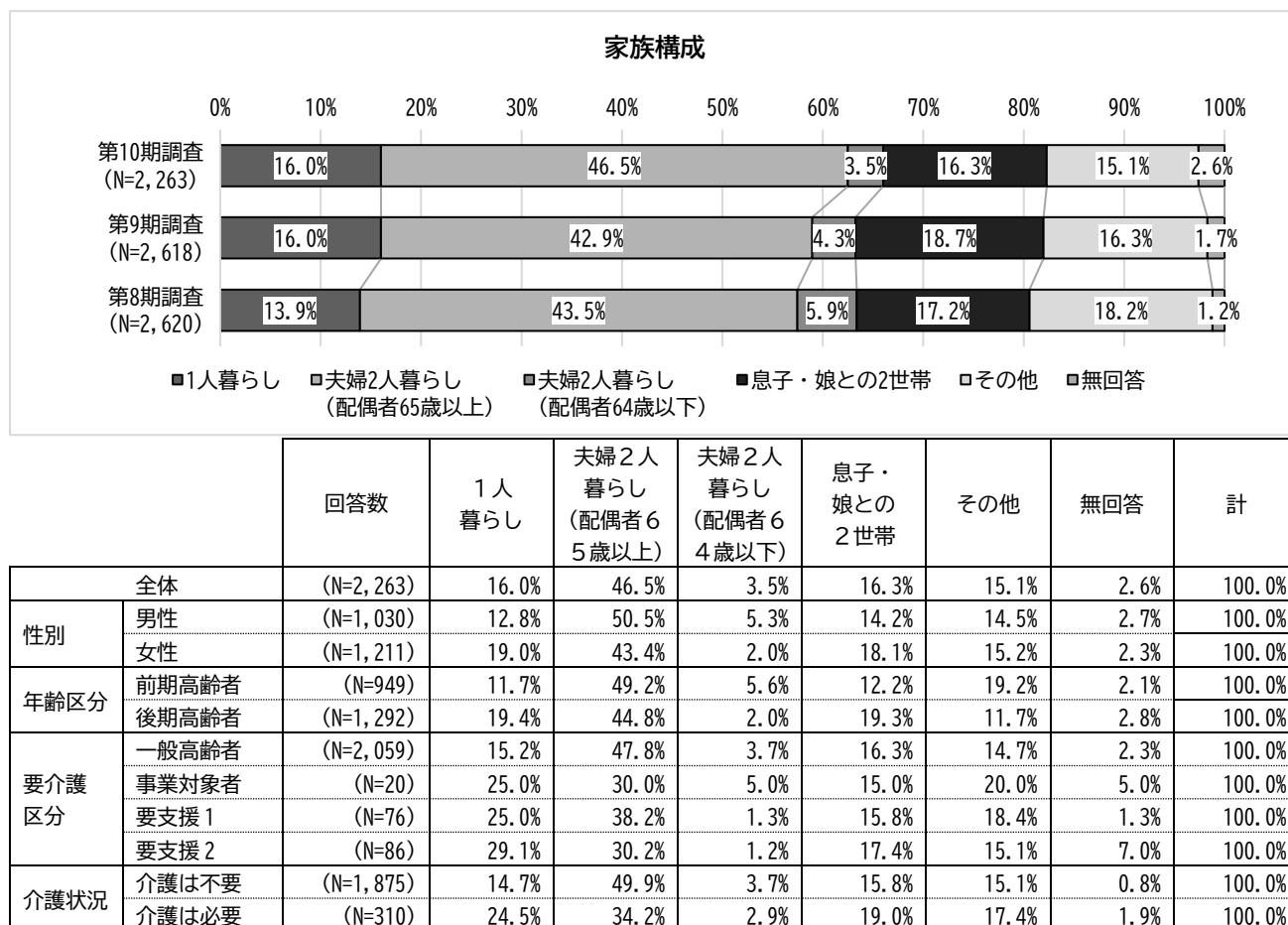
③ 年齢区分別(前期・後期)の傾向

前期高齢者では「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が49.2%を占めますが、後期高齢者になると「1人暮らし」の割合が19.4%となり、前期高齢者(11.7%)と比べて大きく増加しています。同時に、「息子・娘との2世帯」の割合も後期高齢者(19.3%)が前期高齢者(12.2%)を上回っています。加齢に伴い、配偶者を亡くして単身化していくケースと、子どもの世帯と同居するケースに分かれていく傾向が読み取れます。

④ 要介護区分および介護状況別の傾向

「一般高齢者」や「介護は不要」と回答した層では、約半数(それぞれ47.8%、49.9%)が「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」です。しかし、「介護は必要」と答えた層では、「1人暮らし」の割合が24.5%にのぼり、

「介護は不要」な層(14.7%)より9.8ポイント高くなっています。特に「事業対象者」や「要支援1・2」の高齢者において単身世帯の割合が高く、「要支援2」では「1人暮らし」が29.1%に達しており、もっとも高い割合を示しています。また、「介護は必要」な層では「息子・娘との2世帯」の割合も19.0%と相対的に高くなっており、介護を目的とした同居の発生が推測されます。



問 1-2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○はひとつ)

① 全体の傾向と経年変化

「介護・介助は必要ない」が82.9%でもっとも多く、次いで「現在、何らかの介護を受けている」が10.0%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が3.7%となっています。

経年変化では有意な差はみられません。

② 男女別の傾向

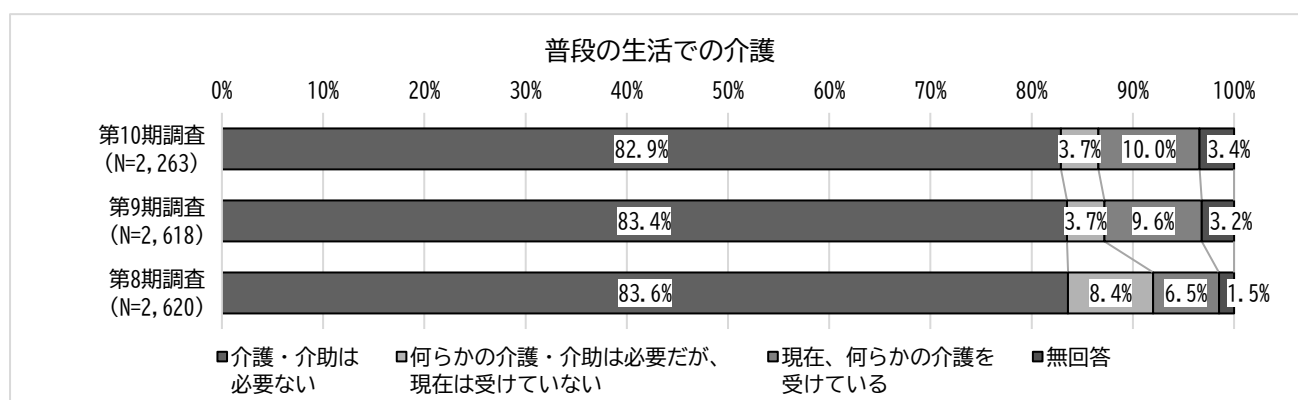
「介護・介助は必要ない」は、男性が84.3%に対し、女性は81.8%と、男性が女性を2.5ポイント上回り「現在、何らかの介護を受けている」は女性が11.2%に対し、男性は8.6%と、女性が男性を2.6ポイント上回っています。

③ 年齢区分別(前期・後期)の傾向

「介護・介助は必要ない」は前期高齢者が90.9%に対し、後期高齢者は77.1%と、前期高齢者が後期高齢者を13.8ポイント上回り、「現在、何らかの介護を受けている」は後期高齢者が14.1%に対し、前期高齢者は4.5%と、後期高齢者が前期高齢者を9.6ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「介護・介助は必要ない」はひとり暮らし以外が 86.0%に対し、ひとり暮らしは 76.0%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 10.0 ポイント上回り、「現在、何らかの介護を受けている」は 1 人暮らしが 14.9%に対し、1 人暮らしは 14.9%と、1 人暮らしがひとり暮らし以外を 5.7 ポイント上回っています。



		回答数	介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている	無回答	計
全体		(N=2,263)	82.9%	3.7%	10.0%	3.4%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	84.3%	3.6%	8.6%	3.5%	100.0%
	女性	(N=1,211)	81.8%	3.6%	11.2%	3.3%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	90.9%	1.8%	4.5%	2.7%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	77.1%	5.0%	14.1%	3.9%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	76.0%	6.1%	14.9%	3.0%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	86.0%	3.2%	9.2%	1.6%	100.0%

問1-2で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答された方への質問

問 1-2-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(〇はいくつでも)

① 全体的な傾向と経年変化

介護・介助が必要と回答した方(N=310)の原因は「高齢による衰弱」が 30.0%でもっとも多く、次いで「骨折・転倒」が 23.9%、「心臓病」が 12.3%、「脳卒中」が 11.0%となっています。

経年変化では「高齢による衰弱」「骨折・転倒」が第8期、第9期と比べ、増加傾向がみられます。

② 男女別の傾向

男性(N=126)は「高齢による衰弱」が 25.4%でもっとも多く、次いで「骨折・転倒」が 22.2%、「心臓病」が 16.7%、「がん」「糖尿病」が共に 12.7%、「脳卒中」が 11.9%となっています。

女性(N=180)は「高齢による衰弱」が 32.8%でもっとも多く、次いで「骨折・転倒」が 23.9%、「関節の病気」が 11.1%、「脳卒中」が 10.6%となっています。

「高齢による衰弱」は女性が 32.8%に対し、男性が 25.4%と、女性が 7.4 ポイント上回り、「関節の病気」は女性が 11.1%に対し、男性が 3.2%と、女性が 7.9 ポイント上回っています。

女性は男性に比べ「高齢による衰弱」が 7.4 ポイント、「関節の病気」が 7.9 ポイント上回っており、加齢による筋力低下や骨粗しょう症などの運動器のトラブルが、要介護状態への直接的な引き金になりやすい傾向がみられます。

③ 家族構成別の傾向

ひとり暮らしは「高齢による衰弱」が 40.8%でもっとも多く、次いで「骨折・転倒」が 26.3%、「心臓病」が 15.8%となっています。

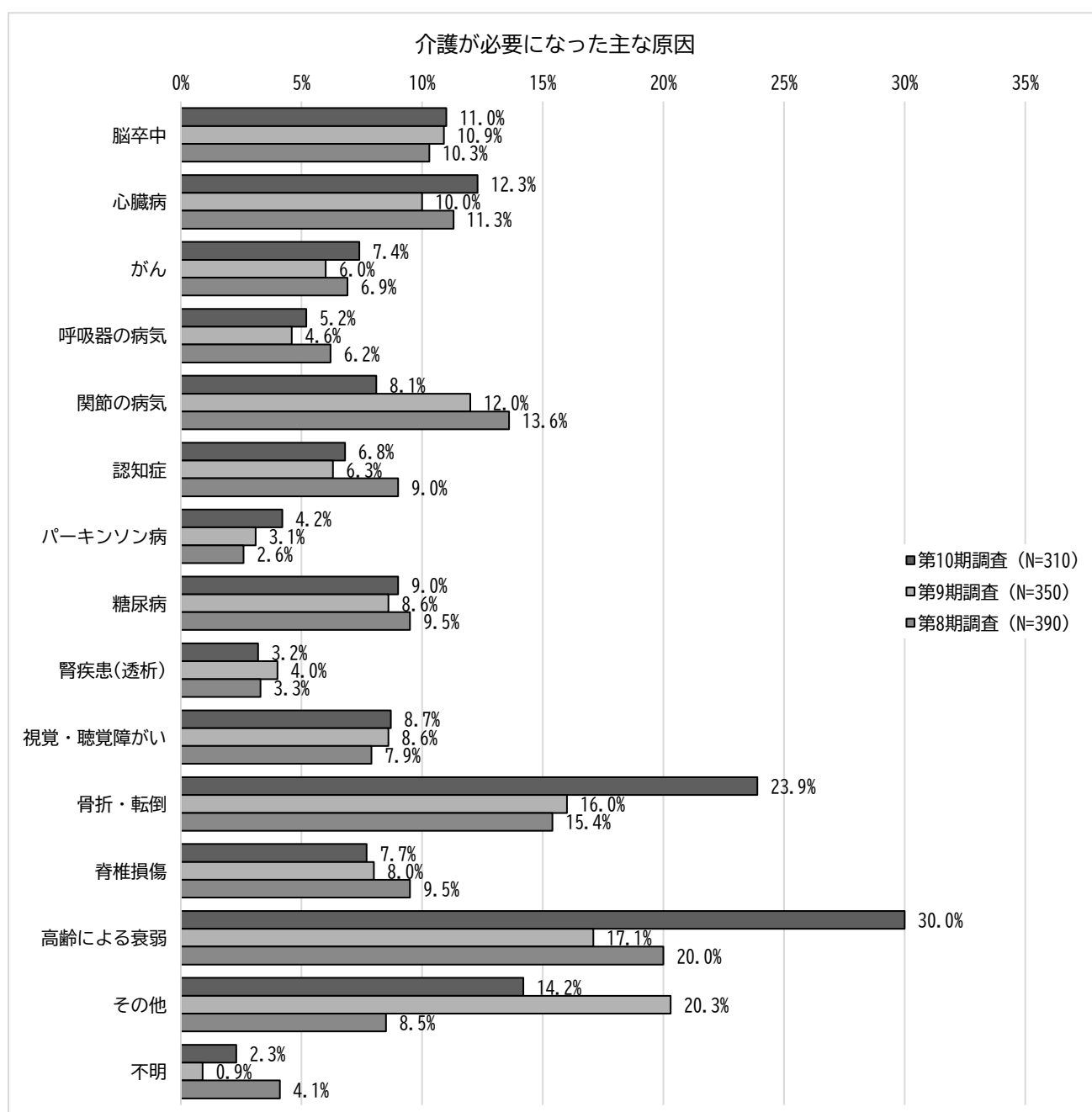
ひとり暮らし以外は「その他」を除いて、高齢による衰弱」が 26.8%でもっとも多く、次いで「骨折・転倒」が 22.8%、「心臓病」が 11.0%となっています。

④ 年齢区分別(前期・後期)の傾向

前期高齢者(N=60)は「骨折・転倒」が 18.3%でもっとも多く、次いで「脳卒中」「高齢による衰弱」が共に 15.0%、「パーキンソン病」が 10.0%となっています。

後期高齢者(N=246)は「高齢による衰弱」が 33.3%でもっとも多く、次いで「骨折・転倒」が 24.4%、「心臓病」が 14.6%、「脳卒中」10.2%となっています。

高齢になるほど、「高齢による衰弱」「骨折・転倒」「心臓病」が増加する傾向がみられます。



		回答数	脳卒中	心臓病	がん	呼吸器の 病気	関節の病 気	認知症	パーキン ソン病
全体		(N=310)	11.0%	12.3%	7.4%	5.2%	8.1%	6.8%	4.2%
性別	男性	(N=126)	11.9%	16.7%	12.7%	8.7%	3.2%	7.1%	4.8%
	女性	(N=180)	10.6%	9.4%	3.9%	2.8%	11.1%	6.7%	3.9%
年齢 区分	前期高齢者	(N=60)	15.0%	3.3%	8.3%	5.0%	8.3%	3.3%	10.0%
	後期高齢者	(N=246)	10.2%	14.6%	7.3%	5.3%	7.7%	7.7%	2.8%
家族 構成	ひとり暮らし	(N=363)	11.8%	15.8%	1.3%	2.6%	9.2%	6.6%	6.6%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	10.5%	11.0%	9.2%	6.1%	7.5%	7.0%	3.5%

		糖尿病	腎疾患 (透析)	視覚・聴 覚障がい	骨折 ・転倒	脊椎損傷	高齢に よる衰弱	その他	不明
全体		9.0%	3.2%	8.7%	23.9%	7.7%	30.0%	14.2%	2.3%
性別	男性	12.7%	4.8%	10.3%	22.2%	8.7%	25.4%	12.7%	1.6%
	女性	6.7%	2.2%	7.8%	23.9%	6.7%	32.8%	15.6%	2.8%
年齢 区分	前期高齢者	8.3%	6.7%	8.3%	18.3%	5.0%	15.0%	21.7%	1.7%
	後期高齢者	9.3%	2.4%	8.9%	24.4%	8.1%	33.3%	12.6%	2.4%
家族 構成	ひとり暮らし	7.9%	3.9%	13.2%	26.3%	7.9%	40.8%	11.8%	0.0%
	ひとり暮らし以外	8.3%	2.6%	7.0%	22.8%	7.9%	26.8%	15.4%	3.1%

問1-2で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答された方への質問

問1-2-2 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(〇はいくつでも)

① 全体的な傾向と経年変化

「配偶者(夫・妻)」が 39.2%でもっとも多く、次いで「娘」が 33.0%、「息子」が27.3%となっています。また、「介護サービスのヘルパー」は 18.9%にとどまっています。

経年変化をみると、「配偶者(夫・妻)」「息子」「娘」が第8期、第9期に比べ、増加傾向がみられます。

② 男女別の傾向

男女別にみると、介護の主たる担い手に顕著な違いがみられます。男女とも家族介護への依存度は高くなっていますが、男性(N=89)は「配偶者(夫・妻)」が 64.0%でもっとも多く、女性(N=136)は「娘」が 40.4%、「息子」が 33.1%と多くなっています。

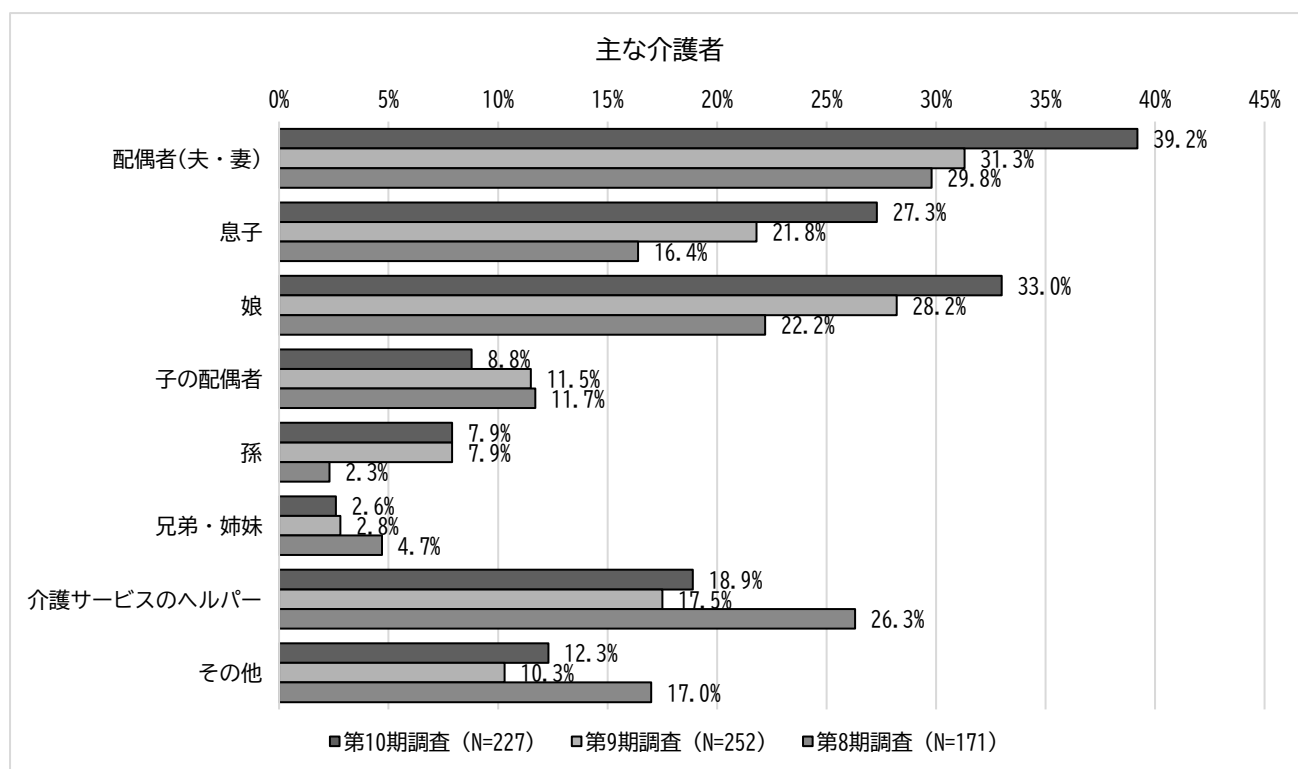
③ 年齢区分別(前期・後期)の傾向

前期高齢者(N=43)では「配偶者」の割合が 48.8%と半数近くを占めていますが、後期高齢者(N=182)になると「配偶者」の割合は 37.4%に低下し、代わりに「娘」(35.7%)や「息子」(29.7%)の割合が前期高齢者よりも高くなっています。加齢に伴って配偶者自身も高齢化や健康状態の低下を招き、介護の負担が配偶者から子世代へと移行していくライフステージの変化が読み取れます。

④ 家族構成別の傾向

ひとり暮らしは、「娘」が 50.0%でもっとも多く、次いで「息子」「介護サービスのヘルパー」が共に 33.3%となっており、ひとり暮らし以外は、「配偶者(夫・妻)」が 50.3%でもっとも多く、次いで「娘」が 28.4%、「息子」が 25.4%となっています。

ひとり暮らしも、ひとり暮らし以外も、主たる介護者は家族となっていますが、「介護サービスのヘルパー」はひとり暮らしが 33.3%に対し、ひとり暮らし以外は 14.2%とひとり暮らしがひとり暮らし以外を 19.1 ポイント上回っています。



		回答数	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	介護サービ スのヘルパ ー	その他
	全体	(N=227)	39.2%	26.9%	33.0%	8.8%	7.9%	2.6%	18.9%	12.3%
性別	男性	(N=89)	64.0%	16.9%	22.5%	4.5%	3.4%	2.2%	20.2%	12.4%
	女性	(N=136)	23.5%	33.1%	40.4%	11.8%	11.0%	2.9%	17.6%	12.5%
年齢 区分	前期高齢者	(N=43)	48.8%	14.0%	23.3%	2.3%	0.0%	9.3%	16.3%	23.3%
	後期高齢者	(N=182)	37.4%	29.7%	35.7%	10.4%	9.9%	1.1%	19.2%	9.9%
家族 構成	ひとり暮らし	(N=54)	1.9%	33.3%	50.0%	16.7%	11.1%	3.7%	33.3%	11.1%
	ひとり暮らし以外	(N=169)	50.3%	24.9%	28.4%	6.5%	7.1%	2.4%	14.2%	13.0%

問 1-3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「ふつう」が 59.9%でもっとも多く、「大変苦しい」(7.0%)と「やや苦しい」(21.8%)を合わせた「苦しい」は 28.8%に対し、「大変ゆとりがある」(1.1%)と「ややゆとりがある」(6.7%)を合わせた「ゆとりがある」はわずか 7.8%にとどまっています。経年変化では有意な差はみられません。

② 男女別の傾向

「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた「苦しい」は男性が 31.1%に対し、女性は 26.7%と、男性が女性を 4.4 ポイント上回り、「普通」は女性が 62.1%に対し、男性は 57.5%と、女性が男性を 4.6 ポイント上回っているように、男性のほうが経済面での不安や課題を抱えやすい状況にあると推察されます。

③ 年齢区分別(前期・後期)の傾向

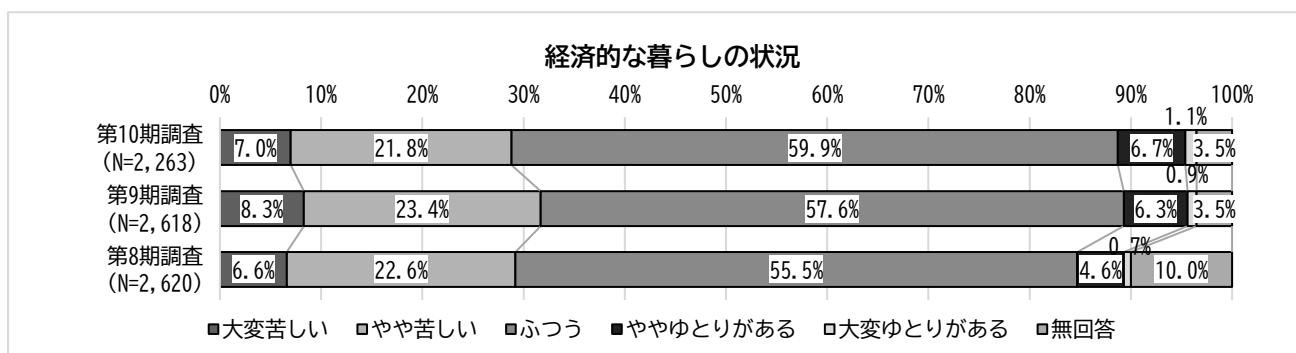
年齢別では有意な差はみられません。

④ 家族構成別の傾向

「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた「苦しい」はひとり暮らしが 33.0%に対し、ひとり暮らし以外は 28.0%と、1 人暮らしがひとり暮らし以外を 5.0 ポイント上回り、「ふつう」はひとり暮らし以外が 61.3%に対し、1 人暮らしは 53.7%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 7.6 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた「苦しい」は、「介護は必要」が 34.2%に対し、「介護は不要」は 27.7%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 6.5 ポイント上回り、「ふつう」は「介護は不要」が 61.3%に対し、「介護は必要」は 54.5%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 6.8 ポイント上回っており、介護の必要な高齢者の生活の苦しさが推察されます。



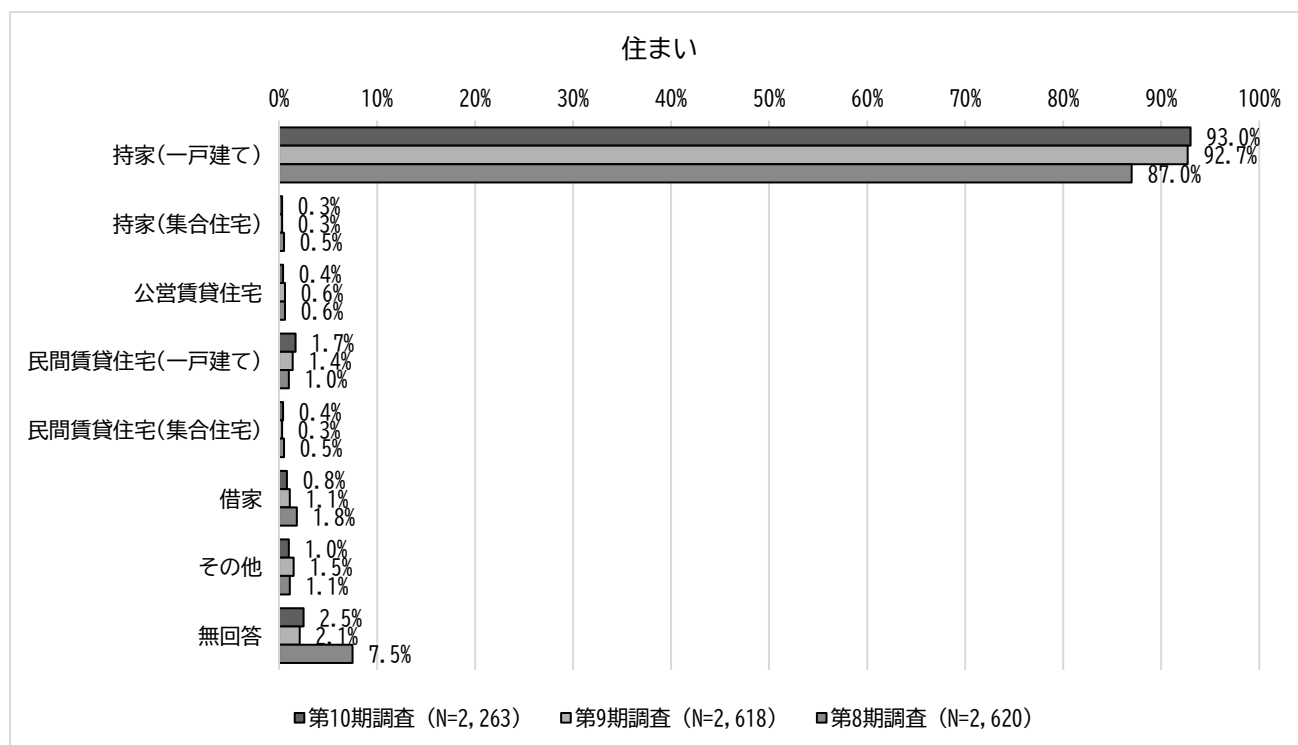
	回答数	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答	計
全体	(N=2,263)	7.0%	21.8%	59.9%	6.7%	1.1%	3.5%	100.0%
性別								
男性	(N=1,030)	7.4%	23.7%	57.5%	7.2%	1.2%	3.1%	100.0%
女性	(N=1,211)	6.6%	20.1%	62.1%	6.3%	1.2%	3.7%	100.0%
年齢								
前期高齢者	(N=949)	7.7%	21.7%	60.0%	6.5%	1.1%	3.1%	100.0%
後期高齢者	(N=1,292)	6.4%	21.8%	60.0%	6.8%	1.2%	3.7%	100.0%
家族構成								
ひとり暮らし	(N=363)	8.5%	24.5%	53.7%	6.1%	1.9%	5.2%	100.0%
ひとり暮らし以外	(N=1,842)	6.6%	21.4%	61.3%	6.8%	1.0%	2.9%	100.0%
介護状況								
介護は不要	(N=1,875)	6.3%	21.4%	61.3%	7.1%	1.0%	2.7%	100.0%
介護は必要	(N=310)	9.0%	25.2%	54.5%	3.9%	1.9%	5.5%	100.0%

問 1-4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(〇はひとつ)

「持家(一戸建て)」がもっとも多く、93.0%を占めています。

経年変化、性別、年齢区分別、介護状況別とも、有意な差はみられません。

家族構成別では、「持家(一戸建て)」はひとり暮らし以外が 94.2%に対し、ひとり暮らしは 88.4%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 5.8 ポイント上回り、「公営賃貸住宅」「民間賃貸住宅(一戸建て)」「民間賃貸住宅(集合住宅)」「借家」等の賃貸住宅はひとり暮らしがひとり暮らし以外を上回っています。



		回答数	持家(一戸建て)	持家(集合住宅)	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅(一戸建て)	民間賃貸住宅(集合住宅)	借家	その他	無回答	計
	全体	(N=2,263)	93.0%	0.3%	0.4%	1.7%	0.4%	0.8%	1.0%	2.5%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	93.0%	0.0%	0.3%	1.6%	0.7%	0.8%	0.9%	2.8%	100.0%
	女性	(N=1,211)	93.0%	0.6%	0.5%	1.9%	0.1%	0.7%	1.2%	2.1%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	93.4%	0.2%	0.4%	1.5%	0.3%	0.7%	0.8%	2.6%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	92.7%	0.4%	0.4%	1.9%	0.4%	0.8%	1.2%	2.2%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	94.2%	0.3%	0.2%	1.4%	0.3%	0.6%	0.9%	2.1%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	86.8%	0.6%	1.6%	4.2%	1.0%	1.3%	1.9%	2.6%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	88.4%	0.6%	0.6%	3.0%	1.1%	1.7%	1.4%	3.3%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	94.2%	0.3%	0.3%	1.5%	0.2%	0.5%	0.9%	2.1%	100.0%

考察

1. 単身世帯・高齢者のみ世帯の増加と、単身者に顕著な「介護リスク」

「夫婦2人暮らし」と「1人暮らし」を合わせた高齢者のみの世帯が 62.5%を占め、第8期の 57.4%、第9期の 58.9%から継続して増加傾向にあります。特に「1人暮らし」の割合は 16.0%にのびます。介護の状況を見ると、「現在、何らかの介護を受けている」割合はひとり暮らし以外が 9.2%であるのに対し、ひとり暮らしは 14.9%と 5.7 ポイント高くなっています。また、「介護は必要」と答えた層においては「1人暮らし」の割合が 24.5%に達しており、単身高齢者の孤立防止や、地域における生活支援・見守り体制の強化が大きな課題です。

2. フレイル・転倒を要因とする要介護化と、ひとり暮らしに潜む「衰弱リスク」

介護や介助が必要となった原因として、全体では「高齢による衰弱」(30.0%)と「骨折・転倒」(23.9%)が上位を占めており、特に女性においてこれらの割合が高くなっています。さらに家族構成別に見ると、ひとり暮らし以外では「高齢による衰弱」が 26.8%であるのに対し、ひとり暮らしでは 40.8%と高くなってい

ます。単身であることが食事や活動量の低下(フレイル)を加速させ、要介護状態への直接的な引き金になりやすい傾向が表れており、単身世帯への早期からのフレイル予防や栄養・運動支援へのアプローチが必要です。

3. 要介護化前の段階から見られる生活援助の依存と、ひとり暮らしにおける「子世代への負担集中」

日常的な手助けや介助が必要になった際の主たる担い手として、全体では「配偶者」(39.2%)、「娘」(33.0%)、「息子」(26.9%)が上位を占めており、本格的な身体介護を必要とする前の軽度な段階から、すでに家族のサポートに大きく頼って生活を維持している実態がうかがえます。これを家族構成別に見ると、ひとり暮らし以外では「配偶者(夫・妻)」が 50.3%と半数を占めますが、配偶者がいないひとり暮らしでは「娘」が 50.0%、「息子」が 33.3%と、別居等を含めた子世代に負担が集中しています。また、ひとり暮らしでは「介護サービスのヘルパー」の利用割合も 33.3%と、ひとり暮らし以外(14.2%)に比べて 19.1ポイント高くなっています。今後、単身世帯がさらに増加していく中で、子世代への負担や外部サービスへの依存を軽減するためにも、インフォーマルな生活支援(ちょっとした家事の援助、ゴミ出し、買い物等の手伝い)を地域社会で補完していく仕組み(生活支援体制整備)の構築が重要となります。

4. 介護を要する高齢者および単身世帯における経済的困窮

現在の暮らしの状況を経済的にみて「苦しい(大変苦しい・やや苦しいの合計)」と感じている方の割合は全体で 28.8%ですが、「介護が必要」な層においては 34.2%に上昇し、「介護は不要」な層(27.7%)を大きく上回っています。さらに、家族構成別に見ても「苦しい」と感じる割合はひとり暮らし以外が 28.0%であるのに対し、ひとり暮らしは 33.0%と高くなっています。要介護状態になることや単身であることが生活の苦しさに直結している状況が推察されるため、経済的な理由から必要な支援やサービスを手控えることがないようなセーフティネットのあり方についても配慮が必要です。

※ 回答者の年齢構成の経年変化をみると、後期高齢者層の割合が増加しており、「回答者の高齢化」が、「単身化の進行」「要介護リスクと衰弱の増加」「子世代への介護負担の移行」といった問 1 の主要な課題に影響を強く受けていると評価できます。

問2 からだを動かすことについて

問 2-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「できるし、している」が 55.0%と半数を超える一方で、「できない」が 19.3%、「できるけど、していない」が 23.0%となっています。

経年変化では「できるし、している」がわずかに減少しています。

② 男女別の傾向

「できない」は、女性が 22.9%に対し、男性は 15.0%と、女性が男性を 7.9 ポイント上回り、「できるし、している」は男性が 59.5%対し、女性は 51.2%と、男性が女性を 8.3 ポイント上回っており、女性のほうが加齢に伴う運動器の機能低下リスクを抱えやすい傾向にあります。

③ 年齢区分別の傾向

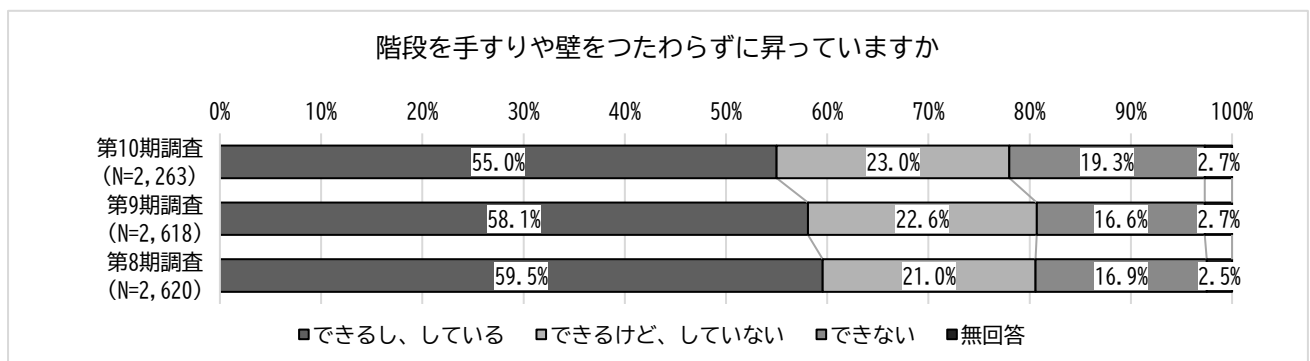
「できない」は、後期高齢者が 25.5%に対し、前期高齢者は 10.9%と、後期高齢者が前期高齢者を 14.6 ポイント上回り、「できるし、している」は前期高齢者が 65.2%に対し、後期高齢者は 47.5%と、前期高齢者が後期高齢者を 17.7 ポイント上回っており、加齢に伴う下肢機能が急速に低下していることが読み取れます。

④ 家族構成別の傾向

「できない」は、ひとり暮らしが 24.8%に対し、ひとり暮らし以外は 18.1%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を 6.7 ポイント上回り、「できるし、している」はひとり暮らし以外が 56.3%に対し、ひとり暮らしは 49.9%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 6.4 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「できない」は「介護は必要」が 61.9%に対し、「介護は不要」は 12.2%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 49.7 ポイント上回り、「できるし、している」は「介護は不要」が 20.0%に対し、「介護は必要」は 61.2%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 41.2 ポイント上回っており、階段を手すりなしで昇れない状態は、要介護状態へ移行する強いサインであるといえます



		回答数	できるし、 している	できるけど、 していない	できない	無回答	計
全体		(N=2,263)	55.0%	23.0%	19.3%	2.7%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	59.5%	22.8%	15.0%	2.6%	100.0%
	女性	(N=1,211)	51.2%	23.3%	22.9%	2.6%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	65.2%	21.1%	10.9%	2.8%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	47.5%	24.5%	25.5%	2.5%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	49.9%	20.9%	24.8%	4.4%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	56.3%	23.4%	18.1%	2.2%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	61.2%	24.3%	12.2%	2.4%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	20.0%	15.5%	61.9%	2.6%	100.0%

問 2-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(〇はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「できるし、している」が71.9%でもっとも多く、「できない」は11.9%、「できるけど、していない」は13.2%となっており、両者を合わせた25.1%(約4人に1人)が、日常の立ち上がり動作において何かに頼らざるを得ない状態にあると推察されます。

② 男女別の傾向

「できない」は女性が14.0%に対し、男性は9.4%と、女性が男性を4.6ポイント上回っており、女性のほうが下肢筋力低下などのリスクを抱えやすい傾向にあると推察されます。

③ 家族構成別の傾向

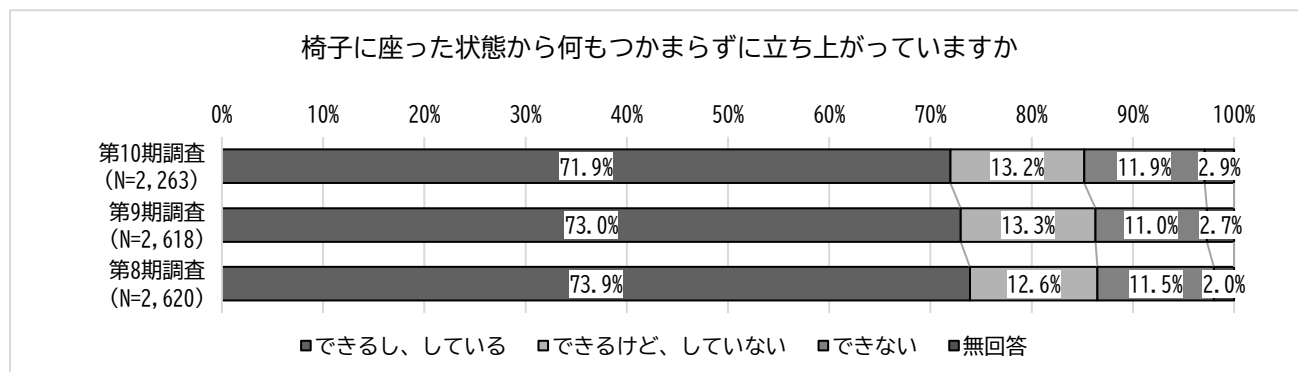
「できない」は、ひとり暮らしが14.9%に対し、ひとり暮らし以外は11.1%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を3.8ポイント上回り、「できるし、している」はひとり暮らし以外が73.0%に対し、ひとり暮らしは69.1%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを3.9ポイント上回っています。

④ 年齢区分別の傾向

「できない」は後期高齢者が15.8%に対し、前期高齢者は6.6%と、後期高齢者が前期高齢者を9.2ポイント上回り、「できるし、している」は前期高齢者が79.6%に対し、後期高齢者は66.5%と、前期高齢者が後期高齢者を13.1ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「できない」は「介護は必要」が46.1%に対し、「介護は不要」は6.1%と、「介護は必要」が「介護は不要」を40.0ポイント上回り、「できるし、している」は「介護は不要」が78.8%に対し、「介護は必要」は33.9%と、「介護は不要」が「介護は必要」を44.9ポイント上回っています。



		回答数	できるし、 している	できるけど、 していない	できない	無回答	計
全体		(N=2,263)	71.9%	13.2%	11.9%	2.9%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	72.9%	14.9%	9.4%	2.8%	100.0%
	女性	(N=1,211)	71.3%	11.9%	14.0%	2.8%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	79.6%	10.6%	6.6%	3.2%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	66.5%	15.2%	15.8%	2.6%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	69.1%	12.4%	14.9%	3.6%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	73.0%	13.4%	11.1%	2.6%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	78.8%	12.5%	6.1%	2.6%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	33.9%	16.8%	46.1%	3.2%	100.0%

問 2-3 15分位続けて歩いていますか。(○はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「できるし、している」が66.9%でもっとも多く「できるけど、していない」が20.7%、「できない」が10.0%となっています。経年変化では有意な差はありません。

② 男女別の傾向

「できるし、している」は女性が68.5%に対し、男性は65.5%と、女性が男性を3.0ポイント上回り、「できるけど、していない」は男性が22.7%に対し、女性は18.8%と、男性が女性を3.9ポイント上回っています。

③ 家族構成別の特徴

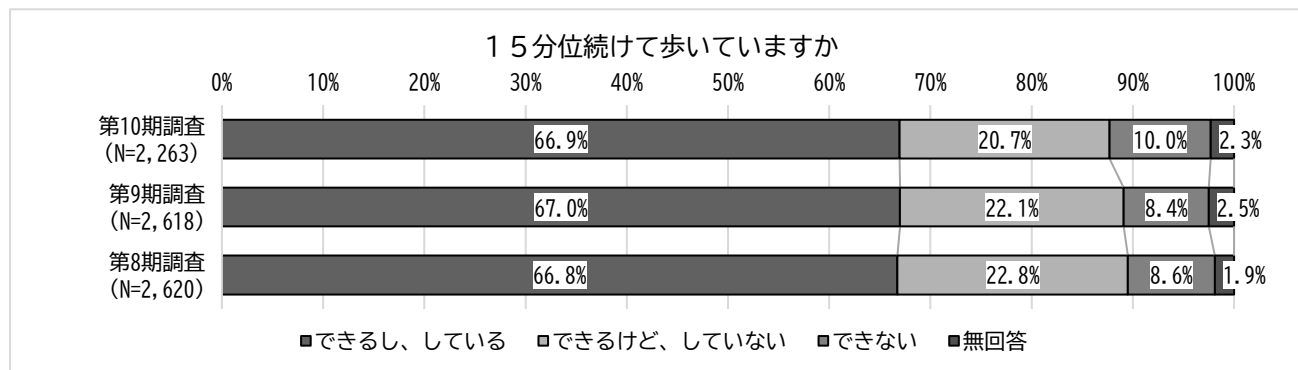
「できない」は、ひとり暮らしが12.1%に対し、ひとり暮らし以外は9.4%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を2.7ポイント上回り、「できるし、している」はひとり暮らし以外が68.0%に対し、ひとり暮らしは64.2%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを3.8ポイント上回っています。

④ 年齢区分別の傾向

「できるし、している」は前期高齢者が71.2%に対し、後期高齢者は64.2%と、前期高齢者が後期高齢者7.0ポイント上回り、「できない」は後期高齢者が13.7%に対し、前期高齢者は4.8%と、後期高齢者が前期高齢者を8.9ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「できるし、している」は「介護は不要」が72.2%に対し、「介護は必要」は40.0%と、「介護は不要」が「介護は必要」を32.2ポイント上回り、「できない」は「介護は必要」が40.3%に対し、「介護は不要」は4.7%と、「介護は必要」が「介護は不要」を35.6ポイント上回っています。



		回答数	できるし、 している	できるけど、 していない	できない	無回答	計
	全体	(N=2,263)	66.9%	20.7%	10.0%	2.3%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	65.5%	22.7%	9.2%	2.5%	100.0%
	女性	(N=1,211)	68.5%	18.8%	10.6%	2.1%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	71.2%	21.3%	4.8%	2.6%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	64.2%	20.1%	13.7%	2.0%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	64.2%	20.9%	12.1%	2.8%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	68.0%	20.6%	9.4%	2.1%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	72.2%	21.1%	4.7%	2.0%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	40.0%	17.4%	40.3%	2.3%	100.0%

問 2-4 過去1年間に転んだ経験がありますか(○はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「何度もある」が 11.7%、「1 度ある」が 25.2%となっており、両者を合わせた 36.9%が過去1年間に実際に転倒を経験しています。経年変化については有意な差はみられません。

② 男女別の傾向

「何度もある」は男性が 13.5%に対し、女性は 10.1%と、男性が女性を 3.4 ポイント上回り、「ない」は女性が 62.5%に対し、男性は 59.5%と、女性が男性を 3.0 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

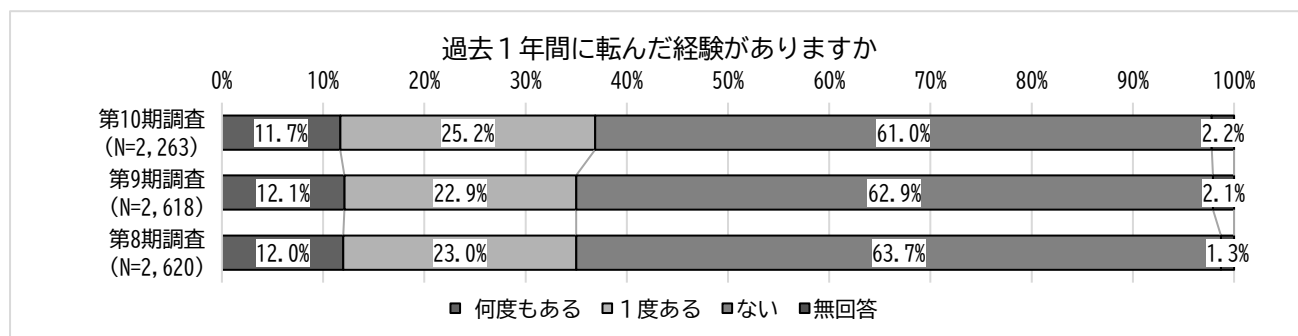
「何度もある」と「1度ある」を合わせた「転倒経験あり」は後期高齢者が 40.4%に対し、前期高齢者は 31.8%と、後期高齢者が前期高齢者を 8.6 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

有意な差は見られません。

⑤ 介護状況

「何度もある」と「1度ある」を合わせた「転倒経験あり」は「介護は必要」が 59.3%に対し、「介護は不要」は 32.8%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 26.5 ポイント上回っています。



		回答数	何度もある	1度ある	ない	無回答	計
	全体	(N=2,263)	11.7%	25.2%	61.0%	2.2%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	13.5%	24.8%	59.5%	2.2%	100.0%
	女性	(N=1,211)	10.1%	25.4%	62.5%	2.0%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	10.1%	21.7%	65.4%	2.7%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	12.8%	27.6%	58.0%	1.6%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	10.2%	27.5%	59.2%	3.0%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	11.8%	24.4%	61.9%	1.8%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	8.7%	24.1%	65.4%	1.9%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	28.7%	30.6%	38.1%	2.6%	100.0%

問 2-5 転倒に対する不安は大きいですか。(〇はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「とても不安である」が16.8%、「やや不安である」が42.7%となっており、両者を合わせると59.5%が転倒に対して不安を感じています。

経年変化では「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた「不安である」は「第8期調査」が55.2%、「第9期調査」が53.6%に対し、第10期調査は59.5%と、転倒に対する不安が増加しています。

② 男女別の傾向

「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた「不安である」は女性が67.0%に対し、男性は51.0%と、女性が男性を16.0ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

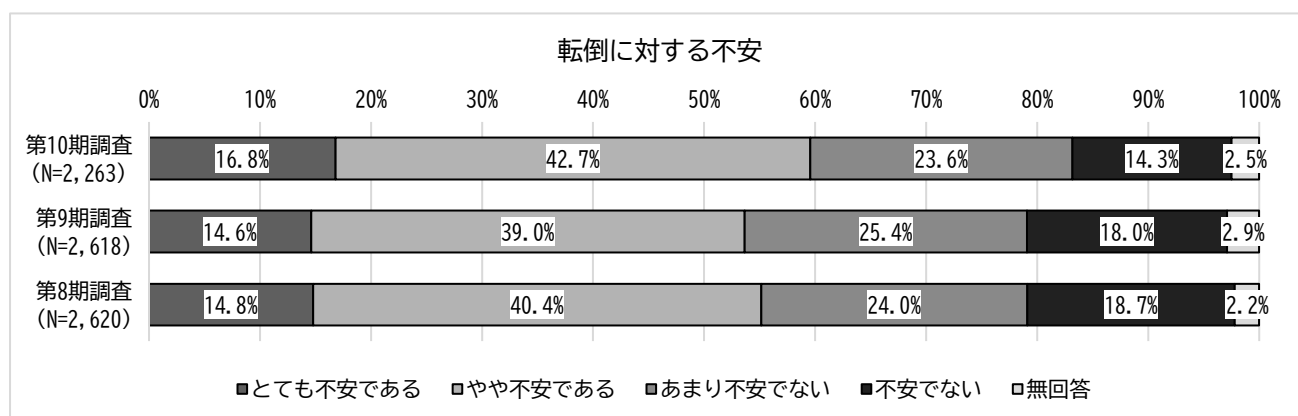
「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた「不安である」は後期高齢者が65.7%に対し、前期高齢者は51.5%と、後期高齢者が前期高齢者を14.2ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた「不安である」はひとり暮らしが63.7%ひとり暮らし以外は58.6%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を5.1ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた「不安である」は「介護は必要」が88.1%に対し、「介護は不要」は54.7%と、「介護は必要」が「介護は不要」を33.4ポイント上回っています。



		回答数	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答	計
全体		(N=2,263)	16.8%	42.7%	23.6%	14.3%	2.5%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	11.7%	39.3%	26.6%	19.8%	2.5%	100.0%
	女性	(N=1,211)	21.2%	45.8%	21.2%	9.4%	2.3%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	12.2%	39.3%	26.8%	18.8%	3.0%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	20.3%	45.4%	21.4%	10.8%	2.0%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	20.7%	43.0%	21.2%	12.4%	2.8%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	16.0%	42.6%	24.3%	14.9%	2.2%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	11.0%	43.7%	26.7%	16.4%	2.2%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	51.3%	36.8%	7.1%	2.3%	2.6%	100.0%

問 2-6 週に1回以上は外出していますか。(〇はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「週2～4回」が 47.0%、「週5回以上」が 26.9%と、週に複数回の外出をしている高齢者は 73.9%となっています。一方、「ほとんど外出しない」が 6.1%、「週1回」が 17.8%となっており、両者を合わせた 23.9%が「閉じこもりリスク」を抱えています。

経年変化では、「ほとんど外出しない」と「週1回」を合わせた「閉じこもりリスク」を抱える高齢者は、第8期調査が 32.5%、第9期調査が 26.6%に対し、第10期調査は 23.9%と減少傾向にあります。

② 男女別の傾向

「ほとんど外出しない」と「週1回」を合わせた「閉じこもりリスク」を抱える高齢者は、女性が 26.7%に対し、男性は 20.1%と、女性が男性を 6.6 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

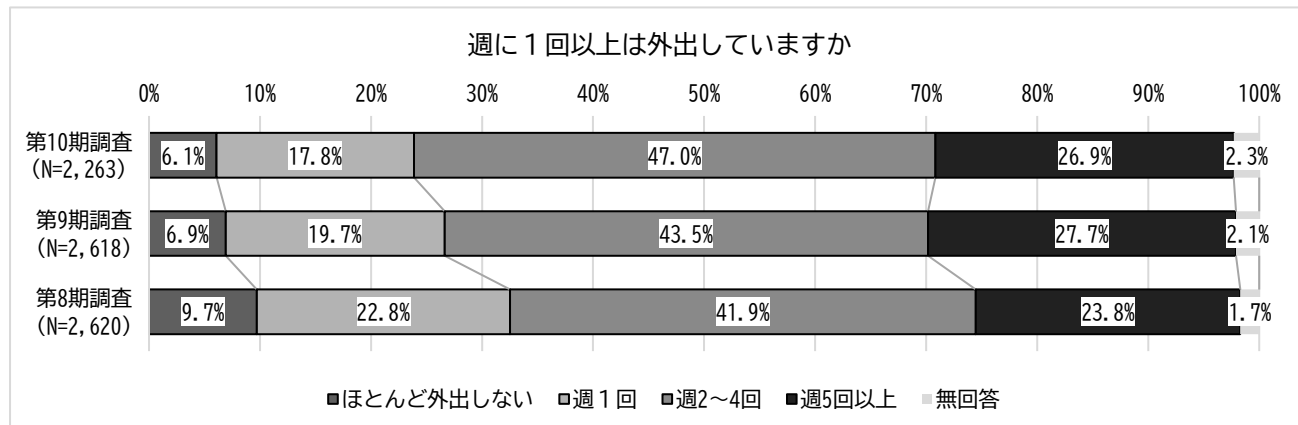
「ほとんど外出しない」と「週1回」を合わせた「閉じこもりリスク」を抱える高齢者は、後期高齢者が 30.4%に対し、前期高齢者は 14.7%と、後期高齢者が前期高齢者を 15.7 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「ほとんど外出しない」と「週1回」を合わせた「閉じこもりリスク」を抱える高齢者は、ひとり暮らしが 27.0%に対し、ひとり暮らし以外は 23.1%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を 3.9 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「ほとんど外出しない」と「週1回」を合わせた「閉じこもりリスク」を抱える高齢者は、「介護は必要」が 48.1%に対し、「介護は不要」は 19.6%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 28.5 ポイント上回っています。



		回答数	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答	計
全体		(N=2,263)	6.1%	17.8%	47.0%	26.9%	2.3%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	4.8%	15.3%	43.7%	33.6%	2.6%	100.0%
	女性	(N=1,211)	6.9%	19.8%	50.2%	21.1%	1.9%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	3.2%	11.5%	44.9%	37.7%	2.7%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	8.0%	22.4%	48.9%	18.9%	1.9%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	7.2%	19.8%	47.7%	22.0%	3.3%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	5.8%	17.3%	47.0%	28.1%	1.8%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	3.1%	16.5%	48.3%	30.2%	1.9%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	24.2%	23.9%	40.3%	9.4%	2.3%	100.0%

問 2-7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(〇はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「とても減っている」(4.3%)と「減っている」(21.1%)を合わせた 25.4%(約4人に1人)の高齢者が、昨年と比べて外出が減ったと回答しています。

経年変化をみると、「とても減っている」「減っている」を合わせた「減っている」が新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出自粛の影響が大きかった第8期調査では 43.8%に対し、第10期は 25.4%と 18.4 ポイント減少しており、第9期調査とは有意な差はみられません。

② 男女別の傾向

「とても減っている」「減っている」を合わせた「減っている」は、女性が 26.4%に対し、男性は 23.8%と、女性が男性を 2.6 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

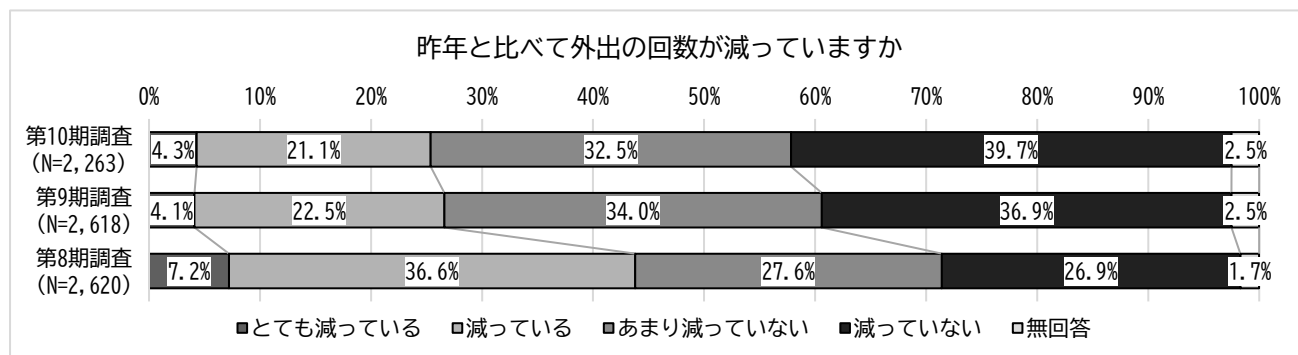
「とても減っている」「減っている」を合わせた「減っている」は、後期高齢者が 31.7%に対し、前期高齢者は 16.4%と、後期高齢者が前期高齢者を 15.3 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「とても減っている」「減っている」を合わせた「減っている」は、ひとり暮らしが 30.8%に対し、ひとり暮らし以外は 23.7%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を 7.1 ポイント上回っています。

⑤ 状況別の傾向

「とても減っている」「減っている」を合わせた「減っている」は、「介護は必要」が 55.5%に対し、「介護は不要」は 19.8%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 35.7 ポイント上回っています。



		回答数	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答	計
性別	全体	(N=2,263)	4.3%	21.1%	32.5%	39.7%	2.5%	100.0%
	男性	(N=1,030)	3.6%	20.2%	30.1%	43.5%	2.6%	100.0%
	女性	(N=1,211)	4.7%	21.7%	34.6%	36.7%	2.2%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	2.3%	14.1%	31.1%	49.2%	3.3%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	5.6%	26.1%	33.6%	33.0%	1.8%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	5.5%	25.3%	31.4%	35.0%	2.8%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	4.0%	19.7%	33.1%	41.3%	2.0%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	2.1%	17.7%	34.3%	43.9%	2.0%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	16.1%	39.4%	24.5%	17.1%	2.9%	100.0%

問 2-8 外出を控えていますか。(〇はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「はい」は 21.0%となっていますが、経年変化をみると、「はい」は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出自粛の影響が大きかった第8期調査の 47.8%から 26.8 ポイント減少しており、第9期調査からは有意な変化はみられません。

② 男女別の傾向

「はい」は女性が 23.0%に対し、男性は 18.3%と、女性が男性を 4.7 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

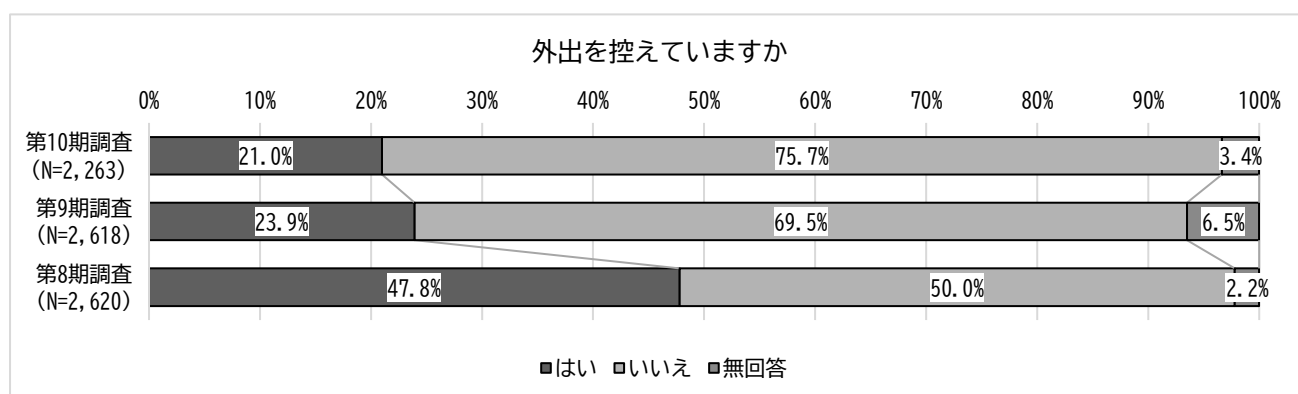
「はい」は後期高齢者が 28.2%に対し、前期高齢者は 11.0%と、後期高齢者が前期高齢者を 17.2 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「はい」はひとり暮らしが 29.5%に対し、ひとり暮らし以外は 18.8%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を 10.7 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「はい」は「介護は必要」が 60.6%に対し、「介護は不要」は 13.8%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 46.8 ポイント上回っています。



		回答数	はい	いいえ	無回答	計
全体		(N=2,263)	21.0%	75.7%	3.4%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	18.3%	78.3%	3.4%	100.0%
	女性	(N=1,211)	23.0%	73.7%	3.2%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	11.0%	84.4%	4.6%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	28.2%	69.5%	2.3%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	29.5%	66.7%	3.9%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	18.8%	78.1%	3.1%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	13.8%	83.1%	3.1%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	60.6%	36.1%	3.2%	100.0%

問 2-8-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

① 全体的な傾向と経年変化

「足腰などの痛み」が 50.7%でもっとも多く、次いで「交通手段がない」が 28.6%、「トイレの心配」が 18.1%となっています。

経年変化をみると、「足腰などの痛み」「トイレの心配」「交通手段がない」などが、第8期調査、第9期調査から大幅に増加しています。「その他」は、第8期調査が 55.5%と極端に多くなっていますが、「新型コロナウイルス感染症による外出控え」が多く含まれていました。

② 男女別の傾向

男性は「足腰などの痛み」が 46.6%でもっとも多く、次いで「トイレの心配」「交通手段がない」が共に 22.8%、「外での楽しみがない」が 19.0%、女性は「その他」を除いて、「足腰などの痛み」が 53.0%でもっとも多く、次いで「交通手段がない」が 31.9%、「トイレの心配」が 15.1%、「外での楽しみがない」が 11.8%となっています。

③ 年齢区分別の傾向

前期高齢者は、「足腰などの痛み」が 35.6%でもっとも多く、次いで「経済的に出られない」が 21.2%、「病気」「外での楽しみがない」が共に 19.2%、後期高齢者は「足腰などの痛み」が 54.7%でもっとも多く、次いで「交通手段がない」が 31.0%、「トイレの心配」が 18.7%、「外での楽しみがない」が 13.5%となっています。

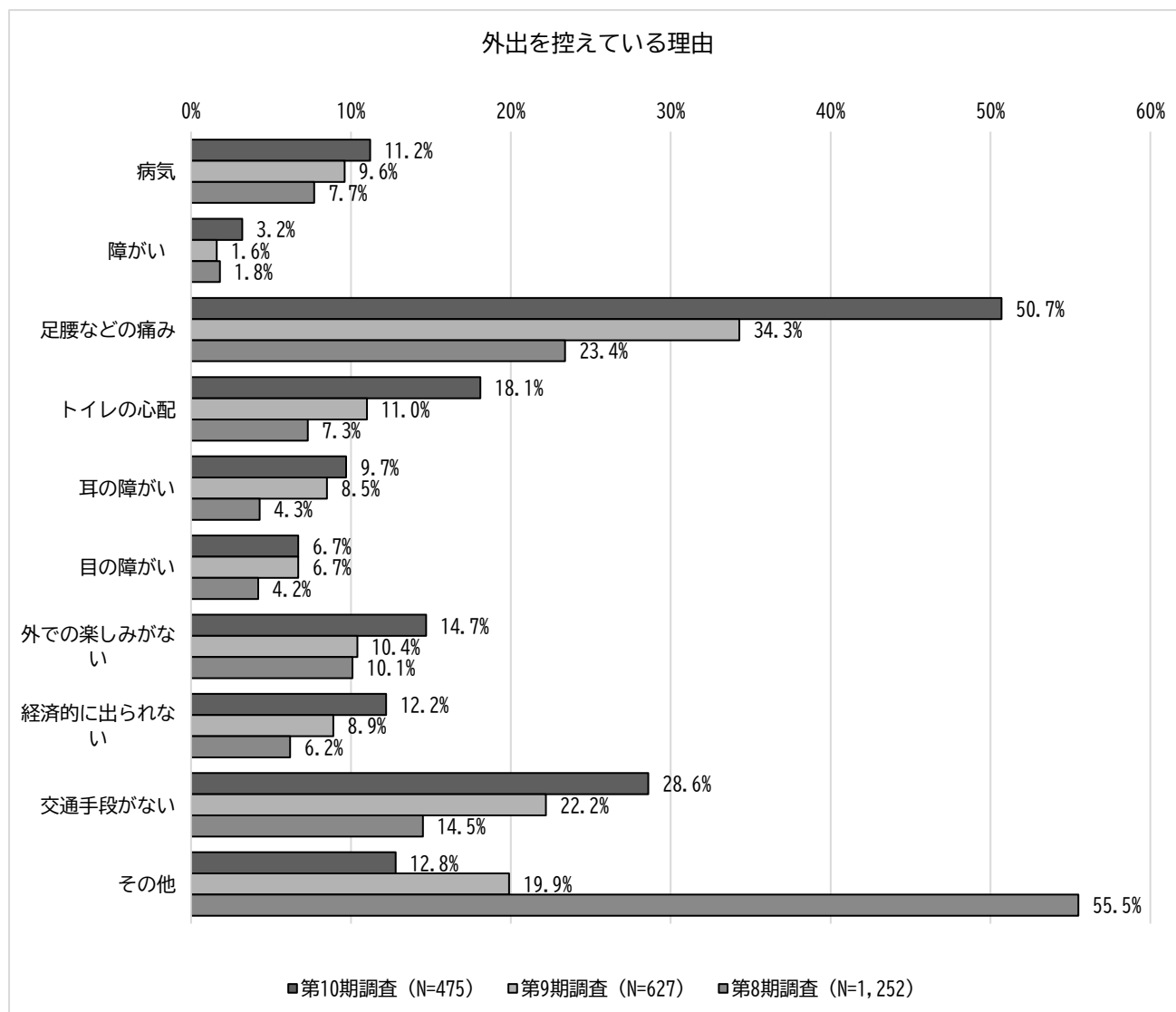
④ 家族構成別の特徴

ひとり暮らしは「足腰などの痛み」が 46.7%でもっとも多く、次いで「交通手段がない」が 35.5%、「トイレの心配」が 20.6%、ひとり暮らし以外は「足腰などの痛み」が 50.7%でもっとも多く、次いで「交通手段がない」が 26.8%、「トイレの心配」が 17.6%となっています。

また、「交通手段がない」はひとり暮らしが 35.5%に対し、ひとり暮らし以外は 26.8%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を 8.7 ポイント上回り、「外での楽しみがない」はひとり暮らし以外が 17.0%に対し、ひとり暮らしは 8.4%と、ひとり暮らし以外が 26.8%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を 8.7 ポイント上回り、「外での楽しみがない」はひとり暮らし以外がひとり暮らしを 7.4 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「介護は不要」は「足腰などの痛み」が 38.6%でもっとも多く、次いで「交通手段がない」が 22.4%、「経済的に出られない」が 17.8%、「外での楽しみがない」が 17.0%、「介護は必要」は「足腰などの痛み」が 64.9%でもっとも多く、次いで「交通手段がない」が 39.9%、「トイレの心配」が 25.0%、「病気」が 16.0%となっています。



		回答数	病気	障がい	足腰などの痛み	トイレの心配	耳の障がい	目の障がい	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他
全体		(N=475)	11.2%	3.2%	50.7%	18.1%	9.7%	6.7%	14.7%	12.2%	28.6%	12.8%
性別	男性	(N=1,030)	18.0%	2.6%	46.6%	22.8%	10.6%	9.5%	19.0%	18.5%	22.8%	7.4%
	女性	(N=1,211)	6.5%	3.6%	53.0%	15.1%	9.3%	5.0%	11.8%	7.5%	31.9%	16.8%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	19.2%	4.8%	35.6%	16.3%	7.7%	9.6%	19.2%	21.2%	18.3%	18.3%
	後期高齢者	(N=1,292)	8.8%	2.7%	54.7%	18.7%	10.4%	6.0%	13.5%	9.3%	31.0%	11.5%
家族構成	ひとり暮らし	(N=107)	5.6%	0.9%	46.7%	20.6%	12.1%	8.4%	8.4%	11.2%	35.5%	13.1%
	ひとり暮らし以外	(N=347)	13.0%	3.7%	50.7%	17.6%	8.9%	6.1%	17.0%	13.3%	26.8%	12.4%
介護状況	介護は不要	(N=259)	7.7%	2.3%	38.6%	12.7%	7.3%	3.9%	17.0%	17.8%	22.4%	14.7%
	介護は必要	(N=188)	16.0%	4.3%	64.9%	25.0%	12.2%	10.6%	12.2%	6.4%	39.9%	10.1%

問 2-9 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

① 全体的な傾向と経年変化

「自動車(自分で運転)」が70.1%でもっとも多く、次いで「徒歩」が35.5%、「自動車(人に乗せてもらう)」が26.9%、「電車」が17.0%、「路線バス」が10.3%となっています。

経年変化では有意な差はみられません。

② 男女別の傾向

男性は「自動車(自分で運転)」が 80.3%でもっとも多く、次いで「徒歩」が 36.3%、「自動車(人に乗せてもらう)」「電車」が共に 15.0%、女性は「自動車(自分で運転)」が 61.6%でもっとも多く、次いで「自動車(人に乗せてもらう)」が 37.2%、「徒歩」が 35.0%、「電車」が 18.3%となっています。

男女別で比較すると、「自動車(自分で運転)」は男性が 80.3%に対し、女性は 61.6%と、男性が女性を 18.7 ポイント上回り、「自動車(人に乗せてもらう)」は女性が 37.2%に対し、男性は 15.0%と、女性が男性を 22.2 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

前期高齢者は「自動車(自分で運転)」が 82.0%でもっとも多く、次いで「徒歩」が 34.9%、「自動車(人に乗せてもらう)」が 21.0%、「電車」が 17.9%、後期高齢者は「自動車(自分で運転)」が 61.5%でもっとも多く、次いで「徒歩」が 36.1%、「自動車(人に乗せてもらう)」が 31.4%、「電車」が 16.0%となっています。

年齢区分で比較すると、「自動車(自分で運転)」は前期高齢者が 82.0%に対し、後期高齢者は 61.5%と、前期高齢者が後期高齢者を 20.5 ポイント上回り、「自動車(人に乗せてもらう)」は後期高齢者が 31.4%に対し、前期高齢者は 21.0%と、後期高齢者が前期高齢者を 10.4 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

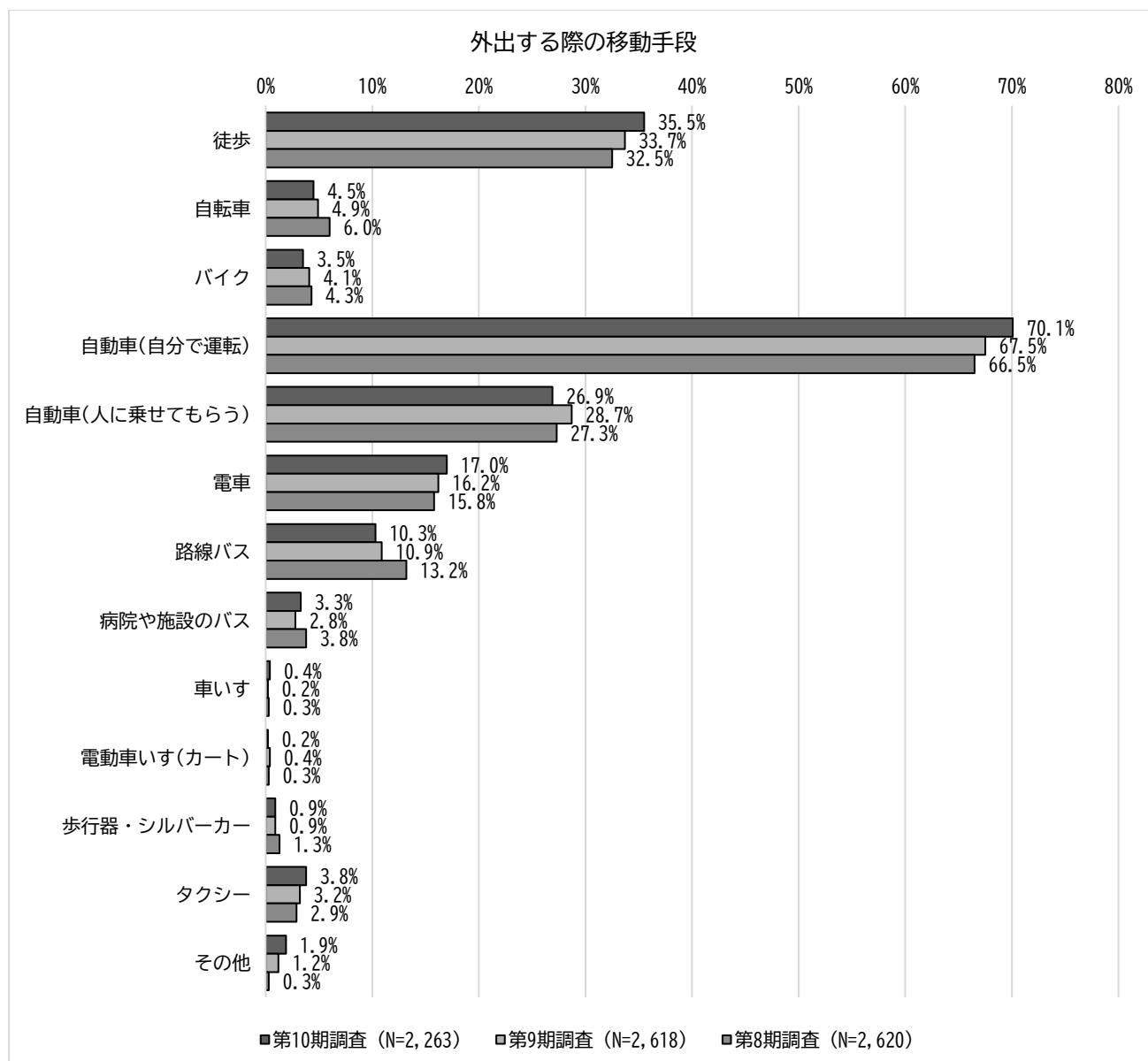
ひとり暮らしは「自動車(自分で運転)」が 60.3%でもっとも多く、次いで「徒歩」が 37.7%、「自動車(人に乗せてもらう)」が 23.4%、ひとり暮らし以外は「自動車(自分で運転)」が 72.3%でもっとも多く、次いで「徒歩」が 35.4%、「自動車(人に乗せてもらう)」が 27.7%となっています。

家族構成別で比較すると、「路線バス」はひとり暮らしが 17.4%に対し、ひとり暮らし以外は 8.7%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を 8.7 ポイント上回り、「自動車(自分で運転)」はひとり暮らし以外が 72.3%に対し、ひとり暮らしは 60.3%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 12.0 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「介護は不要」は「自動車(自分で運転)」が 77.2%でもっとも多く、次いで「徒歩」が 37.7%、「自動車(人に乗せてもらう)」が 23.3%、「電車」が 18.2%、「介護は必要」は「自動車(人に乗せてもらう)」が 50.6%でもっとも多く、次いで「自動車(自分で運転)」が 26.5%、「徒歩」が 26.1%、「病院や施設のバス」が 13.5%となっています。

「介護は不要」は「介護は必要」を「自動車(人に乗せてもらう)」が 50.7 ポイント、「徒歩」が 11.6 ポイント上回り、「介護は必要」は「介護は不要」を「自動車(人に乗せてもらう)」が 27.3%、「病院や施設のバス」が 11.9 ポイント上回っています。



		回答数	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せて もらう)	電車
性別	全体	(N=2,263)	35.5%	4.5%	3.5%	70.1%	26.9%	17.0%
	男性	(N=1,030)	36.3%	5.5%	5.5%	80.3%	15.0%	15.0%
	女性	(N=1,211)	35.0%	3.6%	1.7%	61.6%	37.2%	18.3%
年齢 区分	前期高齢者	(N=949)	34.9%	5.2%	4.5%	82.0%	21.0%	17.9%
	後期高齢者	(N=1,292)	36.1%	3.9%	2.6%	61.5%	31.4%	16.0%
家族 構成	ひとり暮らし	(N=363)	37.7%	6.1%	4.7%	60.3%	23.4%	20.7%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	35.4%	4.1%	3.4%	72.3%	27.7%	16.3%
介護 状況	介護は不要	(N=1,875)	37.7%	5.0%	3.9%	77.2%	23.3%	18.2%
	介護は必要	(N=310)	26.1%	1.9%	1.3%	26.5%	50.6%	11.3%

		路線バス	病院や施設 のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・シ ルバーカー	タクシー	その他
	全体	10.3%	3.3%	0.4%	0.2%	0.9%	3.8%	1.9%
性別	男性	9.0%	2.2%	0.5%	0.3%	0.4%	2.9%	0.9%
	女性	11.2%	4.2%	0.3%	0.1%	1.4%	4.6%	2.9%
年齢 区分	前期高齢者	8.2%	0.6%	0.3%	0.0%	0.0%	1.8%	0.7%
	後期高齢者	11.7%	5.3%	0.5%	0.3%	1.6%	5.3%	2.9%
家族 構成	ひとり暮らし	17.4%	0.0%	0.3%	1.1%	7.4%	3.0%	5.5%
	ひとり暮らし以外	8.7%	0.4%	0.1%	0.9%	3.1%	1.7%	3.1%
介護 状況	介護は不要	10.3%	1.6%	0.0%	0.1%	0.2%	2.7%	1.1%
	介護は必要	11.0%	13.5%	2.6%	1.0%	5.2%	11.3%	7.4%

考察

1. 運動器機能の低下と要介護化の強い結びつき、および「ひとり暮らし」の機能低下リスク

「階段を手すりなしで昇る」「椅子から何もつかまらずに立ち上がる」「15分続けて歩く」といった基本的な移動動作について、全体としては半数以上の方が自立しているものの、後期高齢期を迎えると機能が急激に低下する傾向が確認されました。また、女性のほうが男性よりも機能低下リスクを抱えやすいことも明らかになっています。さらに家族構成別に見ると、階段昇降が「できない」割合はひとり暮らしが24.8%（ひとり暮らし以外18.1%）、椅子からの立ち上がり「できない」割合は14.9%（同11.1%）、15分の連続歩行が「できない」割合は12.1%（同9.4%）と、いずれもひとり暮らし高齢者の方が基礎的な運動器機能の低下リスクを抱えている実態が確認できます。特に「介護が必要」な層においては、階段昇降が「できない」方が61.9%、立ち上がり「できない」方が46.1%、15分の連続歩行が「できない」方が40.3%に達しており、下肢筋力やバランス能力の低下が要介護状態に相関があることがデータから明確に読み取れます。

2. 高い転倒発生率と、ひとり暮らしで顕著な深刻な「転倒恐怖感」

過去1年間に実際に転倒を経験した割合は36.9%に上り、特に「介護は必要」では59.3%に達しています。転倒経験の有無については家族構成別で有意な差は見られませんが、転倒に対する「不安」を抱えている高齢者はひとり暮らしで63.7%にのぼり、ひとり暮らし以外（58.6%）を上回っています。単身であることから、「転んで動けなくなった際に誰にも助けを呼べない」という事情が、心理的な不安（転倒恐怖感）をより一層増幅させ、高齢者の活動意欲を削ぐ原因になっていると推察されます。

3. コロナ禍からの回復と残存する「閉じこもりリスク」、単身世帯の外出ハードル

外出頻度が昨年より「減っている」と回答した割合は25.4%となり、依然として全体の23.9%が週1回以下の外出にとどまる「閉じこもりリスク」を抱えており、「介護は必要」ではその割合が48.1%に達しています。この閉じこもりリスクは、ひとり暮らしで27.0%となっており、ひとり暮らし以外（23.1%）よりも高くなっています。さらに、外出を控えている理由として、ひとり暮らしでは「交通手段がない」が35.5%に上り、ひとり暮らし以外（26.8%）を大きく上回っています。身体的苦痛だけでなく、移動環境の制約が同居家族のいない単身世帯の社会参加をより阻んでいる状況がみられます。

4. 「自力での移動」から「他者への依存」への移行と、単身世帯の足の確保

元気なうちは「自動車（自分で運転）」が移動手段でもっとも多くなっていますが、介護が必要になると、「自動車（人に乗せてもらう）」が50.6%と過半数を占めるようになります。家族構成別に見ても、ひとり暮らし以外は「自動車（自分で運転）」が72.3%であるのに対し、ひとり暮らしは60.3%にとどまり、「路線バス」を利用する割合が17.4%（ひとり暮らし以外8.7%）と高くなっています。自力での移動（徒歩や自身

の運転など)から、家族などの運転に依存する受動的な移動へと変化することで、日常的な「歩く機会」がさらに奪われ、運動機能の低下(廃用症候群)を加速させていることが推察されます。同時に、同居家族の運転に頼ることができない単身世帯において、いかに日常的な外出のための移動手段を地域で確保するかが課題となっています。

【第10期計画策定に向けた検討課題】

機能低下が顕著になる前の前期高齢期から、「いきいき百歳体操」などのフレイル予防・運動器機能向上プログラムへの参加を促すこと、特に女性や「できるけど、していない」不活動層に対するアプローチが重要です。転倒への不安を軽減し、家庭内での事故を防ぐため、手すりの設置や段差解消などの住宅改修支援、および適切な歩行補助具の適切な利用が必要です。特に転倒への不安を抱えやすいひとり暮らし高齢者に対しては、見守りネットワークや緊急通報体制の周知をあわせて行う必要があります。運転免許の返納や要介護化により移動が困難になった方(特に女性、後期高齢者、および同居家族の送迎支援が得られないひとり暮らし高齢者)に対して、乗合タクシーや有償ボランティア送迎などの「移送サービス」を充実させるとともに、痛みを抱えていても安全に参加できるバリアフリー化された「通いの場」を整備し、外出のハードルを下げる支援が必要です。

問3 食べることについて

問 3-1 身長・体重を教えてください。(数字を記入)

回答いただいた身長と体重からBMI(ボディ・マス指数)を計算し、比較検討しました。

① 全体的な傾向と経年変化

「普通体重」が 65.9%でもっとも多く、次いで「肥満」が 22.5%、「低体重」が 7.1%となっています。
経年変化では有意な差はみられません。

② 男女別の傾向

男女別で比較すると、「低体重」は女性が 10.3%に対し、男性は 3.4%と、女性が男性を 6.9 ポイント上回り、「肥満」は男性が 26.8%に対し、女性は 18.9%と、男性が女性を 7.9 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

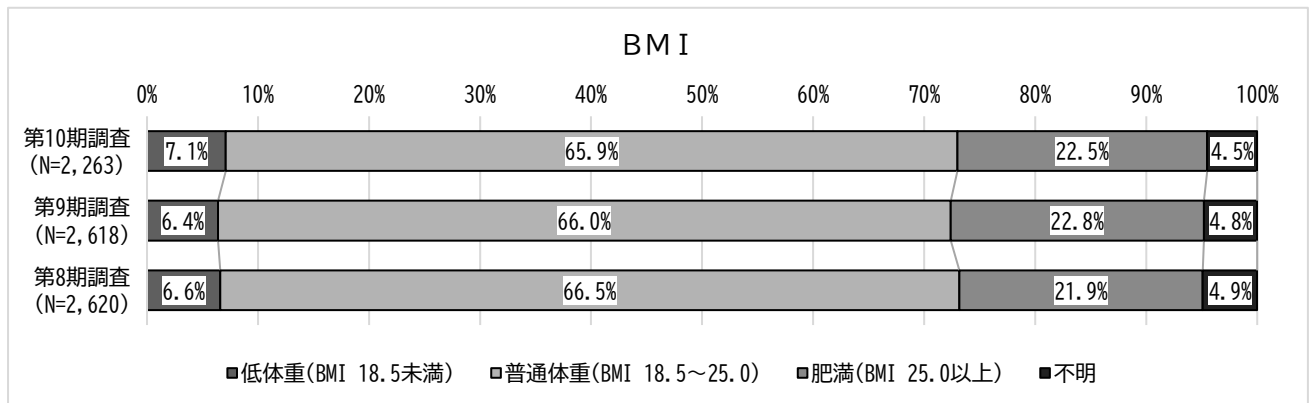
年齢区分で比較すると、「肥満」は前期高齢者が 26.7%に対し、後期高齢者は 19.5%と、前期高齢者が後期高齢者を 7.2 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「低体重」はひとり暮らしが 9.4%に対し、ひとり暮らし以外は 6.7%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を 2.7 ポイント上回り、「肥満」はひとり暮らし以外が 23.3%に対し、ひとり暮らしは 17.9%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 5.4 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「肥満」は「介護は不要」が 23.1%に対し、「介護は必要」は 17.7%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 5.4 ポイント上回っています。ただし、「介護は必要」の 11.9%が「不明」になっていることに留意する必要があります。



		回答数	低体重 (BMI18.5未満)	普通体重 (BMI18.5～25.0)	肥満 (BMI25.0以上)	不明	計
	全体	(N=2,263)	7.1%	65.9%	22.5%	4.5%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	3.4%	67.1%	26.8%	2.7%	100.0%
	女性	(N=1,211)	10.3%	64.8%	18.9%	5.9%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	6.4%	64.1%	26.7%	2.8%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	7.7%	67.2%	19.5%	5.7%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	9.4%	66.9%	17.9%	5.8%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	6.7%	66.1%	23.3%	3.9%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	7.1%	66.8%	23.1%	2.9%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	7.4%	62.9%	17.7%	11.9%	100.0%

問 3-2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(〇はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「はい」は 29.9%、「いいえ」は 69.1%となっています。経年変化は有意な差は認められません。

② 男女別の傾向

有意な差は認められません。

③ 年齢区分別の傾向

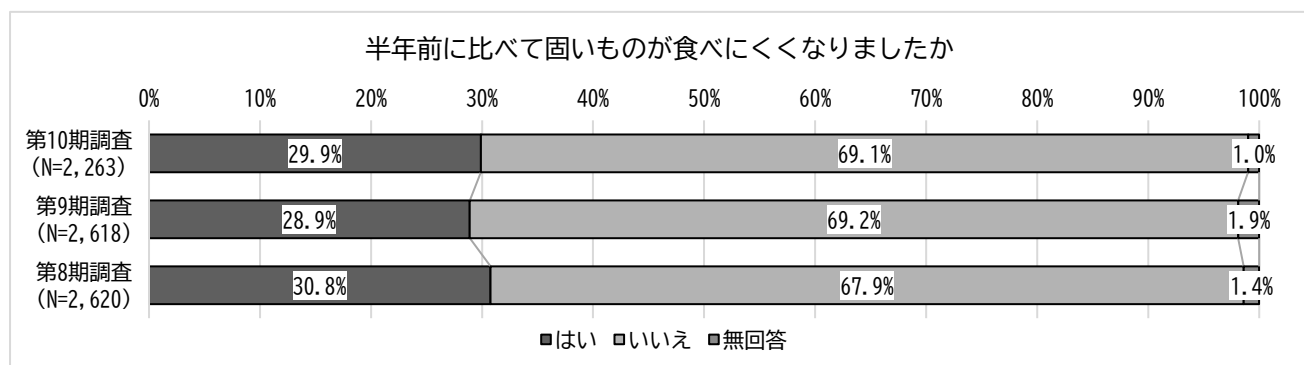
「はい」は後期高齢者が 34.4%に対し、前期高齢者は 23.7%と、後期高齢者が前期高齢者を 10.7 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「はい」はひとり暮らしが 34.7%に対し、ひとり暮らし以外は 28.5%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を 6.2 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「はい」は「介護は必要」が 51.9%に対し、「介護は不要」は 25.8%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 26.1 ポイント「はい」は上回っています。



		回答数	はい	いいえ	無回答	計
	全体	(N=2,263)	29.9%	69.1%	1.0%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	30.3%	69.2%	0.5%	100.0%
	女性	(N=1,211)	29.5%	69.1%	1.4%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	23.7%	75.8%	0.5%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	34.4%	64.3%	1.3%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	34.7%	64.5%	0.8%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	28.5%	70.6%	0.9%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	25.8%	73.7%	0.5%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	51.9%	46.5%	1.6%	100.0%

問 3-3 お茶や汁物等でむせることがありますか。(〇はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「はい」は 30.6%、「いいえ」は 68.6%となっています。経年変化では「はい」は第8期調査の 28.4%から第10期調査の 30.6%へと 2.2 ポイント増加しています。

② 男女別の傾向

有意な差は認められません。

③ 年齢区分別の傾向

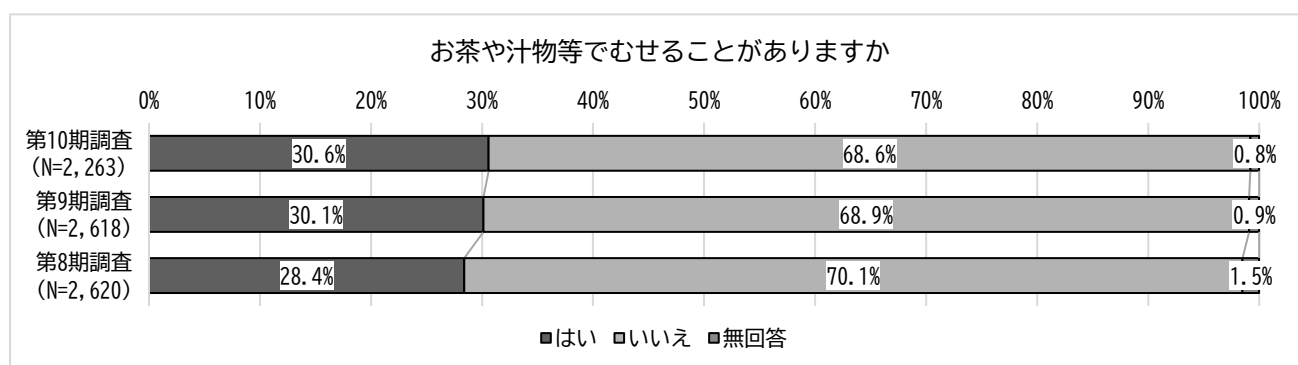
「はい」は後期高齢者が 34.1%に対し、前期高齢者は 25.7%と、後期高齢者が前期高齢者を 8.4 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

有意な経年変化は見られません。

⑤ 介護状況別の傾向

「はい」は「介護は必要」が 45.5%に対し、「介護は不要」は 28.4%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 17.1 ポイント上回っています。



		回答数	はい	いいえ	無回答	計
全体		(N=2,263)	30.6%	68.6%	0.8%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	31.2%	68.3%	0.6%	100.0%
	女性	(N=1,211)	30.1%	69.0%	1.0%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	25.7%	73.8%	0.5%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	34.1%	64.9%	1.0%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	29.5%	70.0%	0.6%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	31.1%	68.2%	0.7%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	28.4%	71.1%	0.4%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	45.5%	53.2%	1.3%	100.0%

問 3-4 口の渇きが気になりますか。(〇はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「はい」は 31.1%、「いいえ」は 68.1%となっています。経年変化では「はい」は第9期調査の 28.5%から第10期調査の 31.1%へと 2.6 ポイント増加しています。

② 男女別の傾向

有意な差は認められません。

③ 年齢区分別の傾向

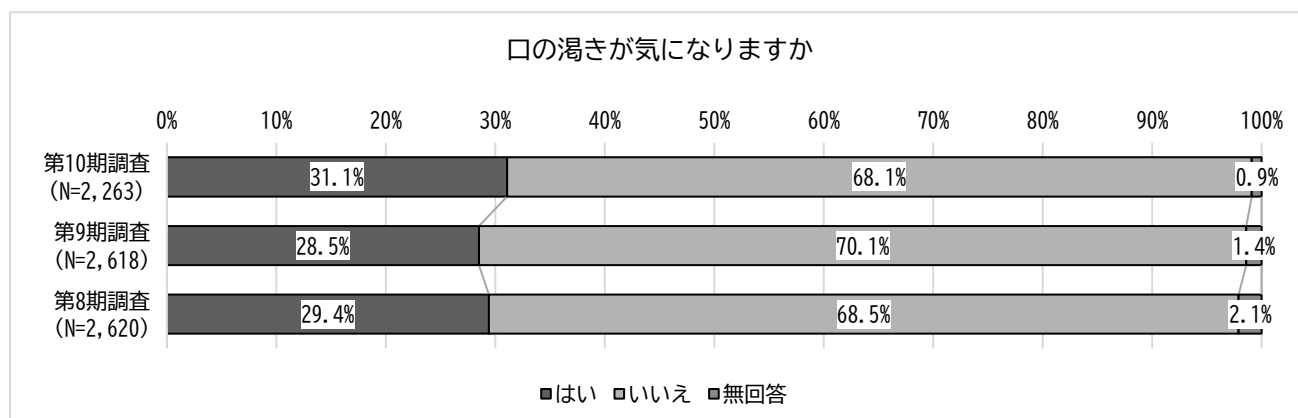
「はい」は後期高齢者が 34.6%に対し、前期高齢者は 26.7%と、後期高齢者が前期高齢者を 7.9 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「はい」はひとり暮らしが 35.0%に対し、ひとり暮らし以外は 30.1%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を 4.9 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「はい」は「介護は必要」が 49.4%に対し、「介護は不要」は 27.9%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 21.5 ポイント上回っています。



		回答数	はい	いいえ	無回答	計
性別	全体	(N=2,263)	31.1%	68.1%	0.9%	100.0%
	男性	(N=1,211)	31.9%	67.5%	0.6%	100.0%
	女性	(N=1,030)	30.6%	68.3%	1.1%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	26.7%	72.9%	0.4%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	34.6%	64.2%	1.2%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	35.0%	63.9%	1.1%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	30.1%	69.2%	0.7%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	27.9%	71.6%	0.5%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	49.4%	49.0%	1.6%	100.0%

問3-5 1日に何回、歯をみがきますか。(〇はひとつ)

① 全体的な傾向

「2回」が 49.6%でもっとも多く、次いで「1回」が 22.0%、「3回」が 17.3%となっています。

② 男女別の傾向

「2回」は女性が 53.2%に対し、男性は 45.4%と、女性が男性を 7.8 ポイント上回り、「3回」は女性が 21.1%に対し、男性は 13.0%と、女性が男性を 8.1 ポイント上回っています。また、「1回」は男性が 30.9%に対し、女性は 14.5%と、男性が女性を 16.4 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

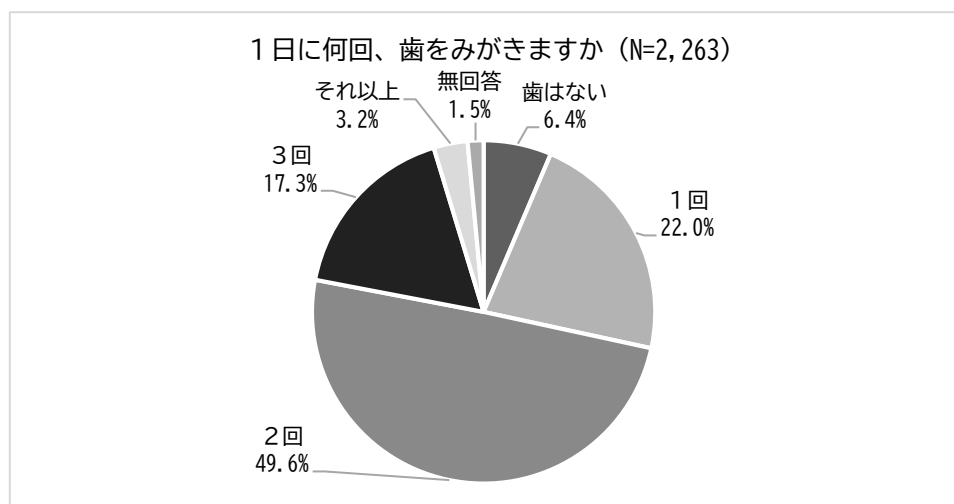
「2回」は前期高齢者が 52.3%に対し、後期高齢者は 47.7%と、前期高齢者が後期高齢者を 4.6 ポイント上回り、「歯はない」は後期高齢者が 8.9%に対し、前期高齢者は 2.8%と、後期高齢者が前期高齢者を 6.1 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「1回」はひとり暮らし以外が 22.4%に対し、ひとり暮らしは 18.7%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 3.7 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「2回」は「介護は不要」が 52.0%に対し、「介護は必要」は 38.4%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 13.6 ポイント上回り、「歯はない」は「介護は必要」が 15.5%に対し、「介護は不要」は 4.8%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 10.7 ポイント上回っています。



		回答数	歯はない	1回	2回	3回	それ以上	無回答	計
性別	全体	(N=2,263)	6.4%	22.0%	49.6%	17.3%	3.2%	1.5%	100.0%
	男性	(N=1,030)	7.4%	30.9%	45.4%	13.0%	2.3%	1.0%	100.0%
	女性	(N=1,211)	5.5%	14.5%	53.2%	21.1%	4.0%	1.8%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	2.8%	21.9%	52.3%	18.0%	4.0%	0.9%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	8.9%	22.1%	47.7%	16.9%	2.6%	1.8%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	7.7%	18.7%	48.8%	19.3%	3.3%	2.2%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	6.0%	22.4%	50.1%	17.2%	3.2%	1.1%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	4.8%	20.9%	52.0%	17.5%	3.7%	1.1%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	15.5%	27.1%	38.4%	16.5%	1.0%	1.6%	100.0%

問3-6 歯磨きのときに歯ブラシ以外で1回でも使用しているものはありますか。(○はいくつでも)

① 全体的な傾向

「歯間ブラシ」が 56.3%でもっとも多く、次いで「歯ブラシ以外使わない」が 22.5%、「マウスウォッシュ(洗口液)」が 16.8%となっています。

② 男女別の傾向

「歯ブラシ以外使わない」は男性が 26.5%に対し、女性は 19.2%と、男性が女性を 7.3 ポイント上回り、反対に「歯間ブラシ」は女性が 61.6%に対し、男性は 50.1%と、女性が男性を 11.5 ポイント上回り、「舌ブラシ」は女性が 13.8%に対し、男性は 6.0%と、女性が男性を 7.8 ポイント上回り、「デンタルフロス」は女性が 14.8%に対し、男性は 7.7%と、女性が男性を 7.1 ポイント上回り、「マウスウォッシュ(洗口液)」は女性が 19.6%に対し、男性は 13.3%と、女性が男性を 6.3 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

「歯ブラシ以外使わない」は後期高齢者が 24.2%に対し前期高齢者は 20.3%と、後期高齢者が前期高齢者を 3.9 ポイント上回り、反対に「デンタルフロス」は前期高齢者が 17.7%に対し、後期高齢者は 7.0%

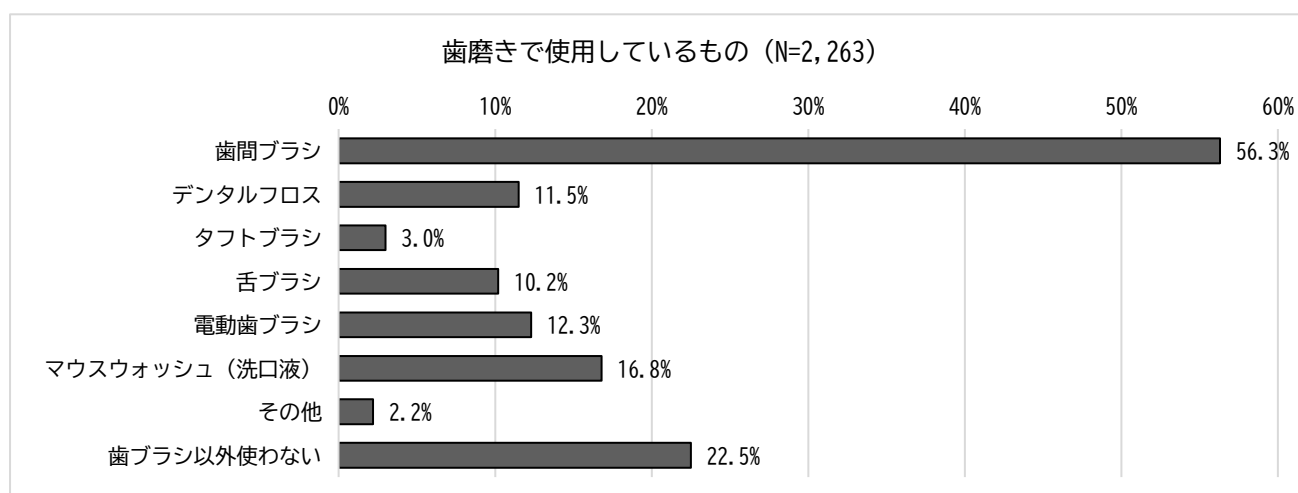
と、前期高齢者が後期高齢者を 10.7 ポイント上回り、「歯間ブラシ」は前期高齢者が 60.3%に対し、後期高齢者は 53.4%と、前期高齢者が後期高齢者を 6.9 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「舌ブラシ」はひとり暮らしが 13.8%に対し、ひとり暮らし以外は 9.6%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を 4.2 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「歯ブラシ以外使わない」は「介護は必要」が 37.7%に対し、「介護は不要」は 20.2%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 17.5 ポイント上回り、反対に「歯間ブラシ」は「介護は不要」が 59.9%に対し、「介護は必要」は 35.5%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 24.4 ポイント上回り、「デンタルフロス」は「介護は不要」が 12.5%に対し、「介護は必要」は 6.1%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 6.4 ポイント上回り、「電動歯ブラシ」は「介護は不要」が 13.0%に対し、「介護は必要」は 7.4%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 5.6 ポイント上回っています。



		回答数	歯間 ブラシ	デンタルフ ロス	タフト ブラシ	舌ブラシ	電動 歯ブラシ	マウスウォ ッシュ (洗口液)	その他	歯ブラシ以 外使わない
全体		(N=2,263)	56.3%	11.5%	3.0%	10.2%	12.3%	16.8%	2.2%	22.5%
性別	男性	(N=1,030)	50.1%	7.7%	1.2%	6.0%	14.4%	13.3%	2.6%	26.5%
	女性	(N=1,211)	61.6%	14.8%	4.3%	13.8%	10.3%	19.6%	1.9%	19.2%
年齢 区分	前期高齢者	(N=949)	60.3%	17.7%	3.3%	9.1%	14.1%	20.3%	1.7%	20.3%
	後期高齢者	(N=1,292)	53.4%	7.0%	2.6%	11.1%	10.8%	14.0%	2.6%	24.2%
家族 構成	ひとり暮らし	(N=363)	55.4%	13.8%	4.7%	13.8%	11.6%	17.9%	2.8%	22.6%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	56.5%	11.2%	2.7%	9.6%	12.3%	16.4%	2.1%	22.9%
介護 状況	介護は不要	(N=1,875)	59.9%	12.5%	3.3%	10.1%	13.0%	17.3%	2.1%	20.2%
	介護は必要	(N=310)	35.5%	6.1%	1.3%	10.3%	7.4%	13.9%	2.9%	37.7%

問3-7 かかりつけ歯科医院はありますか。(〇はひとつ)

① 全体的な傾向

「はい」が 77.1%となっています。

② 男女別の傾向

「はい」は女性が 79.2%に対し、男性は 74.8%と、女性が男性を 4.4 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

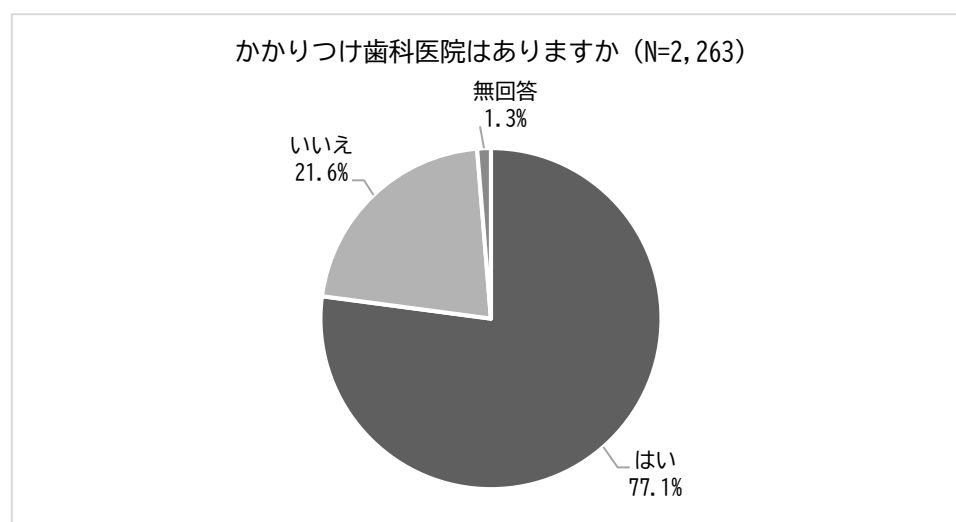
有意な差はみられません。

④ 家族構成別の傾向

「はい」はひとり暮らし以外が 77.9%に対し、ひとり暮らしは 73.8%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 4.1 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「はい」は「介護は不要」が 78.7%に対し、「介護は必要」は 69.4%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 9.3 ポイント上回っています。



		回答数	はい	いいえ	無回答	計
	全体	(N=2,263)	77.1%	21.6%	1.3%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	74.8%	24.5%	0.8%	100.0%
	女性	(N=1,211)	79.2%	19.2%	1.7%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	77.3%	22.3%	0.3%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	77.0%	21.1%	1.9%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	73.8%	23.7%	2.5%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	77.9%	21.3%	0.9%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	78.7%	20.4%	0.9%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	69.4%	29.0%	1.6%	100.0%

問3-8 1年以内に歯科を受診しましたか。(〇はひとつ)

① 全体的な傾向

「はい」が 69.6%となっています。

② 男女別の傾向

有意な差はみられません。

③ 年齢区分別の傾向

有意な差はみられません。

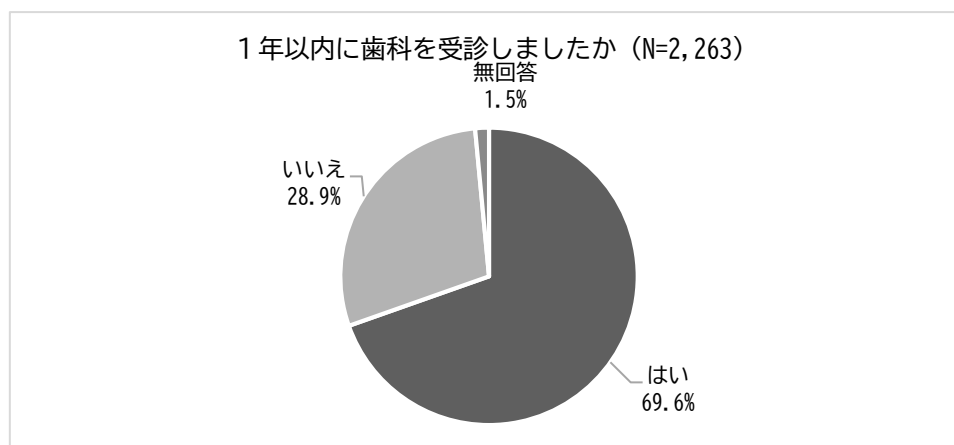
④ 家族構成別の傾向

「はい」はひとり暮らし以外が 70.2%に対し、ひとり暮らしは 66.1%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 4.1 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「はい」は「介護は不要」が 71.5%に対し、「介護は必要」は 59.0%と、「介護は不要」が「介護は必要」を

12.5 ポイント上回っています。



		回答数	はい	いいえ	無回答	計
性別	全体	(N=2,263)	69.6%	28.9%	1.5%	100.0%
	男性	(N=1,030)	69.1%	29.9%	1.0%	100.0%
	女性	(N=1,211)	70.1%	28.0%	1.9%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	70.0%	28.8%	1.3%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	69.4%	28.9%	1.6%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	66.1%	31.4%	2.5%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	70.2%	28.7%	1.0%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	71.5%	27.6%	0.9%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	59.0%	38.4%	2.6%	100.0%

問3-8で「1. はい」と回答した方への質問

問3-8-1 受診した目的は何ですか。(〇はひとつ)

① 全体的な傾向

「定期検診のため」が 68.2%、「治療のため」が 30.0%となっています。

② 男女別の傾向

「定期検診のため」は女性が 71.8%に対し、男性は 63.9%と、女性が男性を 7.9 ポイント回り、「治療のため」は男性が 35.1%に対し、女性は 25.8%と、男性が女性を 9.3 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

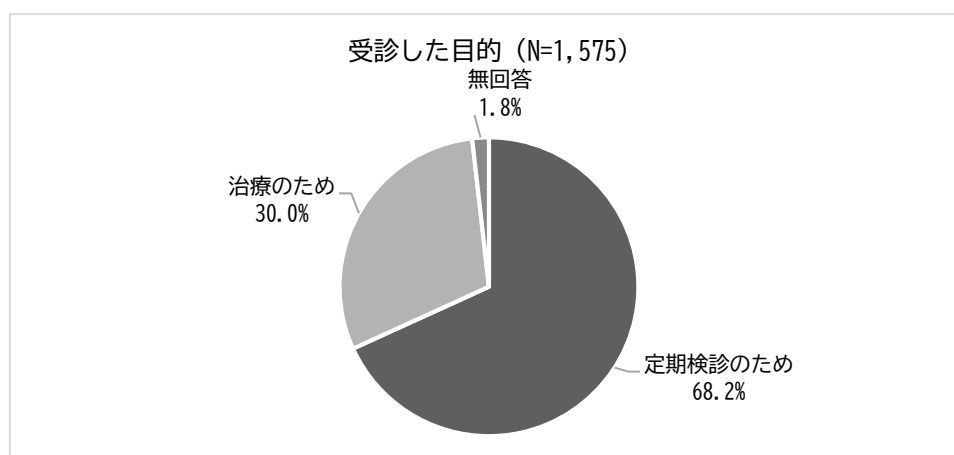
「定期検診のため」は前期高齢者が 71.4%に対し、後期高齢者は 65.9%と、前期高齢者が後期高齢者を 5.5 ポイント上回り、「治療のため」は後期高齢者が 32.0%に対し、前期高齢者は 27.4%と、後期高齢者が前期高齢者を 4.6 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「定期検診のため」はひとり暮らし以外が 68.7%に対し、ひとり暮らしは 64.6%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 4.1 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

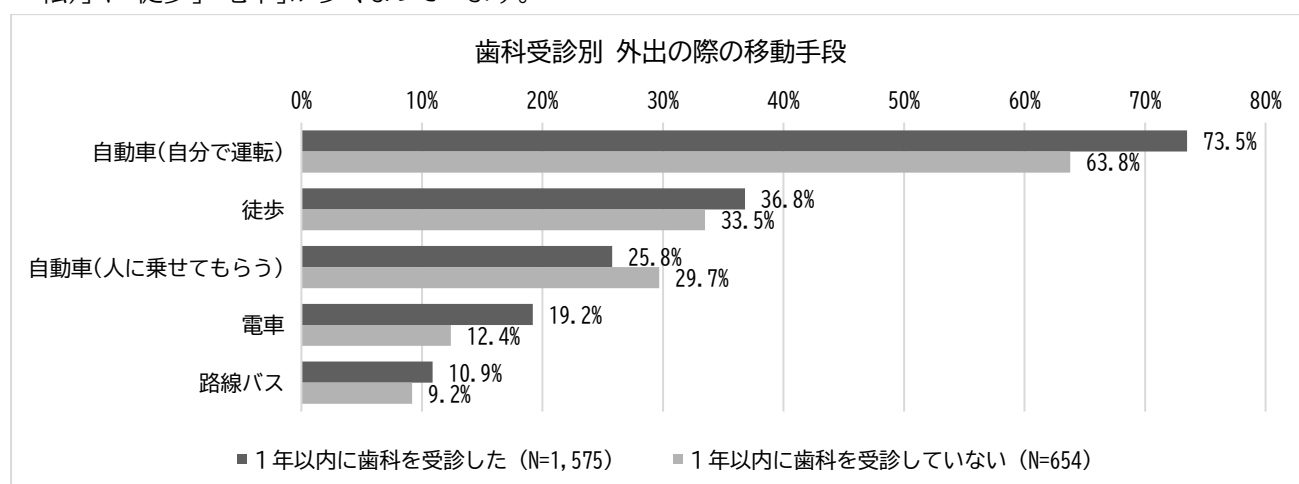
「定期検診のため」は「介護は不要」が 69.5%に対し、「介護は必要」57.4%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 5.6 ポイント上回り、「治療のため」は「介護は必要」40.4%に対し、「介護は不要」は 28.7%と、後「介護は必要」40.4%に対し、「介護は不要」を 11.7 ポイント上回っています。



		回答数	定期検診のため	治療のため	無回答	計
	全体	(N=1,575)	68.2%	30.0%	1.8%	100.0%
性別	男性	(N=712)	63.9%	35.1%	1.0%	100.0%
	女性	(N=849)	71.8%	25.8%	2.4%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=664)	71.4%	27.4%	1.2%	100.0%
	後期高齢者	(N=897)	65.9%	32.0%	2.1%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=240)	64.6%	31.7%	3.8%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,294)	68.7%	29.9%	1.4%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,341)	69.5%	28.7%	1.8%	100.0%
	介護は必要	(N=183)	57.4%	40.4%	2.2%	100.0%

【歯科受診別 外出の際の移動手段】

外出の際の移動手段は1年以内に受診した高齢者は受診していない高齢者に比べ、「自動車(自分で運転)」や「徒歩」「電車」が多くなっています。



問3-8-1で「1. 定期健診(クリーニング)のため」と回答し方への質問

問3-8-2 定期検診の受診頻度を教えてください。(〇はひとつ)

① 全体的な傾向

「3か月に1回」が 37.0%でもっとも多く、次いで「半年に1回」が 27.7%、「時期は決まっていない」が 14.0%となっています。

② 男女別の傾

有意な差はみられません。

③ 年齢区分別の傾向

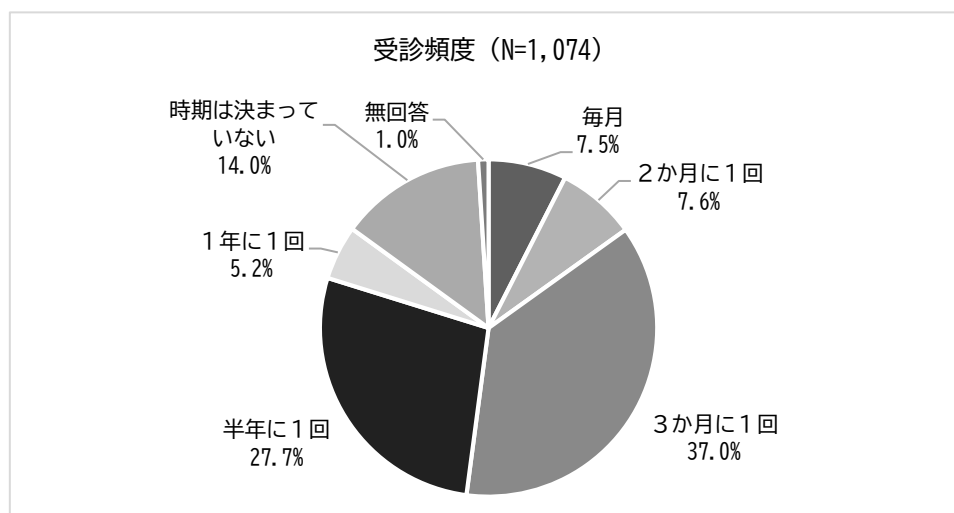
「3か月に1回」は前期高齢者が 41.6%に対し、後期高齢者は 33.0%と、前期高齢者が後期高齢者を 8.6 ポイント上回り、「半年に1回」は前期高齢者が 31.0%に対し、後期高齢者は 24.9%と、前期高齢者が後期高齢者を 6.1 ポイント上回り、「時期は決まっていない」は後期高齢者が 17.8%に対し、前期高齢者は 9.5%と、後期高齢者が前期高齢者を 8.3 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「3か月に1回」はひとり暮らしが 44.5%に対し、ひとり暮らし以外は 35.9%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を 8.6 ポイント上回り、「半年に1回」はひとり暮らし以外が 29.1%に対し、ひとり暮らしは 18.1%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 11.0 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「3か月に1回」は「介護は不要」が 38.7%に対し、「介護は必要」は 24.8%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 13.9 ポイント上回り、「半年に1回」は「介護は不要」が 28.3%に対し、「介護は必要」は 20.0%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 8.3 ポイント上回り、「時期は決まっていない」は「介護は必要」が 26.7%に対し、「介護は不要」は 12.2%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 14.5 ポイント上回っています。



		回答数	毎月	2か月に1回	3か月に1回	半年に1回	1年に1回	時期は決ま っていない	無回答	計
全体		(N=1,074)	7.5%	7.6%	37.0%	27.7%	5.2%	14.0%	1.0%	100.0%
性別	男性	(N=455)	7.7%	8.4%	36.0%	27.7%	5.3%	13.8%	1.1%	100.0%
	女性	(N=610)	7.4%	7.2%	37.4%	27.5%	5.2%	14.3%	1.0%	100.0%
年齢 区分	前期高齢者	(N=474)	4.6%	8.2%	41.6%	31.0%	3.6%	9.5%	1.5%	100.0%
	後期高齢者	(N=591)	9.8%	7.3%	33.0%	24.9%	6.6%	17.8%	0.7%	100.0%
家族 構成	ひとり暮らし	(N=155)	9.0%	8.4%	44.5%	18.1%	3.2%	14.8%	1.9%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=889)	7.2%	7.6%	35.9%	29.1%	5.4%	13.9%	0.8%	100.0%
介護 状況	介護は不要	(N=932)	6.8%	7.8%	38.7%	28.3%	5.0%	12.2%	1.1%	100.0%
	介護は必要	(N=105)	12.4%	8.6%	24.8%	20.0%	6.7%	26.7%	1.0%	100.0%

問3-8で「2. いいえ」と回答した方への質問

問3-8-3 定期検診を受診しない理由であてはまるものを教えてください。(〇はいくつでも)

① 全体的な傾向

「痛みや出血などの症状がなければ受診しない」が 52.9%でもっとも多く、次いで「入れ歯だから受診する必要がないと思っている」が 18.8%、「かかりつけ歯科医院がないので受診していない」が 14.1%となっています。

② 男女別の傾向

「痛みや出血などの症状がなければ受診しない」は男性が 58.8%に対し、女性は 47.8%と、男性が女性を 11.0 ポイント上回り、「1人で受診できない(交通手段がない・付き添いが必要等)」は女性が 9.7%に対し、男性は 1.9%と、女性が男性を 7.8 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

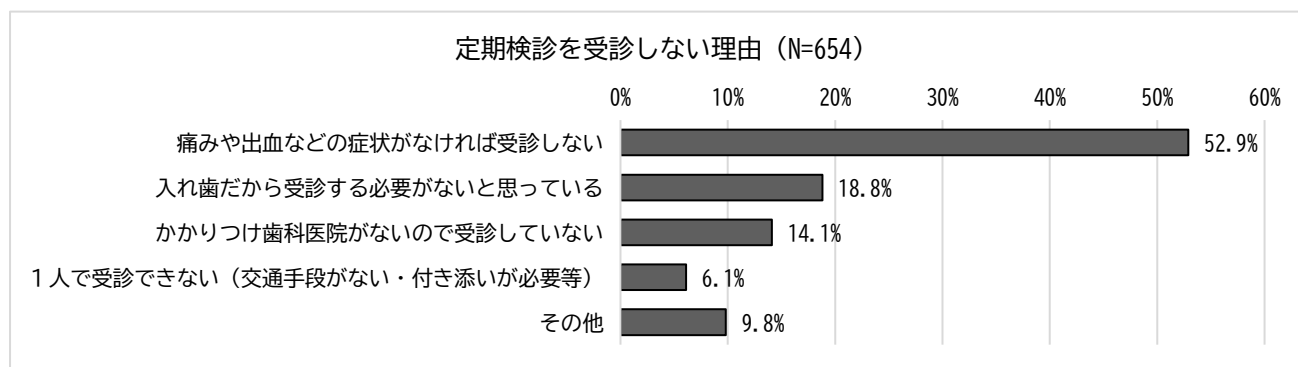
「痛みや出血などの症状がなければ受診しない」は前期高齢者が 61.2%に対し、後期高齢者は 21.9%と、前期高齢者が後期高齢者を 39.3 ポイント上回り、「かかりつけ歯科医院がないので受診していない」は前期高齢者が 15.8%に対し、後期高齢者は 8.3%と、前期高齢者が後期高齢者を 8.3 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「痛みや出血などの症状がなければ受診しない」はひとり暮らし以外が 54.6%に対し、ひとり暮らしは 45.6%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らし 9.0 ポイント上回り、「1人で受診できない(交通手段がない・付き添いが必要等)」はひとり暮らしが 11.4%に対し、ひとり暮らし以外は 4.9%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を 6.5 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「痛みや出血などの症状がなければ受診しない」は「介護は不要」が 56.9%に対し、「介護は必要」は 38.7%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 18.2 ポイント上回り、「1人で受診できない(交通手段がない・付き添いが必要等)」は「介護は必要」が 19.3%に対し、「介護は不要」は 3.1%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 16.2 ポイント上回り、「入れ歯だから受診する必要がないと思っている」は「介護は必要」が 29.4%に対し、「介護は不要」は 16.2%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 13.2 ポイント上回っています。



		回答数	痛みや出血などの症状がなければ受診しない	入れ歯だから受診する必要がないと思っている	かかりつけ歯科医院がないので受診していない	1人で受診できない（交通手段がない・付き添いが必要等）	その他
	全体	(N=654)	52.9%	18.8%	14.1%	6.1%	9.8%
性別	男性	(N=308)	58.8%	20.8%	12.0%	1.9%	6.8%
	女性	(N=339)	47.8%	17.4%	16.2%	9.7%	12.4%
年齢区分	前期高齢者	(N=273)	61.2%	10.6%	15.8%	3.3%	11.4%
	後期高齢者	(N=374)	47.1%	25.1%	13.1%	8.0%	8.6%
家族構成	ひとり暮らし	(N=114)	45.6%	21.9%	15.8%	11.4%	12.3%
	ひとり暮らし以外	(N=529)	54.6%	18.1%	13.8%	4.9%	9.3%
介護状況	介護は不要	(N=517)	56.9%	16.2%	13.3%	3.1%	9.7%
	介護は必要	(N=119)	38.7%	29.4%	16.0%	19.3%	9.2%

問 3-9 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(〇はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が 33.3%でもっとも多く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が 30.6%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が 15.6%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が 10.3%となっています。

「入れ歯利用」に着目して経年変化をみると、第8期調査の 55.8%、第9期調査の 52.0%から第10期調査は 46.2%へと減少しています。

② 男女別の傾向

「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」は男性が 32.3%に対し、女性は 29.2%と、男性が女性を 3.1 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

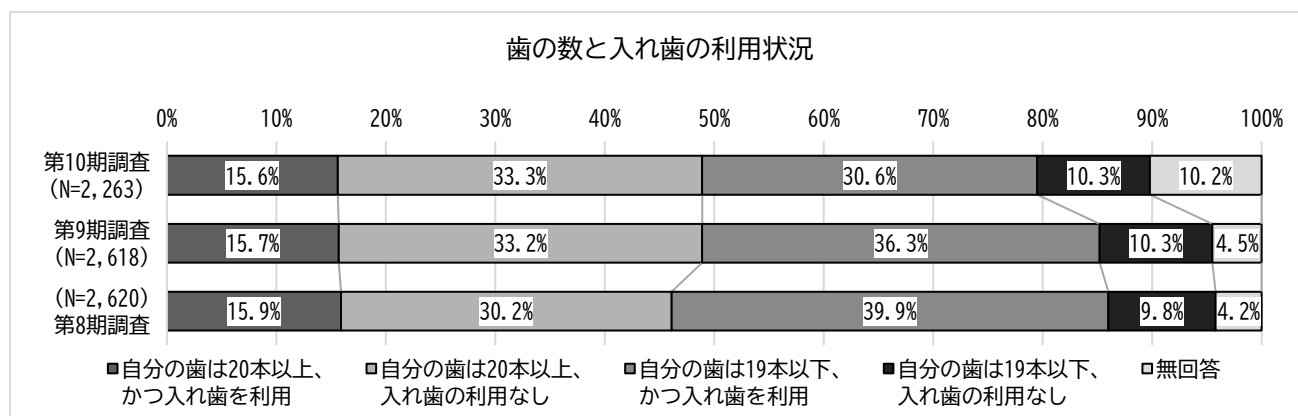
「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」は前期高齢者が 45.5%に対し、後期高齢者は 24.3%と、前期高齢者が後期高齢者を 21.2 ポイント上回り、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」は後期高齢者が 37.3%に対し、前期高齢者は 21.6%と、後期高齢者が前期高齢者を 15.7 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」はひとり暮らし以外が 34.5%に対し、ひとり暮らしは 30.0%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 4.5 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」は「介護は不要」が 36.5%に対し、「介護は必要」は 19.4%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 17.1 ポイント上回り、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」は「介護は必要」が 40.6%に対し、「介護は不要」は 28.9%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 11.7 ポイント上回っています。



		回答数	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	無回答	計
	全体	(N=2,263)	15.6%	33.3%	30.6%	10.3%	10.2%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	15.7%	33.4%	32.3%	10.9%	7.7%	100.0%
	女性	(N=1,211)	15.7%	33.2%	29.2%	9.8%	12.1%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	16.0%	45.5%	21.6%	11.2%	5.7%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	15.5%	24.3%	37.3%	9.7%	13.2%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	14.9%	30.0%	32.2%	9.9%	12.9%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	15.5%	34.5%	30.5%	10.2%	9.4%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	16.2%	36.5%	28.9%	9.5%	9.0%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	11.9%	19.4%	40.6%	12.9%	15.2%	100.0%

問3-9で「1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」または「3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した方への質問

問 3-9-1 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「はい」が 88.2%となっており、有意な経年変化はみられません。

② 男女別の傾向

「はい」は女性が 90.3%に対し、男性は 85.9%と、女性が男性を 4.4 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

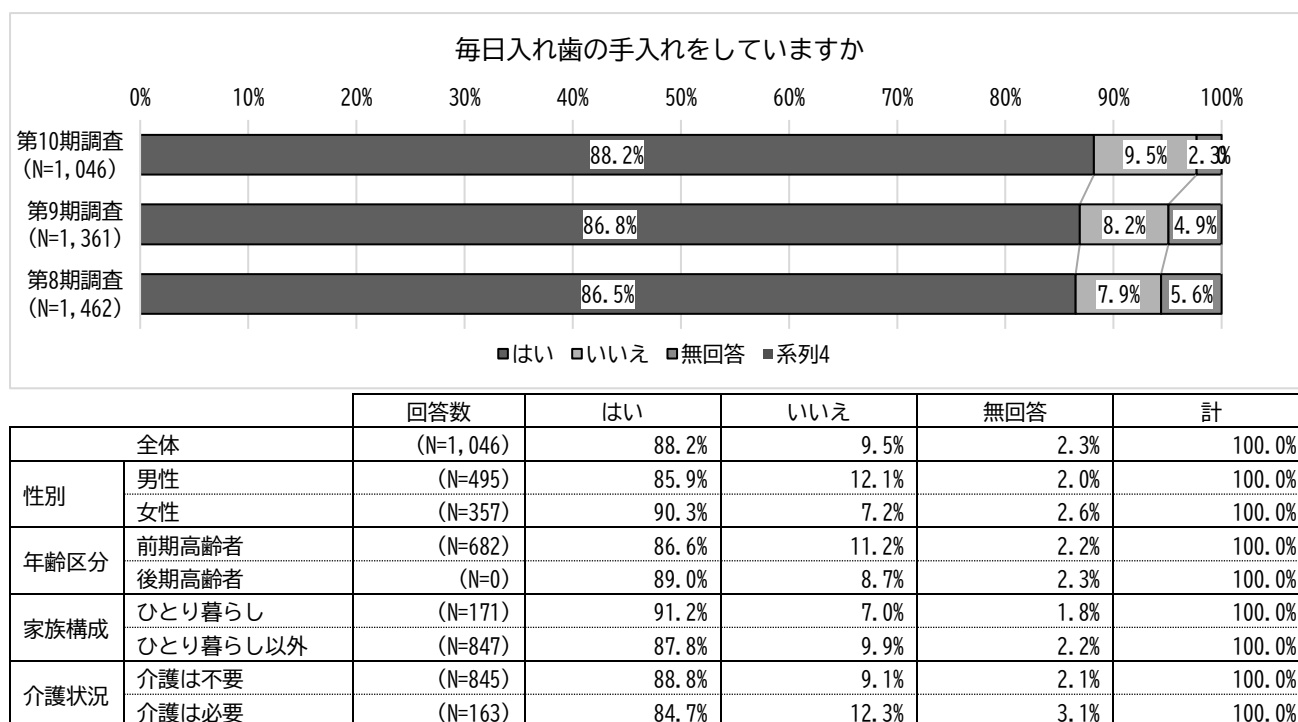
有意な差はみられません。

④ 家族構成別の傾向

「はい」はひとり暮らしが 91.2%に対し、ひとり暮らし以外は 87.8%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を 3.4 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「はい」は「介護は不要」が 88.8%に対し、「介護は必要」は 84.7%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 4.1 ポイント上回っています。



問 3-10 噛み合わせは良いですか。(○はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「はい」が 77.6%、「いいえ」が 15.2%となっており、8割近い高齢者が噛み合わせは良いと回答しています。有意な経年変化はみられません。

② 男女別の傾向

有意な差はみられません。

③ 年齢区分別の傾向

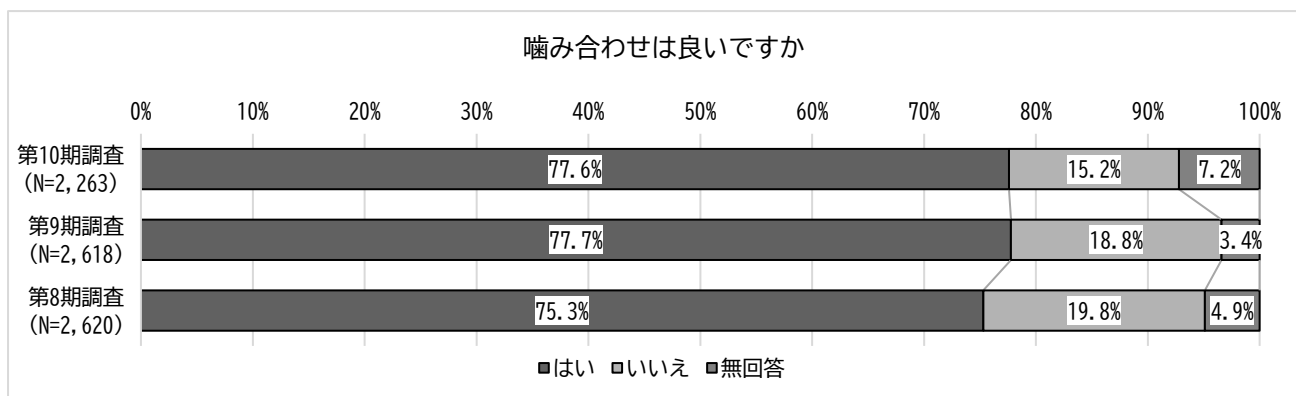
有意な差はみられません。

④ 家族構成別の傾向

「はい」はひとり暮らし以外が 78.8%に対し、ひとり暮らしは 73.3%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 5.5 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「はい」は、「介護は不要」が 80.0%に対し、「介護は必要」は 65.2%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 14.8 ポイント上回り、「いいえ」は「介護は必要」が 25.5%に対し、「介護は不要」は 13.4%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 12.1 ポイント上回っています。



		回答数	はい	いいえ	無回答	計
全体		(N=2,263)	77.6%	15.2%	7.2%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	78.2%	16.2%	5.6%	100.0%
	女性	(N=1,211)	77.2%	14.4%	8.4%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	79.2%	15.2%	5.6%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	76.5%	15.2%	8.3%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	73.3%	17.4%	9.4%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	78.8%	14.6%	6.6%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	80.0%	13.4%	6.6%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	65.2%	25.5%	9.4%	100.0%

問 3-11 この6か月間で2～3kg 以上の体重減少がありましたか。(○はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「はい」が12.2%、「いいえ」が82.7%となっており、有意な経年変化はみられません。

② 男女別の傾向

有意な差はみられません。

③ 年齢区分別の傾向

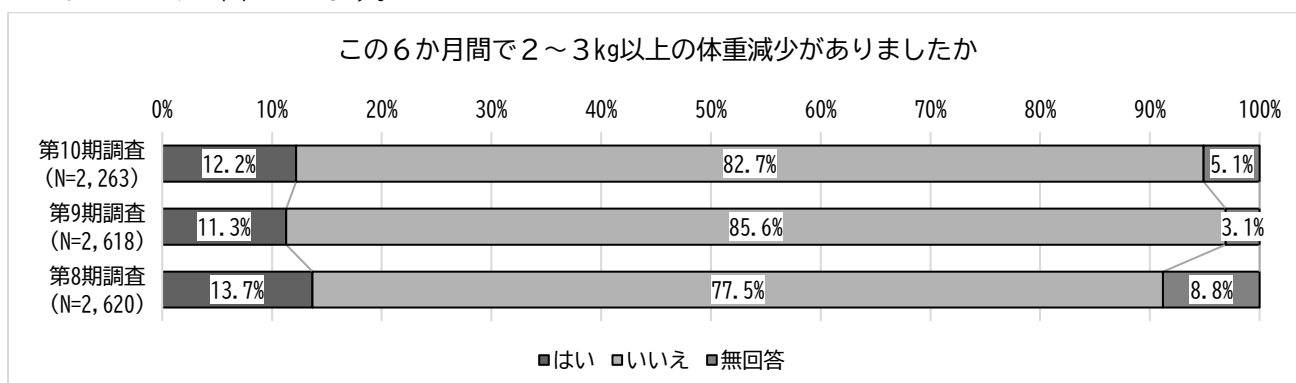
有意な差はみられません。

④ 家族構成別の傾向

「はい」はひとり暮らしが 14.6%に対し、ひとり暮らし以外は 11.7%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を 2.9 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「はい」は「介護は必要」が 20.3%に対し、「介護は不要」は 10.9%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 9.4 ポイント上回っています。



		回答数	はい	いいえ	無回答	計
全体		(N=2, 263)	12. 2%	82. 7%	5. 1%	100. 0%
性別	男性	(N=1, 030)	12. 9%	82. 0%	5. 0%	100. 0%
	女性	(N=1, 211)	11. 6%	83. 4%	5. 0%	100. 0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	11. 6%	82. 9%	5. 5%	100. 0%
	後期高齢者	(N=1, 292)	12. 6%	82. 7%	4. 7%	100. 0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	14. 6%	80. 4%	5. 0%	100. 0%
	ひとり暮らし以外	(N=1, 842)	11. 7%	83. 5%	4. 8%	100. 0%
介護状況	介護は不要	(N=1, 875)	10. 9%	84. 6%	4. 5%	100. 0%
	介護は必要	(N=310)	20. 3%	73. 2%	6. 5%	100. 0%

問 3-12 どなたかと食事をとる機会がありますか。(〇はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「毎日ある」は 62.3%でもっとも多く、次いで「月に何度かある」が 11.6%、「年に何度かある」が 11.0%となっています。

経年変化では「毎日ある」が第8期調査の 56.0%から第10期調査は 62.3%と、6.3 ポイント増加していますが、第8期調査は「無回答」が 7.1%と多いことが影響していると考えられます。

② 男女別の傾向

「月に何度かある」は女性が 13.5%に対し、男性は 9.5%と、女性が男性を 4.0 ポイント上回り、「ほとんどない」は男性が 8.4%に対し、女性は 5.3%と、男性が女性を 3.1 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

「毎日ある」は前期高齢者が 71.9%に対し、後期高齢者は 55.3%と、前期高齢者が後期高齢者を 16.6 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

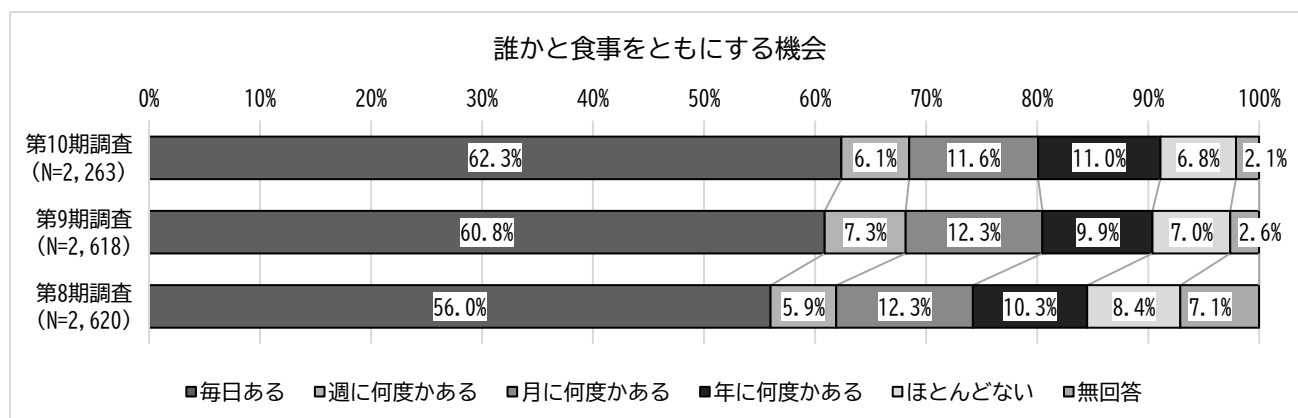
ひとり暮らしは「月に何度かある」が 32.5%でもっとも多く、次いで「年に何度かある」が 25.3%、「ほとんどない」が 18.5%となっています。

ひとり暮らし以外は「毎日ある」が 74.1%でもっとも多く、次いで「年に何度かある」が 8.3%、「月に何度かある」が 7.4%となっています。

「毎日ある」はひとり暮らし以外が 74.1%に対し、ひとり暮らしは 5.5%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 68.6 ポイント上回り、「ほとんどない」はひとり暮らしが 18.5%に対し、ひとり暮らし以外は 4.3%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を 14.2 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「毎日ある」は「介護は不要」が 65.0%に対し、「介護は必要」は 52.3%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 12.7 ポイント上回り、「ほとんどない」は「介護は必要」が 11.6%に対し、「介護は不要」は 5.7%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 5.9 ポイント上回っています。



		回答数	毎日ある	週に何度 かある	月に何度 かある	年に何度 かある	ほとんど ない	無回答	計
性別	全体	(N=2, 263)	62.3%	6.1%	11.6%	11.0%	6.8%	2.1%	100.0%
	男性	(N=1, 030)	62.8%	5.1%	9.5%	11.4%	8.4%	2.7%	100.0%
	女性	(N=1, 211)	61.9%	6.9%	13.5%	10.8%	5.3%	1.6%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	71.9%	5.5%	8.2%	8.4%	4.3%	1.7%	100.0%
	後期高齢者	(N=1, 292)	55.3%	6.6%	14.2%	13.0%	8.5%	2.4%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	5.5%	16.5%	32.5%	25.3%	18.5%	1.7%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1, 842)	74.1%	3.9%	7.4%	8.3%	4.3%	2.0%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1, 875)	65.0%	5.7%	11.3%	10.8%	5.7%	1.6%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	52.3%	8.4%	12.3%	11.9%	11.6%	3.5%	100.0%

考察

1. 咀嚼・嚥下機能の低下(オーラルフレイル)の顕在化と、ひとり暮らしの機能低下リスク

「固いものが食べにくくなった(29.9%)」「お茶や汁物等でむせることがある(30.6%)」「口の渇きが気になる(31.1%)」と、全体の約 3 割の高齢者が何らかの口腔機能の低下を感じています。これを家族構成別に見ると、「固いものが食べにくい」はひとり暮らしが 34.7%(ひとり暮らし以外 28.5%)、「口の渇きが気になる」はひとり暮らしが 35.0%(同 30.1%)と、単身世帯でオーラルフレイルの兆候が高くなっています。さらに、「自分の歯が 20 本以上あり、入れ歯を利用していない」割合もひとり暮らし(30.0%)が同居家族あり(34.5%)を下回っており、単身であることが口腔機能の低下リスクと結びつきやすい傾向が確認できます。特に「介護は必要」な層においては、「固いものが食べにくい」が 51.9%、「むせる」が 45.5%、「口の渇き」が 49.4%と半数近くに達しており、口腔機能の低下が要介護状態への移行に影響していることが推察されます。

2. 要介護層や単身世帯における「通院の足・付き添い不足」による歯科受診のハードル

「かかりつけ歯科医院がある」は全体で 77.1%、「1 年以内に歯科を受診した」方は 69.6%と比較的高い水準を維持しています。しかし家族構成別に見ると、「かかりつけ歯科医院がある」割合はひとり暮らしが 73.8%(ひとり暮らし以外 77.9%)、「1 年以内の受診」は 66.1%(同 70.2%)と低くなっています。定期検診を受診しない理由として、介護不要層では「痛みや出血などの症状がなければ受診しない」が 56.9%と最多ですが、要介護層では「1人で受診できない(交通手段がない・付き添いが必要等)」が 19.3%(介護不要層は 3.1%)に上り、ひとり暮らしにおいても 11.4%(ひとり暮らし以外 4.9%)と高くなっています。同居家族の送迎や付き添いが得られない単身世帯や要介護層にとって、自力での通院が困難なことが、適切な口腔ケアを難しくしている要因となっています。

3. ひとり暮らしに顕著な「孤食」の常態化と、それに伴う低栄養・体重減少リスク

誰かと食事を共にする機会について、ひとり暮らし以外では「毎日ある」が 74.1%を占めますが、ひとり暮らしではわずか 5.5%にとどまり、「ほとんどない」が 18.5%（ひとり暮らし以外 4.3%）にのぼるなど、単身世帯における「孤食」が常態化している深刻な実態が明らかになりました。こうした孤食の環境は栄養状態に直接的な影響を及ぼしており、BMI 指標における「低体重」の割合はひとり暮らしで 9.4%（ひとり暮らし以外 6.7%）、過去半年間で「2～3kg 以上の体重減少があった」割合もひとり暮らしで 14.6%（同 11.7%）と、いずれも単身世帯で高くなっています。要介護層においても同様に低体重（7.4%）や体重減少（20.3%）のリスクが高く、食事を共にする機会の喪失（孤食）が、食事量の低下や低栄養状態を招き、結果としてフレイル（虚弱）や要介護化を加速させる要因になっていることが推察されます。

【第10期計画策定に向けた検討課題】

- オーラルフレイル予防の早期啓発:咀嚼や嚥下機能の低下を防ぐため、元気な前期高齢期から体操等の通いの場を通じた口腔機能向上プログラムの普及・啓発を推進することが重要です。
- 通院困難者・単身世帯への歯科診療アクセスの確保:移動手段や付き添いの喪失により歯科受診が困難な要介護層やひとり暮らし高齢者に対し、訪問歯科診療の周知強化や、通院のための移送支援（外出同行サポート等）の充実を図ることが重要です。
- 低栄養予防と「共食」の推進:体重減少や低体重のリスクを抱えやすいひとり暮らし高齢者等への栄養改善指導を強化するとともに、地域での「共に食事を楽しむ機会（共食）」や、孤食を防ぐ環境づくりを進めることが重要です。

問4 毎日の生活について

問 4-1 物忘れが多いと感じますか。(○はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「はい」が43.1%、「いいえ」が55.1%となっています。

「はい」は第8期調査の47.6%から第10期調査は43.1%へと4.5ポイント減少しています。

② 男女別の傾向

「はい」は男性が45.6%に対し、女性は41.2%と、男性が女性を4.4ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

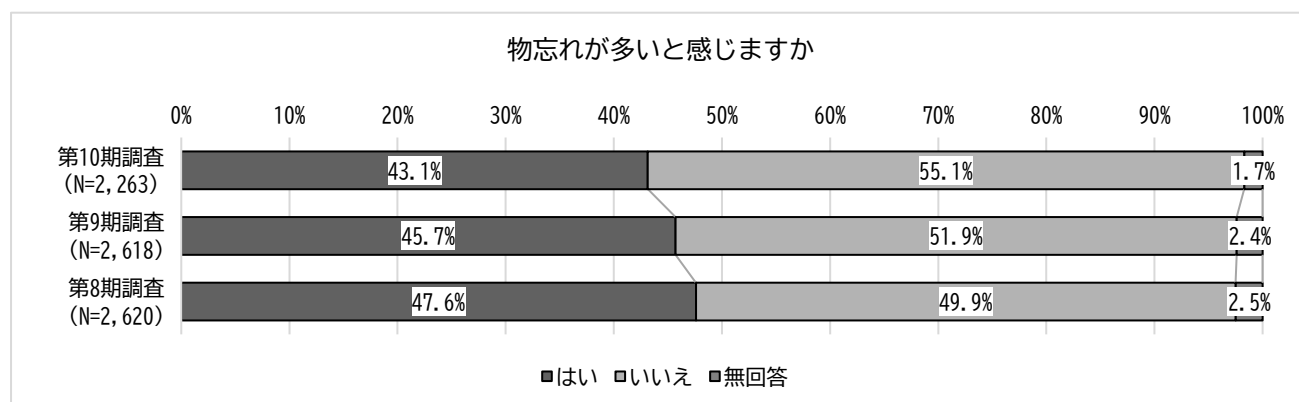
「はい」は後期高齢者が46.0%に対し、前期高齢者は39.5%と後期高齢者が前期高齢者を6.5ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「はい」はひとり暮らし以外が43.5%に対し、ひとり暮らしは39.1%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを4.4ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「はい」は「介護は必要」が53.5%に対し、「介護は不要」は41.3%と、「介護は必要」が「介護は不要」を12.2ポイント上回っています。



		回答数	はい	いいえ	無回答	計
全体		(N=2,263)	43.1%	55.1%	1.7%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	45.6%	53.1%	1.3%	100.0%
	女性	(N=1,211)	41.2%	56.7%	2.1%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	39.5%	59.7%	0.7%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	46.0%	51.6%	2.4%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	39.1%	57.6%	3.3%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	43.5%	55.3%	1.2%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	41.3%	57.3%	1.4%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	53.5%	43.9%	2.6%	100.0%

問 4-2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「はい」が85.2%、「いいえ」が13.8%となっています。有意な経年変化はみられません。

② 男女別の傾向

「はい」は女性が 87.4%に対し、男性は 82.8%と、女性が男性を 4.6 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

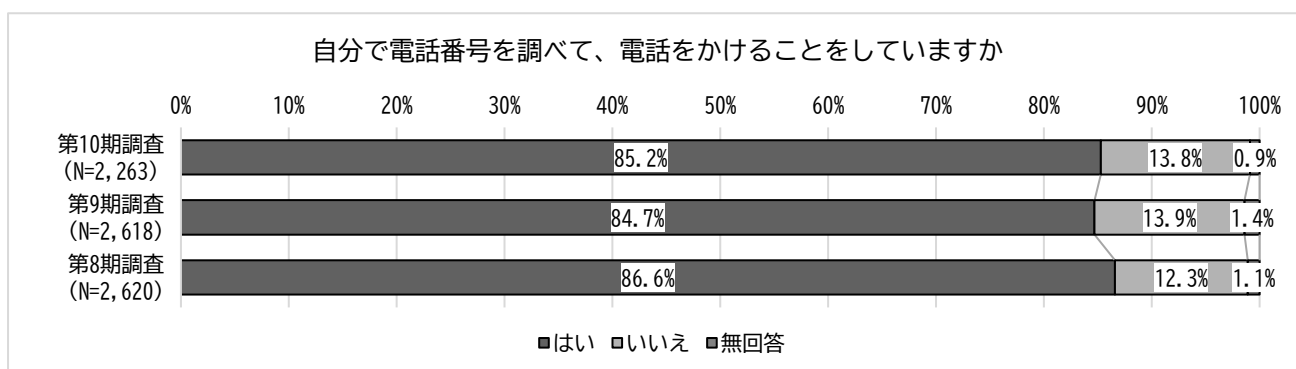
有意な差はみられません。

④ 家族構成別の傾向

有意な差はみられません。

⑤ 介護状況別の傾向

「はい」は「介護は不要」が 88.4%に対し、「介護は必要」は 69.0%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 19.4 ポイント上回っています。



		回答数	はい	いいえ	無回答	計
性別	全体	(N=2, 263)	85.2%	13.8%	0.9%	100.0%
	男性	(N=1, 030)	82.8%	16.5%	0.7%	100.0%
	女性	(N=1, 211)	87.4%	11.6%	1.1%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	84.1%	15.5%	0.4%	100.0%
	後期高齢者	(N=1, 292)	86.1%	12.6%	1.2%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	83.7%	15.2%	1.1%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1, 842)	86.1%	13.2%	0.7%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1, 875)	88.4%	11.0%	0.6%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	69.0%	29.7%	1.3%	100.0%

問 4-3 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「はい」が 26.8%、「いいえ」が 72.0%となっています。有意な経年変化はみられません。

② 男女別の傾向

「はい」は男性が 31.0%に対し、女性は 23.5%と、男性が女性を 7.5 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

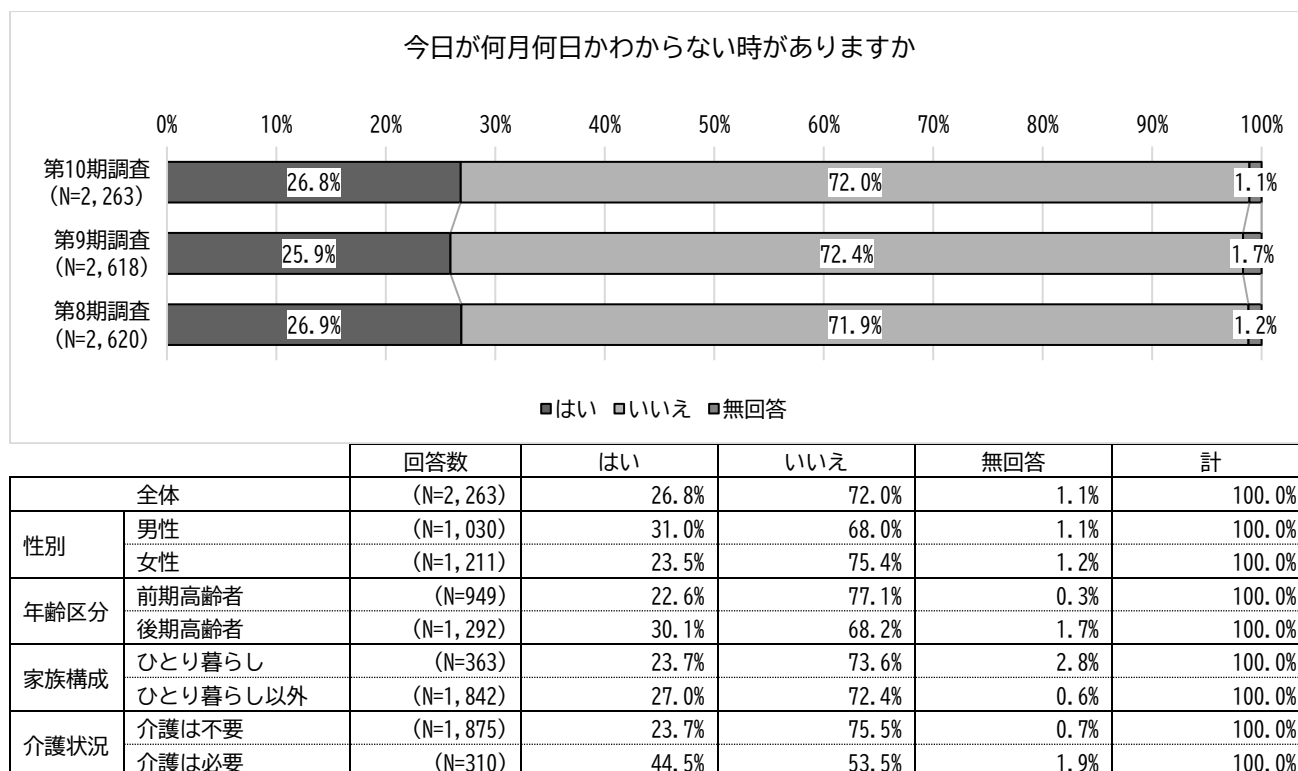
「はい」は後期高齢者が 30.1%に対し、前期高齢者が 22.6%と、後期高齢者が前期高齢者を 7.5 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

有意な差は見られません。

⑤ 介護状況別の傾向

「はい」は「介護は必要」が 44.5%に対し、「介護は不要」は 23.7%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 20.8 ポイント上回っています。



問 4-4 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(○はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化が

「できるし、している」が75.7%、「きるけど、していない」が14.8%、「できない」が8.5%となっています。
有意な経年変化はみられません。

② 男女別の傾向

「できるし、している」は男性が79.6%に対し、女性は72.4%と、男性が女性を7.2ポイント上回り、「できない」は女性が10.8%に対し、男性は5.7%と、女性が男性を5.1ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

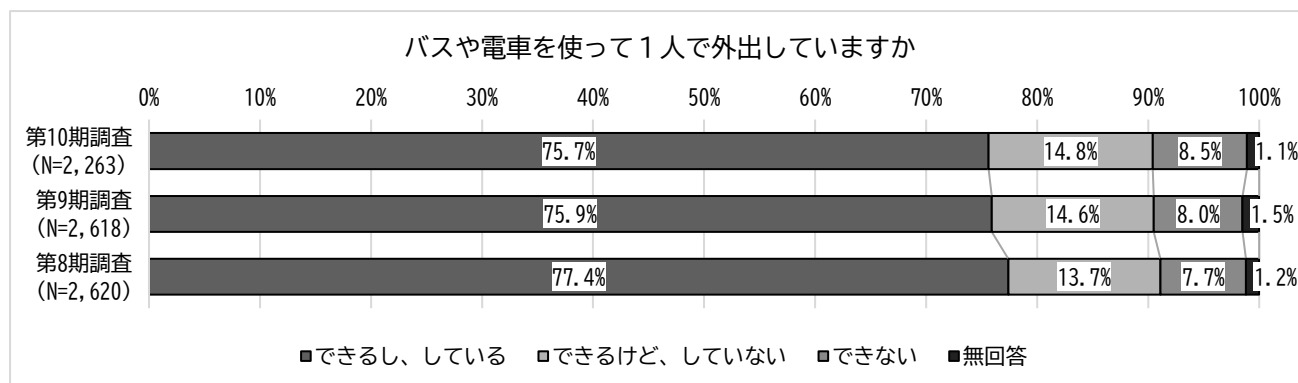
「できるし、している」は前期高齢者が85.8%に対し、後期高齢者は68.3%と、前期高齢者が後期高齢者を17.5ポイント上回り、「できない」は後期高齢者が12.8%に対し、前期高齢者は2.6%と、後期高齢者が前期高齢者を10.2ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

有意な差は見られません。

⑤ 介護状況別の傾向

「できるし、している」は「介護は不要」が83.0%に対し、「介護は必要」は32.3%と、「介護は不要」が「介護は必要」を50.7ポイント上回り、「きるけど、していない」は「介護は必要」が23.9%に対し、「介護は不要」は13.2%と、「介護は必要」が「介護は不要」を10.7ポイント上回り、「できない」は「介護は必要」が41.9%に対し、「介護は不要」は3.0%と「介護は必要」が「介護は不要」を38.9ポイント上回っています。



		回答数	できるし、 している	できるけど、 していない	できない	無回答	計
全体		(N=2,263)	75.7%	14.8%	8.5%	1.1%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	79.6%	13.8%	5.7%	0.9%	100.0%
	女性	(N=1,211)	72.4%	15.6%	10.8%	1.2%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	85.8%	11.4%	2.6%	0.2%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	68.3%	17.3%	12.8%	1.6%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	73.8%	14.6%	9.9%	1.7%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	76.2%	15.0%	8.1%	0.7%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	83.0%	13.2%	3.0%	0.7%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	32.3%	23.9%	41.9%	1.9%	100.0%

問 4-5 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「できるし、している」が 82.4%、「できるけど、していない」が 11.3%、「できない」が 5.7%となっています。

「できるし、している」は第8期調査の 78.9%から第10期調査は 82.4%へと 3.5 ポイント増加し、「できるけど、していない」は第8期調査の 15.7%から第10期調査の 11.3%へと 4.4 ポイント減少しています。

② 男女別の傾向

「できるし、している」は女性が 87.4%に対し、男性は 76.6%と、女性が男性を 10.8 ポイント上回り、「できるけど、していない」は男性が 18.2%に対し、女性は 5.4%と、男性が女性を 12.8 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

「できるし、している」は前期高齢者が 88.5%に対し、後期高齢者は 78.0%と、前期高齢者が後期高齢者を 10.5 ポイント上回り、「できない」は後期高齢者が 8.0%に対し、前期高齢者は 2.3%と、後期高齢者が前期高齢者を 5.7 ポイント上回っています。

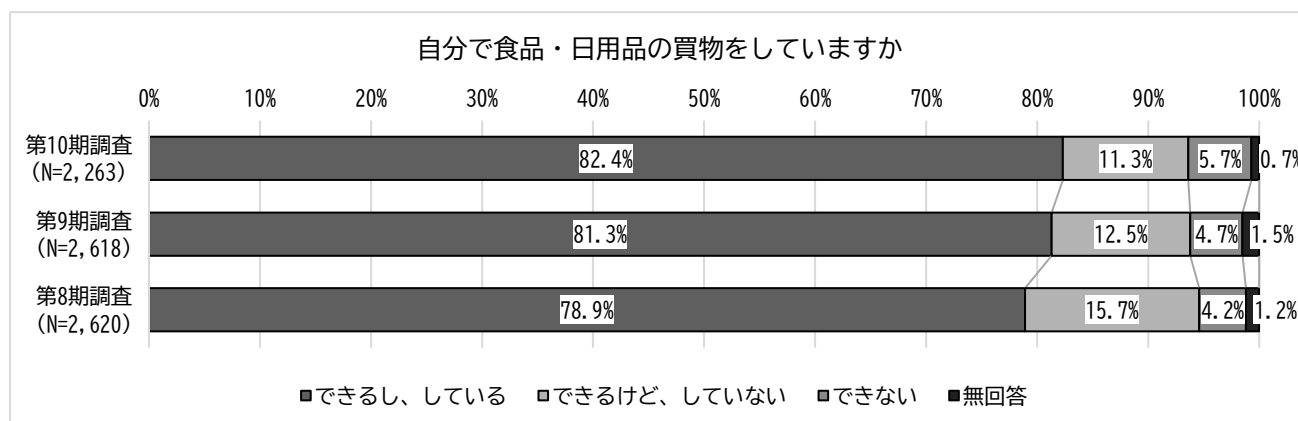
④ 家族構成別の傾向

「できるし、している」はひとり暮らしが 87.1%に対し、ひとり暮らし以外は 81.5%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を 5.6 ポイント上回り、「できるけど、していない」はひとり暮らし以外が 12.5%に対し、ひとり暮らしは 5.8%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 6.7 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「できるし、している」は「介護は不要」が 88.6%に対し、「介護は必要」は 46.5%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 42.1 ポイント上回り、「できるけど、していない」は「介護は必要」が 19.0%に対し、「介護は不

要」は9.9%と、「介護は必要」が「介護は不要」を9.1ポイント上回り、「できない」は「介護は必要」が32.9%に対し、「介護は不要」は1.1%と「介護は必要」が「介護は不要」を32.8ポイント上回っています。



		回答数	できるし、 している	できるけど、 していない	できない	無回答	計
全体		(N=2,263)	82.4%	11.3%	5.7%	0.7%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	76.6%	18.2%	4.6%	0.7%	100.0%
	女性	(N=1,211)	87.4%	5.4%	6.5%	0.7%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	88.5%	9.0%	2.3%	0.2%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	78.0%	12.9%	8.0%	1.0%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	87.1%	5.8%	6.3%	0.8%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	81.5%	12.5%	5.5%	0.5%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	88.6%	9.9%	1.1%	0.3%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	46.5%	19.0%	32.9%	1.6%	100.0%

問 4-6 自分で食事の用意をしていますか。(〇はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「できるし、している」が70.6%、「できるけど、していない」が19.6%、「できない」が9.0%となっています。

「できるし、している」は第8期調査の65.4%から第10期調査は70.6%へと5.2ポイント増加し、「できるけど、していない」は第8期調査の24.3%から第10期調査の19.6%へと4.7ポイント減少しています。

② 男女別の傾向

「できるし、している」は女性が91.8%に対し、男性は45.9%と、女性が男性を45.9ポイント上回り、「できるけど、していない」は男性が38.3%に対し、女性は3.7%と、男性が女性を34.6ポイント上回り、「できない」は男性が15.1%に対し、女性は3.6%と、男性が女性を11.5ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

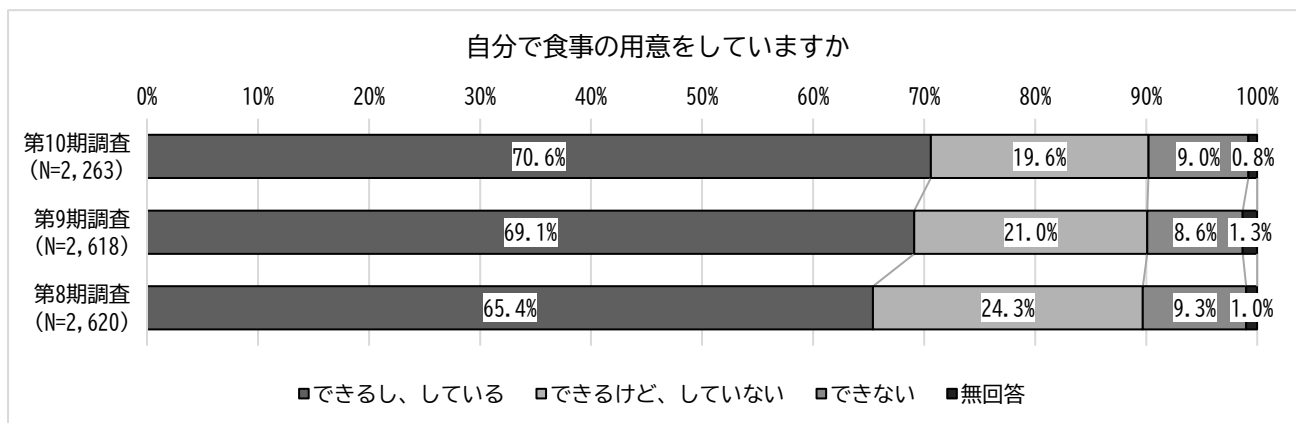
「できるし、している」は前期高齢者が74.4%に対し、後期高齢者は68.0%と、前期高齢者が後期高齢者を6.4ポイント上回り、「できない」は後期高齢者が11.4%に対し、前期高齢者は5.6%と、後期高齢者が前期高齢者を5.8ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「できるし、している」はひとり暮らしが93.1%に対し、ひとり暮らし以外は66.4%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を26.7ポイント上回り、「できるけど、していない」はひとり暮らし以外が22.8%に対し、ひとり暮らしは3.3%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを19.5ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「できるし、している」は「介護は不要」が 73.4%に対し、「介護は必要」は 54.5%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 18.9 ポイント上回り、「できるけど、していない」は「介護は不要」が 20.9%に対し、「介護は必要」は 13.9%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 7.0 ポイント上回り、「できない」は「介護は必要」が 29.7%に対し、「介護は不要」は 5.4%と「介護は必要」が「介護は不要」を 24.3 ポイント上回っています。



		回答数	できるし、 している	できるけど、 していない	できない	無回答	計
全体		(N=2,263)	70.6%	19.6%	9.0%	0.8%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	45.9%	38.3%	15.1%	0.7%	100.0%
	女性	(N=1,211)	91.8%	3.7%	3.6%	0.8%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	74.4%	19.9%	5.6%	0.1%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	68.0%	19.3%	11.4%	1.2%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	93.1%	3.3%	2.5%	1.1%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	66.4%	22.8%	10.2%	0.5%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	73.4%	20.9%	5.4%	0.4%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	54.5%	13.9%	29.7%	1.9%	100.0%

問 4-7 自分で請求書の支払いをしていますか。(○はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「できるし、している」が 79.9%、「できるけど、していない」が 13.3%、「できない」が 4.5%となっています。

有意な経年変化はみられません。

② 男女別の傾向

「できるし、している」は女性が 86.4%に対し、男性は 72.4%と、女性が男性を 14.0 ポイント上回り、「できるけど、していない」は男性が 20.7%に対し、女性は 7.0%と、男性が女性を 13.7 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

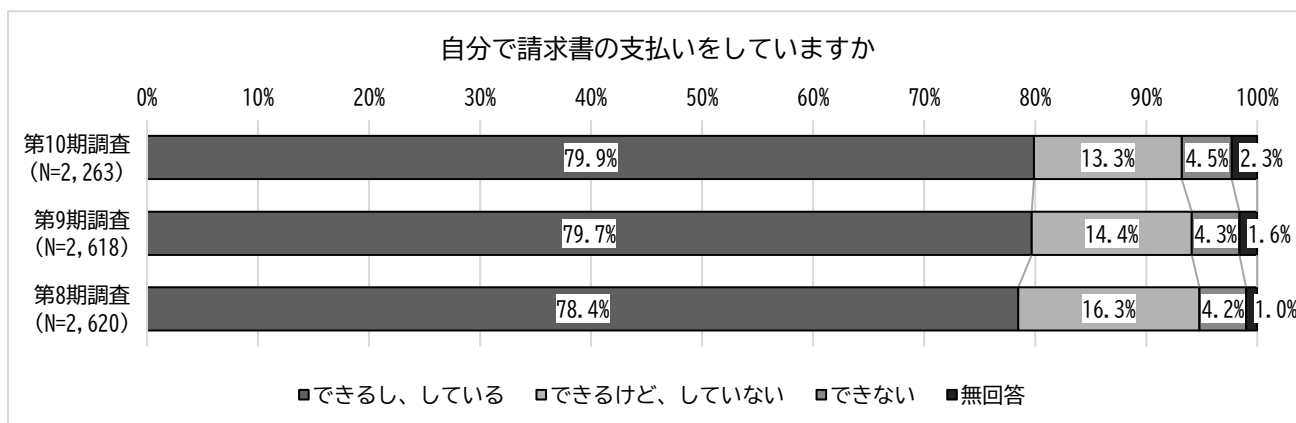
「できるし、している」は前期高齢者が 84.6%に対し、後期高齢者は 76.5%と、前期高齢者が後期高齢者を 8.1 ポイント上回り、「できるけど、していない」は後期高齢者が 14.7%に対し、前期高齢者は 11.4%と、後期高齢者が前期高齢者を 3.3 ポイント上回り、「できない」は後期高齢者が 5.8%に対し、前期高齢者は 2.6%と、後期高齢者が前期高齢者を 3.2 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「できるし、している」はひとり暮らしが88.7%に対し、ひとり暮らし以外は78.8%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を9.9ポイント上回り、「できるけど、していない」はひとり暮らし以外が14.5%に対し、ひとり暮らしは6.1%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを8.4ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「できるし、している」は「介護は不要」が85.0%に対し、「介護は必要」は52.9%、「介護は不要」が「介護は必要」を32.1ポイント上回り、「できるけど、していない」は「介護は必要」が19.7%に対し、「介護は不要」は12.1%と、「介護は必要」が「介護は不要」を7.6ポイント上回り、「できない」は「介護は必要」が24.5%に対し、「介護は不要」は1.2%と「介護は必要」が「介護は不要」を23.3ポイント上回っています。



		回答数	できるし、 している	できるけど、 していない	できない	無回答	計
	全体	(N=2,263)	79.9%	13.3%	4.5%	2.3%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	72.4%	20.7%	4.8%	2.1%	100.0%
	女性	(N=1,211)	86.4%	7.0%	4.2%	2.4%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	84.6%	11.4%	2.6%	1.4%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	76.5%	14.7%	5.8%	2.9%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	88.7%	6.1%	3.6%	1.7%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	78.8%	14.5%	4.7%	2.1%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	85.0%	12.1%	1.2%	1.7%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	52.9%	19.7%	24.5%	2.9%	100.0%

問 4-8 自分で預貯金のおし入れをしていますか。(○はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「できるし、している」が80.0%、「できるけど、していない」が13.1%、「できない」が4.9%となっています。

有意な経年変化はられません。

② 男女別の傾向

「できるし、している」は女性が86.8%に対し、男性は72.0%と、女性が男性を14.8ポイント上回り、「できるけど、していない」は男性が20.7%に対し、女性は6.7%と、男性が女性を14.0ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

「できるし、している」は前期高齢者が86.7%に対し、後期高齢者は75.1%と、前期高齢者が後期高齢

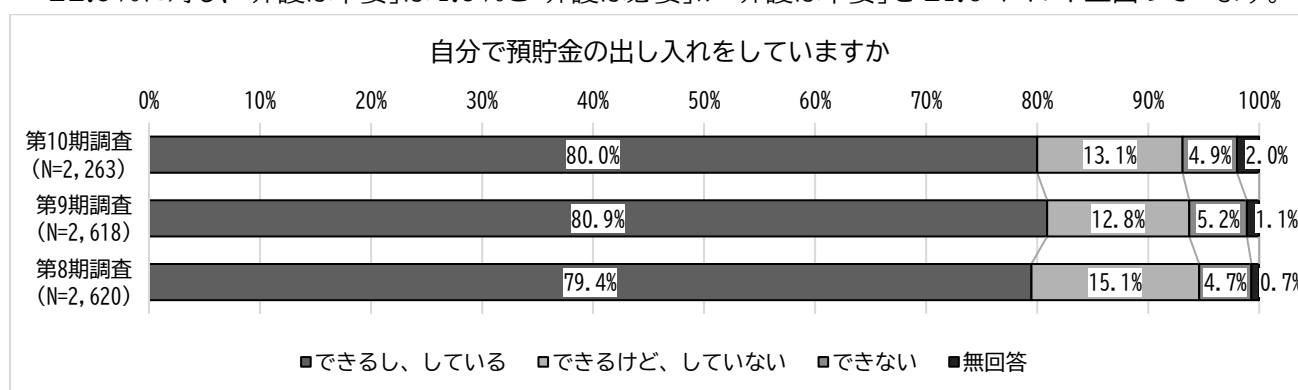
者を 11.6 ポイント上回り、「できるけど、していない」は後期高齢者が 15.7%に対し、前期高齢者は 9.6%と、後期高齢者が前期高齢者を 6.1 ポイント上回り、「できない」は後期高齢者 6.7%に対し、前期高齢者は 2.5%と、後期高齢者が前期高齢者を 4.2 ポイント上回っています。

④ 顔家族構成別の傾向

「できるし、している」はひとり暮らしが 87.3%に対し、ひとり暮らし以外は 79.0%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を 8.3 ポイント上回り、「できるけど、していない」はひとり暮らし以外が 14.4%に対し、ひとり暮らしは 6.3%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 8.1 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「できるし、している」は「介護は不要」が 85.1%に対し、「介護は必要」は 51.3%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 33.8 ポイント上回り、「できるけど、していない」は「介護は必要」が 22.9%に対し、「介護は不要」は 11.6%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 11.3 ポイント上回り、「できない」は「介護は必要」が 22.9%に対し、「介護は不要」は 1.9%と「介護は必要」が「介護は不要」を 21.0 ポイント上回っています。



		回答数	できるし、 している	できるけど、 していない	できない	無回答	計
	全体	(N=2,263)	80.0%	13.1%	4.9%	2.0%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	72.0%	20.7%	5.4%	1.8%	100.0%
	女性	(N=1,211)	86.8%	6.7%	4.5%	2.1%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	86.7%	9.6%	2.5%	1.2%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	75.1%	15.7%	6.7%	2.6%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	87.3%	6.3%	4.7%	1.7%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	79.0%	14.4%	4.8%	1.8%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	85.1%	11.6%	1.9%	1.4%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	51.3%	22.9%	22.9%	2.9%	100.0%

問 4-9 年金などの書類(役場や病院などに出す書類)が書けますか。(○はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「はい」が 88.3%、「いいえ」が 9.2%となっています。

有意な経年変化はみられません。

② 男女別の傾向

有意な差はみられません。

③ 年齢区分別の傾向

「はい」は前期高齢者が 93.5%に対し、後期高齢者は 84.5%と、前期高齢者が後期高齢者を 9.0 ポイント上回り、「いいえ」は後期高齢者が 12.2%に対し、前期高齢者は 5.2%と、後期高齢者が前期高齢

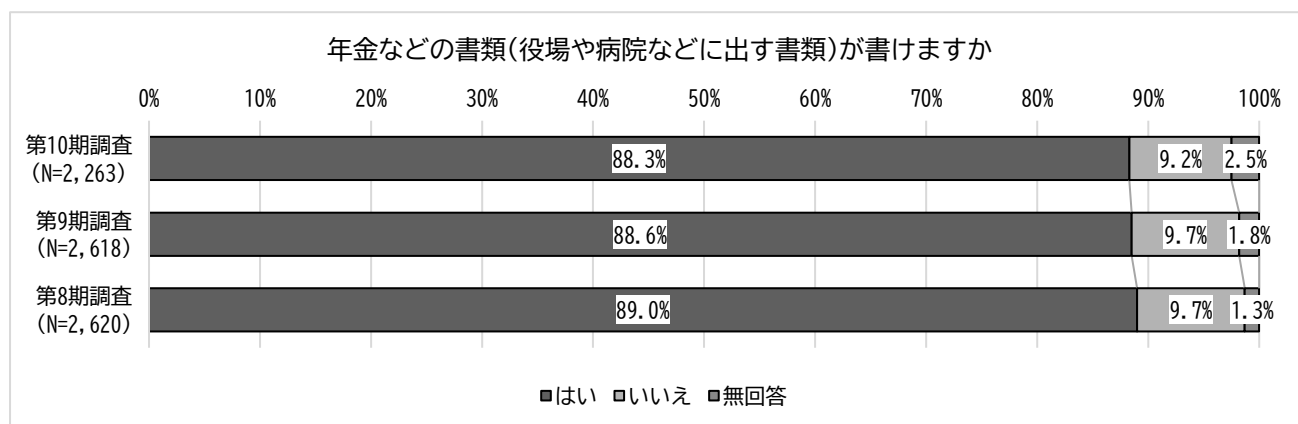
者を 7.0 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

有意な差はみられません。

⑤ 介護状況別の傾向

「はい」は「介護は不要」が 93.3%に対し、「介護は必要」は 60.3%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 33.0 ポイント上回り、「いいえ」は「介護は必要」が 35.8%に対し、「介護は不要」は 4.9%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 30.9 ポイント上回っています。



		回答数	はい	いいえ	無回答	計
	全体	(N=2,263)	88.3%	9.2%	2.5%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	88.9%	9.0%	2.0%	100.0%
	女性	(N=1,211)	87.8%	9.4%	2.8%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	93.5%	5.2%	1.4%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	84.5%	12.2%	3.3%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	88.4%	9.4%	2.2%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	88.6%	9.2%	2.2%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	93.3%	4.9%	1.8%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	60.3%	35.8%	3.9%	100.0%

問 4-10 新聞を読んでいますか。(〇はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「はい」が 61.4%、「いいえ」が 36.4%となっています。

経年変化をみると、「はい」は第8期調査の 72.8%から第10期調査は 61.4%へと11.4ポイント減少し、「いいえ」は第8期調査の 26.1%から第10期調査の 36.4%へと 10.3 ポイント増加しています。

② 男女別の傾向

有意な差はみられません。

③ 年齢区分別の傾向

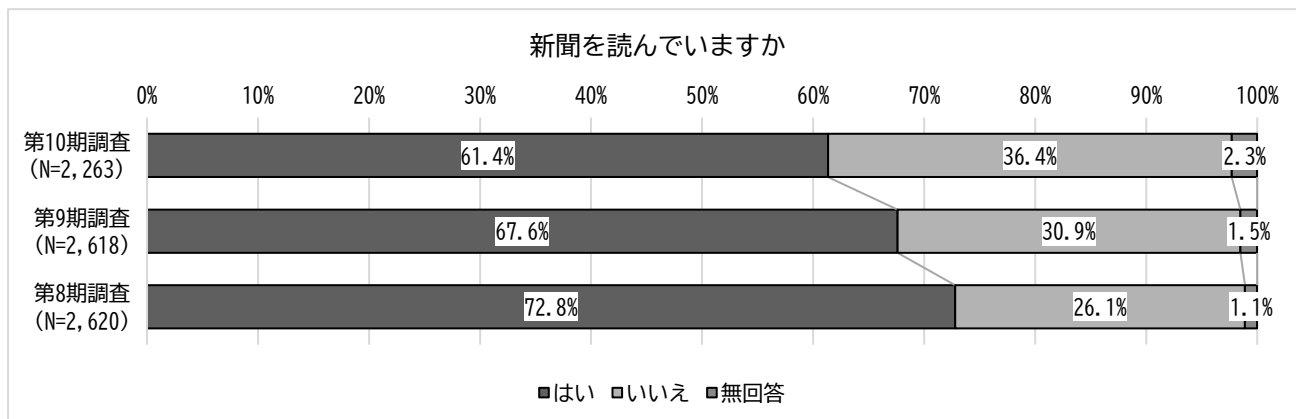
「はい」は後期高齢者が 63.9%に対し、前期高齢者は 57.9%と、後期高齢者が前期高齢者を6.0ポイント上回り、「いいえ」は前期高齢者が 40.6%に対し、後期高齢者は 33.4%と、前期高齢者が後期高齢者を 7.2 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「はい」はひとり暮らし以外が 64.2%に対し、ひとり暮らしは 48.2%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 16.0 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「はい」は「介護は不要」が 63.9%に対し、「介護は必要」は 48.1%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 15.8 ポイント上回り、「いいえ」は「介護は必要」が 49.0%に対し、「介護は不要」は 34.4%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 14.6 ポイント上回っています。



		回答数	はい	いいえ	無回答	計
	全体	(N=2,263)	61.4%	36.4%	2.3%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	62.4%	35.8%	1.7%	100.0%
	女性	(N=1,211)	60.4%	36.9%	2.6%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	57.9%	40.6%	1.6%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	63.9%	33.4%	2.7%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	48.2%	49.3%	2.5%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	64.2%	33.8%	2.0%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	63.9%	34.4%	1.7%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	48.1%	49.0%	2.9%	100.0%

問 4-11 本や雑誌を読んでいますか。(○はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「はい」が 64.9%、「いいえ」が 32.9%となっています。

経年変化をみると、「はい」は第8期調査の 70.3%から第10期調査は 64.9%へと 5.4 ポイント減少し、「いいえ」は第8期調査の 28.2%から第10期調査の 32.9%へと 4.7 ポイント増加しています。

② 男女別の傾向

「はい」は女性が 70.8%に対し、男性は 58.1%と、女性が男性を 12.7 ポイント上回り、「いいえ」は男性が 40.1%に対し、女性は 26.8%と、男性が女性を 13.3 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

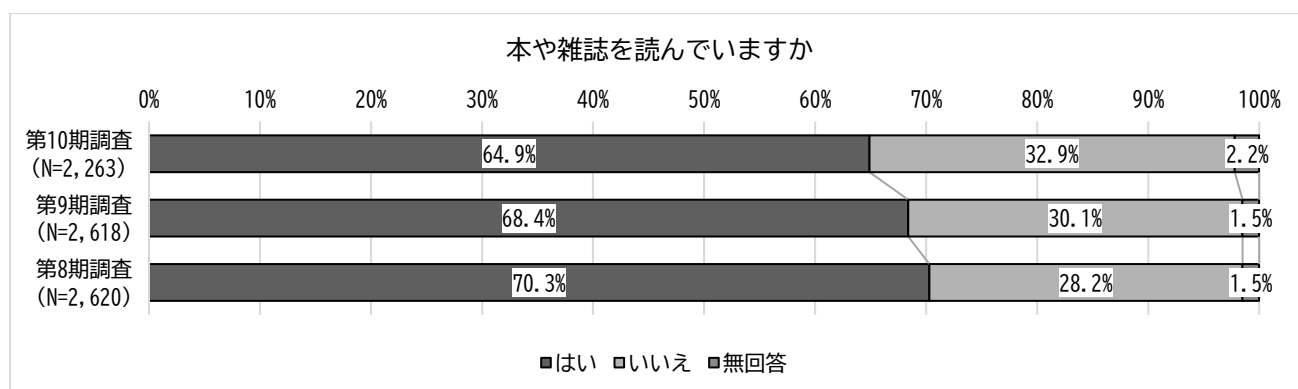
有意な差は見られません。

④ 家族構成別の傾向

有意な差は見られません。

⑤ 介護状況別の傾向

「はい」は「介護は不要」が 67.3%に対し、「介護は必要」は 51.6%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 15.7 ポイント上回り、「いいえ」は「介護は必要」が 44.8%に対し、「介護は不要」は 31.1%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 13.7 ポイント上回っています。



		回答数	はい	いいえ	無回答	計
全体		(N=2,263)	64.9%	32.9%	2.2%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	58.1%	40.1%	1.8%	100.0%
	女性	(N=1,211)	70.8%	26.8%	2.4%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	65.1%	33.5%	1.4%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	64.8%	32.5%	2.7%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	64.2%	34.2%	1.7%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	65.4%	32.7%	2.0%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	67.3%	31.1%	1.5%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	51.6%	44.8%	3.5%	100.0%

問 4-12 健康についての記事や番組に関心がありますか。(○はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「はい」が 85.7%、「いいえ」が 12.2%となっています。有意な経年変化はみられません。

② 男女別の傾向

「はい」は女性が 90.6%に対し、男性は 80.0%と、女性が男性を 10.6 ポイント上回り、「いいえ」は男性が 18.1%に対し、女性は 7.1%と、男性が女性を 11.0 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

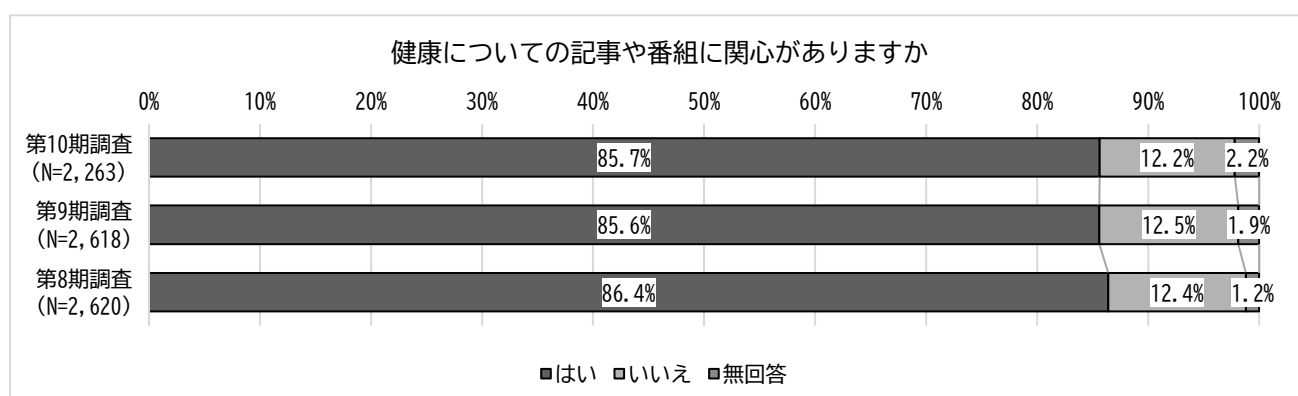
有意な差はみられません。

④ 家族構成別の傾向

有意な差はみられません。

⑤ 介護状況別の傾向

「はい」は「介護は不要」が 87.9%に対し、「介護は必要」は 74.2%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 13.7 ポイント上回り、「いいえ」は「介護は必要」が 23.2%に対し、「介護は不要」は 10.5%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 12.7 ポイント上回っています。



		回答数	はい	いいえ	無回答	計
	全体	(N=2, 263)	85. 7%	12. 2%	2. 2%	100. 0%
性別	男性	(N=1, 030)	80. 0%	18. 1%	1. 9%	100. 0%
	女性	(N=1, 211)	90. 6%	7. 1%	2. 3%	100. 0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	85. 8%	12. 9%	1. 4%	100. 0%
	後期高齢者	(N=1, 292)	85. 7%	11. 6%	2. 7%	100. 0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	87. 6%	10. 7%	1. 7%	100. 0%
	ひとり暮らし以外	(N=1, 842)	85. 6%	12. 5%	1. 9%	100. 0%
介護状況	介護は不要	(N=1, 875)	87. 9%	10. 5%	1. 6%	100. 0%
	介護は必要	(N=310)	74. 2%	23. 2%	2. 6%	100. 0%

問 4-13 友人の家を訪ねていますか。(○はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「はい」が 50.4%、「いいえ」が 47.1%となっています。有意な経年変化はみられません。

② 男女別の傾向

「はい」は女性が 54.5%に対し、男性は 45.9%と、女性が男性を 8.6 ポイント上回り、「いいえ」は男性が 52.0%に対し、女性は 42.6%と、男性が女性を 9.4 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

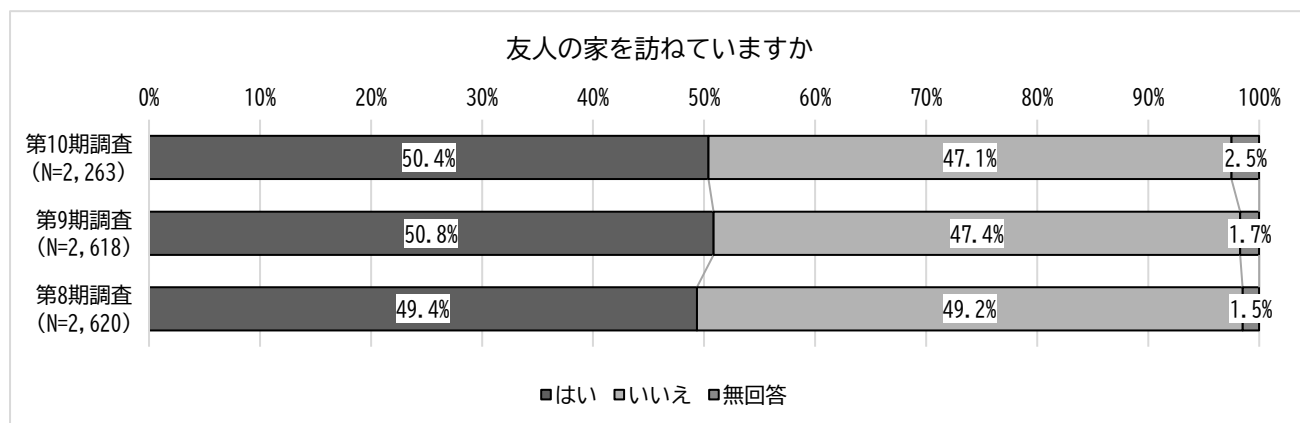
有意な差はみられません。

④ 家族構成別の傾向

有意な差はみられません。

⑤ 介護状況別の傾向

「はい」は「介護は不要」が 54.0%に対し、「介護は必要」は 28.4%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 25.6 ポイント上回り、「いいえ」は「介護は必要」が 68.1%に対し、「介護は不要」は 44.1%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 24.0 ポイント上回っています。



		回答数	はい	いいえ	無回答	計
	全体	(N=2, 263)	50. 4%	47. 1%	2. 5%	100. 0%
性別	男性	(N=1, 030)	45. 9%	52. 0%	2. 0%	100. 0%
	女性	(N=1, 211)	54. 5%	42. 6%	2. 9%	100. 0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	49. 6%	48. 7%	1. 7%	100. 0%
	後期高齢者	(N=1, 292)	51. 2%	45. 7%	3. 1%	100. 0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	51. 5%	46. 0%	2. 5%	100. 0%
	ひとり暮らし以外	(N=1, 842)	50. 5%	47. 3%	2. 2%	100. 0%
介護状況	介護は不要	(N=1, 875)	54. 0%	44. 1%	1. 9%	100. 0%
	介護は必要	(N=310)	28. 4%	68. 1%	3. 5%	100. 0%

4-14 家族や友人の相談にのっていますか。(〇はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「はい」が75.1%、「いいえ」が21.9%となっています。有意な経年変化はみられません。

② 男女別の傾向

「はい」は女性が78.1%に対し、男性は71.7%と、女性が男性を6.4ポイント上回り、「いいえ」は男性が26.1%に対し、女性は18.2%と、男性が女性を7.9ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

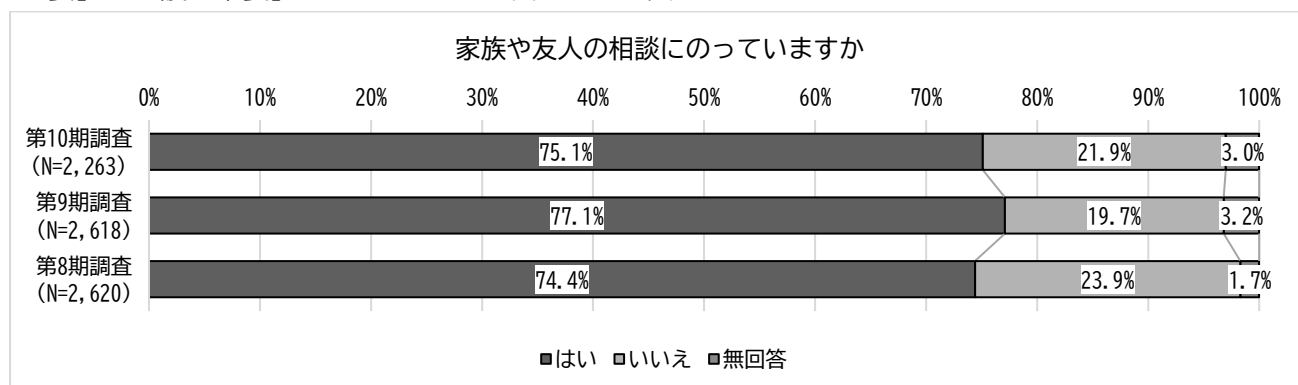
「はい」は前期高齢者が79.1%に対し、後期高齢者は72.3%と、前期高齢者が後期高齢者を6.8ポイント上回り、「いいえ」は後期高齢者が23.8%に対し、前期高齢者は19.3%と、後期高齢者が前期高齢者を4.5ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「はい」はひとり暮らし以外が77.5%に対し、ひとり暮らしは65.8%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを11.7ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「はい」は「介護は不要」が79.1%に対し、「介護は必要」は55.2%と、「介護は不要」が「介護は必要」を23.9ポイント上回り、「いいえ」は「介護は必要」が40.6%に対し、「介護は不要」は18.6%と、「介護は必要」が「介護は不要」を22.0ポイント上回っています。



		回答数	はい	いいえ	無回答	計
全体		(N=2,263)	75.1%	21.9%	3.0%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	71.7%	26.1%	2.1%	100.0%
	女性	(N=1,211)	78.1%	18.2%	3.6%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	79.1%	19.3%	1.6%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	72.3%	23.8%	3.9%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	65.8%	30.9%	3.3%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	77.5%	20.1%	2.4%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	79.1%	18.6%	2.2%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	55.2%	40.6%	4.2%	100.0%

問 4-15 病人を見舞うことができますか。(〇はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「はい」が83.3%、「いいえ」が13.5%となっています。有意な経年変化はみられません。

② 男女別の傾向

有意な差はみられません。

③ 年齢区分別の傾向

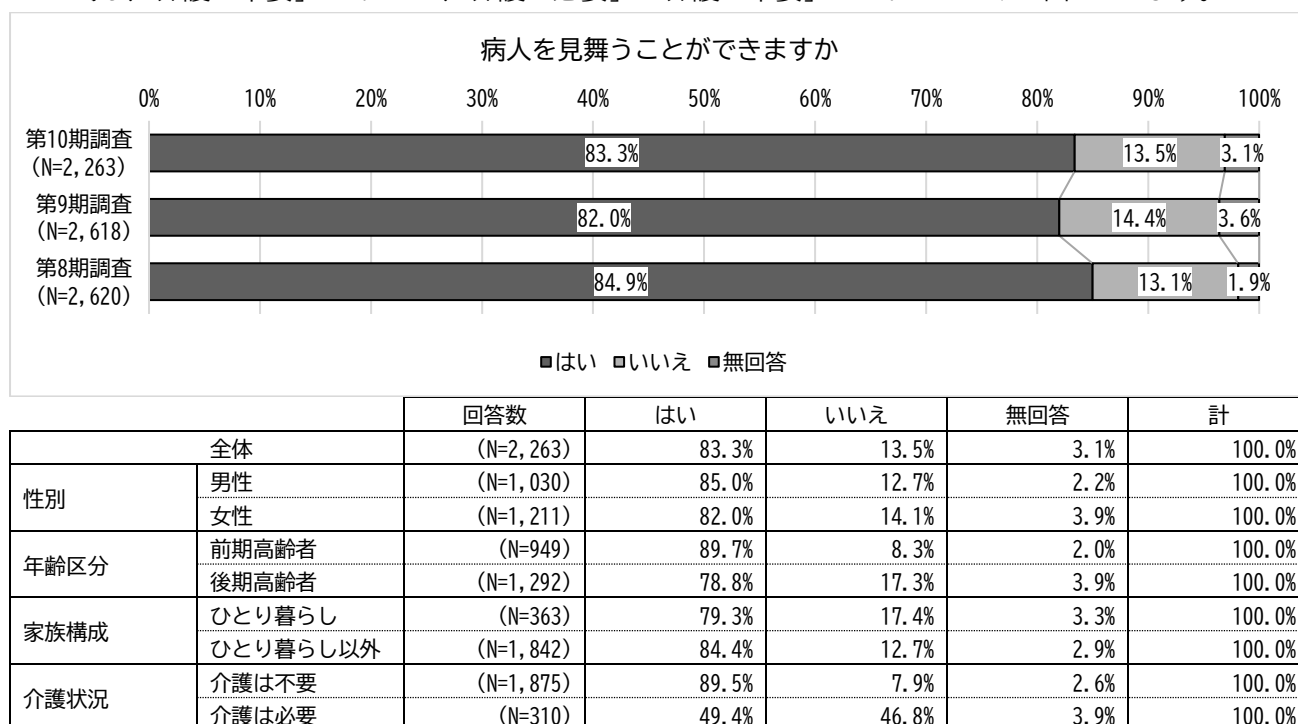
「はい」は前期高齢者が 89.7%に対し、後期高齢者は 78.8%と、前期高齢者が後期高齢者を 10.9 ポイント上回り、「いいえ」は後期高齢者が 17.3%に対し、前期高齢者は 8.3%と、後期高齢者が前期高齢者を 9.0 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「はい」はひとり暮らし以外が 84.4%に対し、ひとり暮らしは 79.3%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 5.1 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「はい」は「介護は不要」が 89.5%に対し、「介護は必要」は 49.4%と、「介護は不要」が「介ひとり暮らし以外が 84.4%に対し、ひとり暮らし介護は必要」を 40.1 ポイント上回り、「いいえ」は「介護は必要」が 46.8%に対し、「介護は不要」は 7.9%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 38.9 ポイント上回っています。



問 4-16 若い人に自分から話しかけることがありますか。(○はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「はい」が 75.3%、「いいえ」が 21.7%となっています。

経年変化をみると、「はい」は第8期調査の 79.2%から第10期調査は 75.3%へと 3.9 ポイント減少し、「いいえ」は第8期調査の 18.9%から第10期調査は 21.7%へと 2.8 ポイント増加しています。

② 男女別の傾向

「はい」は女性が 77.7%に対し、男性は 72.4%と、女性が男性を 5.3 ポイント上回り、「いいえ」は男性が 25.0%に対し、女性は 18.8%と、男性が女性を 6.2 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

「はい」は前期高齢者が 78.2%に対し、後期高齢者は 73.1%と、前期高齢者が後期高齢者を 5.1 ポイン

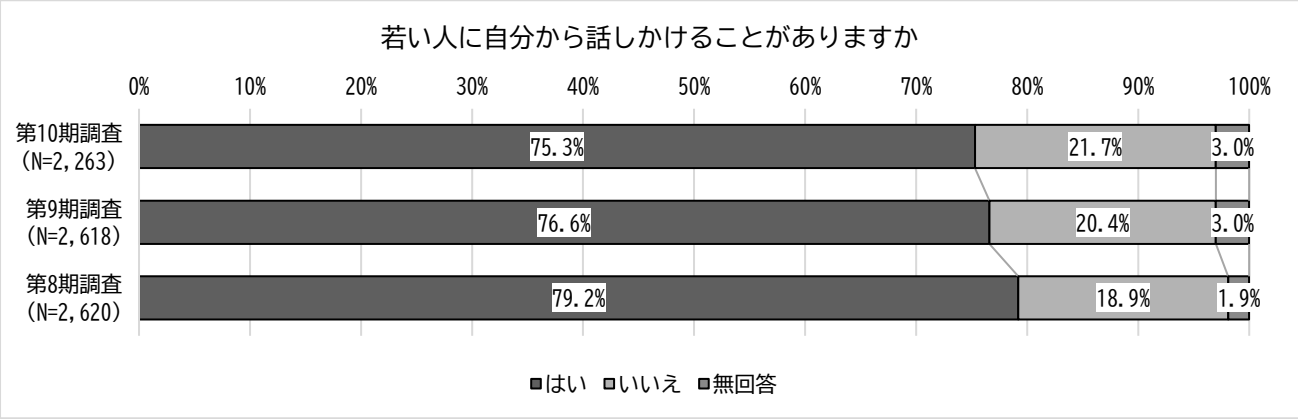
ト上回り、「いいえ」は後期高齢者が 23.4%に対し、前期高齢者は 19.4%と、後期高齢者が前期高齢者を 4.0 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「はい」はひとり暮らし以外が 76.4%に対し、ひとり暮らしは 70.2%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 6.2 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「はい」は「介護は不要」が 79.0%に対し、「介護は必要」は 54.2%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 24.8 ポイント上回り、「いいえ」は「介護は必要」が 41.3%に対し、「介護は不要」は 18.5%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 22.8 ポイント上回っています。



		回答数	はい	いいえ	無回答	計
全体		(N=2,263)	75.3%	21.7%	3.0%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	72.4%	25.0%	2.5%	100.0%
	女性	(N=1,211)	77.7%	18.8%	3.5%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	78.2%	19.4%	2.4%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	73.1%	23.4%	3.5%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	70.2%	26.7%	3.0%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	76.4%	20.8%	2.8%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	79.0%	18.5%	2.5%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	54.2%	41.3%	4.5%	100.0%

問 4-17 趣味はありますか。(〇はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「趣味はある」が 68.8%、「思いつかない」が 25.8%となっています。

経年変化をみると、「はい」は第8期調査の 71.8%から第10期調査は 68.8%へと 3.0 ポイント減少し、「思いつかない」は第9期調査の 23.3%から第10期調査は 25.8%へと 2.5 ポイント増加しています。

② 男女別の傾向

「趣味はある」は女性が 69.8%に対し、男性は 67.5%と、女性が男性を 2.3 ポイント上回り、「思いつかない」は男性が 28.0%に対し、女性は 24.1%と、男性が女性を 3.9 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

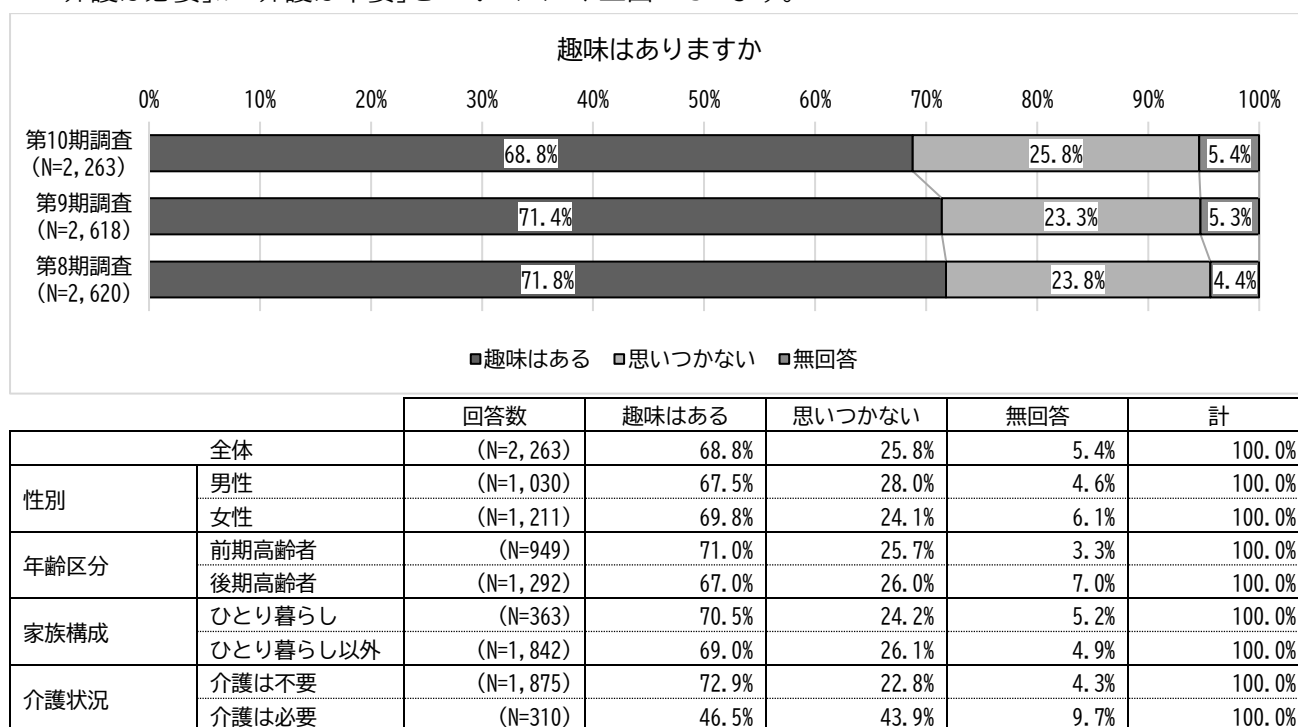
「趣味はある」は前期高齢者が 71.0%に対し、後期高齢者は 67.0%と、前期高齢者が後期高齢者を 4.0 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

有意な差は見られません。

⑤ 介護状況別の傾向

「趣味はある」は「介護は不要」が 72.9%に対し、「介護は必要」は 46.5%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 26.4 ポイント上回り、「思いつかない」は「介護は必要」が 43.9%に対し、「介護は不要」は 22.8%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 21.1 ポイント上回っています。



問 4-18 生きがいがありますか。(〇はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「生きがいはある」が 58.1%、「思いつかない」が 35.3%となっています。

有意な経年変化はみられません。

② 男女別の傾向

「生きがいはある」は女性が 61.5%に対し、男性は 53.9%と、女性が男性を 7.6 ポイント上回り、「思いつかない」は男性が 41.5%に対し、女性は 30.2%と、男性が女性を 11.3 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

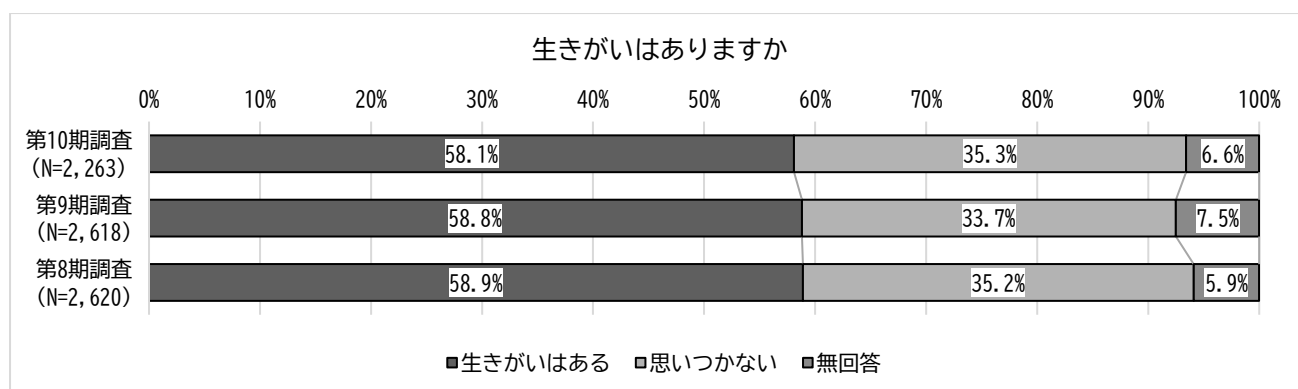
「生きがいはある」は前期高齢者が 60.4%に対し、後期高齢者は 56.3%と、前期高齢者が後期高齢者を 4.1 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「はい」はひとり暮らし以外が 59.7%に対し、ひとり暮らしは 53.2%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 6.5 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「生きがいはある」は「介護は不要」が 60.7%に対し、「介護は必要」は 44.5%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 16.2 ポイント上回り、「思いつかない」は「介護は必要」が 48.1%に対し、「介護は不要」は 33.2%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 14.9 ポイント上回っています。



		回答数	生きがいはある	思いつかない	無回答	計
性別	全体	(N=2,263)	58.1%	35.3%	6.6%	100.0%
	男性	(N=1,030)	53.9%	41.5%	4.7%	100.0%
	女性	(N=1,211)	61.5%	30.2%	8.3%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	60.4%	34.8%	4.8%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	56.3%	35.8%	7.9%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	53.2%	40.8%	6.1%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	59.7%	34.1%	6.2%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	60.7%	33.2%	6.1%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	44.5%	48.1%	7.4%	100.0%

考察

1. 認知機能低下リスク(物忘れの自覚)の増加と要介護化の関連

「物忘れが多いと感じる」は全体で 43.1%に上り、第8期調査から減少傾向にあります。また、「今日が何月何日かわからない時がある」も全体で 26.8%存在します。特に「介護は必要」な層では、「物忘れが多いと感じる」が 53.5%、「今日が何月何日かわからない時がある」が 44.5%と半数近くに達しており、認知機能の低下と要介護状態との間に相関があることが確認できます。

2. IADL(生活機能)の自立を強いられる「ひとり暮らし」と、顕著な「男女差」

「食品・日用品の買物」「食事の用意」「請求書の支払い」「預貯金の出し入れ」といった IADL(手段的日常生活動作)について、全体としては高い自立度を維持しています。家族構成別に見ると、すべての項目で「ひとり暮らし」の方が「ひとり暮らし以外」よりも「できるし、している」割合が高くなっています(例:自分で食事の用意をしている割合は、ひとり暮らし 93.1%、ひとり暮らし以外 66.4%)。これは、同居家族のサポートが得られないため、自身で生活機能を維持せざるを得ない単身世帯の実態を表しています。一方で、これらの家庭内の生活遂行能力については依然として大きな男女差がみられます。「自分で食事の用意をしている」割合は女性が 91.8%に対し男性は 45.9%にとどまり、金銭管理等においても男性の自立度が低くなっています。今後、高齢期に配偶者と死別するなどで男性が「ひとり暮らし」となった場合、急激に生活自立リスクが高まることが懸念されます。

3. ひとり暮らしに顕著な「社会性・生きがいの低下」と、要介護化に伴う「つながりの断絶」

ひとり暮らしの高齢者は生活の自立度が高い一方で、「家族や友人の相談にのる(65.8%、ひとり暮らし以外は 77.5%)」「若い人に話しかける(70.2%、同 76.4%)」「新聞を読む(48.2%、同 64.2%)」といった、他者や社会への関心・交流を示す行動の割合が、同居家族のいる層を下回っています。さらに、

「生きがいがある」と答えた割合もひとり暮らし(53.2%)はそれ以外(59.7%)を下回っており、同居家族がいないことによる日常的なコミュニケーション不足が、精神的な孤立や生きがいの喪失を招きやすい状況がうかがえます。加えて、「介護が必要」な層に限ると、「趣味がある」は 46.5%(介護不要層は 72.9%)、「生きがいがある」は 44.5%(同 60.7%)へと大きく低下し、「友人の家を訪ねる」割合も激減(介護必要層 28.4%、不要層 54.0%)しています。単身化や要介護状態になることで、社会的な役割や他者とのつながりが希薄になると推察されます。

【第10期計画策定に向けた検討課題】

- 物忘れを自覚する高齢者が増加していることを踏まえ、早期からの認知症予防の啓発と、異変に早期に気づき適切な支援へつなぐ見守りネットワークの構築が急務です。
- 生活自立度が低い男性高齢者が単身化した場合に備え、自立支援を目的とした男性向けの料理教室(実践的アプローチ)や生活支援サービスの充実、生活困窮を防ぐための相談体制の強化が必要です。
- ひとり暮らし高齢者や要介護者が社会的に孤立し生きがいを失うことを防ぐため、単なる物理的な生活支援(家事代行など)にとどまらず、移動支援(移送サービス)と連動した「通いの場」への参加促進や、本人の得意なことや役割(出番)を創出する多様な社会参加支援を検討することが課題です。

問5 地域での活動について

問5-1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

(①～⑧それぞれ○はひとつ)

《参加している会やグループ》

① 全体的な傾向と経年変化

「町内会・自治会」が 40.3%でもっとも多く、次いで「収入のある仕事」が 30.9%、「趣味関係のグループ」が 26.6%、「いきいき百歳体操など、介護予防のための通いの場」が 21.0%、「スポーツ関係のグループやクラブ」が 20.2%となっています。

経年変化では「町内会・自治会」は第9期調査の 36.9%から第10期調査は 40.3%へと 3.4 ポイント増加し、「スポーツ関係のグループやクラブ」は第9期調査の 16.7%から第10期調査は 20.2%へと 3.5 ポイント増加し、「老人クラブ」は第8期調査の 19.5%から第10期調査は 10.7%へと 8.8 ポイント減少しています。

② 男女別の傾向

「町内会・自治会」は男性が 50.3%に対し、女性は 32.2%と、男性が女性を 18.1 ポイント上回り、「収入のある仕事」は男性が 36.4%に対し、女性は 26.1%と、男性が女性を 10.3 ポイント上回っています。反対に「いきいき百歳体操など、介護予防のための通いの場」は女性が 28.2%に対し、男性は 12.7%と、女性が男性を 15.5 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

「収入のある仕事」は前期高齢者が 46.9%に対し、後期高齢者は 19.0%と、前期高齢者が後期高齢者を 27.9 ポイント上回り、「町内会・自治会」は前期高齢者が 50.3%に対し、後期高齢者は 33.4%と、前期高齢者が後期高齢者を 16.9 ポイント上回り、「スポーツ関係のグループやクラブ」は前期高齢者が 25.4%に対し、後期高齢者は 16.6%と、前期高齢者が後期高齢者を 8.8 ポイント上回るなど、ほとんどの会やグループでは前期高齢者が後期高齢者を上回っていますが、「いきいき百歳体操など、介護予防のための通いの場」は後期高齢者が 24.5%に対し、前期高齢者は 16.5%と、後期高齢者が前期高齢者を 8.0 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

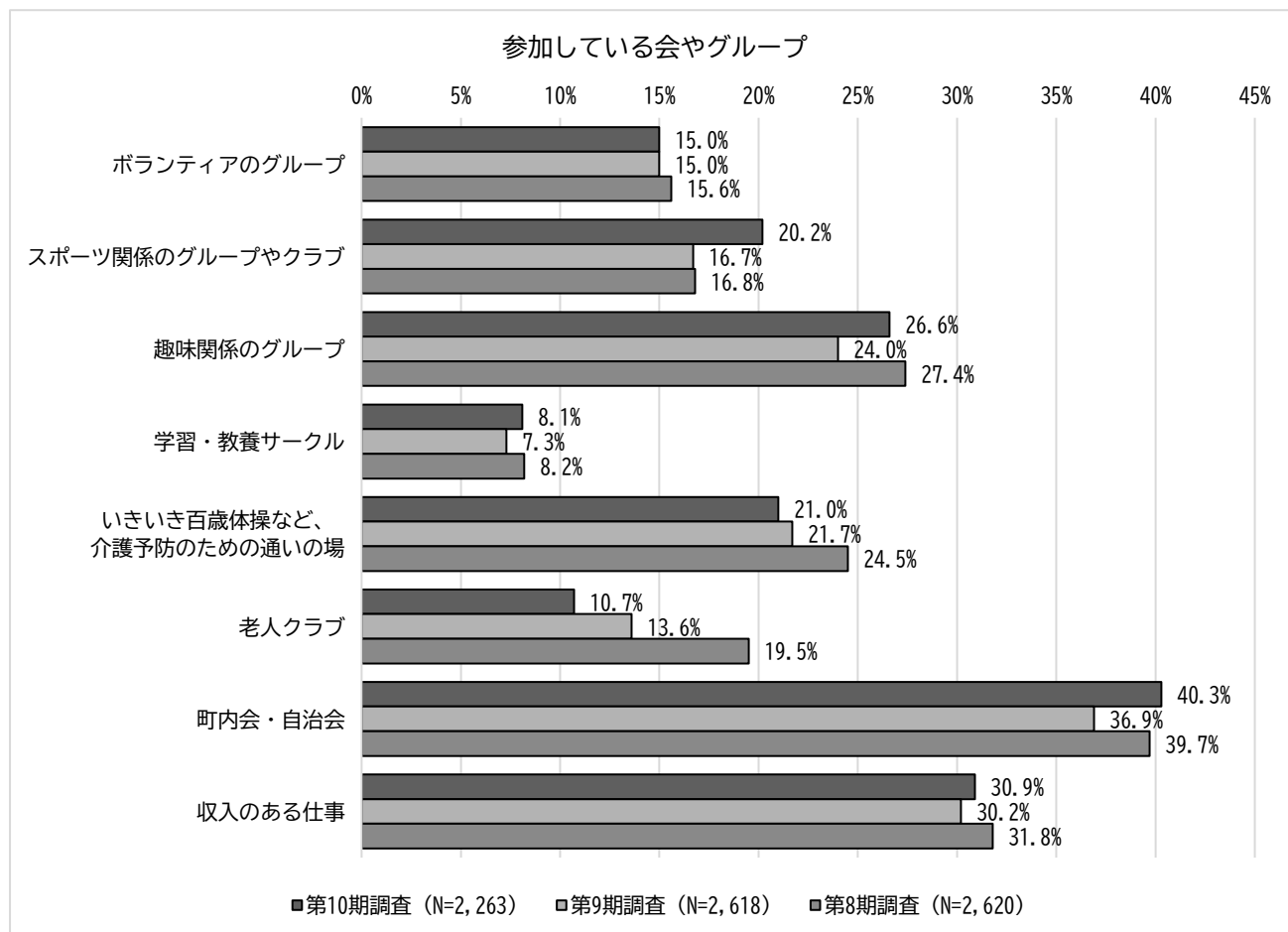
「収入のある仕事」はひとり暮らし以外が 32.7%に対し、ひとり暮らしは 23.1%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 9.6 ポイント上回り、町内会・自治会はひとり暮らし以外が 41.5%に対し、ひとり暮らしは 35.5%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 6.0 ポイント上回り、ボランティアのグループはひとり暮らし以外が 16.0%に対し、ひとり暮らしは 11.0%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 5.0 ポイント上回っています。

また、「いきいき百歳体操など、介護予防のための通いの場」はひとり暮らしが 24.2%に対し、ひとり暮らし以外は 20.7%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を 3.5 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「町内会・自治会」は「介護は不要」が 44.3%に対し、「介護は必要」は 17.7%と、「介護は不要」が「介護

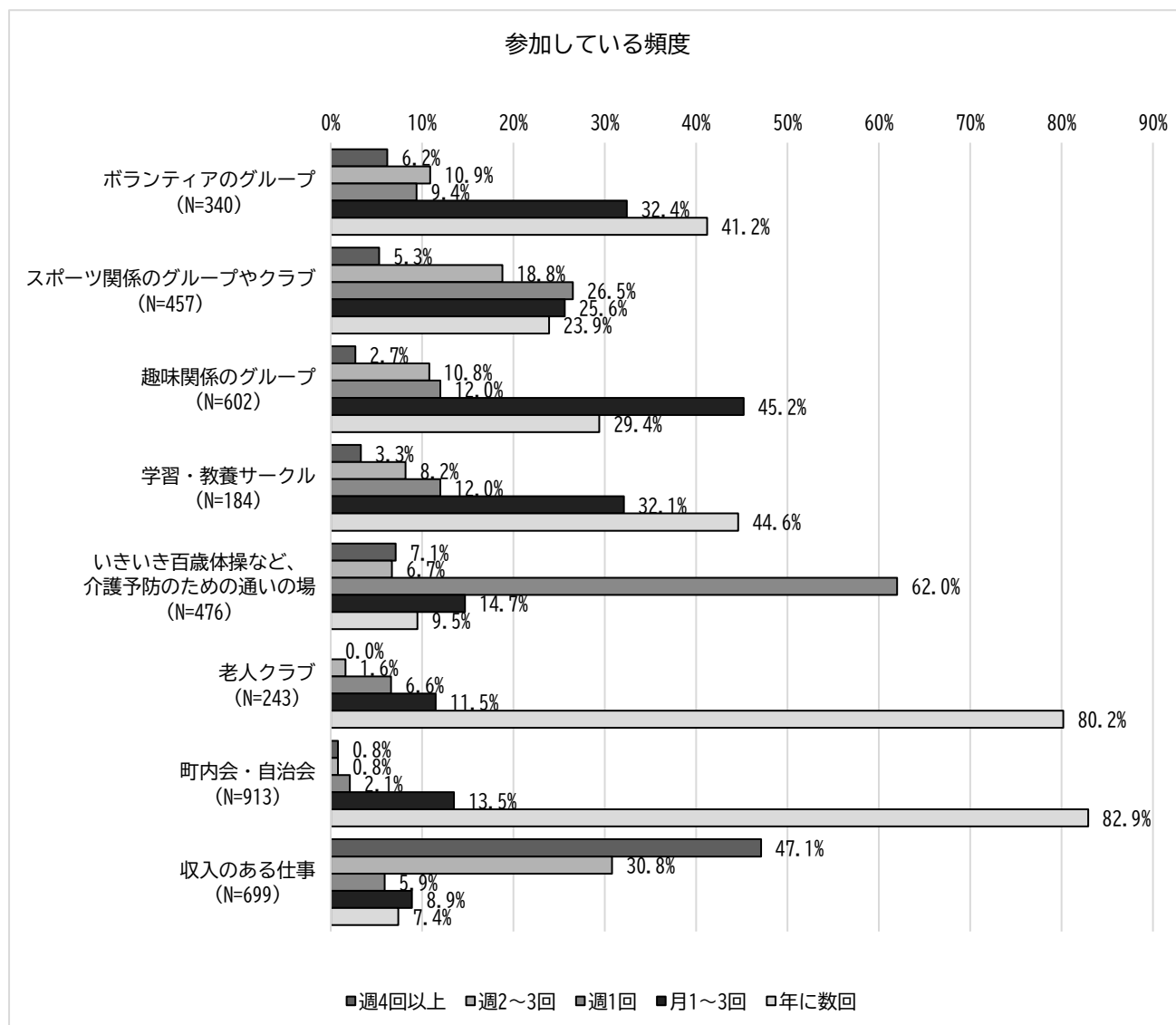
は必要」を 26.6 ポイント上回り、「収入のある仕事」は「介護は不要」が 34.8%に対し、「介護は必要」は 8.7%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 26.1 ポイント上回り、「スポーツ関係のグループやクラブ」は「介護は不要」が 22.9%に対し、「介護は必要」は 6.1%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 16.8 ポイント上回り、「趣味関係のグループ」は「介護は不要」が 29.2%に対し、「介護は必要」は 13.2%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 16.0 ポイント上回るなど、すべての会やグループで「介護は不要」が「介護は必要」を上回っています。



		回答数	ボランティアのグループ	スポーツ関係のグループやクラブ	趣味関係のグループ	学習・教養サークル	いきいき百歳体操など、介護予防のための通いの場	老人クラブ	町内会・自治会	収入のある仕事
	全体	(N=2,263)	15.0%	20.2%	26.6%	8.1%	21.0%	10.7%	40.3%	30.9%
性別	男性	(N=1,030)	16.5%	22.2%	27.6%	6.8%	12.7%	11.4%	50.3%	36.4%
	女性	(N=1,211)	13.9%	18.7%	25.9%	9.4%	28.2%	10.2%	32.2%	26.1%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	18.9%	25.4%	29.6%	9.9%	16.5%	11.4%	50.3%	46.9%
	後期高齢者	(N=1,292)	12.3%	16.6%	24.5%	7.0%	24.5%	10.2%	33.4%	19.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	11.0%	21.2%	26.4%	7.4%	24.2%	8.3%	35.5%	23.1%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	16.0%	20.2%	27.0%	8.4%	20.7%	11.4%	41.5%	32.7%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	16.9%	22.9%	29.2%	9.2%	21.1%	10.8%	44.3%	34.8%
	介護は必要	(N=310)	5.5%	6.1%	13.2%	2.6%	21.0%	10.0%	17.7%	8.7%

《参加している会やグループの参加頻度》

「ボランティアのグループ」は「年に数回」が41.2%でもっとも多く、「スポーツ関係のグループやクラブ」は「週1回」が26.5%でもっとも多く、「趣味関係のグループ」は「月1～3回」が45.2%でもっとも多く、「学習・教養サークル」は「年に数回」が44.6%でもっとも多く、「いきいき百歳体操など、介護予防のための通いの場」は「週1回」が62.0%でもっとも多く、「老人クラブ」は「年に数回」が80.2%でもっとも多く、「町内会・自治会」は「年に数回」が82.9%でもっとも多く、「収入のある仕事」は「週2～3回」が30.8%でもっとも多くなっています。



問5-1-1 参加していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

① 全体的な傾向と経年変化

「関心のある行事や活動がない」が23.9%でもっとも多く、次いで「忙しい」が19.3%、「健康状態に自信がない」が12.9%、「きっかけがない、誘われない」が11.8%となっています。

「その他」「特に理由はない」「無回答」を除いて、第9期調査と比較すると、有意な差はみられません。

② 男女別の傾向

「関心のある行事や活動がない」は男性が 27.7%に対し、女性は 20.0%と、男性が女性を 7.7 ポイント上回り、「健康状態に自信がない」は女性が 14.4%に対し、男性は 11.3%と、女性が男性を 3.1 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

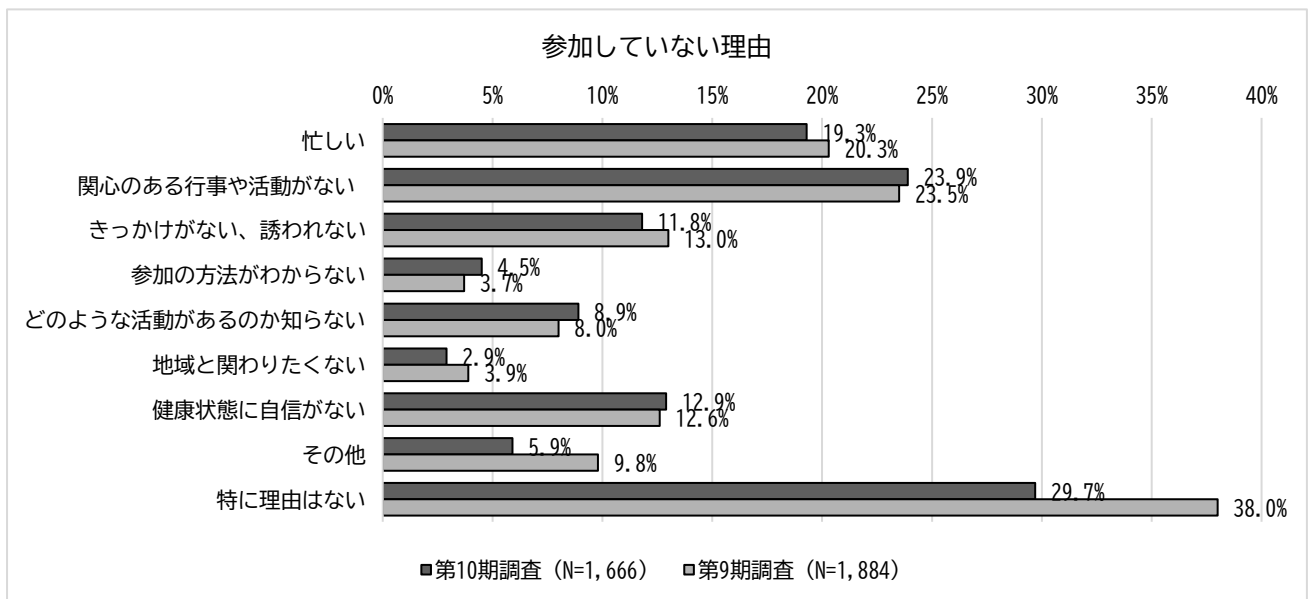
「忙しい」は前期高齢者が 24.7%に対し、後期高齢者は 14.4%と、前期高齢者が後期高齢者を 10.3 ポイント上回り、「健康状態に自信がない」は後期高齢者が 18.0%に対し、前期高齢者は 7.3%と、後期高齢者が前期高齢者を 10.7 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「忙しい」はひとり暮らし以外が 20.4%に対し、ひとり暮らしは 14.5%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 5.9 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「忙しい」は「介護は不要」が 21.7%に対し、「介護は必要」は 6.0%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 15.7 ポイント上回り、「関心のある行事や活動がない」は「介護は不要」が 24.9%に対し、「介護は必要」は 17.5%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 7.4 ポイント上回っています。反対に「健康状態に自信がない」は「介護は必要」が 43.3%に対し、「介護は不要」は 7.8%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 35.5 ポイント上回っています。



	回答数	忙しい	関心のある行事や活動がない	きっかけがない、誘われない	参加の方法がわからない	どのような活動があるのか知らない	地域と関わりたくない	健康状態に自信がない	その他	特に理由はない
全体	(N=1,666)	19.3%	23.9%	11.8%	4.5%	8.9%	2.9%	12.9%	5.9%	30.0%
性別										
男性	(N=791)	20.6%	27.7%	12.6%	4.6%	9.0%	3.0%	11.3%	4.0%	29.1%
女性	(N=859)	18.2%	20.0%	11.2%	4.5%	9.0%	2.8%	14.4%	7.6%	31.1%
年齢区分										
前期高齢者	(N=784)	24.7%	26.0%	11.7%	3.7%	7.3%	2.8%	7.3%	5.2%	28.7%
後期高齢者	(N=866)	14.4%	21.6%	12.0%	5.3%	10.5%	3.0%	18.0%	6.5%	31.4%
家族構成										
ひとり暮らし	(N=248)	14.5%	24.6%	13.3%	4.0%	11.3%	4.4%	13.7%	8.9%	28.6%
ひとり暮らし以外	(N=1,383)	20.4%	23.9%	11.5%	4.6%	8.6%	2.6%	12.6%	5.4%	29.9%
介護状況										
介護は不要	(N=1,404)	21.7%	24.9%	11.8%	4.1%	8.8%	3.1%	7.8%	4.8%	32.2%
介護は必要	(N=217)	6.0%	17.5%	11.5%	7.8%	9.7%	1.8%	43.3%	13.8%	16.6%

問5-1の会やグループに一つでも参加していないと回答した方への質問

問5-1-2 介護予防のための通いの場(いきいき百歳体操、ウォーキンググループ、ミニデイサービス、のびのび健口体操)について知っていますか。(〇はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「だいたい活動内容を知っている」が 38.4%、「いくつか名称を聞いたことがある」が 37.8%、「ほとんど知らない」が 16.3%となっています。

第9期調査との比較では、「だいたい活動内容を知っている」は第9期調査の 43.8%から第10期調査は 38.4%へと、5.4 ポイント減少し、「いくつか名称を聞いたことがある」は第9期調査の 32.0%から第10期調査は 37.8%へと 5.8 ポイント増加し、「ほとんど知らない」は第9期調査の 19.3%から第10期調査は 16.3%へと 3.0 ポイント減少しています。

② 男女別の傾向

「だいたい活動内容を知っている」は女性が 44.7%に対し、男性は 31.6%と、女性が男性を 13.1 ポイント上回り、「ほとんど知らない」は男性が 21.7%に対し、女性は 11.3%と、男性が女性を 10.4 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

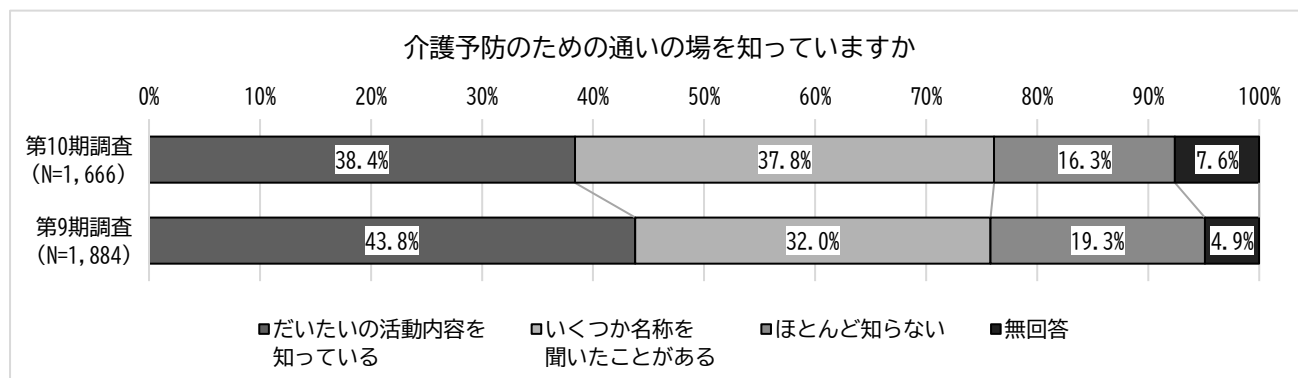
「だいたい活動内容を知っている」は後期高齢者が 42.6%に対し、前期高齢者は 33.8%と、後期高齢者が前期高齢者を 8.8 ポイント上回り、「いくつか名称を聞いたことがある」は前期高齢者が 40.4%に対し、後期高齢者は 35.5%と、前期高齢者が後期高齢者を 4.9 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「だいたい活動内容を知っている」はひとり暮らし以外が 40.1%に対し、ひとり暮らしは 31.5%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 8.6 ポイント上回り、「ほとんど知らない」はひとり暮らしが 23.4%に対し、ひとり暮らし以外は 14.8%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を 8.6 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「だいたい活動内容を知っている」は「介護は不要」が 39.6%に対し、「介護は必要」は 32.3%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 7.3 ポイント上回り、「いくつか名称を聞いたことがある」は「介護は不要」が 38.7%に対し、「介護は必要」は 32.3%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 6.4 ポイント上回っています。反対に、「ほとんど知らない」は「介護は必要」が 29.0%に対し、「介護は不要」は 14.2%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 14.8 ポイント上回っています。



		回答数	だいたいの活動内容を知っている	いくつか名称を聞いたことがある	ほとんど知らない	無回答	計
	全体	(N=1,666)	38.4%	37.8%	16.3%	7.6%	100.0%
性別	男性	(N=791)	31.6%	38.4%	21.7%	8.2%	100.0%
	女性	(N=859)	44.7%	37.3%	11.3%	6.8%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=784)	33.8%	40.4%	16.8%	8.9%	100.0%
	後期高齢者	(N=866)	42.6%	35.5%	15.8%	6.1%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=248)	31.5%	39.1%	23.4%	6.0%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,383)	40.1%	37.3%	14.8%	7.7%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,404)	39.6%	38.7%	14.2%	7.5%	100.0%
	介護は必要	(N=217)	32.3%	32.3%	29.0%	6.5%	100.0%

問 5-2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇はひとつ)

この問は、「是非参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」を合わせた「参加したい」に着目して比較検討します。

① 全体的な傾向と経年変化

「参加したい」は第10期調査が 56.3%に対し、第9期調査は 59.5%と、第10期調査は第9期調査より 3.2 ポイント減少しています。

② 男女別の傾向

「参加したい」は女性が 57.9%に対し、男性は 54.7%と、女性が男性を 3.2 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

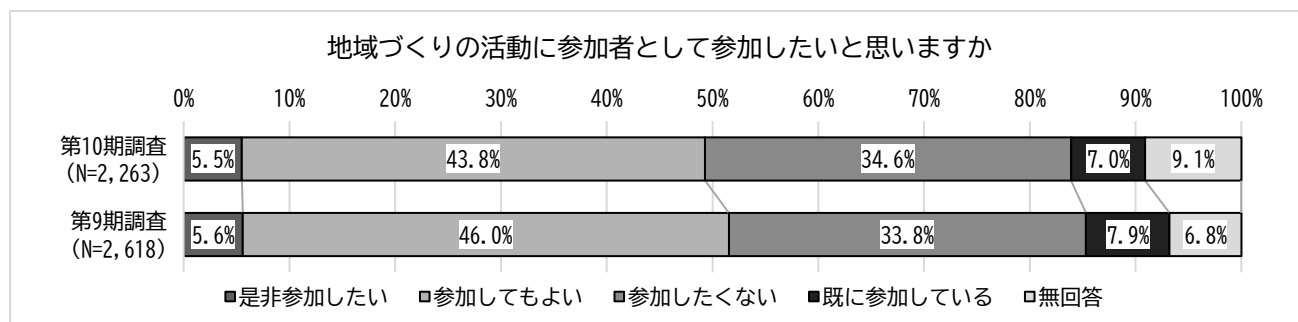
「参加したい」は前期高齢者が 59.7%に対し、後期高齢者は 53.9%と、前期高齢者が後期高齢者を 5.8 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「参加したい」はひとり暮らし以外が 57.6%に対し、ひとり暮らしは 52.6%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 5.0 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「参加したい」は「介護は不要」が 59.3%に対し、「介護は必要」は 40.4%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 18.9 ポイント上回っています。



		回答数	是非 参加したい	参加しても よい	参加したく ない	既に参加 している	無回答	計
	全体	(N=2,263)	5.5%	43.8%	34.6%	7.0%	9.1%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	4.9%	45.1%	38.4%	4.7%	6.9%	100.0%
	女性	(N=1,211)	6.2%	42.7%	31.3%	9.0%	10.8%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	4.4%	48.9%	34.1%	6.4%	6.1%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	6.4%	40.1%	34.9%	7.4%	11.1%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	7.7%	38.0%	38.8%	6.9%	8.5%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	5.0%	45.3%	33.7%	7.3%	8.7%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	5.5%	46.3%	32.9%	7.5%	7.7%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	5.2%	29.7%	46.1%	5.5%	13.5%	100.0%

問 5-3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(〇はひとつ)

この問は「是非参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」を合わせた「参加したい」に着目して比較検討します。

① 全体的な傾向と経年変化

「参加したい」は第10期調査が 34.5%に対し、第9期調査は 33.6%と、第10期調査と第9期調査には有意な差はみられません。

② 男女別の傾向

「参加したい」は男性が 36.8%に対し、女性は 32.8%と、男性が女性 4.0 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

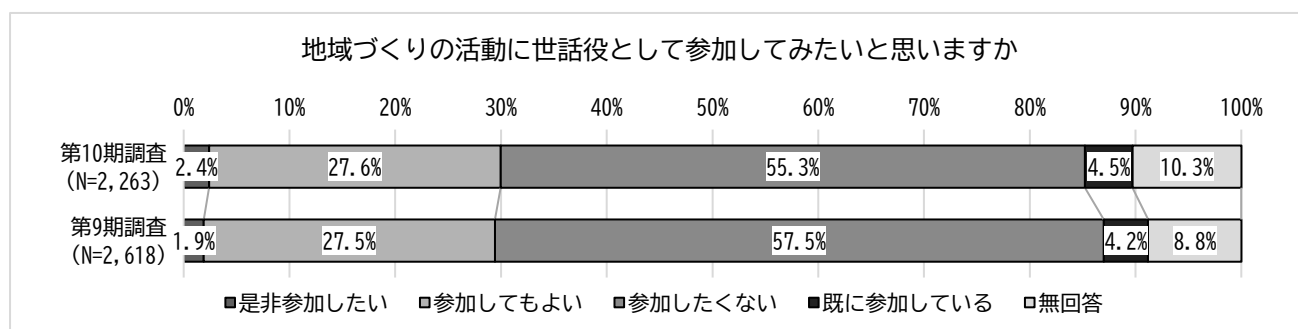
「参加したい」は前期高齢者が37.9%に対し、後期高齢者は 32.3%と、前期高齢者が後期高齢者を 5.6 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「参加したい」はひとり暮らし以外が 35.3%に対し、ひとり暮らしは 30.6%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 4.7 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「参加したい」は「介護は不要」が 36.4%に対し、「介護は必要」は 23.2%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 13.2 ポイント上回っています。



		回答数	是非 参加したい	参加しても よい	参加したく ない	既に参加 している	無回答	計
	全体	(N=2,263)	2.4%	27.6%	55.3%	4.5%	10.3%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	2.1%	30.8%	55.8%	3.9%	7.4%	100.0%
	女性	(N=1,211)	2.6%	25.2%	54.4%	5.0%	12.7%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	2.6%	31.4%	56.0%	3.9%	6.1%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	2.2%	25.1%	54.4%	5.0%	13.3%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	2.5%	23.7%	58.1%	4.4%	11.3%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	2.3%	28.4%	55.0%	4.6%	9.6%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	2.3%	29.3%	54.7%	4.8%	8.9%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	2.3%	17.7%	61.0%	3.2%	15.8%	100.0%

考察

1. 活発な社会参加の実態と、要介護化や「ひとり暮らし」による「つながりの弱さ」

現在参加している活動としては「町内会・自治会(40.3%)」がもっとも多く、次いで「収入のある仕事(30.9%)」「趣味関係のグループ(26.6%)」となっており、全体として社会参加が活発に行われています。特に「いきいき百歳体操など」への参加は女性(28.2%)や後期高齢者(24.5%)で高いという特徴があります。しかし、「介護が必要」になるとすべてのグループ活動への参加率が少なくなっており、要介護状態になることが地域社会とのつながりの喪失に直結している実態が確認できます。また、家族構成別に見ると、「町内会・自治会」「収入のある仕事」「ボランティアのグループ」など多くの活動において、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を下回っており、単身世帯が社会的なつながりを持ちにくい(孤立しやすい)傾向がみられます。

2. 参加を阻害する要因:「関心のミスマッチ」や「健康不安」、単身世帯の「情報へのアクセスの弱さ」

活動に参加していない理由として、全体では「関心のある行事や活動がない(23.9%)」や「忙しい(19.3%)」が上位に挙がっています。また、「健康状態に自信がない」は後期高齢者が前期高齢者を10.7ポイント、「介護は必要」が「介護は不要」を35.5ポイント上回っており、単なる興味・関心の問題だけでなく、高齢化や身体的な衰えや不安が社会参加への大きな障壁となっていることがわかります。さらに、通いの場(いきいき百歳体操等)の認知度について、ひとり暮らしは「ほとんど知らない」が23.4%にのぼり、ひとり暮らし以外(14.8%)を大きく上回っています。同居家族からの情報ルートがない単身世帯において、地域の活動情報が届きにくい「情報格差」が存在していることが推察されます。

3. 地域活動に対する高い「潜在的参加意欲」と、単身世帯にとっての「通いの場」の重要な役割

今後の地域づくり活動への参加意向については、参加者として「参加したい」と答えた割合が全体で56.3%と半数を超えています。さらに、企画・運営を行う「世話役」としての参加意向についても、全体で34.5%の方が前向きな回答をしており、地域貢献や社会参加に対する高齢者の潜在的な意欲の高さがうかがえます。一方、ひとり暮らしの高齢者は、これらの参加意欲・世話役意欲ともに同居家族ありの層を下回っています。しかし、実際の活動参加状況を見ると、「いきいき百歳体操など、介護予防のための通いの場」への参加割合に限っては、ひとり暮らし(24.2%)がひとり暮らし以外(20.7%)を上回っています。このことから、一般的な地域活動へのハードルを感じやすい単身世帯にとって、身近な「通いの場」が、運動機能の維持だけでなく、貴重な「社会との接点」や「孤立防止・見守りの場」として重要な役割を果たしていることが示唆されます。

【第10期計画検討に向けた検討課題】

高齢者が誘い合って参加する等の「人と人とのつながりの再構築」をいかに図っていくかが重要なテーマとなります。健康で意欲のある前期高齢者層に対しては、多様な関心に応える活動の場や役割(就労や世話役など)を創出・マッチングしていく支援が求められます。同時に、後期高齢者や要介護層など健康状態に不安がある方でも孤立することなく参加し続けられるよう、活動場所へのアクセスの改善(移送支援等)や、多様な主体が安心して受け入れられるバリアフリーな「通いの場」の整備など、社会参加への物理的・心理的ハードルを下げる施策を重点的に検討していく必要があります。また、孤立リスクが高く情報が届きにくいひとり暮らし高齢者に対しては、見守りネットワークを通じた直接的なアウトリーチ(情報提供や参加の働きかけ)が重要です。

また、「いきいき百歳体操等の通いの場」への参加者はひとり暮らし高齢者がひとり暮らし以外の高齢者を上回っており、「いきいき百歳体操等の通いの場」がひとり暮らし高齢者の地域参加への重要な受け皿となっていると考えられることから、「いきいき百歳体操」のさらなる充実と参加促進を図ることが重要です。

問6 就労について

問 6-1 現在のあなたの就労状態はどれですか。(〇はいくつでも)

① 全体的な傾向

「引退した」が46.8%でもっとも多く、次いで「非常勤」が16.9%、「自営業」が11.9%となっています。

② 男女別の傾向

「その他」を除いて、男性は「引退した」が51.8%でもっとも多く、次いで「自営業」が16.3%、「非常勤」が15.5%となっており、女性は「引退した」が42.3%でもっとも多く、次いで「非常勤」が18.2%、「職に就いたことがない」が8.5%となっています。

③ 年齢区分別の傾向

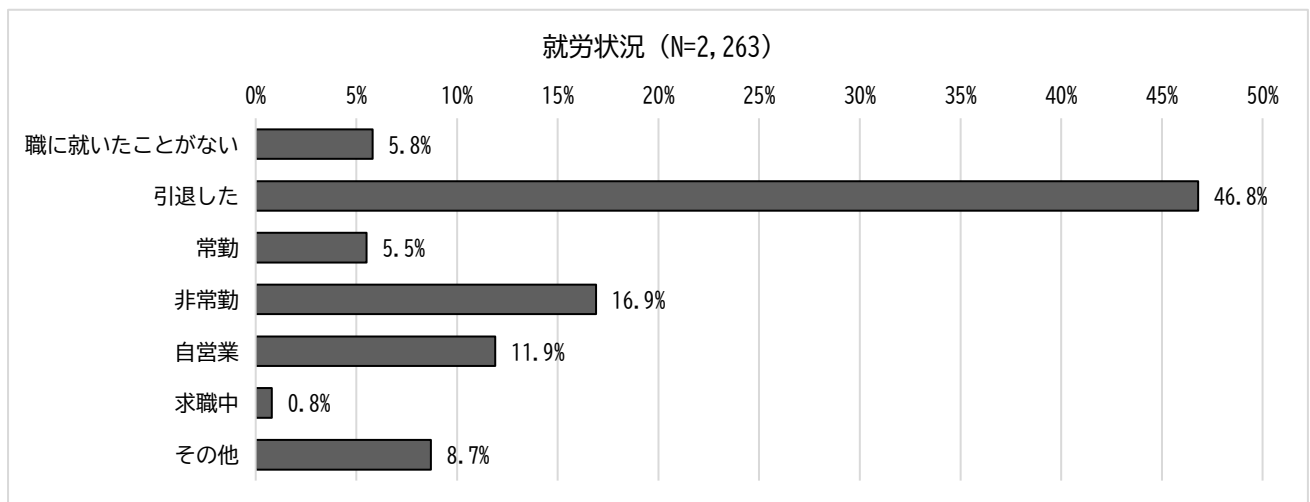
前期高齢者は「引退した」が39.7%でもっとも多く、次いで「非常勤」が28.8%、「自営業」が11.6%となっており、後期高齢者は「引退した」が51.8%でもっとも多く、次いで「自営業」が12.3%、「非常勤」が8.3%となっています。

④ 家族構成別の傾向

ひとり暮らしは「引退した」が46.3%でもっとも多く、次いで「非常勤」が13.5%、「自営業」が9.6%となっており、ひとり暮らし以外は「引退した」が47.1%でもっとも多く、次いで「非常勤」が17.7%、「自営業」が12.2%となっています。

⑤ 介護状況別の傾向

「その他」を除いて、介護は不要は「引退した」が46.2%でもっとも多く、次いで「非常勤」が19.1%、「自営業」が12.8%となっており、「介護は必要」は引退したが51.9%でもっとも多く、次いで「職に就いたことがない」が12.6%、「自営業」が6.8%となっています。



		回答数	職に就いた ことがない	引退した	常勤	非常勤	自営業	求職中	その他
	全体	(N=2,263)	5.8%	46.8%	5.5%	16.9%	11.9%	0.8%	8.7%
性別	男性	(N=1,030)	2.8%	51.8%	7.8%	15.5%	16.3%	1.2%	6.4%
	女性	(N=1,211)	8.5%	42.3%	3.5%	18.2%	8.3%	0.4%	10.6%
年齢 区分	前期高齢者	(N=949)	3.0%	39.7%	10.0%	28.8%	11.6%	1.4%	7.7%
	後期高齢者	(N=1,292)	8.0%	51.8%	2.1%	8.3%	12.3%	0.3%	9.4%
家族 構成	ひとり暮らし	(N=363)	7.2%	46.3%	3.6%	13.5%	9.6%	1.4%	8.8%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	5.5%	47.1%	5.9%	17.7%	12.2%	0.7%	8.6%
介護 状況	介護は不要	(N=1,875)	4.8%	46.2%	6.1%	19.1%	12.8%	0.9%	7.9%
	介護は必要	(N=310)	12.6%	51.9%	1.9%	4.2%	6.8%	0.0%	13.9%

問6-1で「2. 引退した」と回答した方への質問

問 6-1-1 あなたはいつ引退しましたか。

① 全体的な傾向

「10年以内」が 38.4%でもっとも多く、次いで「10～20年以内」が 27.0%、「20年以上前」が 25.6%となっています。

② 男女別の傾向

「10年以内」は男性が 42.7%に対し、女性は 33.8%と、男性が女性を 8.9 ポイント上回り、「20年以上前」は女性が 28.9%に対し、男性は 22.5%と、女性が男性を 6.4 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

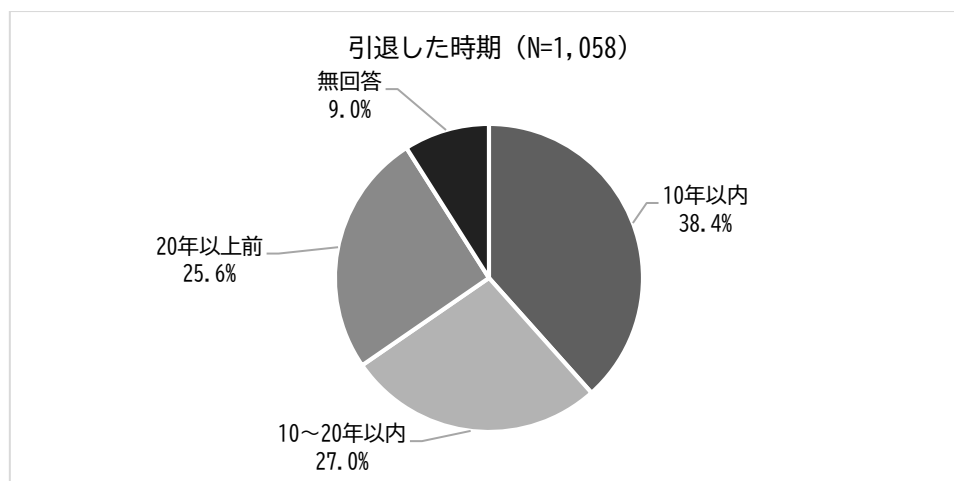
「10年以内」は前期高齢者が 58.4%に対し、後期高齢者は 27.1%と、前期高齢者が後期高齢者を 31.3 ポイント上回り、「20年以上前」は後期高齢者が 36.3%に対し、前期高齢者は 6.6%と、後期高齢者が前期高齢者を 29.7 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「10～20 年以内」はひとり暮らし以外が 27.4%に対し、ひとり暮らしは 22.6%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 4.8 ポイント上回り、「20年以上前」はひとり暮らしが 31.5%に対し、ひとり暮らし以外は 24.7%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を 6.8 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「10年以内」は「介護は不要」が 41.6%に対し、「介護は必要」は 22.4%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 19.2 ポイント上回り、「20年以上前」は「介護は必要」が 40.4%に対し、「介護は不要」は 23.0%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 17.4 ポイント上回っています。



		回答数	10年以内	10～20年以内	20年以上前	無回答	計
全体		(N=1,058)	38.4%	27.0%	25.6%	9.0%	100.0%
性別	男性	(N=534)	42.7%	27.0%	22.5%	7.9%	100.0%
	女性	(N=512)	33.8%	27.1%	28.9%	10.2%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=377)	58.4%	26.5%	6.6%	8.5%	100.0%
	後期高齢者	(N=669)	27.1%	27.4%	36.3%	9.3%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=168)	36.9%	22.6%	31.5%	8.9%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=868)	39.1%	27.4%	24.7%	8.9%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=867)	41.6%	27.3%	23.0%	8.1%	100.0%
	介護は必要	(N=161)	22.4%	23.6%	40.4%	13.7%	100.0%

考察

1. 前期高齢者の半数が就労を継続している実態

前期高齢者は、「常勤(10.0%)」「非常勤(28.8%)」「自営業(11.6%)」を合わせた就労者の割合は50.4%に達しており、「引退した(39.7%)」を上回っています。前期高齢者は「働くこと」が依然として主要な生活の一部であり、高い就労意欲と能力を保持していることがデータから確認できます。

2. 後期高齢期における「自営業」の重要な役割

後期高齢者になると「引退した」割合が51.8%と半数を超えますが、それでもなお22.7%の方が就労を継続しています。注目すべきは、後期高齢者の就労形態は「自営業(12.3%)」が「非常勤(8.3%)」や「常勤(2.1%)」を上回ってもっとも多くなっている点です。能勢町の地域特性も相まって、農業等を含む自営業に従事する高齢者が多いことが推察されます。

3. 女性やひとり暮らしにおける早期引退と、就労を通じた「社会との接点」の喪失

引退した時期をみると、男性は「10年以内(42.7%)」がもっとも多いのに対し、女性は「10年以内(33.8%)」に次いで「20年以上前(28.9%)」の割合が高くなっています。また、現在の就労状態で「職に就いたことがない」と回答した女性が8.5%存在します(男性は2.8%)。さらに家族構成別に見ると、引退時期が「20年以上前」の割合はひとり暮らしが31.5%にのぼり、ひとり暮らし以外(24.7%)を6.8ポイント上回っています。現在の就労状態においても、ひとり暮らしは「非常勤(13.5%)」「自営業(9.6%)」がいずれも同居家族ありの層(それぞれ17.7%、12.2%)を下回っています。女性はライフイベント等により早期に家庭に入るケースも多く、その後、配偶者との死別等で「ひとり暮らし」となる傾向があると考えられま

す。結果として、単身世帯の高齢者は長期間にわたり就労を通じた社会参加の経験や社会との接点を持たないまま生活しており、これが孤立リスクを高める一因になっていると推察されます。

【第10期計画策定に向けた検討課題】

「多様な就労・社会参加機会の創出と支援」が重要なテーマとなります。働く意欲と能力のある前期高齢者に対しては、これまでのキャリアやスキルを地域社会で活かせるよう、シルバー人材センター等を通じた多様な就労機会の提供や、地域活動・ボランティアへの円滑な移行を支援する仕組みの構築が必要です。同時に、後期高齢期においても重要な役割を担っている自営業（農作業等）の継続をサポートする視点も求められます。さらに、就労経験の少ない女性や、早期に引退して就労を通じた社会との接点が乏しい「ひとり暮らし高齢者」が地域社会で孤立しないよう、就労以外の「通いの場」や「趣味のグループ」等を通じたつながりづくりの施策をあわせて検討していく必要があります。

問 7 たすけあいについて

問 7-1 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はいますか。(〇はいくつでも)

① 全体的な傾向と経年変化

「配偶者」が 56.6%でもっとも多く、次いで「友人」が 43.3%、「別居の子ども」が 37.0%となっています。
有意な経年変化はみられません。

② 男女別の傾向

「配偶者」は男性が 68.9%に対し、女性は 46.2%と、男性が女性を 22.7ポイント上回り、「友人」は女性が 52.4%に対し、男性は 32.7%と、女性が男性を 19.7ポイント上回り、「別居の子ども」は女性が 46.2%に対し、男性は 26.7%と、女性が男性を 19.5ポイント上回っています。

また、「そのような人はいない」は男性が 6.7%に対し、女性は 1.0%と、男性が女性を 5.7ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

「配偶者」は前期高齢者が 64.3%に対し、後期高齢者は 51.1%と、前期高齢者が後期高齢者を 13.2ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

ひとり暮らしは「友人」が 55.1%でもっとも多く、次いで「別居の子ども」が 44.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 28.7%となっています。

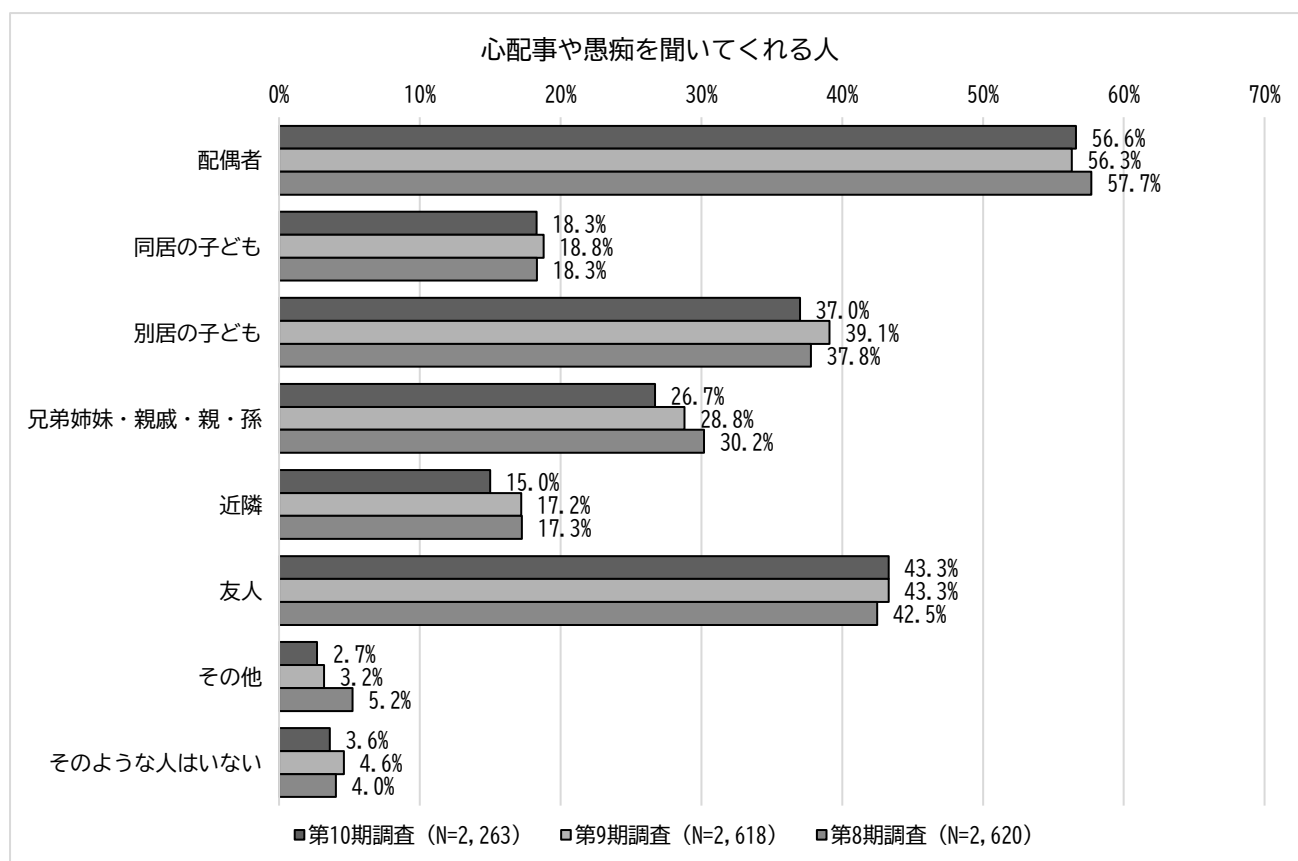
ひとり暮らし以外は「配偶者」が 67.7%でもっとも多く、次いで「友人」が 41.2%、「別居の子ども」が 35.8%となっています。

⑤ 介護状況別の傾向

「配偶者」は「介護は不要」が 61.4%に対し、「介護は必要」は 31.6%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 29.8ポイント上回り、「友人」は「介護は不要」が 46.2%に対し、「介護は必要」は 28.4%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 17.8ポイント上回っています。

また、「そのような人はいない」は「介護は必要」が 7.4%に対し、「介護は不要」は 2.9%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 4.5ポイント上回っています。

また、「そのような人はいない」はひとり暮らしが 10.2%に対し、ひとり暮らし以外は 2.3%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を 7.9ポイント上回っています。



		回答数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
性別	全体	(N=2,263)	56.6%	18.3%	37.0%	26.7%	15.0%	43.3%	2.7%	3.6%
	男性	(N=1,030)	68.9%	14.0%	26.7%	18.3%	11.6%	32.7%	2.7%	6.7%
	女性	(N=1,211)	46.2%	21.9%	46.2%	34.0%	17.8%	52.4%	2.8%	1.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	64.3%	15.5%	35.3%	28.6%	13.3%	48.1%	2.6%	4.3%
	後期高齢者	(N=1,292)	51.1%	20.3%	38.6%	25.5%	16.2%	39.9%	2.9%	3.1%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	2.8%	1.9%	44.4%	28.7%	21.2%	55.1%	4.4%	10.2%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	67.7%	21.2%	35.8%	26.3%	13.8%	41.2%	2.4%	2.3%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	61.4%	17.5%	37.3%	27.7%	15.1%	46.2%	2.2%	2.9%
	介護は必要	(N=310)	31.6%	21.6%	38.1%	22.6%	13.2%	28.4%	6.1%	7.4%

問 7-2 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はいますか。(○はいいくつでも)

① 全体的な傾向と経年変化

「配偶者」が 53.9%でもっとも多く、次いで「友人」が 43.0%、「別居の子ども」が 33.8%となっています。
有意な経年変化はみられません。

② 男女別の傾向

「配偶者」は男性が 66.8%に対し、女性は 43.3%と、男性が女性を 23.5 ポイント上回り、「友人」は女性が 51.3%に対し、男性は 33.3%と、女性が男性を 18.0 ポイント上回り、「別居の子ども」は女性が 40.3%に対し、男性は 26.6%と、女性が男性を 13.7 ポイント上回っています。

また、「そのような人はいない」は男性が 8.4%に対し、女性は 4.8%と、男性が女性を 3.6 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

「配偶者」は前期高齢者が 61.1%に対し、後期高齢者は 48.9%と、前期高齢者が後期高齢者を 12.2 ポイント上回り、「友人」は前期高齢者が 47.4%に対し、後期高齢者は 39.8%と、前期高齢者が後期高齢者を 7.6 ポイント上回っています。

また、「近隣」は後期高齢者が 20.0%に対し、前期高齢者は 14.5%と、後期高齢者が前期高齢者を 5.5 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

ひとり暮らしは「友人」が 49.3%でもっとも多く、次いで「別居の子ども」が 34.2%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 27.8%となっています。

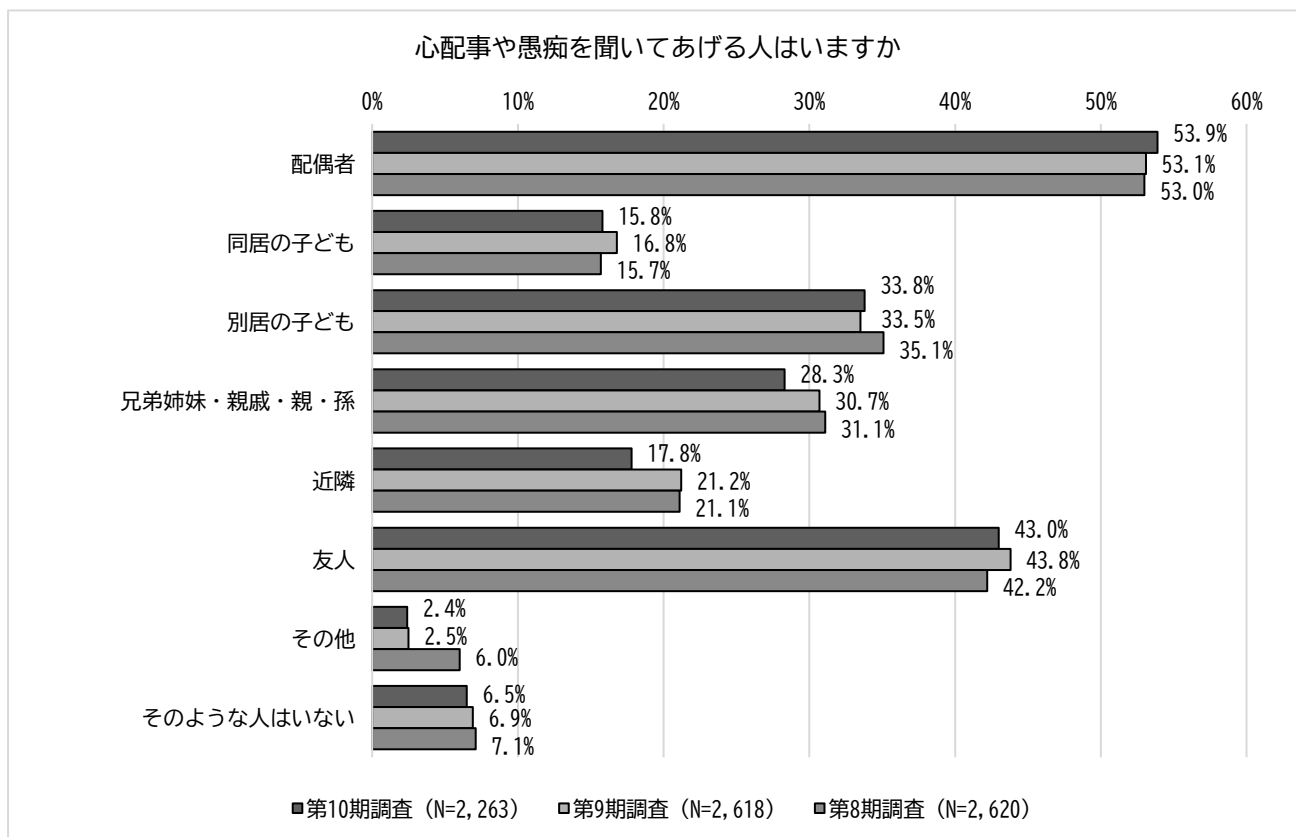
ひとり暮らし以外は「配偶者」が 64.3%でもっとも多く、次いで「友人」が 41.9%、「別居の子ども」が 34.0%となっています。

また、「そのような人はいない」はひとり暮らしが 14.6%に対し、ひとり暮らし以外は 4.8%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を 9.8 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「配偶者」は「介護は不要」が 58.2%対し、「介護は必要」は 31.3%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 26.9 ポイント上回り、「友人」は「介護は不要」が 45.9%に対し、「介護は必要」は 27.4%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 18.5 ポイント上回り、「別居の子ども」は「介護は不要」が 35.8%に対し、「介護は必要」は 25.2%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 10.6 ポイント上回っています。

また、「そのような人はいない」は「介護は必要」が 18.1%に対し、「介護は不要」は 4.5%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 13.6 ポイント上回っています。



		回答数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
	全体	(N=2,263)	53.9%	15.8%	33.8%	28.3%	17.8%	43.0%	2.4%	6.5%
性別	男性	(N=1,030)	66.8%	13.2%	26.6%	22.1%	14.1%	33.3%	2.3%	8.4%
	女性	(N=1,211)	43.3%	17.9%	40.3%	33.7%	20.8%	51.3%	2.5%	4.8%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	61.1%	14.6%	37.0%	30.7%	14.5%	47.4%	2.2%	5.2%
	後期高齢者	(N=1,292)	48.9%	16.6%	31.8%	26.7%	20.0%	39.8%	2.6%	7.4%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	3.9%	1.7%	34.2%	27.8%	22.6%	49.3%	3.3%	14.6%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	64.3%	18.3%	34.0%	28.4%	17.0%	41.9%	2.2%	4.8%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	58.2%	15.5%	35.8%	29.9%	18.1%	45.9%	2.4%	4.5%
	介護は必要	(N=310)	31.3%	17.1%	25.2%	20.0%	15.8%	27.4%	2.6%	18.1%

問 7-3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。

(〇はいくつでも)

① 全体的な傾向と経年変化

「配偶者」が63.4%でもっとも多く、次いで「別居の子ども」が32.0%、「同居の子ども」が23.4%となっています。また、「そのような人はいない」は6.9%となっています。

有意な経年変化はみられません。

② 男女別の傾向

「配偶者」は男性が76.5%に対し、女性は52.3%と、男性が女性を24.2ポイント上回り、「別居の子ども」は女性が36.8%に対し、男性は26.9%と、女性が男性を9.9ポイント上回り、「同居の子ども」は女性が27.6%に対し、男性は18.3%と、女性が男性を9.3ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

「配偶者」は前期高齢者が72.1%に対し、後期高齢者は57.0%と、前期高齢者が後期高齢者を15.1ポイント上回り、「別居の子ども」は後期高齢者が35.5%に対し、前期高齢者は27.8%と、後期高齢者が前期高齢者を7.7ポイント上回り、「同居の子ども」は後期高齢者が25.9%に対し、前期高齢者は19.8%と、後期高齢者が前期高齢者を6.1ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

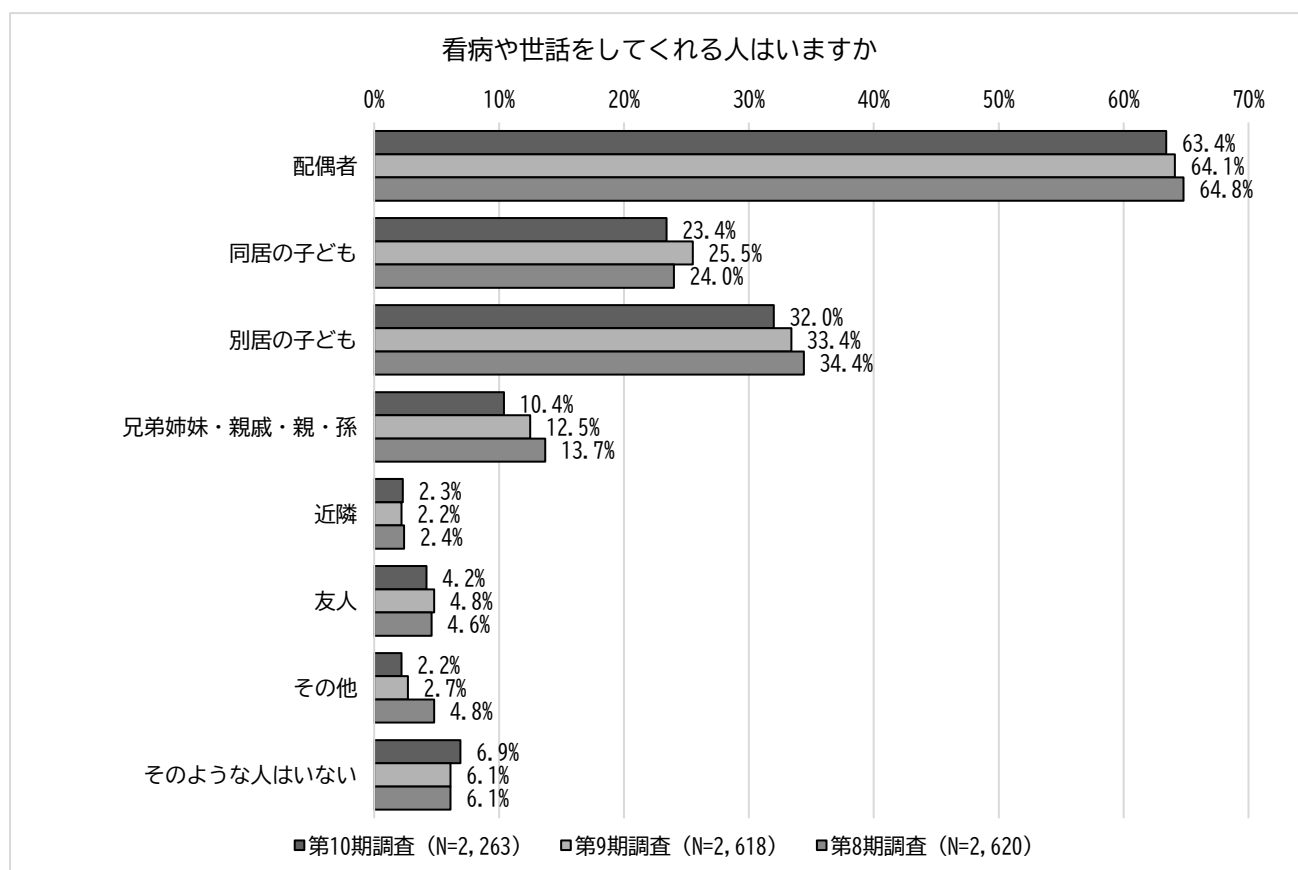
ひとり暮らしは「別居の子ども」が49.3%でもっとも多く、次いで「そのような人はいない」が25.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が12.9%となっています。

ひとり暮らし以外は「配偶者」が75.6%でもっとも多く、次いで「別居の子ども」が28.8%、「同居の子ども」が27.1%となっています。

また、「そのような人はいない」はひとり暮らしが25.6%に対し、ひとり暮らし以外は3.3%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を22.3ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「配偶者」は「介護は不要」が68.3%対し、「介護は必要」は38.7%と、「介護は不要」が「介護は必要」を29.6ポイント上回り、「別居の子ども」は「介護は必要」が38.1%に対し、「介護は不要」は31.4%と、「介護は必要」が「介護は不要」を6.7ポイント上回り、「同居の子ども」は「介護は必要」が27.1%に対し、「介護は不要」は22.5%と、「介護は必要」が「介護は不要」を4.6ポイント上回っています。



		回答数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
性別	全体	(N=2,263)	63.4%	23.4%	32.0%	10.4%	2.3%	4.2%	2.2%	6.9%
	男性	(N=1,030)	76.5%	18.3%	26.9%	8.9%	2.2%	3.5%	1.2%	6.8%
	女性	(N=1,211)	52.3%	27.6%	36.8%	11.8%	2.2%	4.8%	3.1%	7.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	72.1%	19.8%	27.8%	10.5%	1.4%	4.1%	2.0%	7.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	57.0%	25.9%	35.5%	10.4%	2.9%	4.3%	2.4%	6.9%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	4.4%	2.8%	49.3%	12.9%	6.3%	11.0%	3.6%	25.6%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	75.6%	27.1%	28.8%	9.8%	1.3%	2.8%	2.0%	3.3%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	68.3%	22.5%	31.4%	10.2%	2.0%	4.3%	1.9%	6.3%
	介護は必要	(N=310)	38.7%	27.1%	38.1%	12.6%	3.9%	3.5%	4.5%	9.4%

問 7-4 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人はいますか。(○はい/×いいえ)

① 全体的な傾向と経年変化

「配偶者」が 64.2%でもっとも多く、次いで「別居の子ども」が 22.4%、「同居の子ども」が 18.2%となっています。また、「そのような人はいない」は 14.6%となっています。

有意な経年変化はみられません。

② 男女別の傾向

「配偶者」は男性が 71.7%に対し、女性は 57.8%と、男性が女性を 13.9 ポイント上回り、「別居の子ども」は女性が 26.8%に対し、男性は 17.8%と、女性が男性を 9.0 ポイント上回り、「同居の子ども」は女性が 21.0%に対し、男性は 14.5%と、女性が男性を 6.5 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

「配偶者」は前期高齢者が72.0%に対し、後期高齢者は58.5%と、前期高齢者が後期高齢者を13.5ポイント上回り、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」は前期高齢者が21.7%に対し、後期高齢者は13.2%と、前期高齢者が後期高齢者を8.5ポイント上回り、「別居の子ども」は前期高齢者が26.8%に対し、後期高齢者は19.6%と、前期高齢者が後期高齢者を7.2ポイント上回っています。

また、「そのような人はいない」は後期高齢者が17.6%に対し、前期高齢者は10.6%と後期高齢者が前期高齢者を7.0ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

ひとり暮らしは「そのような人はいない」が45.7%でもっとも多く、次いで「別居の子ども」が24.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が16.3%となっています。

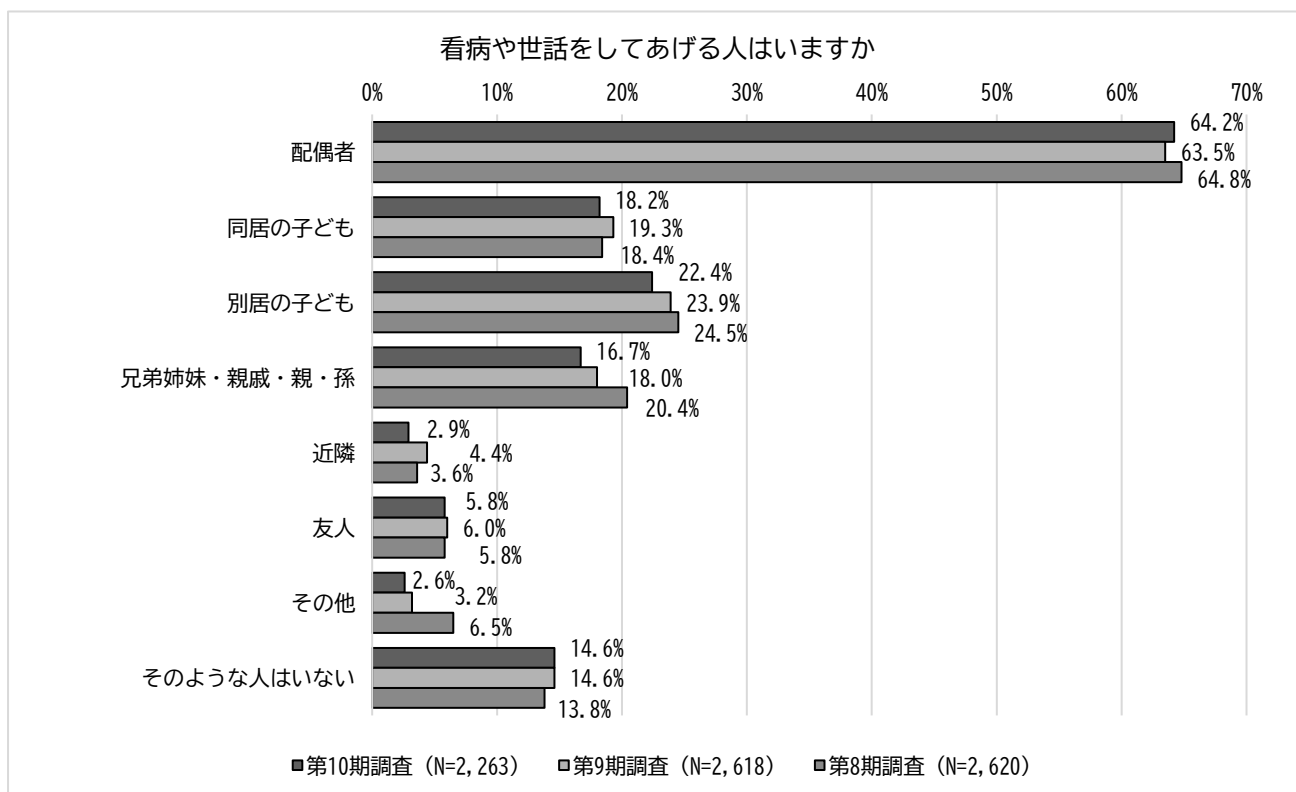
ひとり暮らし以外は「配偶者」が76.4%がもっとも多く、次い「別居の子ども」が22.3%、「同居の子ども」が21.3%となっています。

また、「そのような人はいない」はひとり暮らしが45.7%に対し、ひとり暮らし以外は8.5%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を37.2ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「配偶者」は「介護は不要」が69.1%対し、「介護は必要」は38.4%と、「介護は不要」が「介護は必要」を30.7ポイント上回り、「別居の子ども」は「介護は不要」が24.5%に対し、「介護は必要」は12.6%と、「介護は必要」が「介護は不要」を11.9ポイント上回り、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」は「介護は不要」が18.2%に対し、「介護は必要」は10.0%と、「介護は必要」が「介護は不要」を8.2ポイント上回っています。

また、「そのような人はいない」は「介護は必要」が32.6%に対し、「介護は不要」は11.3%と、「介護が必要」が「介護は不要」を21.3ポイント上回っています。



		回答数	配偶者	同居の 子ども	別居の 子ども	兄弟姉妹・ 親戚・ 親・孫	近隣	友人	その他	そのような 人はいない
	全体	(N=2,263)	64.2%	18.2%	22.4%	16.7%	2.9%	5.8%	2.6%	14.6%
性別	男性	(N=1,030)	71.7%	14.5%	17.8%	12.8%	2.3%	3.9%	2.1%	14.1%
	女性	(N=1,211)	57.8%	21.0%	26.8%	20.1%	3.4%	7.5%	3.1%	15.1%
年齢 区分	前期高齢者	(N=949)	72.0%	17.1%	26.8%	21.7%	1.9%	5.2%	2.4%	10.6%
	後期高齢者	(N=1,292)	58.5%	18.7%	19.6%	13.2%	3.6%	6.3%	2.8%	17.6%
家族 構成	ひとり暮らし	(N=363)	4.1%	1.4%	24.0%	16.3%	7.2%	11.8%	3.9%	45.7%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	76.4%	21.3%	22.3%	16.8%	2.1%	4.6%	2.3%	8.5%
介護 状況	介護は不要	(N=1,875)	69.1%	18.6%	24.5%	18.2%	2.7%	6.1%	2.3%	11.3%
	介護は必要	(N=310)	38.4%	15.5%	12.6%	10.0%	4.5%	3.9%	4.5%	32.6%

問 7-5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する人はいますか。(〇はいくつでも)

① 全体的な傾向と経年変化

「そのような人はいない」が32.6%でもっとも多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が29.7%、「地域包括支援センター・役場」が16.5%、「社会福祉協議会・民生委員」が15.9%となっています。

経年変化をみると、「そのような人はいない」は第8期調査の37.6%から第10期調査は32.6%へと、5.0ポイント減少し、「地域包括支援センター・役場」は第8期調査の11.5%から第10期調査は16.5%へと、5.0ポイント増加しています。

② 男女別の傾向

「自治会・町内会・老人クラブは男性が11.9%に対し、女性は5.9%と、男性が女性を6.0ポイント上回り、「そのような人はいない」は男性が35.7%に対し、女性は30.1%と、男性が女性を5.6ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

「そのような人はいない」は前期高齢者が36.8%に対し、後期高齢者は29.6%と、前期高齢者が後期高齢者を7.2ポイント上回り、「社会福祉協議会・民生委員」は後期高齢者が18.3%に対し、前期高齢者は12.6%と、後期高齢者が前期高齢者を5.7ポイント上回り、「ケアマネジャー」は後期高齢者が9.5%に対し、前期高齢者は4.7%と、後期高齢者が前期高齢者を4.8%上回っています。

④ 家族構成別の傾向

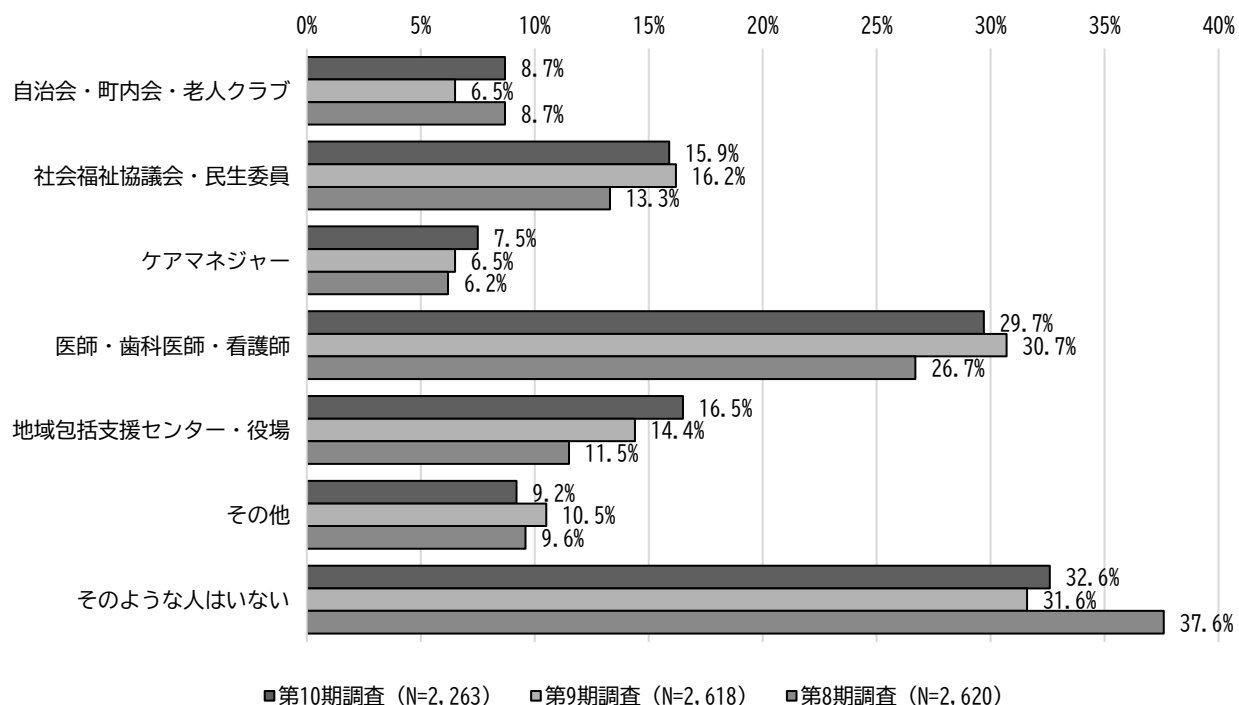
「医師・歯科医師・看護師はひとり暮らし以外が30.8%に対し、ひとり暮らしは23.1%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを7.7ポイント上回り、「地域包括支援センター・役場」はひとり暮らし以外が17.4%に対し、ひとり暮らしは12.7%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを4.7ポイント上回っています。

また、「そのような人はいない」はひとり暮らしが37.2%に対し、ひとり暮らし以外は32.1%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を5.1ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「そのような人はいない」は「介護は不要」が34.2%に対し、「介護は必要」は24.8%と、「介護が必要」が「介護は不要」を9.4ポイント上回り、「ケアマネジャー」は「介護は必要」が25.2%に対し、「介護は不要」は4.5%と、「介護は必要」が「介護は不要」を20.7ポイント上回り、「社会福祉協議会・民生委員」は「介護は必要」が24.8%に対し、「介護は不要」は14.2%と、「介護は必要」が「介護は不要」を10.6ポイント上回っています。

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する人はいますか



	回答数	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役場	その他	そのような人はいない
全体	(N=2,263)	8.7%	15.9%	7.5%	29.7%	16.5%	9.2%	32.6%
性別 男性	(N=1,030)	11.9%	15.1%	5.4%	30.8%	14.5%	9.2%	35.7%
女性	(N=1,211)	5.9%	16.6%	9.2%	28.8%	18.3%	9.1%	30.1%
年齢 前期高齢者	(N=949)	10.0%	12.6%	4.7%	28.8%	15.6%	10.6%	36.8%
区分 後期高齢者	(N=1,292)	7.7%	18.3%	9.5%	30.4%	17.3%	8.0%	29.6%
家族構成 ひとり暮らし	(N=363)	8.0%	18.5%	8.0%	23.1%	12.7%	9.1%	37.2%
構成 ひとり暮らし以外	(N=1,842)	8.8%	15.3%	7.4%	30.8%	17.4%	9.3%	32.1%
介護 介護は不要	(N=1,875)	8.6%	14.2%	4.5%	30.3%	16.2%	9.6%	34.2%
状況 介護は必要	(N=310)	8.7%	24.8%	25.2%	26.1%	18.7%	7.7%	24.8%

問 7-6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「週に何度かある」が 29.9%でもっとも多く、次いで「月に何度かある」が 27.0%、「年に何度かある」が 18.3%、「ほとんどない」が 13.0%となっています。

有意な経年変化はみられません。

② 男女別の傾向

「週に何度かある」は女性が 32.9%に対し、男性は 26.7%と、女性が男性を6.2ポイント上回り、「ほとんどない」は男性が 15.2%に対し、女性は 11.1%と、男性が女性を 4.1ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

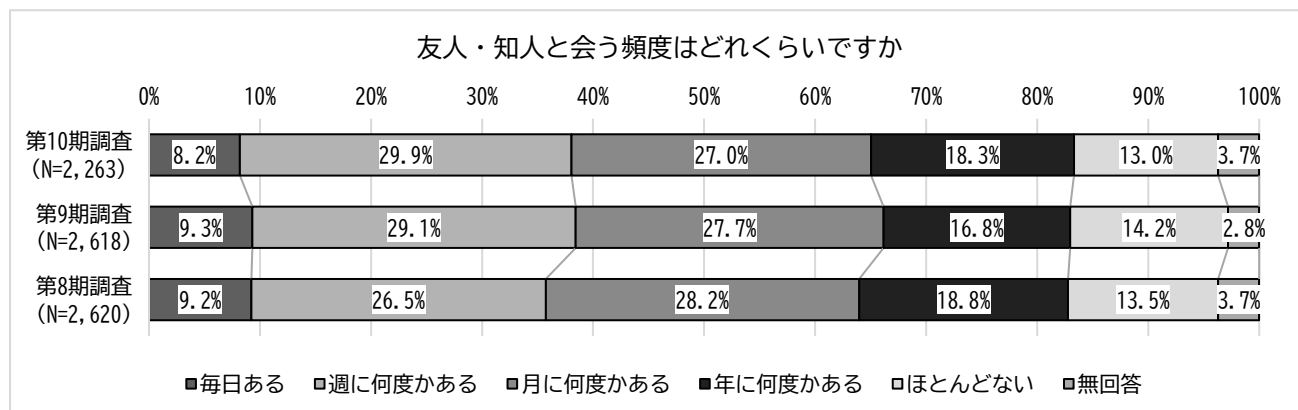
「年に何度かある」は前期高齢者が 20.9%に対し、後期高齢者は 16.2%と、前期高齢者が後期高齢者を 4.7ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「週に何度かある」はひとり暮らしが 33.3%に対し、ひとり暮らし以外は 29.4%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を 3.9 ポイント上回り、「年に何度かある」はひとり暮らし以外が 19.2%に対し、ひとり暮らしは 15.4%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 3.8 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「週に何度かある」は「介護は不要」が31.7%に対し、「介護は必要」は19.0%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 12.7 ポイント上回り、「ほとんどない」は「介護は必要」が28.1%に対し、「介護は不要」は10.3%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 17.8 ポイント上回っています。



		回答数	毎日ある	週に何度 かある	月に何度 かある	年に何度 かある	ほとんど ない	無回答	計
	全体	(N=2,263)	8.2%	29.9%	27.0%	18.3%	13.0%	3.7%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	9.4%	26.7%	26.7%	19.3%	15.2%	2.6%	100.0%
	女性	(N=1,211)	7.3%	32.9%	27.2%	17.2%	11.1%	4.5%	100.0%
年齢 区分	前期高齢者	(N=949)	8.4%	28.6%	27.7%	20.9%	11.6%	2.8%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	8.1%	31.1%	26.4%	16.2%	14.0%	4.2%	100.0%
家族構 成	ひとり暮らし	(N=363)	6.6%	33.3%	27.5%	15.4%	13.5%	3.6%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	8.3%	29.4%	26.8%	19.2%	12.8%	3.5%	100.0%
介護 状況	介護は不要	(N=1,875)	8.2%	31.7%	27.9%	18.8%	10.3%	3.0%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	7.4%	19.0%	22.9%	17.1%	28.1%	5.5%	100.0%

問 7-7 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人に何度会っても1人と数えてください。
(○はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「3～5人」が 25.9%でもっとも多く、次いで「10人以上」が 24.3%、「1～2人」が 22.1%となっています。
有意な経年変化はみられません。

② 男女別の傾向

有意な差はみられません。

③ 年齢区分別の傾向

有意な差はみられません。

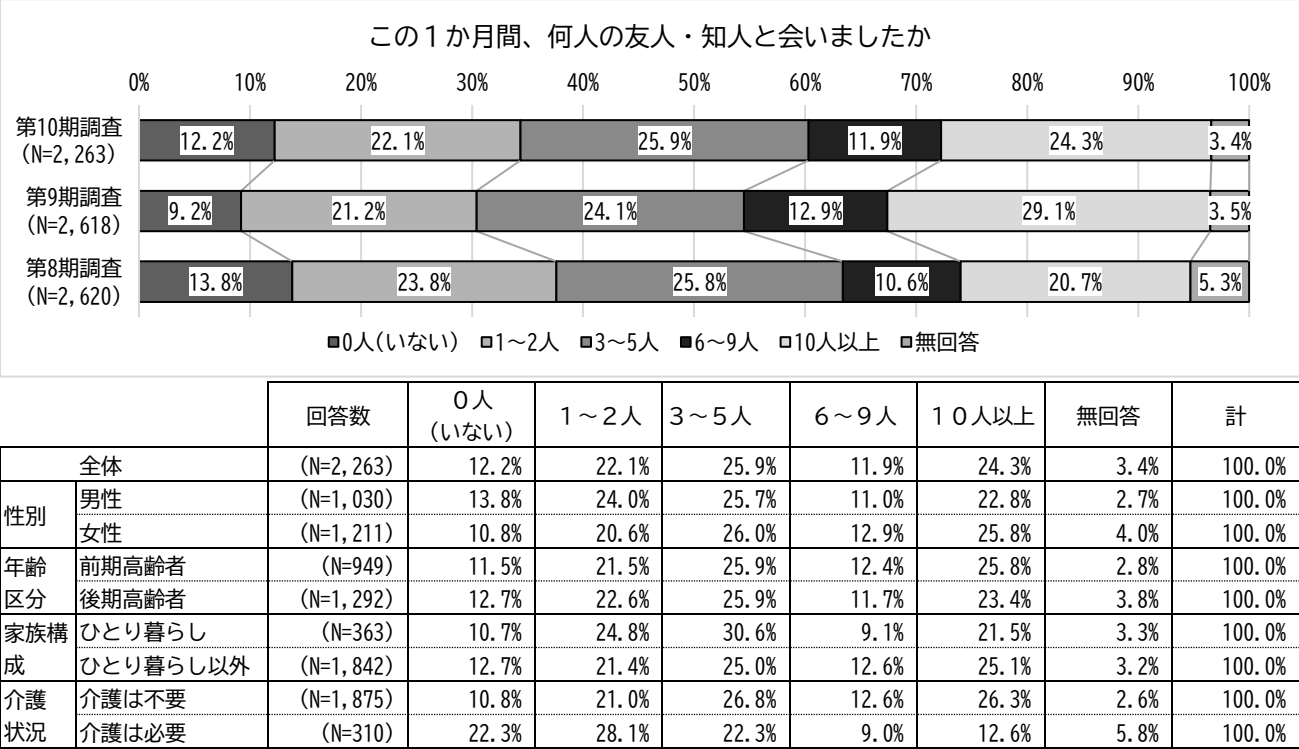
④ 家族構成別の傾向

「3～5人」はひとり暮らしが 30.6%に対し、ひとり暮らし以外は 25.0%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以

外を 5.6 ポイント上回り、「10 人以上」はひとり暮らし以外が 25.1%に対し、ひとり暮らしは 21.5%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 3.6 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「10人以上」は「介護は不要」が 26.3%に対し、「介護は必要」は 12.6%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 13.7 ポイント上回り、「0人(いない)」は「介護は必要」が 22.3%に対し、「介護は不要」は 10.8%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 11.5 ポイント上回り、「1～2人」は「介護は必要」が 28.1%に対し、「介護は不要」は 21.0%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 7.1 ポイント上回っています。



問 7-8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(〇はいくつでも)

① 全体的な傾向と経年変化

「近所・同じ地域の人」が 59.8%でもっとも多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 32.4%、「仕事での同僚・元同僚」が 31.2%となっています。

経年変化をみると、「学生時代の友人」は第8期調査の 11.5%から第10期調査は 16.7%へと、5.85.2 ポイント増加しています。

② 男女別の傾向

「近所・同じ地域の人」は女性が 63.4%に対し、男性は 56.1%と女性が男性を 7.3 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

「仕事での同僚・元同僚」は前期高齢者が 44.5%に対し、後期高齢者は 21.4%と、前期高齢者が後期高齢者を 23.1 ポイント上回り、「学生時代の友人」は前期高齢者が 22.6%に対し、後期高齢者は 12.5%と、前期高齢者が後期高齢者を 10.1 ポイント上回っています。また、「近所・同じ地域の人」は後期高齢者が 62.9%に対し、前期高齢者は 56.2%と、後期高齢者が前期高齢者を 6.7 ポイント上回っています。

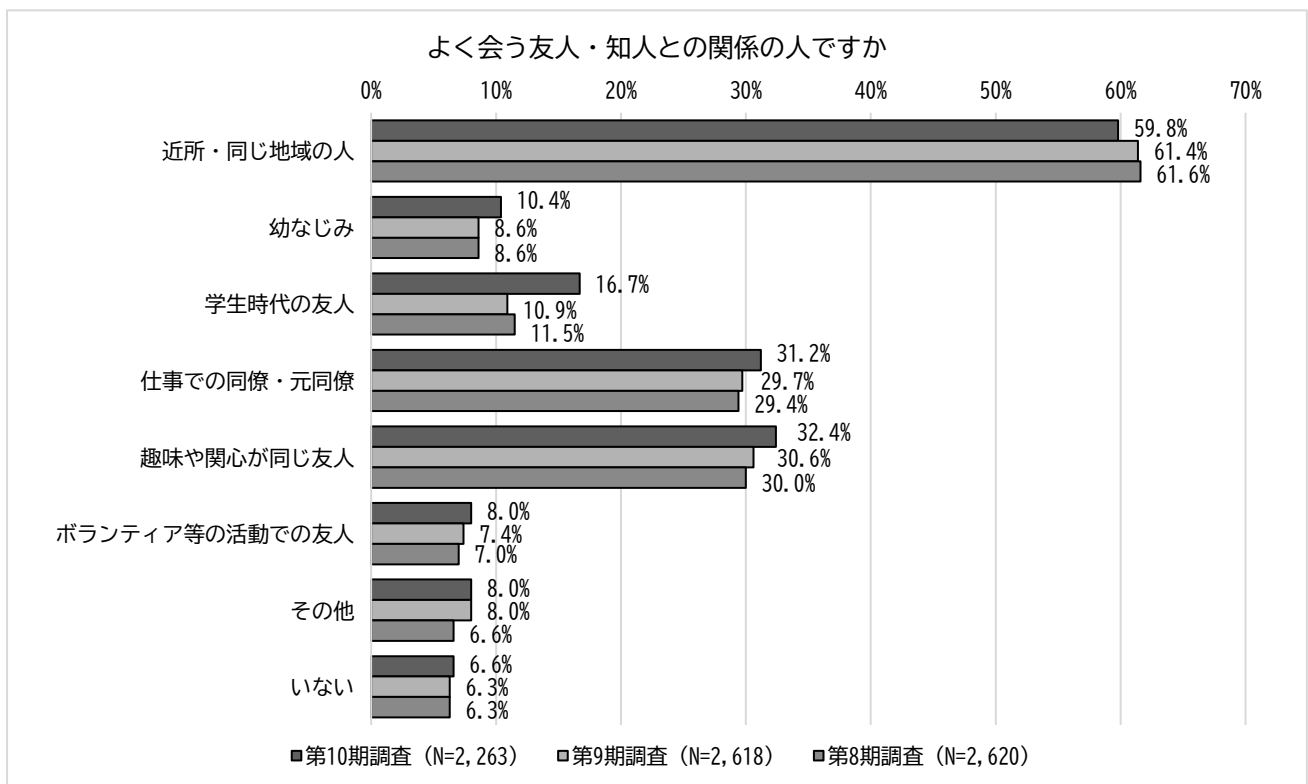
ます。

④ 家族構成別の傾向

「近所・同じ地域の人」はひとり暮らし以外が 61.0%に対し、ひとり暮らしは 55.1%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 5.9 ポイント上回り、「仕事での同僚・元同僚」はひとり暮らし以外が 32.4%に対し、ひとり暮らしは 26.7%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 5.7 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「仕事での同僚・元同僚」は「介護は不要」が 34.3%に対し、「介護は必要」は 14.5%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 19.8 ポイント上回り、「趣味や関心が同じ友人」は「介護は不要」が 35.2%に対し、「介護は必要」は 16.1%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 19.1 ポイント上回り、「学生時代の友人」は「介護は不要」が 18.2%に対し、「介護は必要」が 9.7%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 8.5 ポイント上回り、「近所・同じ地域の人」は「介護は不要」が 61.3%に対し、「介護は必要」は 53.2%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 8.1 ポイント上回っています。また、「いない」は「介護は必要」が 13.9%に対し、「介護は不要」は 5.4%と、「介護が必要」が「介護は不要」を 8.5 ポイント上回っています。



		回答数	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない
全体		(N=2,263)	59.8%	10.4%	16.7%	31.2%	32.4%	8.0%	8.0%	6.6%
性別	男性	(N=1,030)	56.1%	11.9%	18.0%	33.0%	31.1%	6.2%	8.2%	7.8%
	女性	(N=1,211)	63.4%	9.0%	15.7%	29.6%	33.5%	9.5%	7.8%	5.5%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	56.2%	11.3%	22.6%	44.5%	32.2%	10.3%	7.6%	5.8%
	後期高齢者	(N=1,292)	62.9%	9.7%	12.5%	21.4%	32.5%	6.3%	8.3%	7.1%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	55.1%	10.2%	16.5%	26.7%	34.2%	7.2%	8.3%	7.7%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	61.0%	10.6%	16.9%	32.4%	32.3%	8.1%	7.8%	6.4%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	61.3%	10.8%	18.2%	34.3%	35.2%	8.5%	7.4%	5.4%
	介護は必要	(N=310)	53.2%	9.4%	9.7%	14.5%	16.1%	4.8%	11.9%	13.9%

考察

1. 家族・配偶者への依存と、単身世帯(ひとり暮らし)における深刻な「サポートの空白」

心配事や愚痴を聞いてくれる人、病気で寝込んだ際の看病をしてくれる人は、全体としては「配偶者」や「別居の子ども」が上位を占めており、家族への依存度が高くなっています。しかし家族構成別に見ると、ひとり暮らしの高齢者は同居家族のいる層と比較して、情緒的・物理的サポートの欠如が顕著に表れています。特に、病気で寝込んだときに看病や世話をしてくれる人が「いない」割合は、ひとり暮らし以外が 3.3% であるのに対し、ひとり暮らしでは 25.6%と突出して高くなっています。また、心配事や愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人が「いない」割合も、ひとり暮らしがいずれも同居家族ありを大きく上回っており、単身世帯においていざという時に頼れる人がいない「サポートの空白(孤立)」が生じていると推察されます。

2. 家族以外の「公的・専門的な相談窓口」とのつながりの弱さと単身世帯の孤立

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する人について、「そのような人はいない」と回答した方が全体の32.6%にのぼり、最多となっています。これを家族構成別に見ると、「医師・歯科医師・看護師」や「地域包括支援センター・役場」に相談する割合はひとり暮らしの方が同居家族ありの層よりも低くなっています。逆に「そのような人はいない」割合はひとり暮らし(37.2%)が同居家族あり(32.1%)を上回っています。家族のサポートが得られにくい単身世帯ほど、公的機関や地域の専門職といったセーフティネットにもつながっていない(つながりにくい)という複合的な孤立リスクを抱えていることが課題です。

3. 男性に目立つ孤立リスクと、要介護化に伴う交友関係の縮小・断絶

属性別に見ると、情緒的な支援(ストレスや困難な状況にある人の感情に寄り添い、共感や受容、慰め、励ましを提供する)ネットワークを持たない高齢者は男性に多く、心配事を聞いてくれる人や聞いてあげる人が「いない」割合は男性が女性を上回っています。また、友人や知人と会う頻度について、全体では「年に何度かある(18.3%)」と「ほとんどない(13.0%)」を合わせて約 3 割強の高齢者が友人等とあまり会っていない状況ですが、特に「介護が必要」な層では「ほとんどない」が 28.1%(「介護は不要」は 10.3%)に達し、この 1 か月間に会った友人・知人が「0人(いない)」という方も 22.3%(「介護は不要」は 10.8%)にのぼります。男性が要介護状態になることは、他者とのつながりの喪失や社会的な孤立のリスクがより高いと言えます。

【第10期計画策定に向けた検討課題】

「社会的孤立の防止」と「誰もがアクセスしやすい相談支援体制の構築」が重要なテーマとなります。いざという時に頼れる家族がいないひとり暮らし高齢者や、社会との接点を失いがちな要介護層、男性高齢者に対して、民生委員や生活支援コーディネーター、地域包括支援センター等が連携した「地域の見守りネットワーク」による状況把握を強力に推進することが不可欠です。同時に、単身世帯等が何かあったときにためらわず専門職を頼れるよう、地域包括支援センター等の相談窓口のアウトリーチ(出向く支援)を含めた周知を強化し、高齢者が日常的に気軽に集い、お互いを気に掛け合える「通いの場」の整備をあわせて推進していくことが求められます。

問 8 健康について

問 8-1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(〇はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「とてもよい」(9.1%)、「まあよい」(67.2%)を合わせた『よい』が 76.3%、「あまりよくない」(17.9%)、「よくない」(3.2%)を合わせた『よくない』は 21.1%となっています。

有意な経年変化はみられません。

② 男女別の傾向

有意な差はみられません。

③ 年齢区分別の傾向

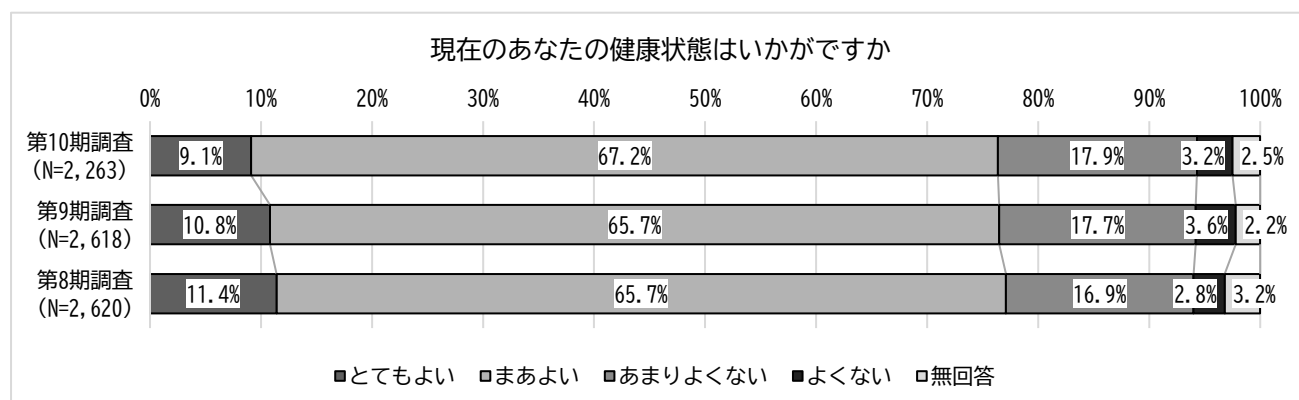
「とてもよい」「まあよい」を合わせた『よい』は前期高齢者が 81.1%に対し、後期高齢者は 72.8%と、前期高齢者が後期高齢者を 8.3 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

有意な差はみられません。

⑤ 介護状況別の傾向

「とてもよい」「まあよい」を合わせた『よい』は「介護は不要」が 82.6%に対し、「介護は必要」は 41.6%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 41.0 ポイント上回っています。



		回答数	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答	計
性別	全体	(N=2,263)	9.1%	67.2%	17.9%	3.2%	2.5%	100.0%
	男性	(N=1,030)	10.1%	65.9%	18.7%	3.9%	1.4%	100.0%
	女性	(N=1,211)	8.3%	68.3%	17.3%	2.7%	3.4%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	12.1%	69.0%	14.6%	2.4%	1.8%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	6.9%	65.9%	20.4%	3.9%	2.9%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	8.0%	66.7%	17.9%	4.4%	3.0%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	9.6%	67.7%	17.7%	3.0%	2.0%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	10.3%	72.3%	14.1%	1.4%	1.8%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	3.2%	38.4%	40.3%	13.5%	4.5%	100.0%

問 8-2 あなたは、現在どの程度幸せですか。(「とても不幸」を 0 点、「とても幸せ」を 10 点として、あてはまるところに○をつけてください)

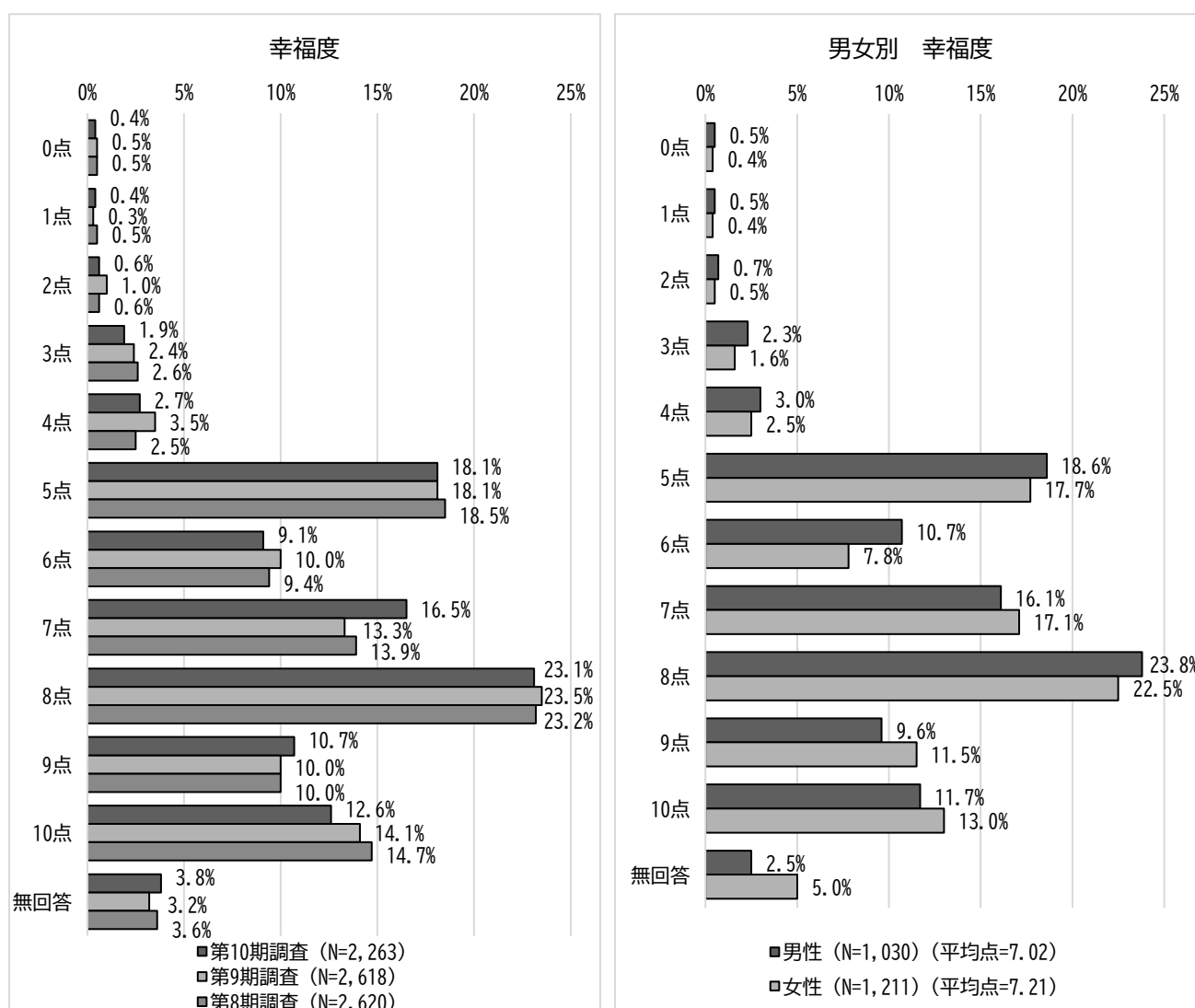
① 全体的な傾向と経年変化

「8点」が 23.1%でもっとも多く、次いで「5点」が 18.1%、「7点」が 16.5%となっており、平均点は 7.13 となっています。

経年変化を見ると、「10点」は第8期調査、第9期調査に比べ、第10期は減少し、「7点」は第8期調査、第9期調査に比べ、第10期は増加しています。

② 男女別の傾向

男性は「8点」が 23.8%でもっとも多く、次いで「5点」が 18.6%、「7点」が 16.1%、女性は「8点」が 22.5%でもっとも多く、次いで「5点」が 17.7%、「7点」が 17.1%となっています。平均点は男性が 7.02、女性が 7.21 でした。



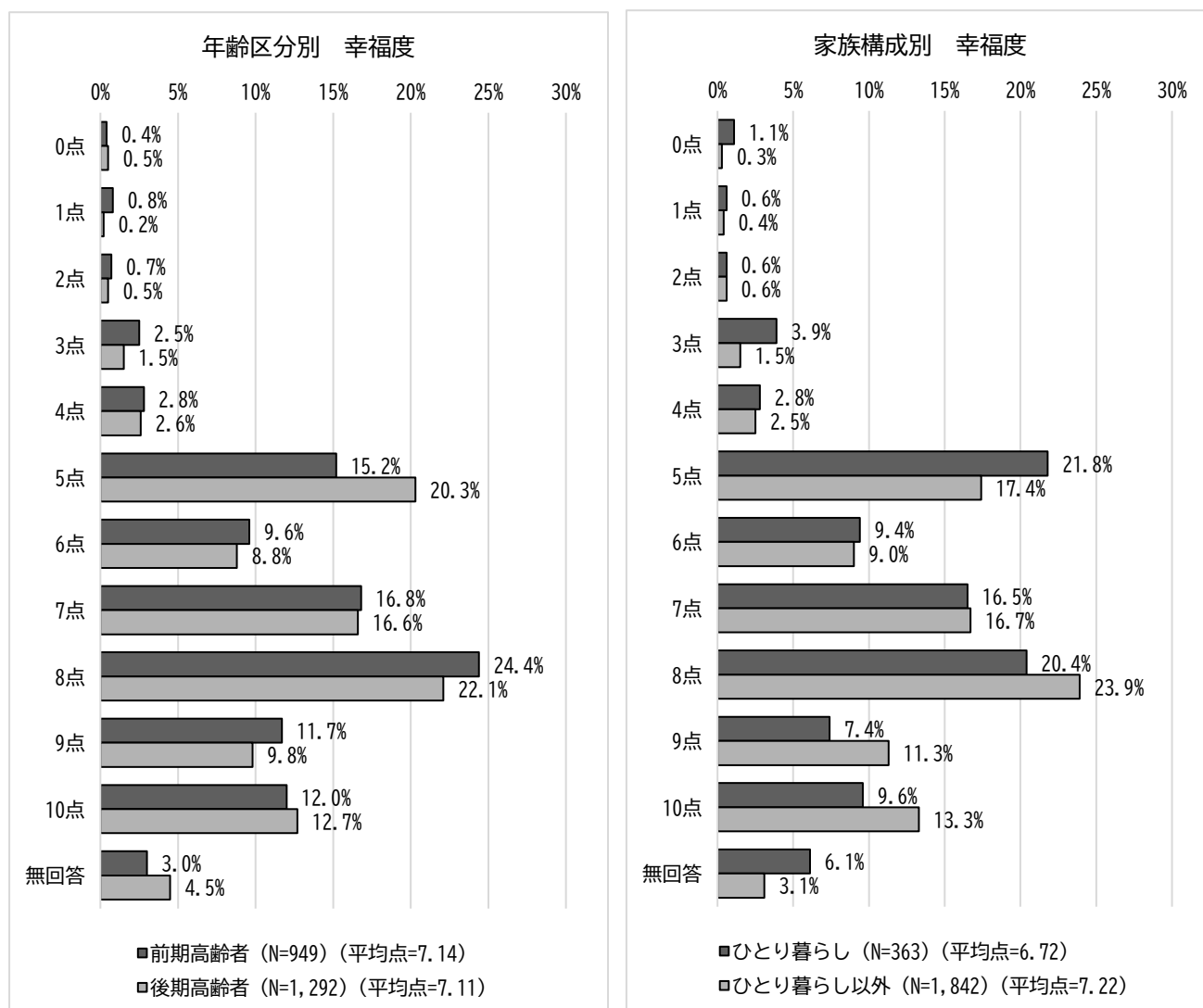
③ 年齢区分別の傾向

前期高齢者は「8点」が 24.4%でもっとも多く、次いで「7点」が 16.8%、「5点」が 15.2%となっており、後期高齢者は「8点」が 22.1%でもっとも多く、次いで「5点」が 20.3%、「7点」が 16.6%となっています。平均点は前期高齢者が 7.14、後期高齢者が 7.11 でした。

「8点」は前期高齢者が24.4%に対し、後期高齢者は22.1%と、前期高齢者が後期高齢者を2.3ポイント上回り、「5点」は後期高齢者が20.3%に対し、前期高齢者は15.2%と、後期高齢者が前期高齢者を5.1ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

ひとり暮らしは「5点」が21.8%でもっとも多く、次いで「8点」が20.4%、「7点」が16.5%となっており、ひとり暮らし以外は「8点」が23.9%でもっとも多く、次いで「5点」が17.4%、「7点」が16.7%となっています。平均点はひとり暮らしが6.72、ひとり暮らし以外が7.22でした。



⑤ 介護状況別の傾向

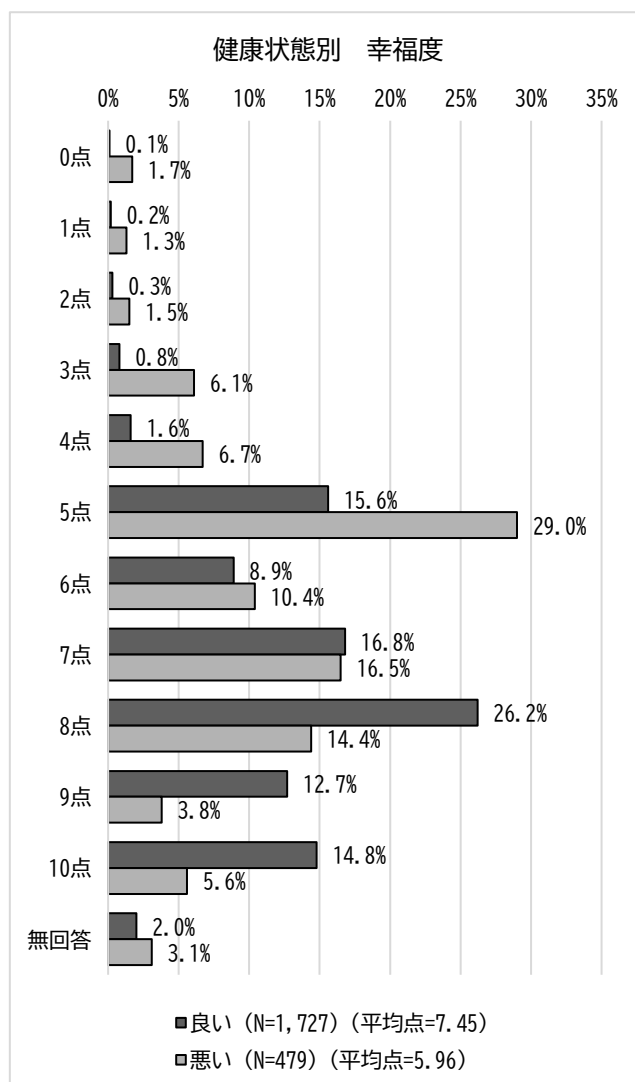
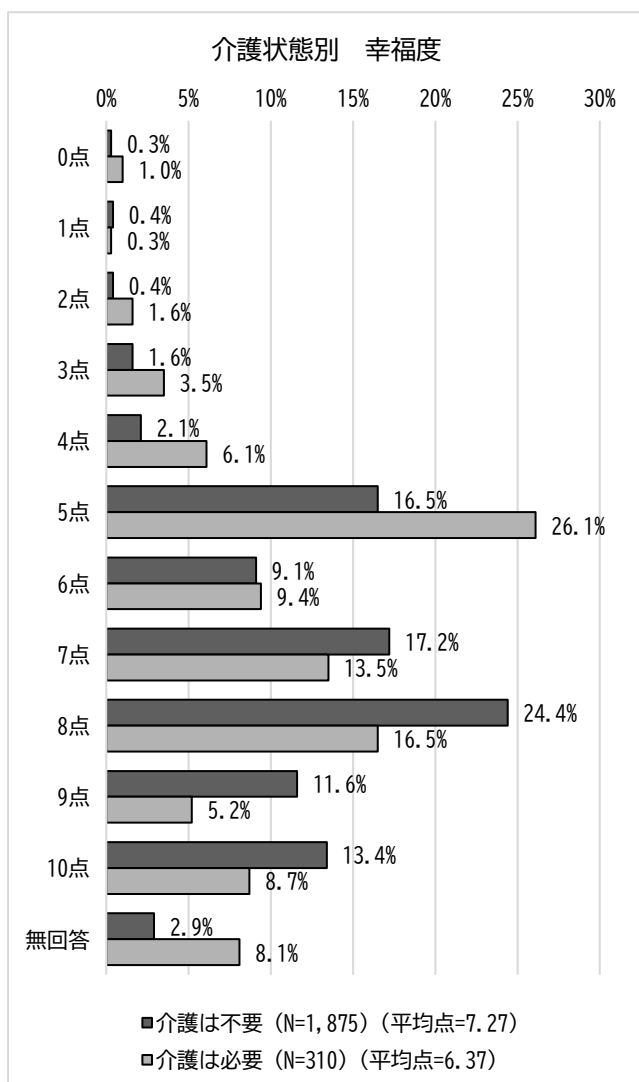
「介護は不要」は「8点」が24.4%でもっとも多く、次いで「7点」が17.2%、「5点」が16.5%となっており、「介護は必要」は「5点」が26.1%でもっとも多く、次いで「8点」が16.5%、「7点」が13.5%となっています。平均点は「介護は不要」が7.27、「介護は必要」は6.37でした。

「5点」は「介護は必要」が26.1%に対し、「介護は不要」は16.5%と、「介護は必要」が「介護は不要」を9.6ポイント上回り、「8点」は「介護は不要」が24.4%に対し、「介護は必要」は16.5%と、「介護は不要」が「介護は必要」を7.9ポイント上回っています。

⑥ 健康状況別の傾向

「良い」は「8点」が 26.2%でもっとも多く、次いで「7点」が 16.8%、「5点」が 15.6%となっており、「悪い」は「5点」が 29.0%でもっとも多く、次いで「7点」が 16.5%、「8点」が 14.4%となっています。平均点は「良い」が 7.45、「悪い」が 5.96 でした。

「8点」は「良い」が 26.2%に対し、「悪い」は 14.4%と、「良い」が「悪い」を 11.8 ポイント上回り、「10点」は「良い」が 14.8%に対し、「悪い」は 5.6%と、「良い」が「悪い」を 9.2 ポイント上回り、「9点」は「良い」が 12.7%に対し、「悪い」は 3.8%と、「良い」が「悪い」を 8.9 ポイント上回っています。また、「5点」は「悪い」が 29.0%に対し、「良い」は 15.6%と「悪い」が「良い」を 13.4 ポイント上回っています。



⑦ 趣味の有無別の傾向

「あり」は「8点」が 25.2%でもっとも多く、次いで「7点」が 17.5%、「5点」が 15.2%となっており、「なし」は「5点」が 27.2%でもっとも多く、次いで「8点」が 18.2%、「7点」が 14.2%となっています。平均点は「あり」が 7.40、「なし」が 6.40 でした。

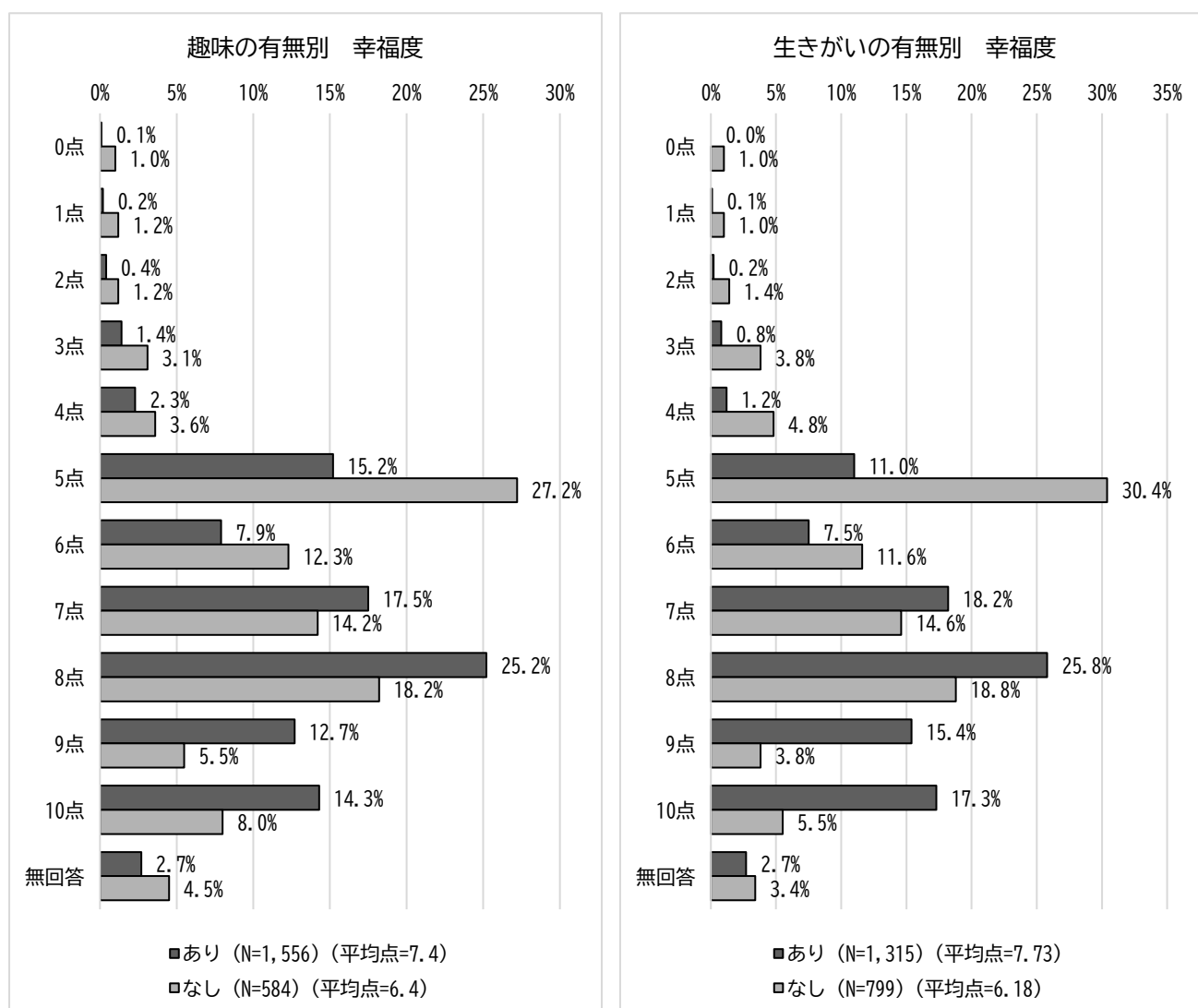
「9点」は「あり」が 12.7%に対し、「なし」は 5.5%で、「あり」が「なし」を 7.2 ポイント上回り、「8点」は「あり」が 25.2%に対し、「なし」は 18.2%と、「あり」が「なし」を 7.0 ポイント上回り、「10点」は「あり」が 14.3%

に対し、「なし」は 8.0%と、「あり」が「なし」を 6.3 ポイント上回っています。また、「5点」は「なし」が 27.2%に対し、「あり」は 15.2%と、「なし」が「あり」を 12.0 ポイント上回っています。

⑧ 生きがいの有無別の傾向

「あり」は「8点」が 25.8%でもっとも多く、次いで「7点」が 18.2%、「10点」が 17.3%となっており、「なし」は「5点」が 30.4%でもっとも多く、次いで「8点」が 18.8%、「7点」が 14.6%となっています。平均点は「あり」が 7.73、「なし」が 6.18 でした。

「10点」は「あり」が 17.3%に対し、「なし」は 5.5%で、「あり」が「なし」を 11.8 ポイント上回り、「9点」は「あり」が 15.4%に対し、「なし」は 3.8%で、「あり」が「なし」を 11.6 ポイント上回り、「8点」は「あり」が 25.8%に対し、「なし」は 18.8%で、「あり」が「なし」を 7.0 ポイント上回っています。また、「5点」は「なし」が 30.4%に対し、「あり」は 11.0%で、「なし」が「あり」を 19.4 ポイント上回っています。



⑨ 地域活動への参加者としての参加意向別の傾向

「参加したい」は「8点」が 24.5%でもっとも多く、次いで「7点」が 18.2%、「5点」が 16.0%となっており、「参加したくない」は「8点」が 22.2%でもっとも多く、次いで「5点」が 21.8%、「7点」が 14.6%となっています。平均点は「参加したい」が 7.33、「参加したくない」が 6.81 でした。

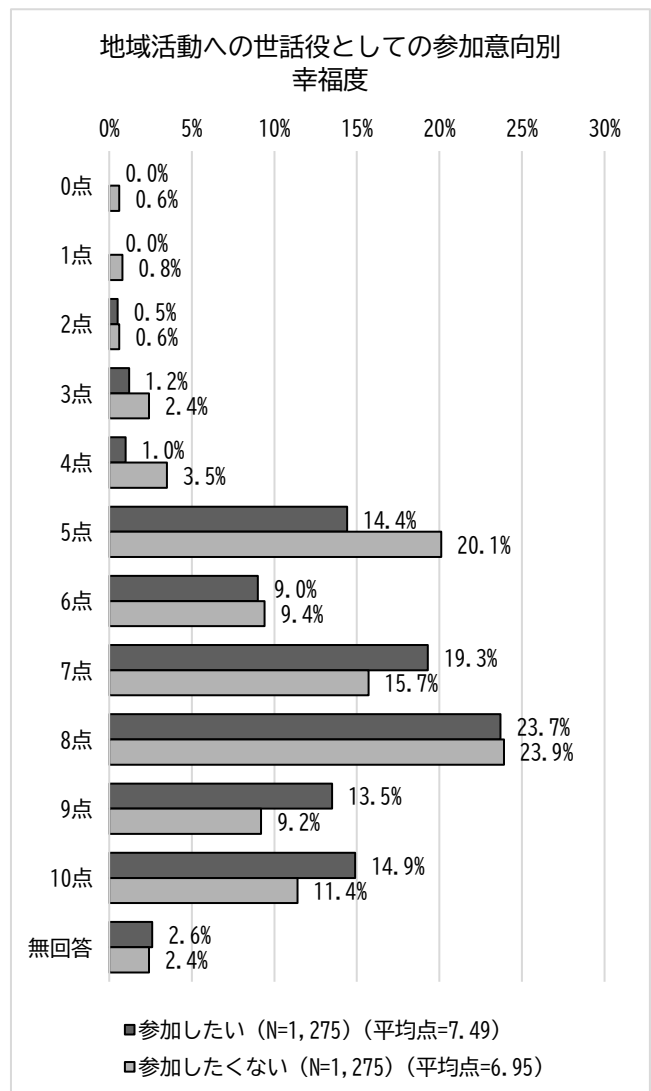
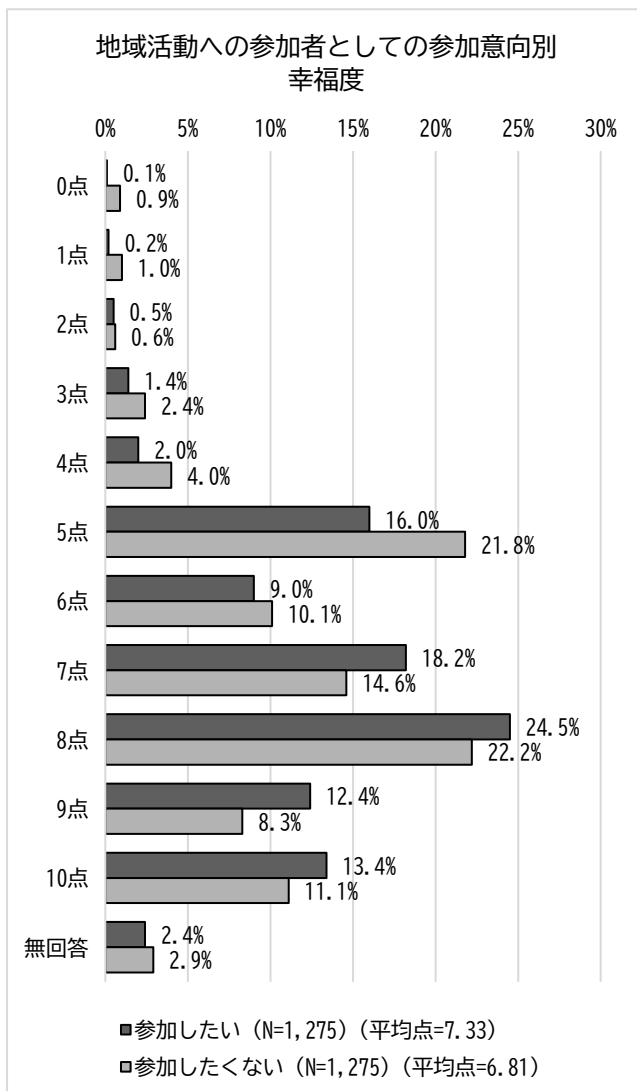
「9点」は「参加したい」が 12.4%に対し、「参加したくない」は 8.3%と、「参加したい」が「参加したくない」

を4.1ポイント上回っています。また、「5点」は「参加したくない」が 21.8%に対し、「参加したい」は 16.0%と、「参加したくない」が「参加したい」を 5.8 ポイント上回っています。

⑩ 地域活動への世話役としての参加意向別の傾向

「参加したい」は「8点」が 23.7%でもっとも多く、次いで「7点」が 19.3%、「10点」が14.9%となっており、「参加したくない」は「8点」が 23.9%でもっとも多く、次いで「5点」が 20.1%、「7点」が 15.7%となっています。平均点は「参加したい」が 7.49、「参加したくない」が 6.95 でした。

「9点」は「参加したい」が 13.5%に対し、「参加したくない」は 9.2%と、「参加したい」が「参加したくない」を 4.3 ポイント上回っています。また、「5点」は「参加したくない」が 20.1%に対し、「参加したい」は 14.4%と、「参加したくない」が「参加したい」を 5.7 ポイント上回っています。



問 8-3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
(○はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「はい」が 40.6%、「いいえ」が 56.2%となっており、有意な経年変化はみられません。

② 男女別の傾向

「はい」は女性が 44.1%に対し、男性は 37.0%と、女性が男性を 7.1 ポイント上回り、「いいえ」は男性が 60.5%に対し、女性は 52.2%と、男性が女性を 8.3 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

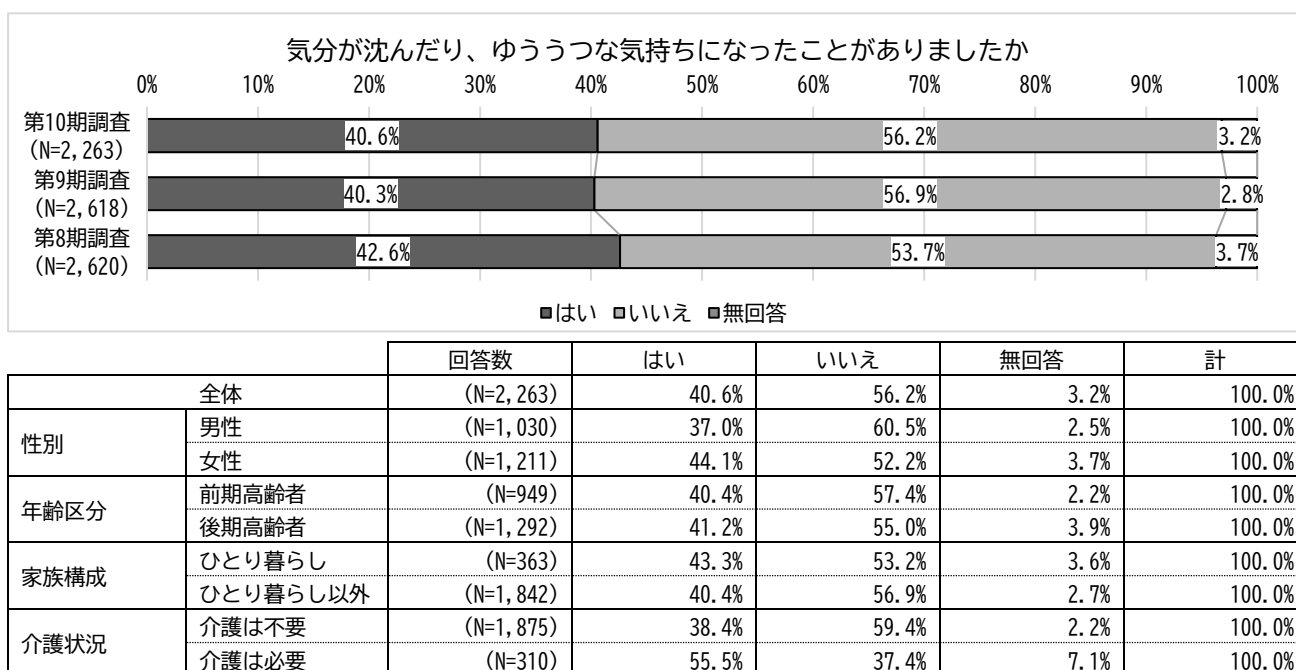
有意な差はみられません。

④ 家族構成別の傾向

「はい」はひとり暮らしが 43.3%に対し、ひとり暮らし以外は 40.4%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を 2.9 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「はい」は「介護は必要」が 55.5%に対し、「介護は不要」は 38.4%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 17.1 ポイント上回り、「いいえ」は「介護は不要」が 59.4%に対し、「介護は不要」は 37.4%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 22.0 ポイント上回っています。



問 8-4 この 1 か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(〇はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「はい」が 25.0%、「いいえ」が 71.7%となっており、有意な経年変化はみられません。

② 男女別の傾向

有意な差はみられません。

③ 年齢区分別の傾向

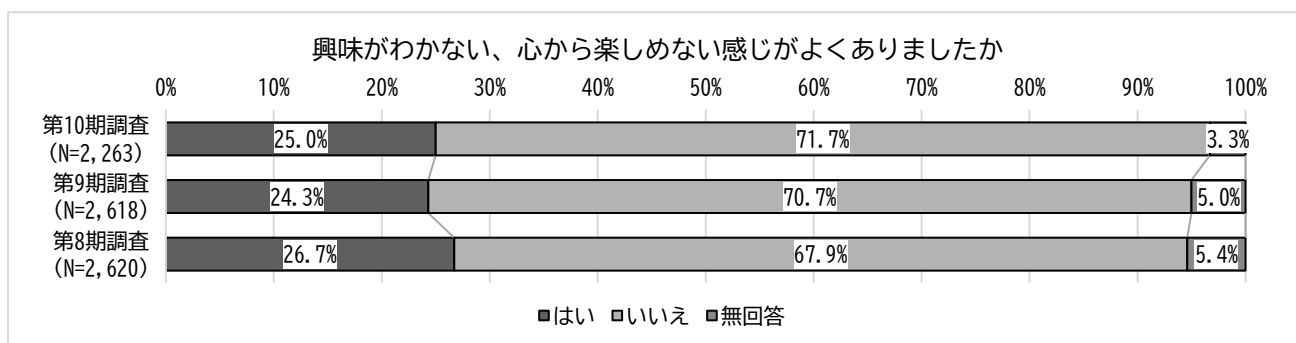
「はい」は「後期高齢者」が 26.4%に対し、「前期高齢者」は 23.3%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 3.1 ポイント上回り、「いいえ」は「前期高齢者」が 74.2%に対し、「後期高齢者」は 69.8%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 4.4 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「はい」はひとり暮らしが 29.5%に対し、ひとり暮らし以外は 24.1%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を 5.4 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「はい」は「介護は必要」が 42.3%に対し、「介護は不要」は 22.1%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 20.2 ポイント上回り、「いいえ」は「介護は不要」が 75.5%に対し、「介護は不要」は 51.6%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 23.9 ポイント上回っています。



		回答数	はい	いいえ	無回答	計
性別	全体	(N=2,263)	25.0%	71.7%	3.3%	100.0%
	男性	(N=1,030)	25.1%	72.0%	2.8%	100.0%
	女性	(N=1,211)	25.0%	71.3%	3.6%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	23.3%	74.2%	2.5%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	26.4%	69.8%	3.8%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	29.5%	66.4%	4.1%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	24.1%	73.2%	2.7%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	22.1%	75.5%	2.5%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	42.3%	51.6%	6.1%	100.0%

問 8-5 お酒は飲みますか。(○はひとつ)

「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」を合わせた「飲む」、「ほとんど飲まない」と「もともと飲まない」を合わせた「飲まない」に着目して、比較検討します。

① 全体的な傾向と経年変化

「飲む」が 37.6%、「飲まない」が 60.8%となっており、有意な経年変化はみられません。

② 男女別の傾向

「飲む」は男性が 55.8%に対し、女性は 22.2%と、男性が女性を 33.6 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

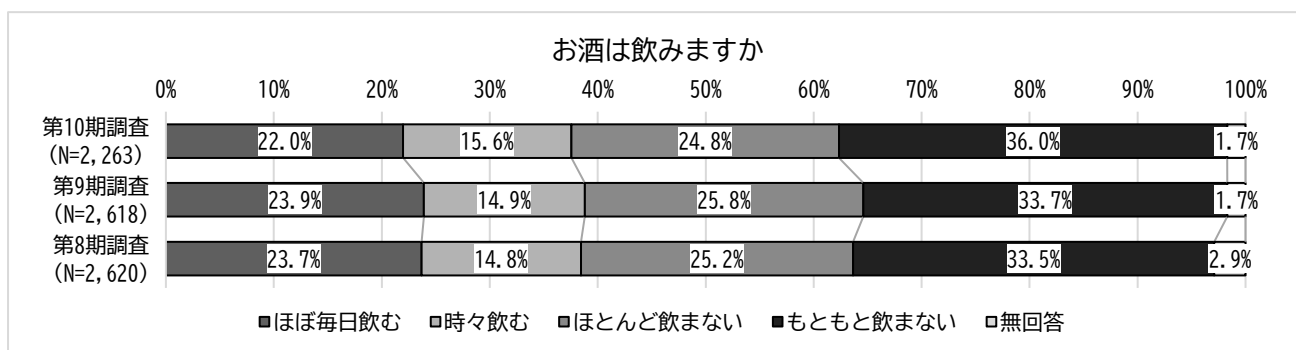
「飲む」は前期高齢者が 43.9%に対し、後期高齢者は 33.1%と、前期高齢者が後期高齢者を 10.8 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「飲む」はひとり暮らし以外が 39.4%に対し、ひとり暮らしは 28.1%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 11.3 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「飲む」は「介護は不要」が 40.6%に対し、「介護は必要」は 19.1%と、前期高齢者が後期高齢者を 21.5 ポイント上回っています。



		回答数	ほぼ毎日飲む	時々飲む	ほとんど飲まない	もともと飲まない	無回答	計
性別	全体	(N=2,263)	22.0%	15.6%	24.8%	36.0%	1.7%	100.0%
	男性	(N=1,030)	39.5%	16.3%	22.9%	20.2%	1.1%	100.0%
	女性	(N=1,211)	7.1%	15.1%	26.3%	49.5%	2.1%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	26.8%	17.1%	23.3%	31.6%	1.3%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	18.5%	14.6%	25.8%	39.2%	1.9%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	14.6%	13.5%	28.1%	41.9%	1.9%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	23.7%	15.7%	24.2%	35.1%	1.2%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	24.2%	16.4%	24.1%	34.3%	1.1%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	9.7%	9.4%	28.7%	49.0%	3.2%	100.0%

問 8-6 タバコは吸っていますか。(〇はひとつ)

「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた「吸っている」、「吸っていたがやめた」と「もともと吸っていない」を合わせた「吸っていない」に着目して、比較検討します。

① 全体的な傾向と経年変化

「吸っている」が 10.9%、「吸っていない」が 87.4%となっており、有意な経年変化はみられません。

② 男女別の傾向

「吸っている」は男性が 19.2%に対し、女性は 3.8%と、男性が女性を 15.4 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

「吸っている」は前期高齢者が 14.4%に対し、後期高齢者は 8.4%と、前期高齢者が後期高齢者を 6.0 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「吸っている」は有意な差はみられませんが、「吸っていたがやめた」はひとり暮らし以外が 30.4%に対し、ひとり暮らしは 22.3%と、ひとり暮らし以外が 30.4%ひとり暮らしを 8.1 ポイント上回り、「もともと吸っていない」はひとり暮らしが 64.7%に対し、ひとり暮らし以外は 57.4%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を 7.3 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「吸っている」は「介護は不要」が 11.7%に対し、「介護は必要」は 6.4%と、「介護は不要」が「介護は必要」

を 5.3 ポイント上回っています。



問 8-7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

① 全体的な傾向と経年変化

「高血圧」が 42.6%でもっとも多く、次いで「高脂血症」が 16.4%、「糖尿病」が 13.6%、「目の病気」が 13.5%となっており、「ない」は 15.6%となっています。

経年変化では、大きな違いはみられませんが、「高血圧」「高脂血症」は増加傾向がみられます。

② 男女別の傾向

男性は「高血圧」が 45.6%でもっとも多く、次いで「糖尿病」が 17.4%、「腎臓・前立腺の病気」が 14.9%、「心臓病」が 14.1%となっており、「ない」は 14.5%となっています。

女性は「高血圧」が 40.0%でもっとも多く、次いで「高脂血症」が 20.0%、「目の病気」が 14.2%、「筋骨格の病気」が 11.5%となっており、「ない」は 16.4%となっています。

「腎臓・前立腺の病気」は男性が 14.9%に対し、女性は 2.6%と、男性が女性を 12.3 ポイント上回り、「糖尿病」は男性が 17.4%に対し、女性は 10.4%と、男性が女性を 7.0 ポイント上回り、「心臓病」は男性が 14.1%に対し、女性は 7.1%と、男性が女性を 7.0 ポイント上回っています。

また、「高脂血症」は女性が 20.0%に対し、男性は 12.1%と、女性が男性を 7.9 ポイント上回り、「筋骨格の病気」は女性が 11.5%に対し、男性は 3.6%と、女性が男性を 7.9 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

前期高齢者は「高血圧」が 37.2%でもっとも多く、次いで「高脂血症」が 18.2%、「糖尿病」が 11.8%、「目の病気」が 10.1%となっており、「ない」は 21.4%となっています。

後期高齢者は「高血圧」が 46.6%、「目の病気」が 16.1%、「高脂血症」が 15.0%、「糖尿病」が 14.9%となっており、「ない」は 11.2%となっています。

「高血圧」は後期高齢者が 46.6%に対し、前期高齢者は 37.2%と、後期高齢者が前期高齢者を 9.4 ポイント上回り、「心臓病」は後期高齢者が 12.9%に対し、前期高齢者は 6.7%と、後期高齢者が前期高齢者を 6.2 ポイント上回り、「目の病気」は後期高齢者が 16.1%に対し、前期高齢者は 10.1%と、後期高齢者が前期高齢者を 6.0 ポイント上回っています。また、「ない」は前期高齢者が 21.4%に対し後期高齢者は 11.2%と、前期高齢者が後期高齢者を 10.2 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

ひとり暮らしは「高血圧」が 46.3%でもっとも多く、次いで「目の病気」が 17.4%、「高脂血症」が 13.8%となっており、「ない」は 13.5%となっています。

ひとり暮らし以外は「高血圧」が 42.0%でもっとも多く、次いで「高脂血症」が 17.3%、「ない」が 16.4%となっています。

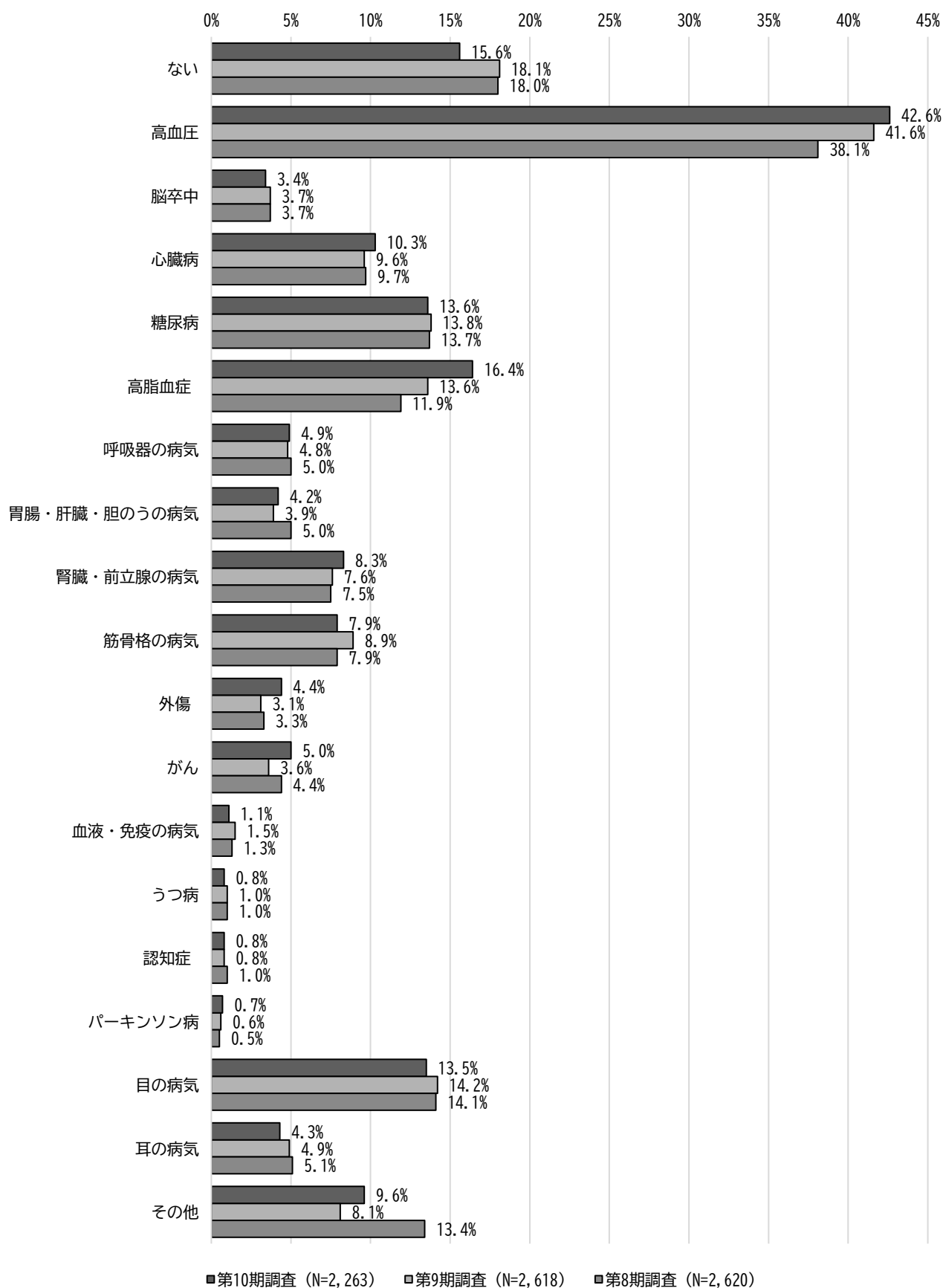
⑤ 介護状況別の傾向

「介護は不要」は「高血圧」が 42.8%でもっとも多く、次いで「高脂血症」が 17.6%、「糖尿病」が 13.0%、「目の病気」が 12.3%となっており、「ない」は 17.7%となっています。

「介護は必要」は「高血圧」が 40.6%でもっとも多く、次いで「目の病気」が 20.6%、「心臓病」が 17.7%、「糖尿病」が 17.4%となっており、「ない」は 5.2%となっています。

ほとんどの病気は「介護は必要」が「介護は不要」を上回っていますが、「高血圧」と「高脂血症」は「介護は不要」が「介護は必要」を上回っています。

治療中、または後遺症ある病気



		回答数	ない	高血圧	脳卒中	心臓病	糖尿病	高脂血症	呼吸器 の病気	胃腸・肝 臓・胆の うの病気	腎臓・ 前立腺 の病気	筋骨格 の病気
	全体	(N=2,263)	15.6%	42.6%	3.4%	10.3%	13.6%	16.4%	4.9%	4.2%	8.3%	7.9%
性別	男性	(N=1,030)	14.5%	45.6%	4.5%	14.1%	17.4%	12.1%	6.2%	5.0%	14.9%	3.6%
	女性	(N=1,211)	16.4%	40.0%	2.6%	7.1%	10.4%	20.0%	3.8%	3.5%	2.6%	11.5%
年齢 区分	前期高齢者	(N=949)	21.4%	37.2%	2.7%	6.7%	11.8%	18.2%	3.9%	3.9%	6.6%	6.5%
	後期高齢者	(N=1,292)	11.2%	46.6%	4.0%	12.9%	14.9%	15.0%	5.7%	4.3%	9.4%	8.8%
家族 構成	ひとり暮らし	(N=363)	12.4%	46.3%	5.2%	12.4%	13.5%	13.8%	7.2%	4.1%	5.2%	9.6%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	16.4%	42.0%	3.2%	9.8%	13.4%	17.3%	4.2%	4.2%	9.0%	7.5%
介護 状況	介護は不要	(N=1,875)	17.7%	42.8%	2.7%	8.9%	13.0%	17.6%	4.1%	3.7%	7.8%	6.7%
	介護は必要	(N=310)	5.2%	40.6%	8.4%	17.7%	17.4%	10.6%	8.4%	7.7%	11.6%	15.5%

		外傷	がん	血液・免疫 の病気	うつ病	認知症	パーキンソ ン病	目の病気	耳の病気	その他
	全体	4.4%	5.0%	1.1%	0.8%	0.8%	0.7%	13.5%	4.3%	9.6%
性別	男性	3.7%	6.8%	1.5%	0.8%	0.7%	1.1%	12.8%	4.9%	8.0%
	女性	5.1%	3.6%	0.9%	0.8%	1.0%	0.4%	14.2%	4.0%	11.0%
年齢 区分	前期高齢者	3.2%	5.1%	1.2%	1.1%	0.0%	0.8%	10.1%	3.7%	10.2%
	後期高齢者	5.4%	5.0%	1.2%	0.6%	1.5%	0.6%	16.1%	4.9%	9.1%
家族 構成	ひとり暮らし	6.1%	3.3%	1.1%	0.8%	0.8%	0.8%	17.4%	5.5%	11.0%
	ひとり暮らし以外	3.9%	5.2%	1.2%	0.8%	0.9%	0.7%	12.8%	4.0%	9.4%
介護 状況	介護は不要	3.0%	4.4%	1.0%	0.6%	0.2%	0.3%	12.3%	4.0%	9.5%
	介護は必要	12.9%	8.1%	1.9%	1.9%	5.2%	2.9%	20.6%	5.8%	11.6%

考察

1. 健康状態と幸福度の傾向

全体として、現在の健康状態を「よい(とてもよい・まあよいの合計)」と感じている高齢者は 76.3%に達しており、多くの方が自身の健康に肯定的な認識を持っています。また、「どの程度幸せか」という幸福度の自己評価(10点満点)においても、全体の平均点は 7.13 となっており、概ね高い幸福感を感じている高齢者が多い結果となりました。

しかしながら家族構成別に見ると、ひとり暮らしの幸福度の平均点は 6.72 であり、ひとり暮らし以外(7.22)を下回っています。さらに、回答分布においても、ひとり暮らし以外では「8点」が 23.9%でもっとも多いのに対し、ひとり暮らしでは「5点」が 21.8%でもっとも多くなっており、単身世帯であることが主観的な幸福感を押し下げる要因になっている可能性が浮き彫りになりました。

また、「介護が必要」な層においても、健康状態を「よい」とする割合が 41.6%にとどまり、幸福度の平均点も 6.37 へ低下しています。要介護状態への移行や単身化が、高齢者の主観的な健康感や幸福感に係していることが推察されます。

2. 幸福度を向上させる要因(健康、趣味・生きがい、地域活動への参加)

高齢者の幸福度を規定する重要な要素が明確になっています。健康状態が「良い」の幸福度平均は 7.45 であり、「悪い」の 5.96 を大きく上回っています。さらに、趣味が「あり」の幸福度平均は 7.40、生きがい「あり」の幸福度平均は 7.73 となっており、それぞれ「なし」と答えた高齢者(趣味なし 6.40、生きがいなし 6.18)よりも高い幸福度を示しています。加えて、地域活動に世話役として「参加したい」と意欲を持つ高齢者の幸福度平均は 7.49 であり、「参加したくない」の 6.95 を上回っています。身体的な健康を

維持することに加え、趣味や生きがいを持ち、地域社会で役割(出番)を持って活動することが、高齢者の幸福度を高める要因である可能性があります。前段までの分析で、ひとり暮らし高齢者はこれら「趣味・生きがい・社会活動」が少ない傾向にあることが示されており、これが単身世帯における幸福度の低さに連動していると考えられます。

3. 精神的な健康課題(うつリスク)の顕在化と、単身世帯の精神的脆弱性

主観的な幸福度が高い層がいる一方で、精神的な健康面については強い懸念が示されています。この1か月間に「気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあった」と回答した高齢者は全体で40.6%に上り、「物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない」と回答した高齢者も25.0%存在します。

これを家族構成別に見ると、「気分が沈む」はひとり暮らし(43.3%)がひとり暮らし以外(40.4%)を上回り、「興味がわからない」もひとり暮らし(29.5%)が同居家族あり(24.1%)を上回っています。さらに「介護が必要」な層では、「気分が沈む」が55.5%、「興味がわからない」が42.3%に達し、精神的な落ち込み(うつリスク)を抱える割合が高くなっています。同居家族がいないことによる日常的なコミュニケーションの欠如や要介護化による活動制限が、高齢者の心理的健康を損なっていることが推察されます。

4. 治療中の疾病と生活習慣病のリスク

現在治療中または後遺症のある病気としては、「高血圧(42.6%)」がもっとも多く、次いで「高脂血症(16.4%)」「糖尿病(13.6%)」といった生活習慣病が上位を占めています。家族構成別に見ると、ひとり暮らしにおいて「高血圧(46.3%)」や「目の病気(17.4%)」が同居家族ありの層(それぞれ42.0%、12.8%)を上回っています。また、「介護は必要」な層は、「目の病気(20.6%)」や「心臓病(17.7%)」「糖尿病(17.4%)」「筋骨格の病気(15.5%)」の割合が「介護は不要」よりも高く、これらの疾病が日常生活における活動制限や要介護化の要因となっていることが推察されます。

【第10期計画検討に向けた検討課題】

高齢者の「幸福度の維持・向上」と「要介護化の予防・うつ予防」を連動させたアプローチが重要です。高血圧や糖尿病等の生活習慣病の重症化を防ぐための継続的な保健・医療の連携や服薬・栄養管理の指導が必要です。同時に、幸福度や精神的健康度が低下しやすい「ひとり暮らし高齢者」や「要介護者」が社会的に孤立し、うつ状態に陥ることを防ぐための対策が必要となります。単に身体的なりハビリを提供するだけでなく、高齢者が生きがいや趣味を通じて他者と交流し、社会参加(世話役等の役割の創出)できる多様な「通いの場」へ確実につなぐ(アウトリーチする)ことが、本町の高齢者の精神的健康と幸福を実現する上で効果的な施策であると考えます。

問 9 認知症にかかる相談窓口の把握について

問 9-1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(〇はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「はい」が 8.5%、「いいえ」は 88.6%となっており、有意な経年変化はみられません。

② 男女別の傾向

有意な差はみられません。

③ 年齢区分別の傾向

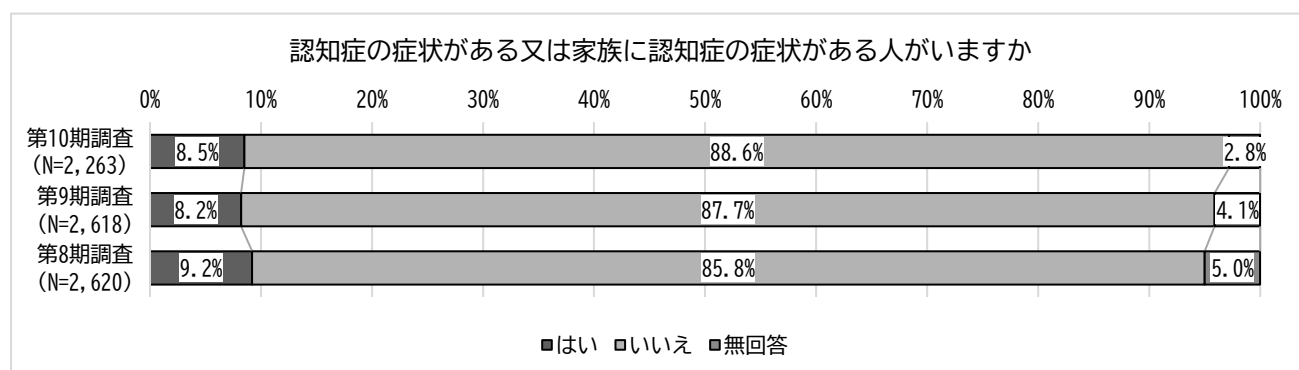
有意な差はみられません。

④ 家族構成別の傾向

有意な差はみられません。

⑤ 介護状況別の傾向

「はい」は「介護は必要」が 16.1%に対し、「介護は不要」は 7.3%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 8.8 ポイント上回っています。



		回答数	はい	いいえ	無回答	計
性別	全体	(N=2,263)	8.5%	88.6%	2.8%	100.0%
	男性	(N=1,030)	9.6%	88.4%	1.9%	100.0%
	女性	(N=1,211)	7.8%	88.7%	3.6%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	8.7%	89.5%	1.8%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	8.5%	87.9%	3.6%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	7.7%	88.7%	3.6%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	8.7%	89.1%	2.1%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	7.3%	91.0%	1.7%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	16.1%	77.1%	6.8%	100.0%

問 9-2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(〇はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「はい」が 29.9%、「いいえ」が 65.8%となっており、有意な経年変化はみられません。

② 男女別の傾向

「はい」は女性が 34.6%に対し、男性は 24.4%と、女性が男性を 10.2 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

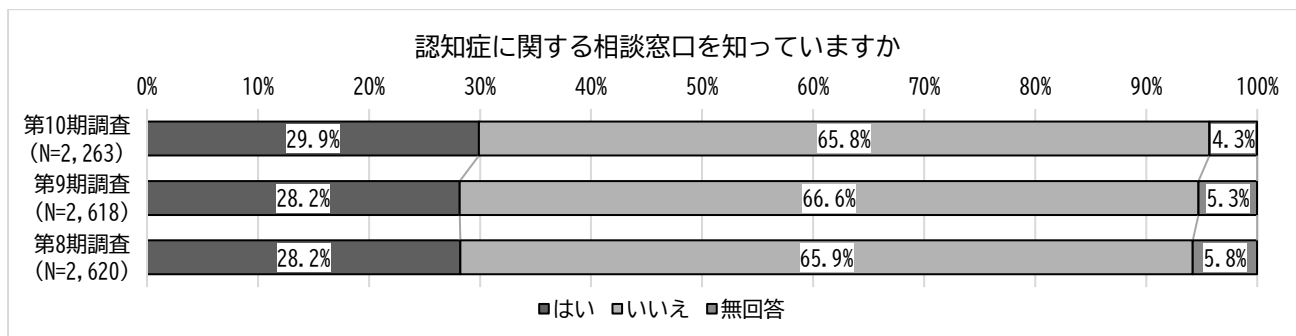
有意な差はみられません。

④ 家族構成別の傾向

「はい」はひとり暮らし以外が 31.1%に対し、ひとり暮らしは 26.2%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 4.9 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「はい」は「介護は不要」が 31.5%に対し、「介護は必要」は 21.9%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 9.6 ポイント上回っています。



		回答数	はい	いいえ	無回答	計
全体		(N=2,263)	29.9%	65.8%	4.3%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	24.4%	72.7%	2.9%	100.0%
	女性	(N=1,211)	34.6%	60.0%	5.5%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	30.6%	65.9%	3.6%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	29.4%	65.8%	4.8%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	26.2%	68.3%	5.5%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	31.1%	65.5%	3.5%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	31.5%	65.2%	3.3%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	21.9%	70.6%	7.4%	100.0%

問 9-3 能勢町は認知症の方やそのご家族を支援する取組を実施しています。「認知症を知る月間」について知っていますか。また参加したことはありますか。(○はひとつ)

① 全体的な傾向

「知っており参加したことがある」が 3.4%、「知っているが参加したことはない」が 18.5%、「知らないが、参加してみたい」が 34.6%、「知らないし、参加したいと思わない」が 36.5%となっています。

② 男女別の傾向

「知らないが、参加してみたい」は女性が 37.0%に対し、男性は 32.0%と、女性が男性を 5.0 ポイント上回り、「知らないし、参加したいと思わない」は男性が 43.8%に対し、女性は 29.9%と、男性が女性を 13.9 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

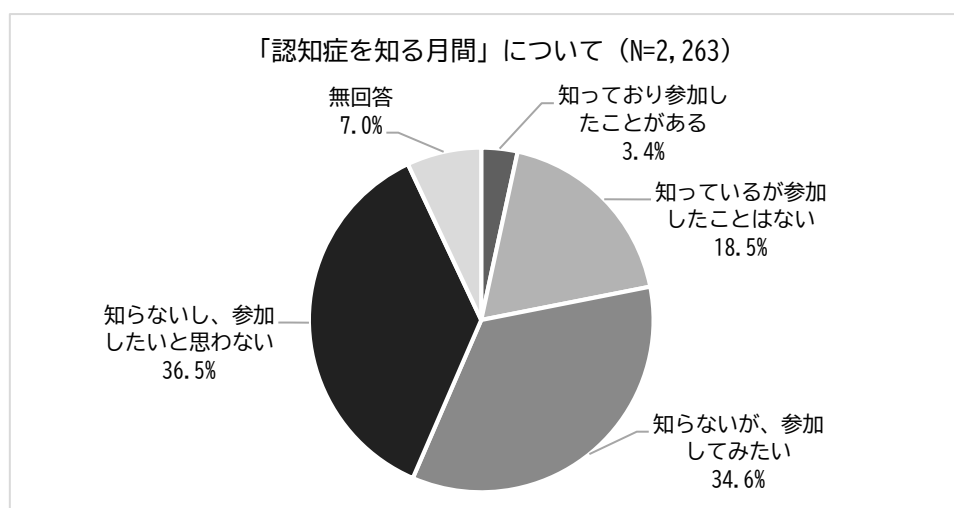
有意な差はみられません

④ 家族構成別の傾向

有意な差はみられません

⑤ 介護状況別の傾向

「知らないが、参加してみたい」は「介護は不要」が 35.7%に対し、「介護は必要」は 27.4%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 8.3 ポイント上回り、「知らないし、参加したいと思わない」は「介護は必要」が 41.9%に対し、「介護は不要」は 35.6%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 6.3 ポイント上回っています。



		回答数	知っており参加したことがある	知っているが参加したことはない	知らないが、参加してみたい	知らないし、参加したいと思わない	無回答	計
	全体	(N=2,263)	3.4%	18.5%	34.6%	36.5%	7.0%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	1.8%	16.9%	32.0%	43.8%	5.4%	100.0%
	女性	(N=1,211)	4.8%	19.9%	37.0%	29.9%	8.4%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	3.3%	17.6%	35.7%	38.5%	5.0%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	3.6%	19.2%	34.0%	34.7%	8.6%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	3.6%	16.3%	36.6%	35.8%	7.7%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	3.5%	19.2%	34.4%	36.5%	6.5%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	3.4%	19.5%	35.7%	35.6%	5.8%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	3.9%	15.5%	27.4%	41.9%	11.3%	100.0%

問 9-4 「認知症サポーター養成講座」について知っていますか。また参加したことはありますか。

(○はひとつ)

① 全体的な傾向

「知っており参加したことがある」が 4.2%、「知っているが参加したことはない」が 13.0%、「知らないが、参加してみたい」が 29.1%、「知らないし、参加したいと思わない」が 44.0%となっています。

② 男女別の傾向

「知っているが参加したことはない」は女性が 15.2%に対し、男性は 10.6%と、女性が男性を 4.6 ポイント上回り、「知らないし、参加したいと思わない」は男性が 52.2%に対し、女性は 36.6%と、男性が女性を 15.6 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

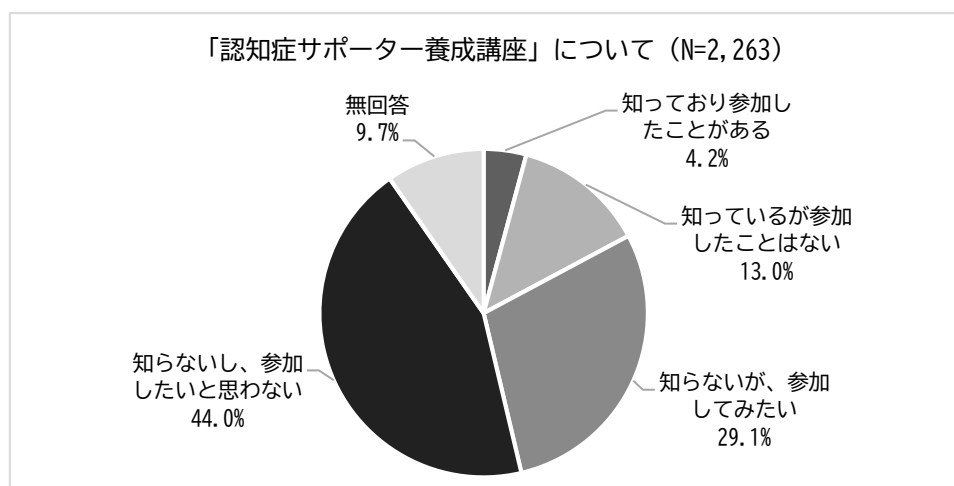
有意な差はみられません。

④ 家族構成別の傾向

有意な差はみられません。

⑤ 介護状況別の傾向

「知らないが、参加してみたい」は「介護は不要」が 30.0%に対し、「介護は必要」は 22.3%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 7.7 ポイント上回り、「知らないし、参加したいと思わない」は「介護は必要」が 49.0%に対し、「介護は不要」は 43.7%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 5.3 ポイント上回っています。



		回答数	知っており参加したことがある	知っているが参加したことはない	知らないが、参加してみたい	知らないし、参加したくない	無回答	計
	全体	(N=2,263)	4.2%	13.0%	29.1%	44.0%	9.7%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	2.0%	10.6%	28.1%	52.2%	7.1%	100.0%
	女性	(N=1,211)	5.9%	15.2%	30.2%	36.6%	12.1%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	5.5%	12.8%	28.2%	47.0%	6.5%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	3.2%	13.3%	30.0%	41.4%	12.2%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	3.0%	14.9%	28.7%	42.1%	11.3%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	4.5%	12.8%	29.2%	44.6%	9.0%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	4.5%	13.4%	30.0%	43.7%	8.4%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	2.6%	12.3%	22.3%	49.0%	13.9%	100.0%

考察

1. 相談窓口の認知度不足と、要介護層における「情報へのアクセスの弱さ」

自身や家族に認知症の症状がある割合は 8.5%ですが、「介護は必要」では 16.1%に上ります。一方で、認知症に関する相談窓口を「知っている」は 29.9%にとどまっています。

また、支援を必要としていると思われる「介護は必要」な高齢者における相談窓口の認知度が 21.9%と、「介護は不要」な高齢者 31.5%)を下回っており、必要な高齢者に支援情報が届いていない情報格差（アクセスの弱さ）が存在しています。

2. 啓発事業への参加低迷と「潜在的な参加意欲」の存在

町が実施する「認知症を知る月間」や「認知症サポーター養成講座」について、「知っており参加したことがある」と答えた割合はそれぞれ 3.4%、4.2%と非常に限定的です。しかし、「知らないが、参加してみたい」はそれぞれ 34.6%、29.1%となっており、認知症に対する学習意欲を持つ高齢者が 3 割程度存在しています。こうした高齢者に情報を届け、実際の参加へと結びつけることが必要です。

3. 男性における顕著な「無関心」と認知度の低さ

男女別の傾向を見ると、相談窓口の認知度は男性が 24.4%で、女性の 34.6%を 10.2 ポイント下回っています。また、「認知症を知る月間」および「認知症サポーター養成講座」について、「知らないし、参加したくない」は男性ではそれぞれ 43.8%、52.2%に達し、女性(29.9%、36.6%)を大きく上回っています。男性に対する効果的な啓発や情報発信のアプローチが必要です。

【第10期計画検討に向けた検討課題】

認知症施策を「知ってもらう」「早期に相談してもらう」ための情報発信の抜本的な見直しが必要です。

相談窓口の周知にあたっては、待ちの姿勢ではなく、要介護層やその家族、地域で孤立しがちな方に直接情報が届くようなプッシュ型(アウトリーチ型)の支援・周知体制を強化することが急務です。また、各種啓発事業については、「参加してみたい」と考えている約3割の潜在層を確実に取り込むため、既存の通いの場等に出向いて行う「出前講座」を拡充するほか、特に関心の低い男性層へ向けたアプローチ(趣味活動や就労支援の場と絡めた周知など)の工夫をしていく必要があります。

問 10 認知症について

問 10-1 あなたは認知症に関する次の内容を知っていますか。(○はいくつでも)

① 全体的な傾向

「脳の障害などによって、記憶力・判断力・理解力が低下する等の症状があり、誰もがなりうる可能性がある」が 77.4%でもっとも多く、次いで「原因や状態によっては、早期に発見し早期に対応することによって、進行を遅らせたり、症状を軽くできる可能性がある」が 66.3%、「何もわからなくなってしまうわけではなく、感情やプライドは保たれるため、人としての尊厳を持って接する必要がある」が 53.5%となっています。

② 男女別の傾向

「脳の障害などによって、記憶力・判断力・理解力が低下する等の症状があり、誰もがなりうる可能性がある」を除く、すべての選択肢で女性が男性を 10.9 ポイントから 18.0 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

すべての選択肢で前期高齢者が後期高齢者を 7.1 ポイントから 9.0 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

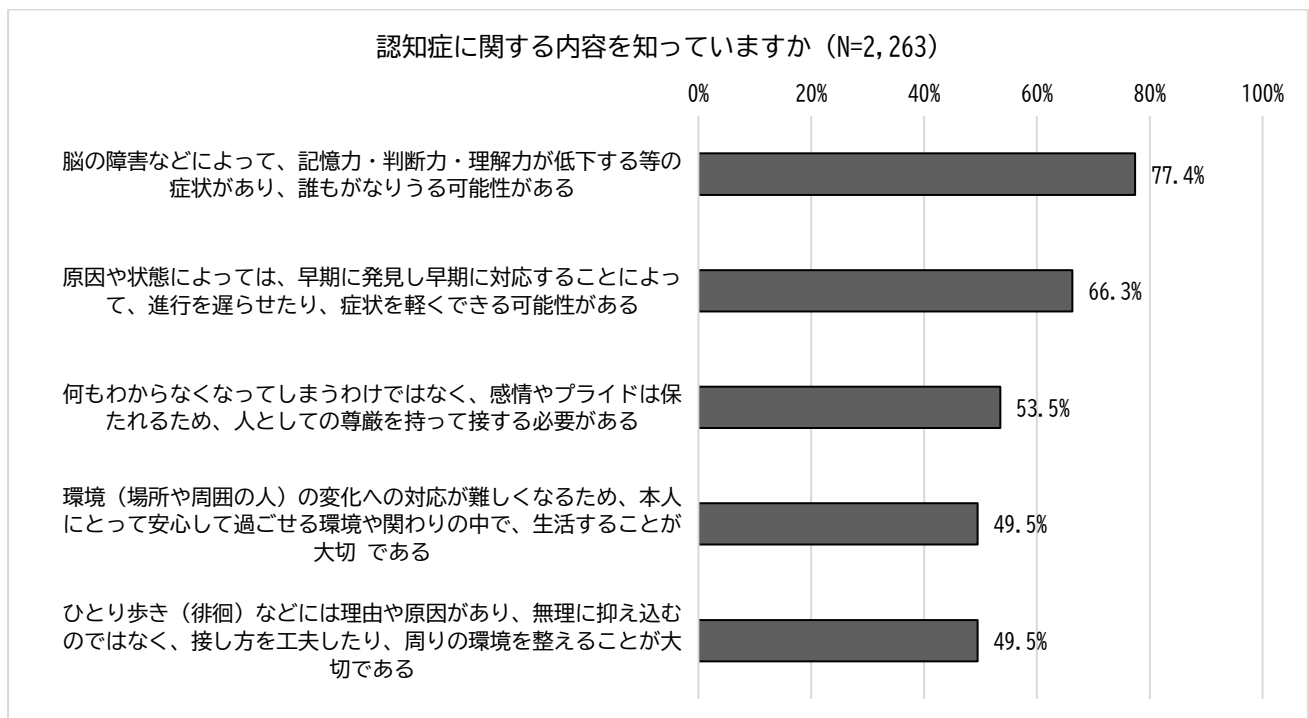
すべての選択肢でひとり暮らし以外がひとり暮らしを 1.1 ポイントから 5.8 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

すべての選択肢で「介護は不要」が「介護は必要」を 13.1 ポイントから 22.9 ポイント上回っています。

⑥ 介護が必要になった原因が認知症と回答した高齢者の傾向

全体的な傾向と同じような傾向を示していますが、全体に比べ、すべての項目で 6.0～20.9 ポイント下回っています。



		回答数	脳の障害などによって、記憶力・判断力・理解力が低下する等の症状があり、誰もがなりうる可能性がある	原因や状態によっては、早期に見し早期に対応することによって、進行を遅らせたり、症状を軽くできる可能性がある	何もわからなくなってしまうわけではなく、感情やプライドは保たれるため、人としての尊厳を持つて接する必要がある	環境（場所や周囲の人）の変化への対応が難しくなるため、本人にとって安心して過ごせる環境や関わりの中で、生活することが大切である	ひとり歩き（徘徊）などには理由や原因があり、無理に抑え込むのではなく、接し方を工夫したり、周りの環境を整えることが大切である
	全体	(N=2,263)	77.4%	66.3%	53.5%	49.5%	49.5%
性別	男性	(N=1,030)	77.4%	60.4%	45.1%	39.7%	40.9%
	女性	(N=1,211)	77.5%	71.3%	60.4%	57.7%	56.7%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	82.5%	71.2%	58.6%	53.5%	54.4%
	後期高齢者	(N=1,292)	73.8%	62.6%	49.6%	46.4%	45.8%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	71.3%	61.7%	51.2%	45.7%	48.8%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	78.9%	67.5%	54.6%	50.7%	49.9%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	79.8%	70.0%	56.7%	52.4%	51.8%
	介護は必要	(N=310)	64.5%	47.1%	40.0%	36.1%	38.7%
介護が必要になった原因が認知症		(N=21)	71.4%	57.1%	38.1%	28.6%	38.1%

問 10-2 自分が認知症になったら、周りの人に助けてもらいながら自宅での生活を続けたいと思いますか。(○はひとつ)

① 全体的な傾向

「そう思う」の 37.1%、「ややそう思う」の 23.2%を合わせた「思う」は 60.3%となっています。

② 男女別の傾向

「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた「思う」は男性が 65.5%に対し、女性は 56.2%と、男性が女性を 9.3 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた「思う」は後期高齢者が 64.6%に対し、前期高齢者は 54.7%と、後期高齢者が前期高齢者を 9.9 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

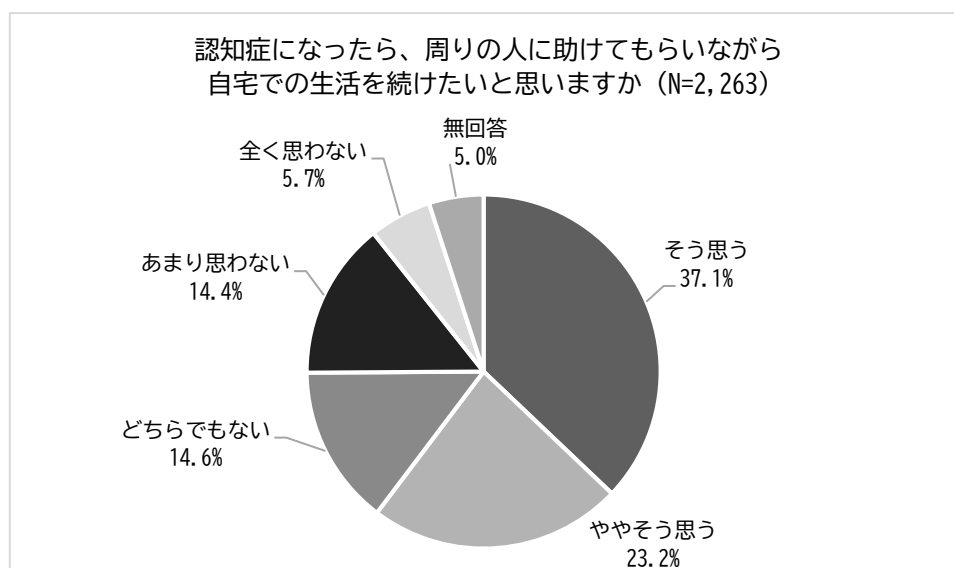
「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた「思う」はひとり暮らし以外が 62.3%に対し、ひとり暮らしは 52.1%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 10.2 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた「思う」は「介護は必要」が 63.3%に対し、「介護は不要」は 60.2%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 3.1 ポイント上回っています。

⑥ 介護が必要になった原因が認知症と回答した高齢者の傾向

「そう思う」の 47.6%、「ややそう思う」の 19.0%を合わせた「思う」は 66.6%となっており、全体と比較すると、6.3 ポイント上回っています。



		回答数	そう思う	やや そう思う	どちら でもない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	計
性別	全体	(N=2,263)	37.1%	23.2%	14.6%	14.4%	5.7%	5.0%	100.0%
	男性	(N=1,030)	43.8%	21.7%	12.9%	11.4%	6.1%	4.2%	100.0%
	女性	(N=1,211)	31.5%	24.7%	15.9%	16.9%	5.4%	5.7%	100.0%
年齢 区分	前期高齢者	(N=949)	30.0%	24.7%	19.0%	16.1%	6.7%	3.5%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	42.3%	22.3%	11.2%	13.1%	5.0%	6.1%	100.0%
家族 構成	ひとり暮らし	(N=363)	30.3%	21.8%	16.8%	14.6%	8.8%	7.7%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	38.5%	23.8%	14.2%	14.3%	4.9%	4.2%	100.0%
介護 状況	介護は不要	(N=1,875)	36.6%	23.6%	14.9%	15.1%	5.6%	4.2%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	41.0%	22.3%	14.5%	10.6%	4.5%	7.1%	100.0%
介護が必要になった原因が 認知症		(N=21)	47.6%	19.0%	9.5%	9.5%	4.8%	9.5%	100.0%

問 10-3 認知症の人も地域活動に役割を持って参加した方が良いと思いますか。(○はひとつ)

① 全体的な傾向

「そう思う」の 23.4%と「ややそう思う」の 28.9%を合わせた「思う」は 52.3%となっています。

② 男女別の傾向

有意な差はみられません。

③ 年齢区分別の傾向

「そう思う」は後期高齢者が 24.7%に対し、前期高齢者は 21.9%と、後期高齢者が前期高齢者を 2.8 ポイント上回り、「ややそう思う」は前期高齢者が 30.0%に対し、後期高齢者は 28.2%と、前期高齢者が後期高齢者を 1.8 ポイント上回っていますが、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた「思う」には有意な差はみられません。

④ 家族構成別の傾向

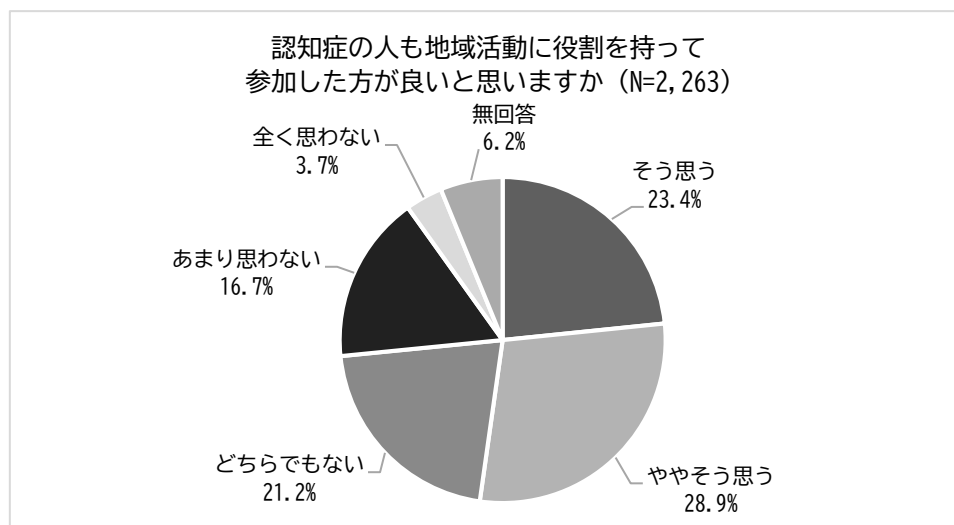
有意な差はみられません。

⑤ 介護状況別の傾向

「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた「思う」は「介護は不要」が 54.1%に対し、「介護は必要」は 41.6%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 12.5 ポイント上回っています。

⑥ 介護が必要になった原因が認知症と回答した高齢者の傾向

「そう思う」の 9.5%と「ややそう思う」の 28.6%を合わせた「思う」は 38.1%となっており、全体と比較すると、14.2 ポイント下回っています。



		回答数	そう思う	やや そう思う	どちら でもない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	計
全体		(N=2, 263)	23.4%	28.9%	21.2%	16.7%	3.7%	6.2%	100.0%
性別	男性	(N=1, 030)	23.6%	27.9%	19.0%	19.2%	5.4%	4.9%	100.0%
	女性	(N=1, 211)	23.5%	29.9%	22.5%	14.6%	2.1%	7.3%	100.0%
年齢 区分	前期高齢者	(N=949)	21.9%	30.0%	24.6%	16.9%	2.8%	3.8%	100.0%
	後期高齢者	(N=1, 292)	24.7%	28.2%	18.3%	16.6%	4.3%	8.0%	100.0%
家族 構成	ひとり暮らし	(N=363)	23.1%	28.4%	19.8%	15.4%	5.0%	8.3%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1, 842)	23.6%	29.1%	21.7%	16.7%	3.4%	5.5%	100.0%
介護 状況	介護は不要	(N=1, 875)	23.9%	30.2%	21.2%	16.3%	3.1%	5.1%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	20.6%	21.0%	22.9%	19.4%	6.1%	10.0%	100.0%
介護が必要になった原因が 認知症		(N=21)	9.5%	28.6%	19.0%	23.8%	4.8%	14.3%	100.0%

問 10-4 家族が認知症になったら、協力を得るために近所の人や知人などにも知っておいてほしいと思いますか。(○はひとつ)

① 全体的な傾向

「そう思う」の 39.6%と「ややそう思う」の 28.6%を合わせた「思う」は 68.2%となっています。

② 男女別の傾向

「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた「思う」は女性が 71.2%に対し、男性は 64.8%と、女性が男性を 12.5 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

「そう思う」は後期高齢者が 42.1%に対し、前期高齢者は 36.6%と、後期高齢者が前期高齢者を 5.5 ポイント上回り、「ややそう思う」は前期高齢者が 32.8%に対し、後期高齢者は 25.4%と、前期高齢者が後期高齢者を 7.4 ポイント上回っていますが、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた「思う」には有意な差はみられません。

④ 家族構成別の傾向

「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた「思う」はひとり暮らし以外が 69.3%に対し、ひとり暮らし 64.2%

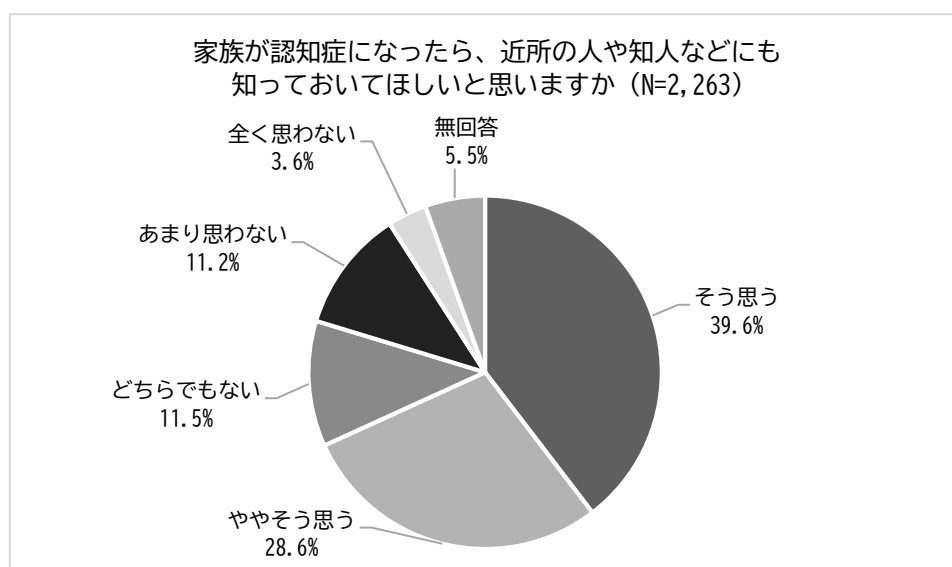
と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 5.1 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた「思う」は「介護は不要」が 70.5%に対し、「介護は必要」は 56.8%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 13.7 ポイント上回っています。

⑥ 介護が必要になった原因が認知症と回答した高齢者の傾向

「そう思う」の 23.8%と「ややそう思う」の 14.3%を合わせた「思う」は 38.1%となっており、全体と比較すると、30.1 ポイント下回っています。



		回答数	そう思う	やや そう思う	どちら でもない	あまり 思わない	全く 思わない	無回答	計
	全体	(N=2,263)	39.6%	28.6%	11.5%	11.2%	3.6%	5.5%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	36.6%	28.2%	11.7%	13.7%	4.8%	5.1%	100.0%
	女性	(N=1,211)	42.4%	28.8%	11.1%	9.1%	2.6%	5.9%	100.0%
年齢 区分	前期高齢者	(N=949)	36.6%	32.8%	12.5%	11.6%	3.2%	3.4%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	42.1%	25.4%	10.5%	10.9%	3.9%	7.1%	100.0%
家族 構成	ひとり暮らし	(N=363)	39.4%	24.8%	10.2%	9.1%	5.0%	11.6%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	39.8%	29.5%	11.7%	11.5%	3.3%	4.2%	100.0%
介護 状況	介護は不要	(N=1,875)	40.6%	29.9%	10.5%	11.5%	2.8%	4.6%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	34.2%	22.6%	17.4%	9.7%	7.1%	9.0%	100.0%
介護が必要になった原因が 認知症		(N=21)	23.8%	14.3%	19.0%	14.3%	9.5%	19.0%	100.0%

考察

1. 基本的な知識の浸透と、要介護層・単身世帯における「情報格差」

認知症が「誰もがなりうる可能性がある」ことについては全体で 77.4%が知っており、基本的な理解は浸透しつつあります。しかし、すべての設問項目において「介護は必要」な層の認知度が「介護は不要」な層を下回っています。また、家族構成別に見ても、すべての選択肢でひとり暮らし高齢者が同居家族のいる層を下回っています。同居家族のサポートがない単身世帯や、支援が必要な要介護層に対して、認知症に関する正しい知識や情報が十分に届いていない「情報格差(アクセスの弱さ)」が存在していることがうかがえます。

2. 高い「在宅生活継続」の希望と、単身世帯にみられる「在宅継続への強い不安」

自分が認知症になった場合、「周りの人に助けをもらいながら自宅での生活を続けたい」と思う割合は全体で 60.3%に達しており、住み慣れた地域・自宅で暮らし続けたいというニーズが確認できます。一方で家族構成別に見ると、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた割合は、ひとり暮らし以外が 62.3%であるのに対し、ひとり暮らしは 52.1%にとどまり、10.2 ポイント下回っています。同居してサポートしてくれる家族がいない単身世帯にとって、認知症を発症した状態で自宅での生活を維持することへの不安は大きく、在宅生活の限界を早期に感じやすい実態が表れています。

3. 介護が必要な高齢者・単身世帯に顕著な「周囲へ知らせる心理的ハードル」の高さ

家族が認知症になったら「協力を得るために近所の人や知人などに知っておいてほしい」と思う割合は全体で 68.2%と比較的高い水準です。しかし、「介護は必要」に限ると、その割合は 56.8%へと低下します。さらに家族構成別に見ても、ひとり暮らし(64.2%)はひとり暮らし以外(69.3%)を 5.1 ポイント下回っています。いざ自身や家族が要介護や認知症リスクに直面したり、単身で頼る人がいなかったりする状況においては、周囲の目を気にして SOS を出せなくなったり、隠そうとしたりする「心理的なハードル(スティグマ)」が依然として高く、これが孤立を深める要因になっていることが推察されます。

4. 実際に認知症に直面した高齢者に見られる「抱え込み」と「孤立化」のリスク

介護が必要になった原因が「認知症」であると回答した高齢者(N=21)の傾向を見ると、自分が認知症になった際に「周りの人に助けをもらいながら自宅での生活を続けたい」と思う割合が 66.6%にのぼり、全体(60.3%)を 6.3 ポイント上回っています。その一方で、「認知症の人も地域活動に役割を持って参加した方がよい」と思う割合は 38.1%にとどまり、全体(52.3%)を 14.2 ポイント下回っています。さらに、家族が認知症になったら「協力を得るために近所の人や知人などにも知っておいてほしい」と思う割合は 38.1%となり、全体(68.2%)を 30.1 ポイントも大きく下回る結果となりました。また、認知症に関する知識についても、すべての項目で全体を下回る結果となっています。これらの結果から、実際に認知症という課題に直面している層は「住み慣れた自宅での生活」を希望しているにもかかわらず、周囲の目を気にして病状を隠そうとする心理的なハードル(スティグマ)が高く、地域社会への参加や交流に対して消極的になっている実態が浮き彫りになっています。周囲の協力を得ずに自宅での生活を続けることは、家族による「介護の抱え込み」や世帯の孤立化につながる可能性があります。

【第10期計画検討に向けた検討課題】

認知症に対する単なる「知識の普及」から当事者や家族が偏見や孤立を恐れずに SOS を出せる「受容的な地域づくり」への転換が必要です。特に、在宅生活の継続に不安を抱える「ひとり暮らし高齢者」や、周囲に相談できずに抱え込んでしまう要介護層・当事者家族に対するサポートを強化する必要があります。チームオレンジの設置・推進などを通じて、地域住民が自然な形で認知症の方のちょっとした困りごとをサポートし合える、実践的な見守り・互助のネットワーク構築を重点施策として検討していくことが求められます。

問 11 その他

問 11-1 地域包括支援センターを知っていますか。(〇はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「どのような相談ができるか知っている」が29.8%、「名称や場所のみ知っている」が32.3%、「知らない」が32.0%となっています。

経年変化では「どのような相談ができるか知っている」は第9期調査の24.2%から、第10期調査は29.8%へと、5.6ポイント増加しています。

② 男女別の傾向

「どのような相談ができるか知っている」は女性が37.4%に対し、男性は21.0%と、女性が男性を16.4ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

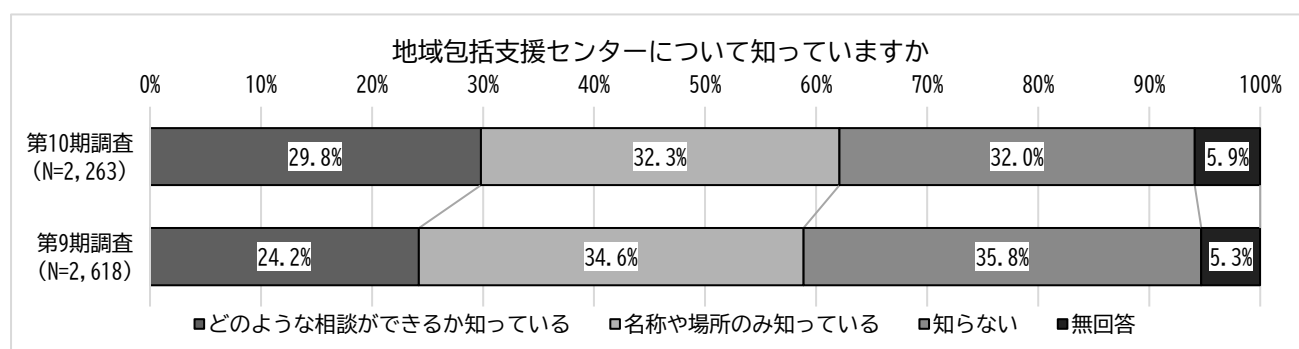
「どのような相談ができるか知っている」は前期高齢者が31.6%に対し、後期高齢者は28.6%と、前期高齢者が後期高齢者を3.0ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「どのような相談ができるか知っている」は有意な差はみられず、「名称や場所のみ知っている」はひとり暮らし以外が33.2%に対し、1人暮らしは29.2%と、ひとり暮らし以外が1人暮らしを4.0ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「どのような相談ができるか知っている」は「介護は必要」が33.5%に対し、「介護は不要」は29.8%と、「介護は必要」が「介護は不要」を3.7ポイント上回っています。



	回答数	知っている	名前聞いたことがあるが、役割までは知らない	地域包括支援センターの存在を知らない	無回答	計
全体	(N=2,263)	29.8%	32.3%	32.0%	5.9%	100.0%
性別						
男性	(N=1,030)	21.0%	32.8%	41.4%	4.9%	100.0%
女性	(N=1,211)	37.4%	31.8%	23.9%	6.9%	100.0%
年齢区分						
前期高齢者	(N=949)	31.6%	32.7%	31.8%	3.9%	100.0%
後期高齢者	(N=1,292)	28.6%	32.0%	32.0%	7.4%	100.0%
家族構成						
ひとり暮らし	(N=363)	31.7%	29.2%	31.1%	8.0%	100.0%
ひとり暮らし以外	(N=1,842)	30.0%	33.2%	31.7%	5.2%	100.0%
介護状況						
介護は不要	(N=1,875)	29.8%	33.8%	31.0%	5.3%	100.0%
介護は必要	(N=310)	33.5%	22.6%	36.5%	7.4%	100.0%

問 11-2 ご家庭でどの程度の頻度で血圧を測っていますか。(〇はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「ほぼ毎日」が 37.8%でもっとも多く、次いで「体調が悪いとき」が 11.1%、「月に1回以下」が 9.5%となっています。また、「測っていない」は 18.3%となっています。

経年変化では、「ほぼ毎日」は第8期調査の 21.3%から、第10期調査では 37.8%へと、16.5 ポイント増加し、「測っていない」は第8期調査の 27.0%から、第10期調査では 18.3%へと、8.7 ポイント減少しています。

② 男女別の傾向

有意な差はみられません。

③ 年齢区分別の傾向

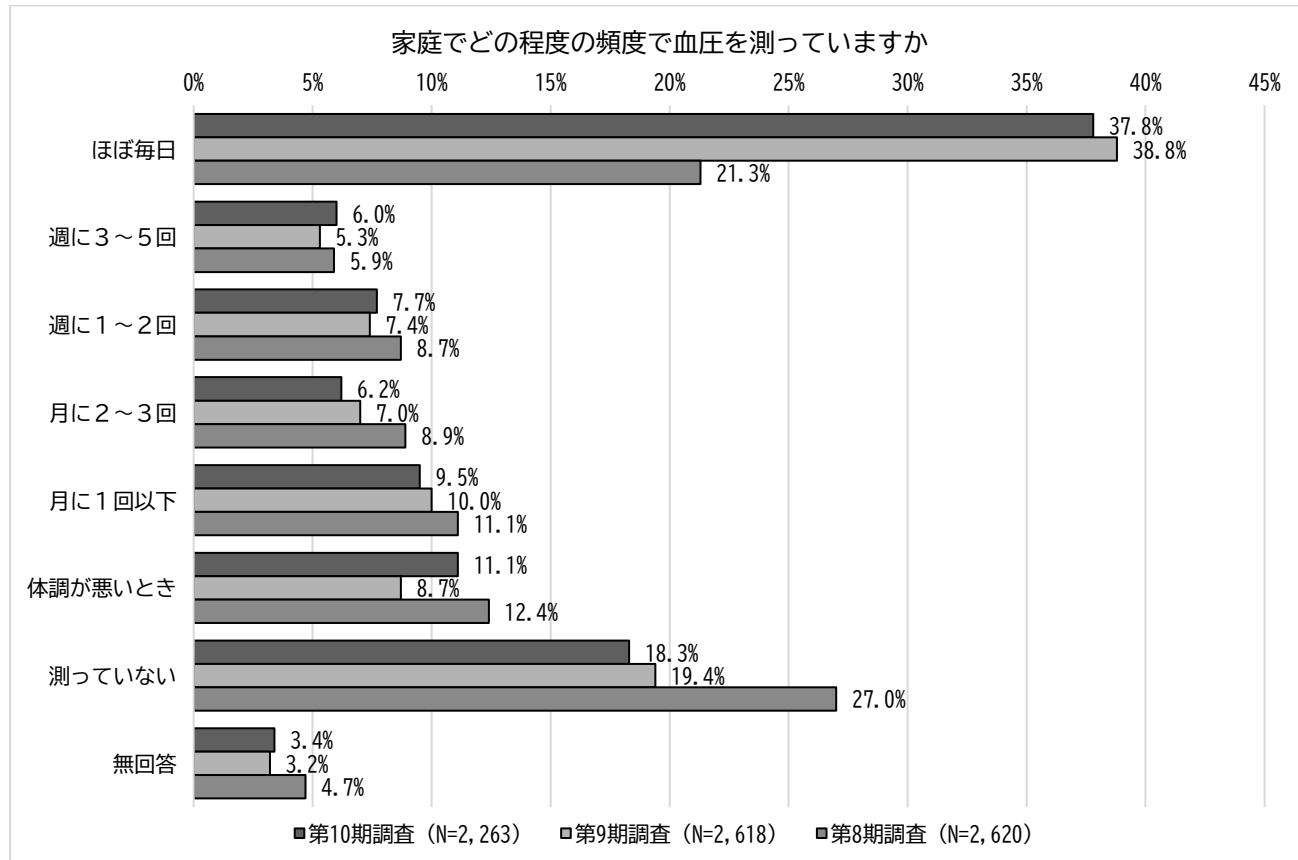
「ほぼ毎日」は後期高齢者が 40.0%に対し、前期高齢者は 34.8%と、後期高齢者が前期高齢者を 5.2 ポイント上回り、「測っていない」は前期高齢者が 22.4%に対し、後期高齢者は 15.3%と、前期高齢者が後期高齢者を 7.1 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

有意な差はみられません。

⑤ 介護状況別の傾向

「ほぼ毎日」は「介護は不要」が 38.7%に対し、「介護は必要」は 35.2%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 3.5 ポイント上回り、「週に1～2回」は「介護は必要」が 12.9%に対し、「介護は不要」は 6.7%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 6.2 ポイント上回っています。



		回答数	ほぼ毎日	週に 3～5回	週に 1～2回	月に 2～3回	月に 1回以下	体調が 悪いとき	測って いない	無回答	計
	全体	(N=2,263)	37.8%	6.0%	7.7%	6.2%	9.5%	11.1%	18.3%	3.4%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	37.3%	5.5%	6.8%	7.5%	11.6%	9.9%	18.3%	3.1%	100.0%
	女性	(N=1,211)	38.2%	6.3%	8.3%	5.2%	7.8%	12.2%	18.3%	3.7%	100.0%
年齢 区分	前期高齢者	(N=949)	34.8%	4.6%	7.2%	6.8%	9.6%	12.1%	22.4%	2.4%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	40.0%	6.9%	7.9%	5.8%	9.4%	10.4%	15.3%	4.2%	100.0%
家族 構成	ひとり暮らし	(N=363)	35.5%	7.4%	6.3%	5.5%	10.2%	9.9%	20.9%	4.1%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	38.5%	5.6%	7.8%	6.4%	9.5%	11.2%	17.8%	3.0%	100.0%
介護 状況	介護は不要	(N=1,875)	38.7%	5.6%	6.7%	6.1%	9.8%	11.6%	18.8%	2.7%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	35.2%	7.4%	12.9%	6.1%	6.8%	9.4%	17.1%	5.2%	100.0%

問 11-3 のせ健サポートに参加していますか。(○はひとつ)

① 全体的な傾向

「参加している」が 20.8%、「参加していない」が 70.3%、「参加していたが途中で止めた」が 5.2%となっています。

② 男女別の傾向

「参加している」は女性が 24.0%に対し、男性は 17.1%と、女性が男性を 6.9 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

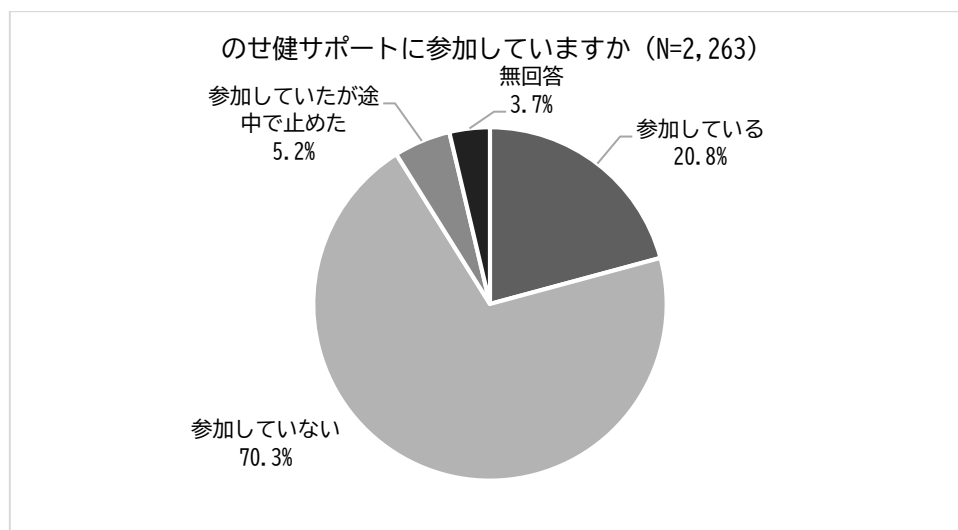
「参加している」は後期高齢者が 22.3%に対し、前期高齢者は 18.9%と、後期高齢者が前期高齢者を 3.4 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

有意な差は見られません。

⑤ 介護状況別の傾向

「参加している」は「介護は不要」が 22.3%に対し、「介護は必要」は 12.6%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 9.7 ポイント上回っています。



		回答数	参加している	参加していない	参加していたが途中で止めた	無回答	計
全体		(N=2,263)	20.8%	70.3%	5.2%	3.7%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	17.1%	75.2%	4.2%	3.5%	100.0%
	女性	(N=1,211)	24.0%	66.2%	6.0%	3.7%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	18.9%	74.0%	5.0%	2.2%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	22.3%	67.7%	5.3%	4.6%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	18.7%	72.2%	5.2%	3.9%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	21.5%	70.0%	5.2%	3.3%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	22.3%	69.7%	5.1%	2.9%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	12.6%	75.5%	5.5%	6.5%	100.0%

問 11-4 あなたの地区の魅力(自慢できるもの)は何ですか。(〇はいくつでも)

① 全体的な傾向

「自然(景色、空気など)」が 63.5%でもっとも多く、次いで「近所との助け合い・つながり」が 31.9%、「特産物(栗、米、酒など)」が 25.7%となっています。

② 男女別の傾向

「自然(景色、空気など)」は女性が 65.9%に対し、男性は 60.9%と、女性が男性を 5.0 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

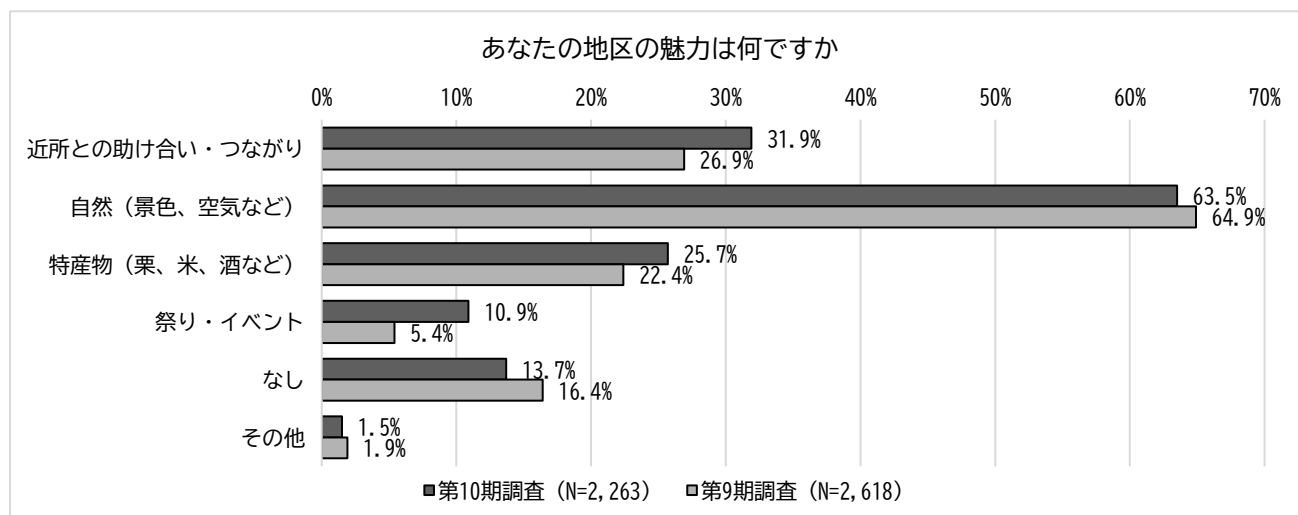
「自然(景色、空気など)」は前期高齢者が 65.9%に対し、後期高齢者は 61.9%と、前期高齢者が後期高齢者を 4.0 ポイント上回り、「近所との助け合い・つながり」は後期高齢者が 34.4%に対し、前期高齢者は 29.0%と後期高齢者が前期高齢者を 5.4 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「自然(景色、空気など)」はひとり暮らし以外が 64.8%に対し、ひとり暮らしは 58.7%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 6.1 ポイント上回り、「特産物(栗、米、酒など)」はひとり暮らし以外が 27.0%に対し、ひとり暮らしは 18.7%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 8.3 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「自然(景色、空気など)」は「介護は不要」が 65.9%に対し、「介護は必要」は 51.6%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 14.3 ポイント上回っています。



		回答数	近所との 助け合い・ つながり	自然 (景色、空 気など)	特産物 (栗、米、 酒など)	祭り・ イベント	なし	その他
	全体	(N=2,263)	31.9%	63.5%	25.7%	10.9%	13.7%	1.5%
性別	男性	(N=1,030)	30.9%	60.9%	24.3%	11.7%	17.1%	1.7%
	女性	(N=1,211)	33.2%	65.9%	27.1%	10.4%	10.5%	1.5%
年齢 区分	前期高齢者	(N=949)	29.0%	65.9%	26.0%	11.8%	14.9%	1.4%
	後期高齢者	(N=1,292)	34.4%	61.9%	25.6%	10.4%	12.5%	1.7%
家族 成	ひとり暮らし	(N=363)	33.1%	58.7%	18.7%	9.4%	14.6%	1.1%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	31.9%	64.8%	27.0%	11.2%	13.3%	1.6%
介護 状況	介護は不要	(N=1,875)	32.5%	65.9%	26.8%	11.2%	12.9%	1.3%
	介護は必要	(N=310)	29.0%	51.6%	21.3%	8.4%	17.4%	2.6%

問 11-5 生活する動作等のなかで不安や困っていると感じていることはありますか。(〇はいくつでも)

① 全体的な傾向と経年変化

「遠い場所への外出」が 15.4%でもっとも多く、次いで「庭の手入れ」が 14.4%、「大掃除」が 12.5%となっています。また、「特にない」は 49.4%となっています。

② 男女別の傾向

男性は「庭の手入れ」が 13.2%でもっとも多く、次いで「遠い場所への外出」が 12.6%。「部屋の掃除や片付け」が 10.6%、「大掃除」が 10.2%となっており、女性は「遠い場所への外出」が 17.8%でもっとも多く、次いで「庭の手入れ」が 15.4%、「大掃除」が 14.6%、「簡単な修理や電球替え」が 13.8%となっています。

「簡単な修理や電球替え」は女性が 13.8%に対し、男性は 5.1%と、女性が男性を 8.7 ポイント上回り、「布団干し」は女性が 10.3%に対し、男性は 4.8%と、女性が男性を 5.5 ポイント上回り、「遠い場所への外出」は女性が 17.8%に対し、男性は 12.6%と、女性が男性を 5.2 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

前期高齢者は「庭の手入れ」が 13.2%でもっとも多く、次いで「大掃除」が 10.3%、「遠い場所への外出」が 8.4%となっており、後期高齢者は「遠い場所への外出」が 20.6%でもっとも多く、次いで「庭の手入れ」が 15.3%、「大掃除」が 14.2%となっています。

「遠い場所への外出」は後期高齢者が 20.6%に対し、前期高齢者は 8.4%と、後期高齢者が前期高齢者を 12.2 ポイント上回り、「通院」は後期高齢者が 11.8%に対し、前期高齢者は 5.1%と、後期高齢者が前期高齢者を 6.7 ポイント上回り、「簡単な修理や電球替え」は後期高齢者が 12.4%に対し、前期高齢者は 6.3%と、後期高齢者が前期高齢者を 6.1 ポイント上回っているほか、すべての困っている項目で後期高齢者が前期高齢者を上回っています。

④ 家族構成別の傾向

ひとり暮らしは「庭の手入れ」が 23.4%でもっとも多く、次いで「遠い場所への外出」が 19.8%、「簡単な修理や電球替え」が 19.6%、「大掃除」が 19.3%となっています。

ひとり暮らし以外は「遠い場所への外出」が 14.3%でもっとも多く、次いで「庭の手入れ」が 12.6%、「大掃除」が 11.1%、「通院」が 8.6%となっています。

ほとんどの項目でひとり暮らしがひとり暮らし以外を上回っていますが、特に「簡単な修理や電球替え」はひとり暮らしが 19.6%に対し、ひとり暮らし以外は 8.0%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を 11.6 ポイント上回り、「庭の手入れ」はひとり暮らしが 23.4%に対し、ひとり暮らし以外は 12.6%と、ひとり暮らしがひと

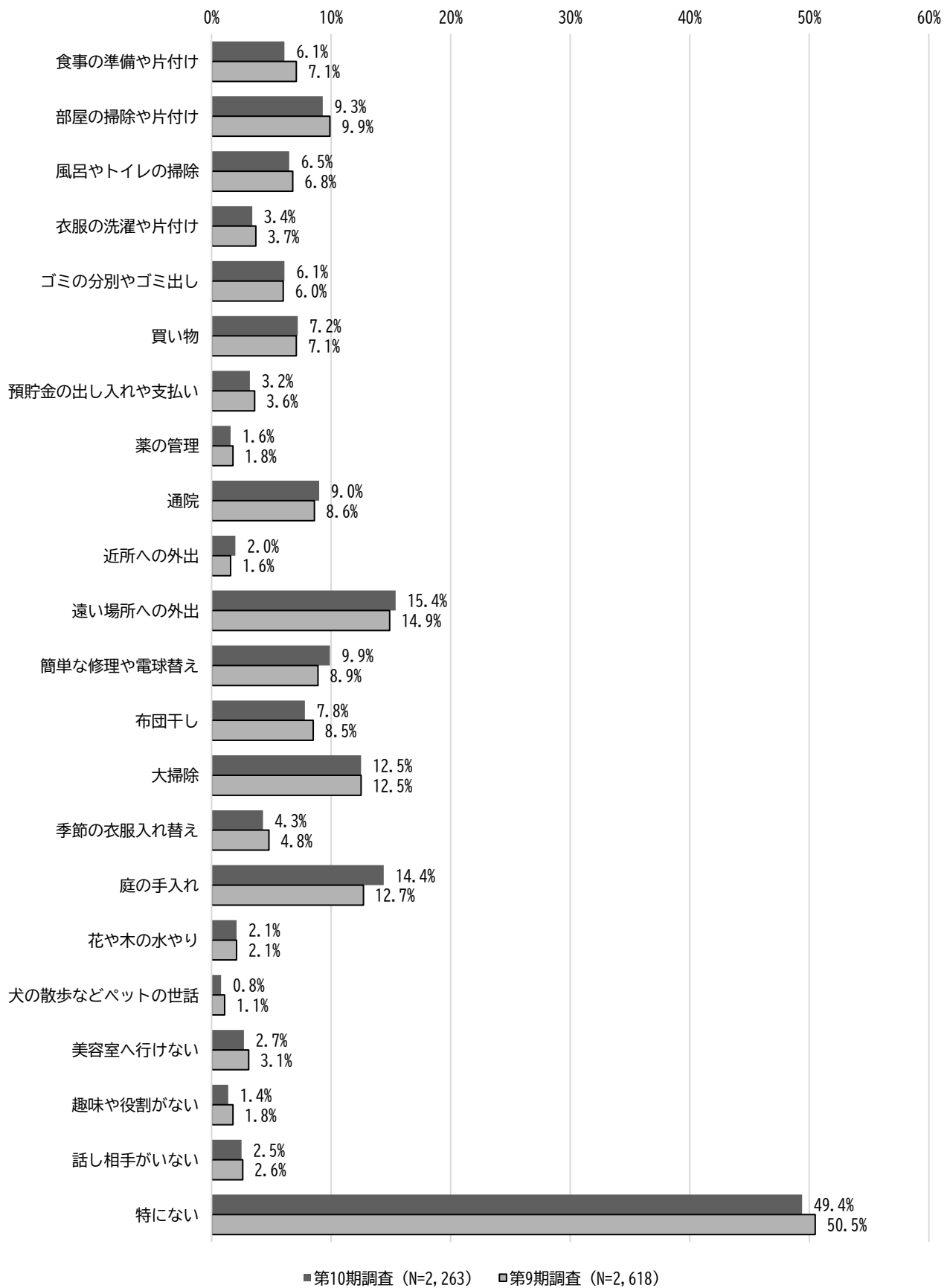
り暮らし以外を 10.8 ポイント上回り、「大掃除」はひとり暮らしが 19.3%に対し、ひとり暮らし以外は 11.1%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外 8.2 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「介護は不要」は「庭の手入れ」が 13.0%でもっとも多く、次いで「遠い場所への外出」が 12.3%、「大掃除」が 10.6%となっており、「介護は必要」は「遠い場所への外出」が 34.5%に対し、「通院」が 28.4%、「風呂やトイレの掃除」が 25.2%となっています。

「通院」は「介護は必要」が 28.4%に対し、「介護は不要」は 6.0%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 22.4 ポイント上回り、「遠い場所への外出」は「介護は必要」が 34.5%に対し、「介護は不要」は 12.3%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 22.2 ポイント上回り、「風呂やトイレの掃除」は「介護は必要」が 25.2%に対し、「介護は不要」は 3.4%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 21.8 ポイント上回っているほか、すべての困っている項目で「介護は必要」が「介護は不要」を上回っています。

生活の中で不安や困っていると感じていることはありますか



	回答数	食事の準備や片付け	部屋の掃除や片付け	風呂やトイレの掃除	衣服の洗濯や片付け	ゴミの分別やゴミ出し	買い物	預貯金の出し入れや支払い	薬の管理	通院	近所への外出	遠い場所への外出
全体	(N=2,263)	6.1%	9.3%	6.5%	3.4%	6.1%	7.2%	3.2%	1.6%	9.0%	2.0%	15.4%
性別												
男性	(N=1,030)	7.8%	10.6%	7.1%	4.5%	5.9%	7.0%	3.1%	2.3%	7.6%	1.7%	12.6%
女性	(N=1,211)	4.6%	8.1%	5.9%	2.3%	6.1%	7.3%	3.3%	1.0%	10.2%	2.1%	17.8%
年齢												
前期高齢者	(N=949)	3.9%	6.5%	3.7%	1.6%	3.7%	3.9%	1.6%	0.9%	5.1%	1.4%	8.4%
後期高齢者	(N=1,292)	7.7%	11.2%	8.5%	4.6%	7.7%	9.6%	4.4%	2.1%	11.8%	2.4%	20.6%
家族構成												
ひとり暮らし	(N=363)	11.6%	15.4%	9.6%	5.5%	11.6%	11.0%	5.5%	3.0%	11.3%	2.8%	19.8%
ひとり暮らし以外	(N=1,842)	4.7%	7.9%	5.7%	2.9%	4.9%	6.2%	2.7%	1.2%	8.6%	1.9%	14.3%
介護状況												
介護は不要	(N=1,875)	3.3%	6.5%	3.4%	1.8%	3.1%	4.4%	1.5%	0.5%	6.0%	0.6%	12.3%
介護は必要	(N=310)	21.3%	24.8%	25.2%	12.3%	23.2%	24.5%	13.2%	7.7%	28.4%	10.3%	34.5%

	簡単な修理や電球替え	布団干し	大掃除	季節の衣服入れ替え	庭の手入れ	花や木の水やり	犬の散歩などペットの世話	美容室へ行けない	趣味や役割がない	話し相手がない	特にない
全体	9.9%	7.8%	12.5%	4.3%	14.4%	2.1%	0.8%	2.7%	1.4%	2.5%	49.4%
性別											
男性	5.1%	4.8%	10.2%	4.4%	13.2%	1.7%	0.8%	1.3%	1.3%	2.7%	52.4%
女性	13.8%	10.3%	14.6%	4.3%	15.4%	2.2%	0.7%	3.7%	1.5%	2.3%	46.9%
年齢											
前期高齢者	6.3%	4.5%	10.3%	2.4%	13.2%	1.1%	0.6%	1.1%	0.7%	1.8%	61.9%
後期高齢者	12.4%	10.1%	14.2%	5.7%	15.3%	2.7%	0.9%	3.7%	1.9%	3.0%	40.3%
家族構成											
ひとり暮らし	19.6%	10.5%	19.3%	5.8%	23.4%	2.2%	0.6%	4.1%	0.8%	6.1%	30.9%
ひとり暮らし以外	8.0%	7.3%	11.1%	3.8%	12.6%	2.0%	0.8%	2.4%	1.5%	1.7%	53.5%
介護状況											
介護は不要	8.1%	5.6%	10.6%	2.8%	13.0%	1.3%	0.4%	1.4%	0.9%	1.4%	55.0%
介護は必要	21.6%	21.0%	24.8%	12.3%	23.2%	7.1%	2.9%	10.3%	4.5%	7.7%	18.7%

問 11-5-1 問 11-5 で不安や困っていると感じるがあると回答された方におたずねします。どのように解決されていますか。(○はひとつ)

① 全体的な傾向

「家族や親戚の手助け」が 36.0%でもっとも多く、次いで「自力で何とかしている」が 34.5%となっており、その他の項目はごくわずかになっています。

② 男女別の傾向

「家族や親戚の手助け」は女性が 40.3%に対し、男性は 30.0%と、女性が男性を10.3ポイント上回り、「自力で何とかしている」は男性が 42.1%に対し、女性は 29.0%と、男性が女性を 13.1 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

「家族や親戚の手助け」は後期高齢者が 37.8%に対し、前期高齢者は 32.0%と、後期高齢者が前期高齢者を 5.8ポイント上回り、「自力で何とかしている」は前期高齢者が38.5%に対し、後期高齢者は32.7%と、前期高齢者が後期高齢者を 5.8 ポイント上回っています。

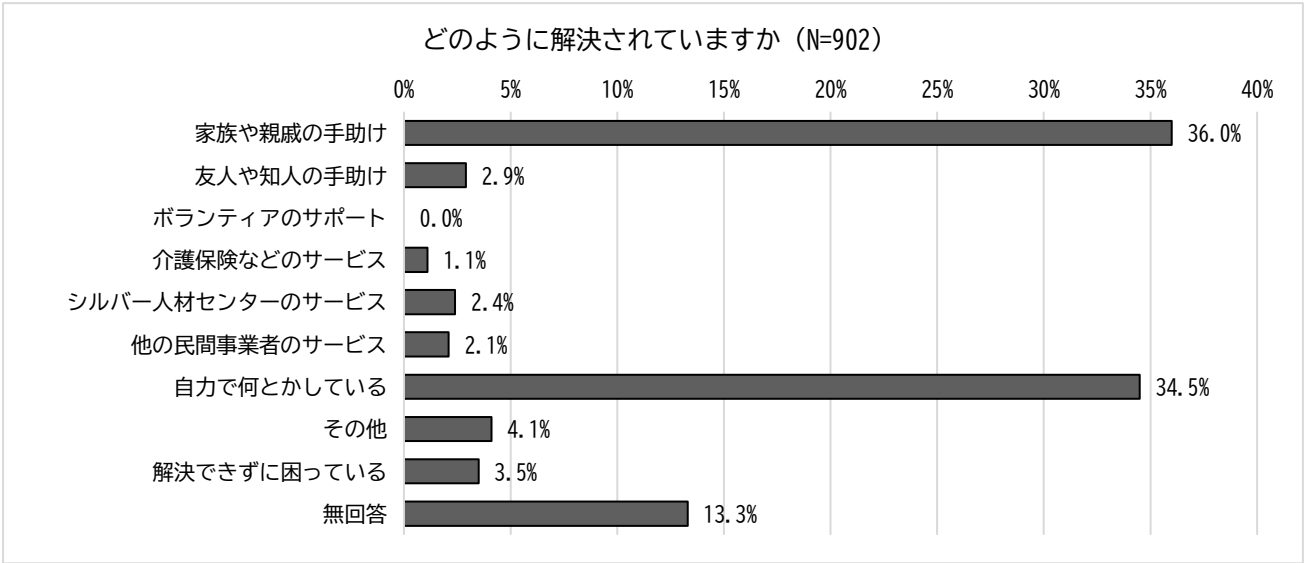
④ 家族構成別の傾向

ひとり暮らしは「自力で何とかしている」が 38.7%でもっとも多く、次いで「家族や親戚の手助け」が 28.8%、ひとり暮らし以外は「家族や親戚の手助け」が 38.4%でもっとも多く、次いで「自力で何とかしている」が33.7%となっています。

⑤ 介護状況別の傾向

「家族や親戚の手助け」は「介護は必要」が 43.1%に対し、「介護は不要」は 33.2%と、「介護は必要」が

「介護は不要」を 9.9 ポイント上回り、「自力で何とかしている」は「介護は不要」が 39.4%に対し、「介護は必要」は 19.4%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 20.0 ポイント上回っています。



		回答数	家族や親戚の手助け	友人や知人の手助け	ボランティアのサポート	介護保険などのサービス	シルバー人材センターのサービス	他の民間事業者のサービス	自力で何とかしている	その他	解決できずに困っている	無回答	計
	全体	(N=902)	36.0%	2.9%	0.0%	1.1%	2.4%	2.1%	34.5%	4.1%	3.5%	13.3%	100.0%
性別	男性	(N=380)	30.0%	1.3%	0.0%	0.5%	1.6%	1.1%	42.1%	4.2%	4.2%	15.0%	100.0%
	女性	(N=514)	40.3%	4.1%	0.0%	1.6%	3.1%	2.7%	29.0%	4.1%	3.1%	12.1%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=291)	32.0%	2.4%	0.0%	0.7%	3.8%	2.4%	38.5%	4.1%	4.8%	11.3%	100.0%
	後期高齢者	(N=603)	37.8%	3.2%	0.0%	1.3%	1.8%	1.8%	32.7%	4.1%	3.0%	14.3%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=212)	28.8%	5.7%	0.0%	1.4%	4.7%	1.9%	38.7%	2.4%	5.2%	11.3%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=662)	38.4%	1.7%	0.0%	1.1%	1.8%	2.3%	33.7%	4.8%	3.0%	13.3%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=660)	33.2%	2.6%	0.0%	0.2%	3.2%	2.4%	39.4%	3.5%	3.8%	11.8%	100.0%
	介護は必要	(N=211)	43.1%	3.8%	0.0%	4.3%	0.5%	1.4%	19.4%	5.7%	3.3%	18.5%	100.0%

問 11-6 以下にご自分が近所の方に行っていること、やってみたいことはありますか。
(各項目ごとに○はひとつ)

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」に着目して比較検討を行います。

1. 気になることがあったとき、「どうされましたか」と声をかける

① 全体的な傾向と経年変化

「している」(45.9%)、「やってみたい」(17.9%)を合わせた「手助けしたい」は 63.8%となっています。
経年変化では「手助けしたい」は第9期調査の 57.8%から第10期調査は 63.8%へと、6.0 ポイント増加しています。

② 男女別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は男性が 65.7%に対し、女性は 62.3%と、男性が女性を 3.4 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は前期高齢者が 69.2%に対し、後期高齢者は

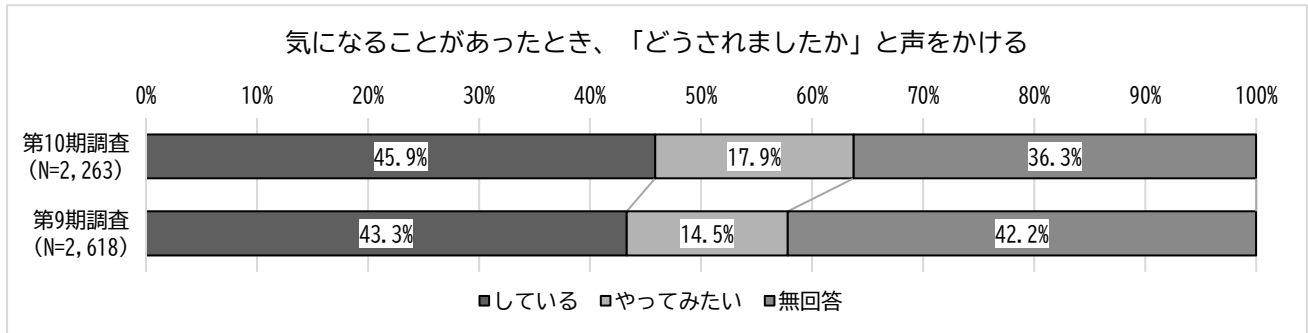
60.0%と、前期高齢者が後期高齢者を 9.2 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」はひとり暮らし以外が 65.1%に対し、ひとり暮らしは 57.3%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 7.8 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は「介護は不要」が 66.4%に対し、「介護は必要」は 48.4%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 18.0 ポイント上回っています。



		回答数	している	やってみたい	無回答	計
全体		(N=2,263)	45.9%	17.9%	36.3%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	47.3%	18.4%	34.3%	100.0%
	女性	(N=1,211)	45.0%	17.3%	37.7%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	47.6%	21.6%	30.8%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	44.9%	15.1%	40.0%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	39.9%	17.4%	42.7%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	47.2%	17.9%	34.9%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	48.7%	17.7%	33.5%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	31.6%	16.8%	51.6%	100.0%

2. 世間話などゆっくりお話を聞く

① 全体的な傾向と経年変化

「している」(37.9%)、「やってみたい」(18.2%)を合わせた「手助けしたい」は 56.1%となっています。

経年変化では「手助けしたい」は第9期調査の 50.6%から第10期調査は 56.1%へと、5.5 ポイント増加しています。

② 男女別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は女性が 58.0%に対し、男性は 54.3%と、女性が男性を 3.7 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

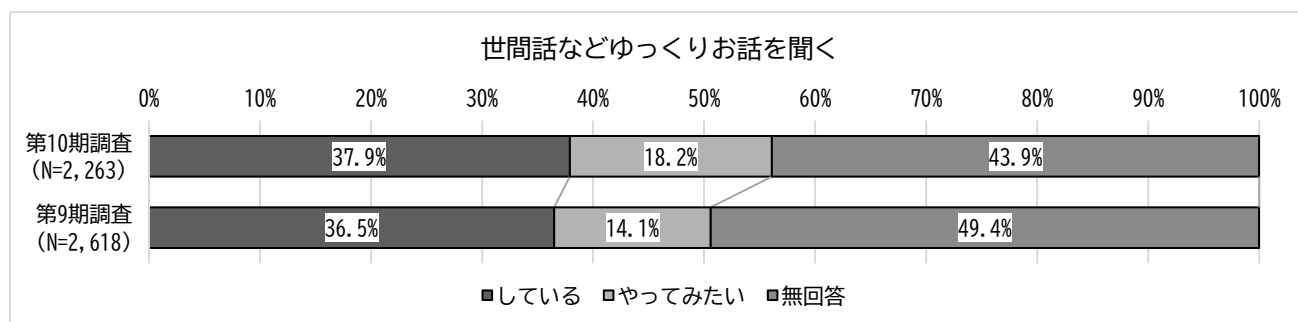
「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は前期高齢者が 59.4%に対し、後期高齢者は 54.1%と、前期高齢者が後期高齢者を 5.3 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

有意な差は見られません。

⑤ 介護状況別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は「介護は不要」が 57.9%に対し、「介護は必要」は 45.5%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 12.4 ポイント上回っています。



		回答数	している	やってみたい	無回答	計
全体		(N=2,263)	37.9%	18.2%	43.9%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	33.0%	21.3%	45.7%	100.0%
	女性	(N=1,211)	42.4%	15.6%	41.9%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	38.0%	21.4%	40.6%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	38.2%	15.9%	46.0%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	36.1%	17.9%	46.0%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	38.2%	18.1%	43.6%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	39.8%	18.1%	42.1%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	26.8%	18.7%	54.5%	100.0%

3. おかずを作って近所の方に分ける

① 全体的な傾向と経年変化

「している」(11.6%)と「やってみたい」(21.1%)を合わせた「手助けしたい」は32.7%となっています。
有意な経年変化はみられません。

② 男女別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は女性が35.2%に対し、男性は30.4%と、女性が男性を4.8ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

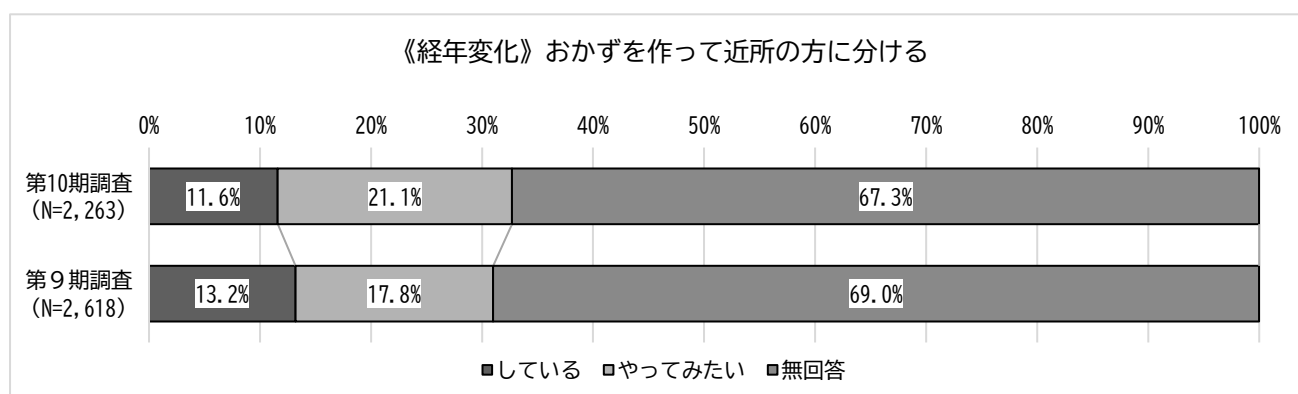
「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は前期高齢者が35.6%に対し、後期高齢者は31.1%と、前期高齢者が後期高齢者を4.5ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

有意な差は見られません。

⑤ 介護状況別の傾向

有意な差はみられません。



		回答数	している	やってみたい	無回答	計
	全体	(N=2,263)	11.6%	21.1%	67.3%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	5.4%	25.0%	69.5%	100.0%
	女性	(N=1,211)	17.1%	18.1%	64.8%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	10.1%	25.5%	64.4%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	12.9%	18.2%	68.9%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	13.2%	18.2%	68.6%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	11.1%	21.7%	67.2%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	11.8%	21.0%	67.1%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	9.7%	21.3%	69.0%	100.0%

4. 車に乗せてあげるなど、外出の手助け

① 全体的な傾向と経年変化

「している」(16.2%)と「やってみたい」(22.1%)を合わせた「手助けしたい」は 38.3%となっています。

経年変化では「手助けしたい」は、第9期調査の 31.6%から第10期調査は 38.3%へと、6.7 ポイント増加しています。

② 男女別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は男性が 43.1%に対し、女性は 34.6%と、男性が女性を 8.5 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

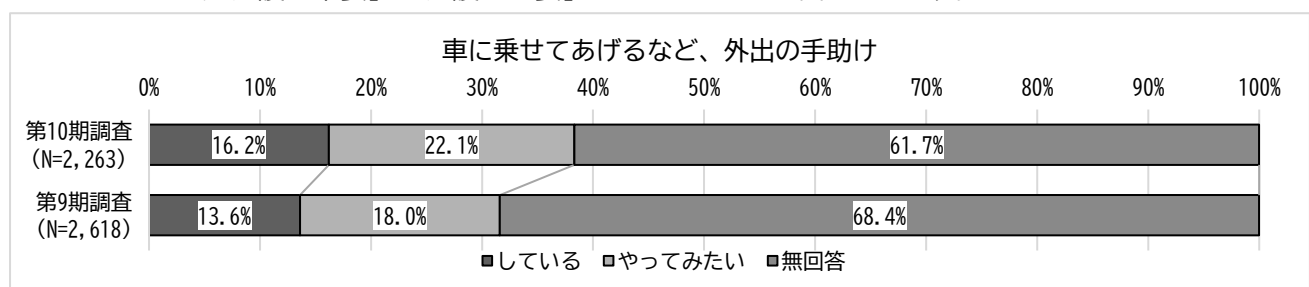
「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は前期高齢者が 44.5%に対し、後期高齢者は 34.1%と、前期高齢者が後期高齢者を 10.4 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」はひとり暮らし以外が 39.2%に対し、ひとり暮らしは 33.6%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 5.6 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は「介護は不要」が 40.2%に対し、「介護は必要」は 24.8%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 15.4 ポイント上回っています。



		回答数	している	やってみたい	無回答	計
	全体	(N=2,263)	16.2%	22.1%	61.7%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	15.0%	28.1%	57.0%	100.0%
	女性	(N=1,211)	17.4%	17.2%	65.4%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	17.3%	27.2%	55.5%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	15.6%	18.5%	65.9%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	13.8%	19.8%	66.4%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	16.7%	22.5%	60.9%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	17.1%	23.1%	59.8%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	10.0%	14.8%	75.2%	100.0%

5. 自分が買い物に行くとき、代わりに買ってくる

① 全体的な傾向と経年変化

「している」(8.3%)と「やってみたい」(24.7%)を合わせた「手助けしたい」は 33.0%となっています。

経年変化では「手助けしたい」は、第9期調査の 28.4%から第10期調査は 33.0%へと、4.6 ポイント増加しています。

② 男女別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は男性が 34.8%に対し、女性は 31.5%と、男性が女性を 3.3 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

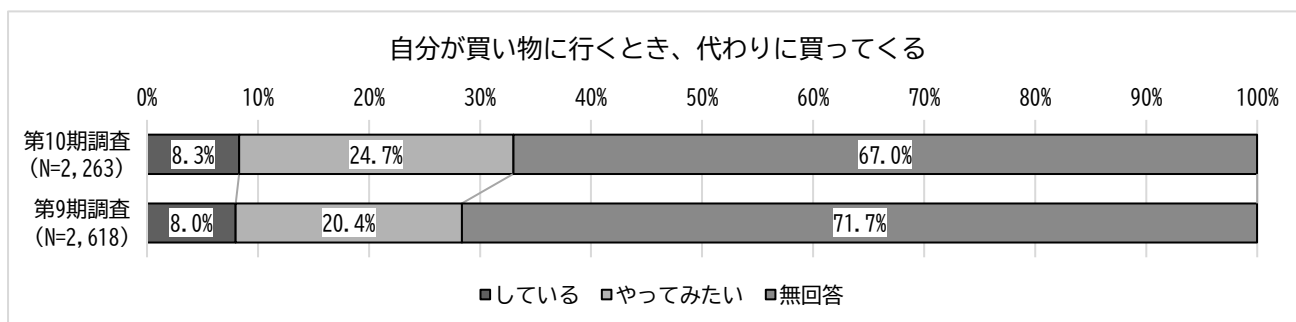
「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は前期高齢者が 39.2%に対し、後期高齢者は 28.5%と、前期高齢者が後期高齢者を 10.7 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」はひとり暮らし以外が 33.5%に対し、ひとり暮らしは 30.0%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 3.5 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は「介護は不要」が 34.7%に対し、「介護は必要」は 23.2%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 11.5 ポイント上回っています。



		回答数	している	やってみたい	無回答	計
全体		(N=2,263)	8.3%	24.7%	67.0%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	6.3%	28.5%	65.1%	100.0%
	女性	(N=1,211)	10.1%	21.4%	68.5%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	8.0%	31.2%	60.8%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	8.6%	19.9%	71.5%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	10.2%	19.8%	70.0%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	8.0%	25.5%	66.5%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	8.9%	25.8%	65.3%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	4.5%	18.7%	76.8%	100.0%

6. 病気やけがなどのとき、看病をしたり医者を呼んだりするなどの手助け

① 全体的な傾向と経年変化

「している」(10.6%)と「やってみたい」(26.4%)を合わせた「手助けしたい」は 37.0%となっています。

経年変化では「手助けしたい」は、第9期調査の 32.5%から第10期調査は 37.0%へと、4.5 ポイント増加しています。

② 男女別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は男性が 41.2%に対し、女性は 33.4%と、男性が女性を 7.8 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

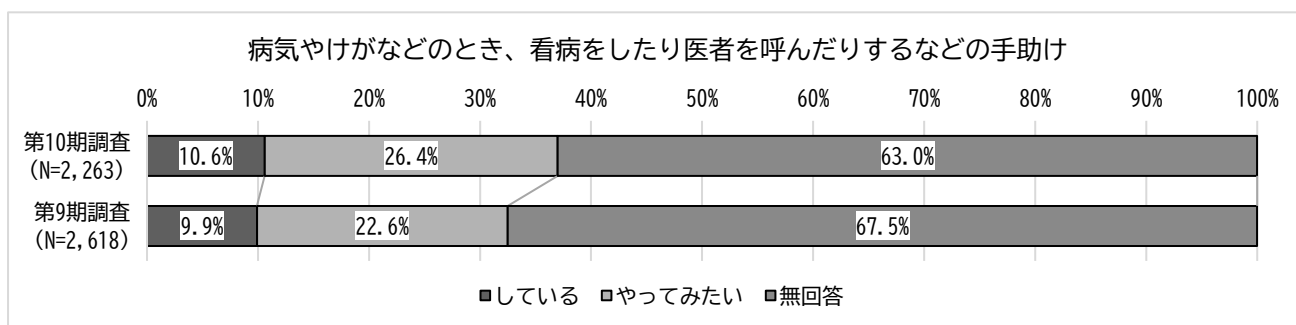
「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は前期高齢者が 42.2%に対し、後期高齢者は 33.2%と、前期高齢者が後期高齢者を 9.0 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」はひとり暮らし以外が 37.9%に対し、ひとり暮らしは 32.5%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 5.4 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は「介護は不要」が 38.6%に対し、「介護は必要」は 27.1%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 11.5 ポイント上回っています。



		回答数	している	やってみたい	無回答	計
全体		(N=2,263)	10.6%	26.4%	63.0%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	11.8%	29.4%	58.7%	100.0%
	女性	(N=1,211)	9.5%	23.9%	66.6%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	9.3%	32.9%	57.9%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	11.5%	21.7%	66.7%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	8.5%	24.0%	67.5%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	11.1%	26.8%	62.1%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	11.3%	27.3%	61.4%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	7.1%	20.0%	72.9%	100.0%

7. 地域の集まりや催しのお誘いをする

① 全体的な傾向と経年変化

「している」(21.4%)と「やってみたい」(16.5%)を合わせた「手助けしたい」は 37.9%となっています。

経年変化では「手助けしたい」は、第9期調査の 32.6%から第10期調査は 37.9%へと、5.3 ポイント増加しています。

② 男女別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は男性が 40.0%に対し、女性は 36.5%と、男性が女性を 3.5 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は前期高齢者が 43.0%に対し、後期高齢者は

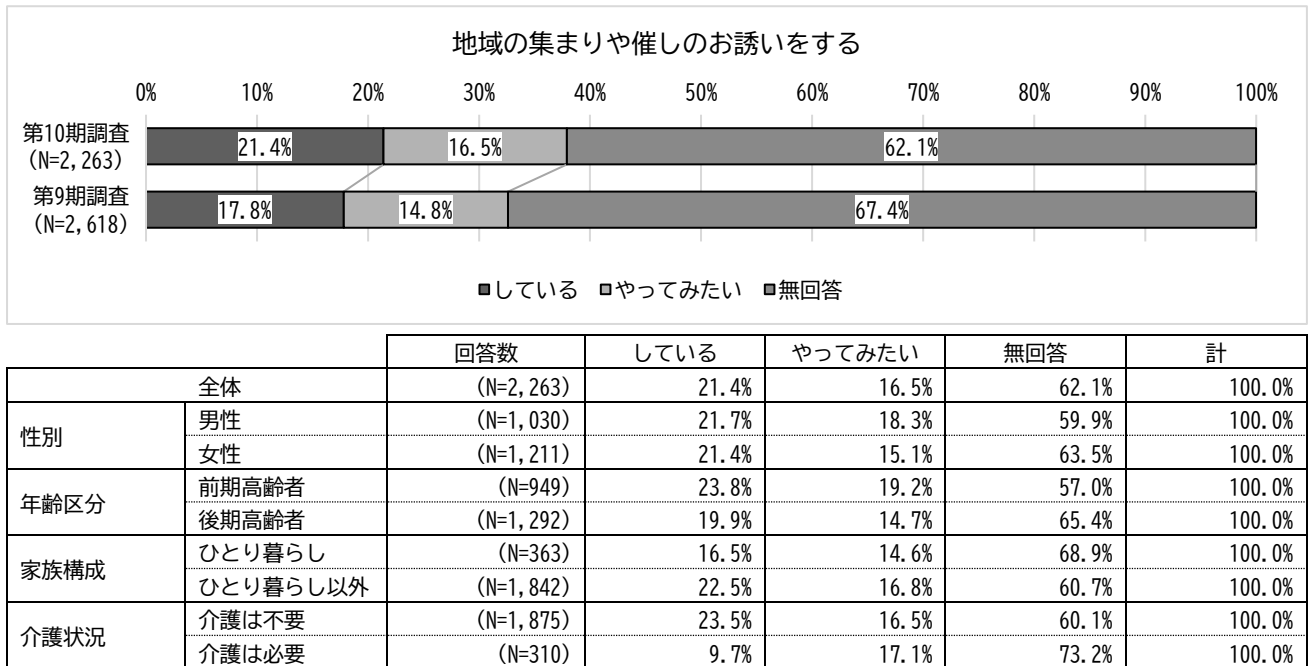
34.6%と、前期高齢者が後期高齢者を 8.4 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」はひとり暮らし以外が 39.3%に対し、ひとり暮らしは 31.1%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 8.2 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は「介護は不要」が 40.0%に対し、「介護は必要」は 26.8 と、「介護は不要」が「介護は必要」を 13.2 ポイント上回っています。



8. 地域の集まりや催しの準備や片付け等を手伝う

① 全体的な傾向と経年変化

「している」(21.8%)と「やってみたい」(16.8%)を合わせた「手助けしたい」は 38.6%となっています。

経年変化では「手助けしたい」は、第9期調査の 34.4%から第10期調査は 38.6%へと、4.2 ポイント増加しています。

② 男女別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は男性が 42.4%に対し、女性は 36.0%と、男性が女性を 6.4 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

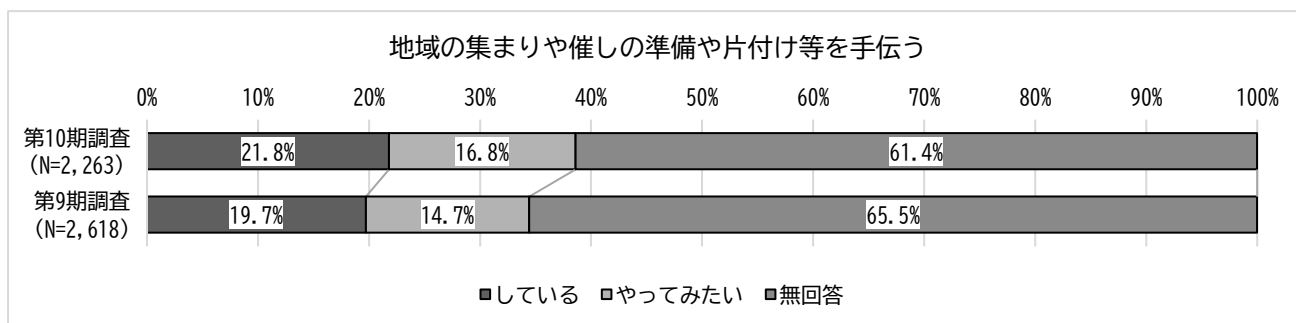
「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は前期高齢者が 47.1%に対し、後期高齢者は 32.9%と、前期高齢者が後期高齢者を 14.2 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」はひとり暮らし以外が 40.0%に対し、ひとり暮らしは 32.0%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 8.0 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は「介護は不要」が40.9%に対し、「介護は必要」は25.8%と、「介護は不要」が「介護は必要」を15.1ポイント上回っています。



		回答数	している	やってみたい	無回答	計
全体		(N=2,263)	21.8%	16.8%	61.4%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	25.0%	17.4%	57.7%	100.0%
	女性	(N=1,211)	19.4%	16.6%	64.0%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	27.6%	19.5%	52.9%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	17.8%	15.1%	67.1%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	16.0%	16.0%	68.0%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	23.1%	16.9%	59.9%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	24.2%	16.7%	59.0%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	8.4%	17.4%	74.2%	100.0%

9. ゴミの分別やゴミ出しを手伝ったり代わりに行ったりする

① 全体的な傾向と経年変化

「している」(8.9%)と「やってみたい」(20.5%)を合わせた「手助けしたい」は29.1%となっています。

経年変化では「手助けしたい」は、第9期調査の26.9%から第10期調査は29.1%へと、2.2ポイント増加しています。

② 男女別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は男性が33.4%に対し、女性は25.6%と、男性が女性を7.8ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

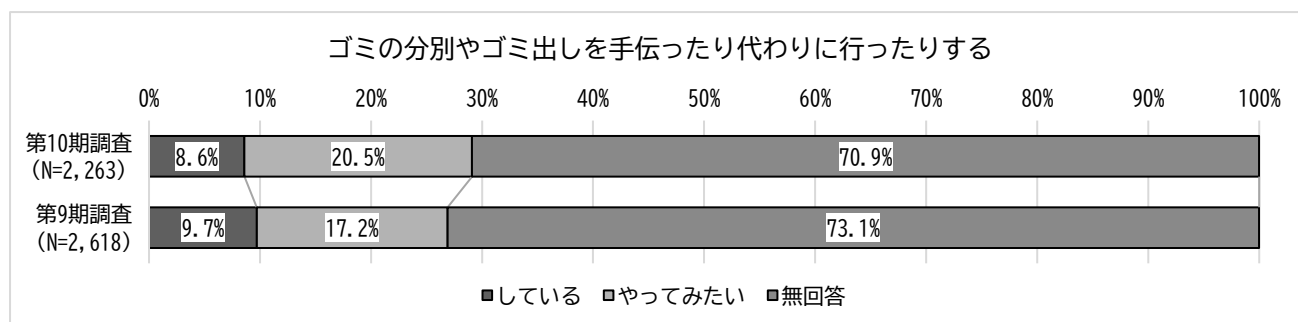
「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は前期高齢者が33.4%に対し、後期高齢者は26.1%と、前期高齢者が後期高齢者を7.3ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」はひとり暮らし以外が29.9%に対し、ひとり暮らしは24.0%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを5.9ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は「介護は不要」が30.1%に対し、「介護は必要」は22.9%と、「介護は不要」が「介護は必要」を7.2ポイント上回っています。



		回答数	している	やってみたい	無回答	計
全体		(N=2,263)	8.6%	20.5%	70.9%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	10.5%	22.9%	66.6%	100.0%
	女性	(N=1,211)	7.0%	18.6%	74.4%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	7.2%	26.2%	66.6%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	9.7%	16.4%	73.9%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	5.8%	18.2%	76.0%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	9.1%	20.8%	70.1%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	9.1%	21.0%	70.0%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	5.8%	17.1%	77.1%	100.0%

10. 犬の散歩などペットの世話を代わりに行う

① 全体的な傾向と経年変化

「している」(1.6%)と「やってみたい」(20.8%)を合わせた「手助けしたい」は 22.4%となっています。

経年変化では「手助けしたい」は、第9期調査の 20.6%から第10期調査は 22.4%へと、1.8 ポイント増加しています。

② 男女別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は男性が 27.0%に対し、女性は 18.9%と、男性が女性を 8.1 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

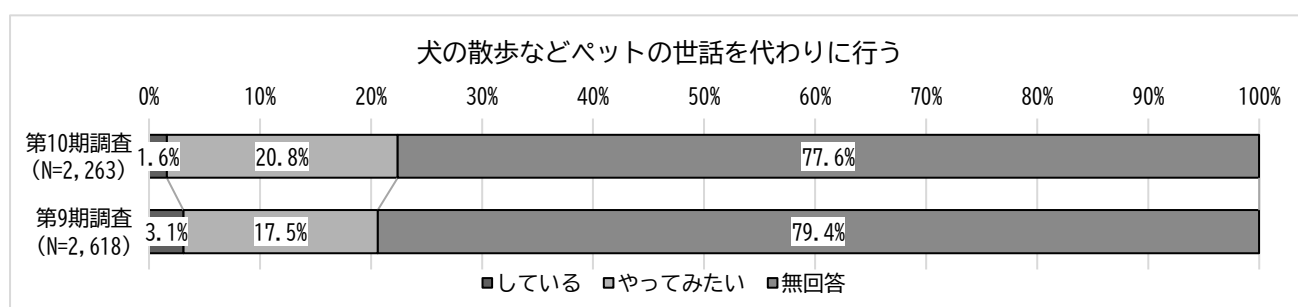
「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は前期高齢者が 27.6%に対し、後期高齢者は 18.9%と、前期高齢者が後期高齢者を 8.7 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」はひとり暮らし以外が 22.9%に対し、ひとり暮らしは 19.0%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 3.9 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は「介護は不要」が 23.1%に対し、「介護は必要」は 18.1%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 5.0 ポイント上回っています。



		回答数	している	やってみたい	無回答	計
	全体	(N=2,263)	1.6%	20.8%	77.6%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	1.6%	25.4%	73.0%	100.0%
	女性	(N=1,211)	1.7%	17.2%	81.1%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	1.3%	26.3%	72.4%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	1.9%	17.0%	81.0%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	1.4%	17.6%	81.0%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	1.6%	21.3%	77.1%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	1.4%	21.7%	76.9%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	2.9%	15.2%	81.9%	100.0%

11. 花や木の水やりを代わりに行う

① 全体的な傾向と経年変化

「している」(5.5%)と「やってみたい」(20.5%)を合わせた「手助けしたい」は26.0%となっています。

経年変化では「手助けしたい」は、第9期調査の24.4%から第10期調査は26.0%へと、1.6ポイント増加しています。

② 男女別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は男性が29.5%に対し、女性は23.4%と、男性が女性を6.1ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

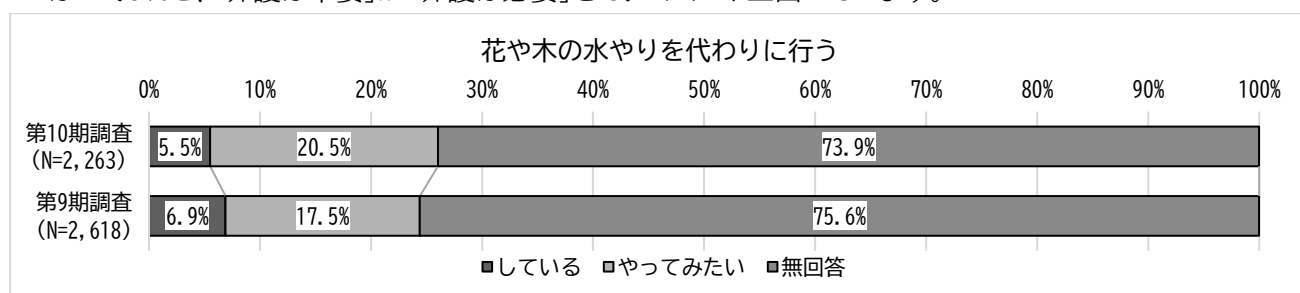
「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は前期高齢者が29.7%に対し、後期高齢者は23.7%と、前期高齢者が後期高齢者を6.0ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」はひとり暮らし以外が26.5%に対し、ひとり暮らしは22.1%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを4.4ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は「介護は不要」が26.7%に対し、「介護は必要」は21.6%と、「介護は不要」が「介護は必要」を5.1ポイント上回っています。



		回答数	している	やってみたい	無回答	計
	全体	(N=2,263)	5.5%	20.5%	73.9%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	6.0%	23.5%	70.5%	100.0%
	女性	(N=1,211)	5.2%	18.2%	76.5%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	2.8%	26.9%	70.3%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	7.6%	16.1%	76.3%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	3.9%	18.2%	78.0%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	5.6%	20.9%	73.5%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	5.3%	21.4%	73.3%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	5.8%	15.8%	78.4%	100.0%

12. 簡単な家の修理や掃除、庭の草刈りなどを手伝う

① 全体的な傾向と経年変化

「している」(9.8%)と「やってみたい」(18.3%)を合わせた「手助けしたい」は 28.1%となっています。

経年変化では「手助けしたい」は、第9期調査の 26.9%から第10期調査は 28.1%へと、1.2 ポイント増加しています。

② 男女別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は男性が 37.6%に対し、女性は 20.5%と、男性が女性を 17.1 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

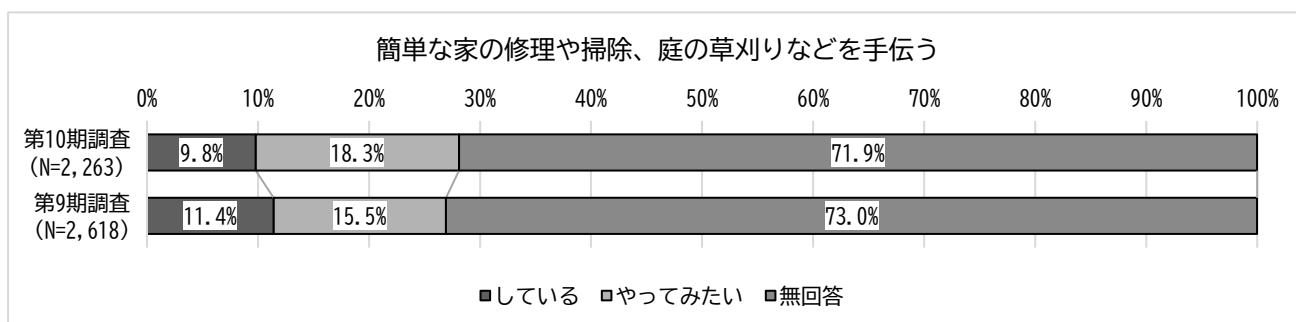
「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は前期高齢者が 32.0%に対し、後期高齢者は 25.6%と、前期高齢者が後期高齢者を 6.4 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」はひとり暮らし以外が 29.0%に対し、ひとり暮らしは 21.5%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 7.5 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は「介護は不要」が 28.9%に対し、「介護は必要」は 22.0%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 6.9 ポイント上回っています。



		回答数	している	やってみたい	無回答	計
全体		(N=2,263)	9.8%	18.3%	71.9%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	14.6%	23.0%	62.4%	100.0%
	女性	(N=1,211)	5.9%	14.6%	79.5%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	7.9%	24.1%	68.0%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	11.3%	14.3%	74.4%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	5.2%	16.3%	78.5%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	10.3%	18.7%	71.0%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	10.2%	18.7%	71.1%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	6.8%	15.2%	78.1%	100.0%

13. 囲碁や将棋などのお相手をする

① 全体的な傾向と経年変化

「している」(1.1%)と「やってみたい」(19.3%)を合わせた「手助けしたい」は 20.4%となっています。

経年変化では「手助けしたい」は、第9期調査の 17.6%から第10期調査は 20.4%へと、2.8 ポイント増加しています。

② 男女別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は男性が 27.7%に対し、女性は 14.3%と、男性が女性を 13.4 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

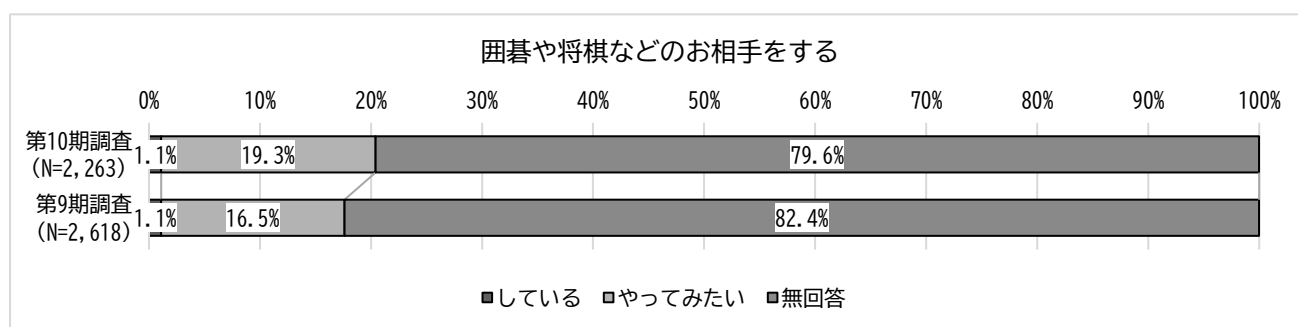
「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は前期高齢者が 24.1%に対し、後期高齢者は 17.8%と、前期高齢者が後期高齢者を 6.3 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」はひとり暮らし以外が 21.3%に対し、ひとり暮らしは 15.1%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 6.2 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は「介護は不要」が 20.7%に対し、「介護は必要」は 18.1%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 2.6 ポイント上回っています。



		回答数	している	やってみたい	無回答	計
全体		(N=2,263)	1.1%	19.3%	79.6%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	2.0%	25.7%	72.2%	100.0%
	女性	(N=1,211)	0.2%	14.1%	85.6%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	0.8%	23.3%	75.9%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	1.2%	16.6%	82.1%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	0.8%	14.3%	84.8%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	1.1%	20.2%	78.7%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	1.0%	19.7%	79.3%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	1.6%	16.5%	81.9%	100.0%

14. 他にしていること、またはやってみたいことがある

① 全体的な傾向と経年変化

「している」(3.2%)と「やってみたい」(14.3%)を合わせた「手助けしたい」は 17.5%となっています。

経年変化では「手助けしたい」は、第9期調査の 15.0%から第10期調査は 17.5%へと、2.5 ポイント増加しています。

② 男女別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は男性が 23.5%に対し、女性は 12.8%と、男性が女性を 10.7 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は前期高齢者が 22.1%に対し、後期高齢者は

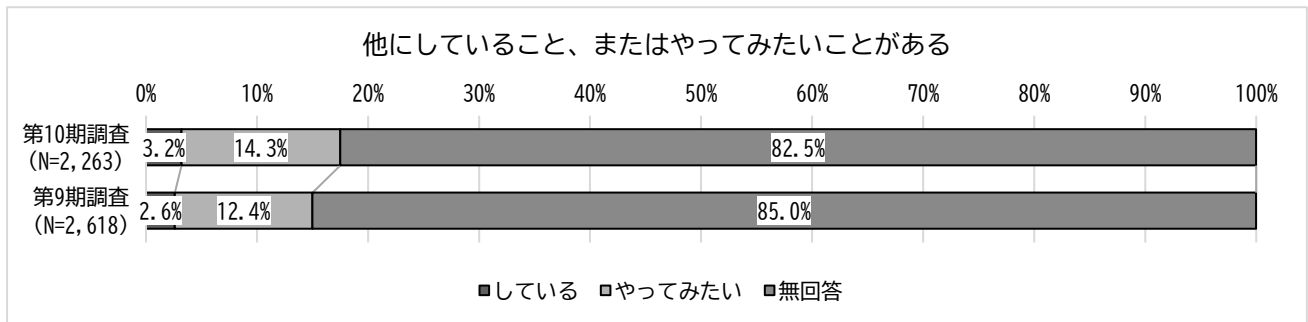
14.4%と、前期高齢者が後期高齢者を 7.7 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」はひとり暮らし以外が 18.2%に対し、ひとり暮らしは 12.6%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 5.6 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「している」と「やってみたい」を合わせた「手助けしたい」は「介護は不要」が 17.9%に対し、「介護は必要」は 14.8%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 3.1 ポイント上回っています。



		回答数	している	やってみたい	無回答	計
全体		(N=2,263)	3.2%	14.3%	82.5%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	4.0%	19.5%	76.5%	100.0%
	女性	(N=1,211)	2.6%	10.2%	87.3%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	3.8%	18.3%	77.9%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	2.8%	11.6%	85.6%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	1.9%	10.7%	87.3%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	3.4%	14.8%	81.8%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	3.3%	14.6%	82.1%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	2.9%	11.9%	85.2%	100.0%

問 11-7 あなたは人生の最期について考えたことはありますか。(〇はひとつ)

① 全体的な傾向

「ある」が 70.8%、「ない」が 18.0%となっています。

② 男女別の傾向

「ある」は女性が 74.7%に対し、男性は 66.4%と、女性が男性を 8.3 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

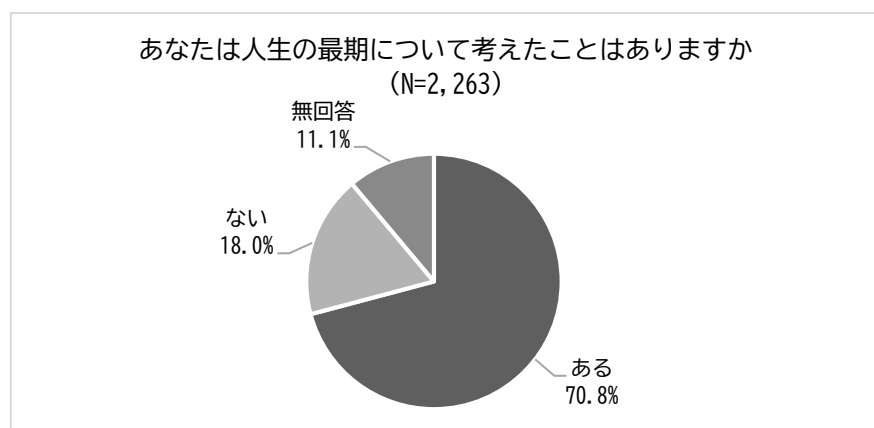
有意な差はみられません。

④ 家族構成別の傾向

「ある」はひとり暮らしが 74.7%に対し、ひとり暮らし以外は 70.4%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を 4.3 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「ない」は「介護は不要」が 19.2%に対し、「介護は必要」は 12.3%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 6.9 ポイント上回っています。



		回答数	ある	ない	無回答	計
	全体	(N=2, 263)	70.8%	18.0%	11.1%	100.0%
性別	男性	(N=1, 030)	66.4%	23.6%	10.0%	100.0%
	女性	(N=1, 211)	74.7%	13.4%	11.9%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	71.2%	21.9%	6.8%	100.0%
	後期高齢者	(N=1, 292)	70.7%	15.2%	14.1%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	74.7%	13.5%	11.8%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1, 842)	70.4%	19.2%	10.4%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1, 875)	70.8%	19.2%	10.0%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	73.5%	12.3%	14.2%	100.0%

問 11-7 「ある」と回答した方への質問

問 11-8 自分の医療・ケアに関する希望について、周囲の信頼する人や医療/福祉専門職と話し合ったことはありますか。(〇はひとつ)

① 全体的な傾向

「話し合ったことはない」が 71.6%でもっとも多く、次いで「一応話し合ったことはある」が 21.2%となっています。

② 男女別の傾向

有意な差はみられません。

③ 年齢区分別の傾向

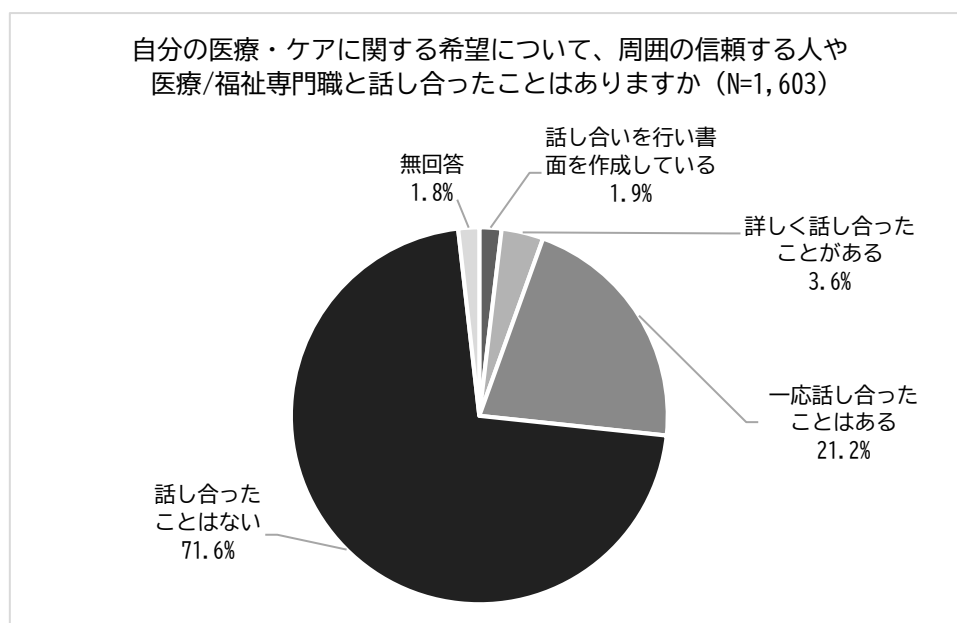
「一応話し合ったことはある」は後期高齢者が23.0%に対し、前期高齢者は 18.8%と、後期高齢者が前期高齢者を 4.2 ポイント上回り、「話し合ったことはない」は前期高齢者が 77.1%に対し、後期高齢者は 67.7%と、前期高齢者が後期高齢者を 9.4 ポイント上回っています。

④ 家族構成別の傾向

有意な差はみられません。

⑤ 介護状況別の傾向

「一応話し合ったことはある」は「介護は必要」が 29.8%に対し、「介護は不要」は 19.6%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 10.2 ポイント上回り、「話し合ったことはない」は「介護は不要」が 74.2%に対し、「介護は必要」は 56.6%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 17.6 ポイント上回っています。



		回答数	話し合いを行い書面を作成している	詳しく話し合ったことがある	一応話し合ったことはある	話し合ったことはない	無回答	計
	全体	(N=1,603)	1.9%	3.6%	21.2%	71.6%	1.8%	100.0%
性別	男性	(N=1,030)	1.8%	4.2%	20.8%	71.8%	1.5%	100.0%
	女性	(N=1,211)	2.0%	2.8%	21.5%	71.6%	2.1%	100.0%
年齢区分	前期高齢者	(N=949)	1.0%	2.5%	18.8%	77.1%	0.6%	100.0%
	後期高齢者	(N=1,292)	2.5%	4.1%	23.0%	67.7%	2.7%	100.0%
家族構成	ひとり暮らし	(N=271)	2.6%	2.2%	22.5%	70.1%	2.6%	100.0%
	ひとり暮らし以外	(N=1,297)	1.8%	3.8%	20.7%	72.1%	1.6%	100.0%
介護状況	介護は不要	(N=1,875)	1.3%	3.3%	19.6%	74.2%	1.7%	100.0%
	介護は必要	(N=310)	5.7%	5.7%	29.8%	56.6%	2.2%	100.0%

問 11-9 あなたは人生の最期をどこで迎えたいと思っていますか。(○はひとつ)

① 全体的な傾向と経年変化

「自宅で過ごしたいが、実現は難しいと思う」が32.4%でもっとも多く、次いで「自宅」が27.1%、「病院や施設」が10.9%となっており、「わからない」は13.9%となっています。

有意な経年変化はみられません。

② 男女別の傾向

「自宅」は男性が34.9%に対し、女性は20.7%と、男性が女性を14.2ポイント上回り、「自宅で過ごしたいが、実現は難しいと思う」は女性が37.1%に対し、男性は37.2%と、女性が男性を9.9ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

有意な差はみられません。

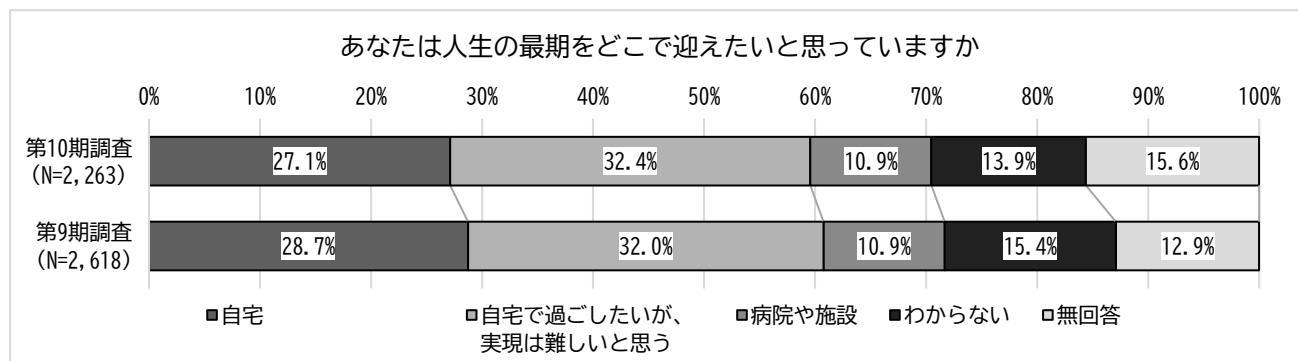
④ 家族構成別の傾向

「自宅」はひとり暮らし以外が27.9%に対し、ひとり暮らしは22.3%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを5.6ポイント上回り、「病院や施設」はひとり暮らしが16.8%に対し、ひとり暮らし以外は9.7%と、ひとり暮らし

しがひとり暮らし以外を 7.1 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「介護は必要」が 31.9%に対し、「介護は不要」は 26.3%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 5.6 ポイント上回っています。



	回答数	自宅	自宅で過ごしたいが、実現は難しいと思う	病院や施設	わからない	無回答	計
全体	(N=2,263)	27.1%	32.4%	10.9%	13.9%	15.6%	100.0%
性別							
男性	(N=1,030)	34.9%	27.2%	9.1%	13.8%	15.0%	100.0%
女性	(N=1,211)	20.7%	37.1%	12.4%	14.0%	15.9%	100.0%
年齢							
前期高齢者	(N=949)	25.9%	32.3%	10.4%	18.9%	12.4%	100.0%
後期高齢者	(N=1,292)	28.2%	32.7%	11.2%	10.2%	17.7%	100.0%
家族							
ひとり暮らし	(N=363)	22.3%	32.2%	16.8%	12.7%	16.0%	100.0%
ひとり暮らし以外	(N=1,842)	27.9%	32.8%	9.7%	14.3%	15.3%	100.0%
介護							
介護は不要	(N=1,875)	26.3%	33.3%	11.3%	14.1%	15.0%	100.0%
介護は必要	(N=310)	31.9%	29.7%	9.0%	13.9%	15.5%	100.0%

問 11-9 で「2. 自宅で過ごしたいが、実現は難しいと思う」と回答した方への質問

問 11-9-1 「自宅で過ごしたいが、実現は難しいと思う」理由はなんですか。(〇はいくつでも)

① 全体的な傾向と経年変化

「家族に迷惑をかけるから」が 66.3%でもっとも多く、次いで「自宅では容態が急変したときの対応が不安だから」が 39.5%、「病院や施設の方が 24 時間体制のケア(医療や介護)を受けられるから」が 38.1%となっています。

経年変化をみると、「家族に迷惑をかけるから」は第9期調査の 62.0%から第10期調査は 66.3%へと、4.3 ポイント増加し、「介護してくれる家族や地域のサポートがないから」は第9期調査の 11.8%から第10期調査は 16.2%へと、4.4 ポイント増加しています。また、「自宅では容態が急変したときの対応が不安だから」は第9期調査の 43.0%から第10期調査は 39.5%へと、3.5 ポイント減少しています。

② 男女別の傾向

「自宅では十分な看取りケア(医療や介護)を期待できないから」は男性が 35.0%に対し、女性は 27.2%と、男性が女性を 7.8 ポイント上回り、「病院や施設の方が 24 時間体制のケア(医療や介護)を受けられるから」は男性が 42.1%に対し、女性は 36.1%と、男性が女性を 6.0 ポイント上回り、「介護してくれる家族や地域のサポートがないから」は女性が 18.3%に対し、男性は 13.2%と女性が男性を 5.1 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

「家族に迷惑をかけるから」は前期高齢者が 69.1%に対し、後期高齢者は 64.2%と、前期高齢者が後期高齢者を 4.9 ポイント上回り、「自宅では容態が急変したときの対応が不安だから」は後期高齢者が 41.9%に対し、前期高齢者は 36.2%と、後期高齢者が前期高齢者を 5.7 ポイント上回り、「病院や施設の方が 24 時間体制のケア(医療や介護)を受けられるから」は後期高齢者が 40.5%に対し、前期高齢者は 35.5%と、後期高齢者が前期高齢者を 5.0 ポイント上回っています。

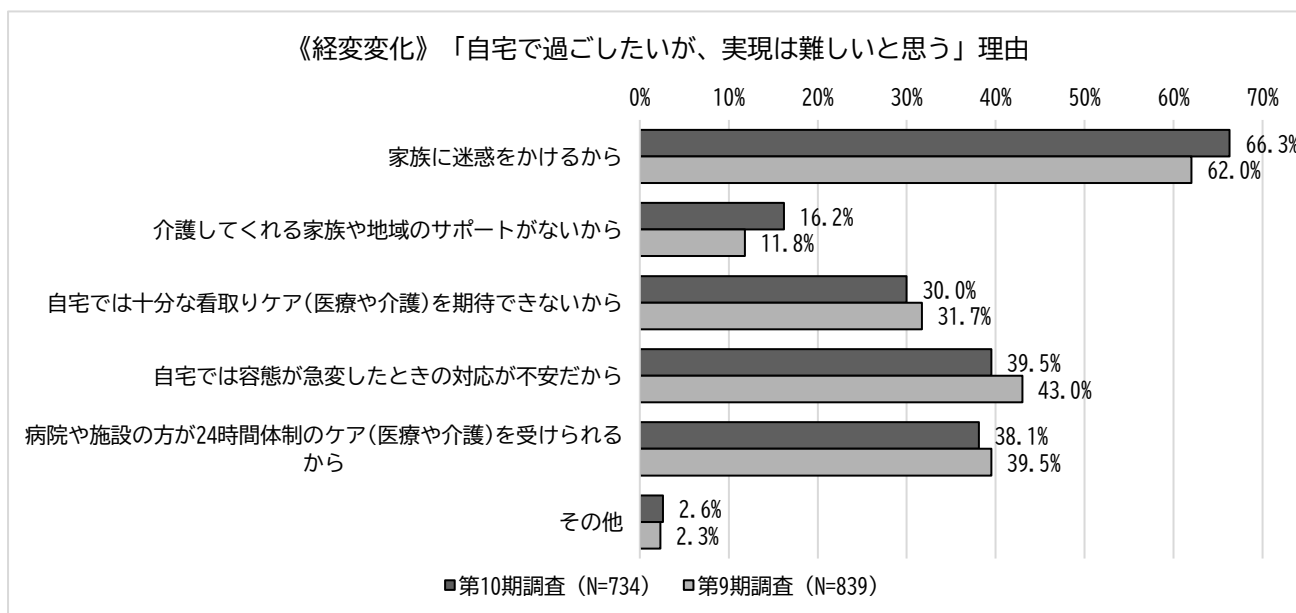
④ 家族構成別の傾向

「家族に迷惑をかけるから」はひとり暮らし以外が 69.3%に対し、ひとり暮らしは 52.1%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 17.2 ポイント上回り、「自宅では十分な看取りケア(医療や介護)を期待できないから」はひとり暮らし以外が 31.6%に対し、ひとり暮らしは 21.4%と、ひとり暮らし以外がひとり暮らしを 10.2 ポイント上回っています。

また、「介護してくれる家族や地域のサポートがないから」はひとり暮らしが 27.4%に対し、ひとり暮らし以外は 14.0%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を 13.4 ポイント上回っています。

⑤ 介護状況別の傾向

「家族に迷惑をかけるから」は「介護は不要」が 67.9%に対し、「介護は必要」は 58.7%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 9.2 ポイント上回り、「自宅では容態が急変したときの対応が不安だから」は「介護は必要」が 46.7%に対し、「介護は不要」は 38.5%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 8.2 ポイント上回り、「介護してくれる家族や地域のサポートがないから」は「介護は必要」が 22.8%に対し、「介護は不要」は 14.7%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 8.1 ポイント上回っています。



		回答数	家族に迷惑をかけるから	介護してくれる家族や地域のサポートがないから	自宅では十分な看取りケア(医療や介護)を期待できないから	自宅では容態が急変したときの対応が不安だから	病院や施設の方が24時間体制のケア(医療や介護)を受けられるから	その他
	全体	(N=734)	66.3%	16.2%	30.0%	39.5%	38.1%	2.6%
性別	男性	(N=280)	63.9%	13.2%	35.0%	42.1%	42.1%	1.8%
	女性	(N=449)	67.7%	18.3%	27.2%	37.9%	36.1%	3.1%
年齢区分	前期高齢者	(N=307)	69.1%	16.6%	30.3%	36.2%	35.5%	2.3%
	後期高齢者	(N=422)	64.2%	16.1%	30.1%	41.9%	40.5%	2.8%
家族構成	ひとり暮らし	(N=117)	52.1%	27.4%	21.4%	39.3%	42.7%	5.1%
	ひとり暮らし以外	(N=605)	69.3%	14.0%	31.6%	39.5%	36.9%	2.0%
介護状況	介護は不要	(N=624)	67.9%	14.7%	29.8%	38.5%	38.5%	2.2%
	介護は必要	(N=92)	58.7%	22.8%	31.5%	46.7%	39.1%	3.3%

問 11-10 これからの高齢化社会に向けてどんな取組が必要だと思われますか。(3つまで選択)

① 全体的な傾向と経年変化

「移送サービス・公共交通などの交通機関の充実」が 39.3%でもっとも多く、次いで「往診や緊急時の対応などの医療体制の充実」が 31.3%、「配食・買い物支援などの食を支えるサービスの充実」が 28.3%、「特別養護老人ホームなどの入所施設の充実」が 26.4%、「訪問介護などの在宅での介護サービスの充実」が 22.5%となっています。

経年変化をみると、「特別養護老人ホームなどの入所施設の充実」「訪問介護などの在宅での介護サービスの充実」「サービス付き高齢者向け住宅の充実」は第8期調査、第9期調査より増加し、「高齢者の働く場所の確保」「往診や緊急時の対応などの医療体制の充実」「認知症などの専門的な相談窓口の充実」は、第8期調査、第9期調査より減少しています。

② 男女別の傾向

「高齢者の働く場所の確保」は男性が 19.4%に対し、女性は 11.1%と、男性が女性を 8.3 ポイント上回り、「近隣・地域における助け合い・支え合い活動の推進」は男性が 19.2%に対し、女性は 13.7%と、男性が女性を 5.5 ポイント上回り、「移送サービス・公共交通などの交通機関の充実」は女性が 41.8%に対し、男性は 36.1%と、女性が男性を 5.7 ポイント上回り、「サービス付き高齢者向け住宅の充実」は女性が 16.6%に対し、男性は 12.4%と、女性が男性を 4.2 ポイント上回っています。

③ 年齢区分別の傾向

「高齢者の働く場所の確保」は前期高齢者が 21.5%に対し、後期高齢者は 10.1%と、前期高齢者が後期高齢者を 11.4 ポイント上回り、「移送サービス・公共交通などの交通機関の充実」は前期高齢者が 44.2%に対し、後期高齢者は 35.5%と、前期高齢者が後期高齢者を 8.7 ポイント上回り、「生きがいを持てるような活動機会の拡大」は前期高齢者が 19.0%に対し、後期高齢者は 13.5%と、前期高齢者が後期高齢者を 5.5 ポイント上回り、「特別養護老人ホームなどの入所施設の充実」は前期高齢者が 29.4%に対し、後期高齢者は 24.2%と、前期高齢者が後期高齢者を 5.2 ポイント上回っています。

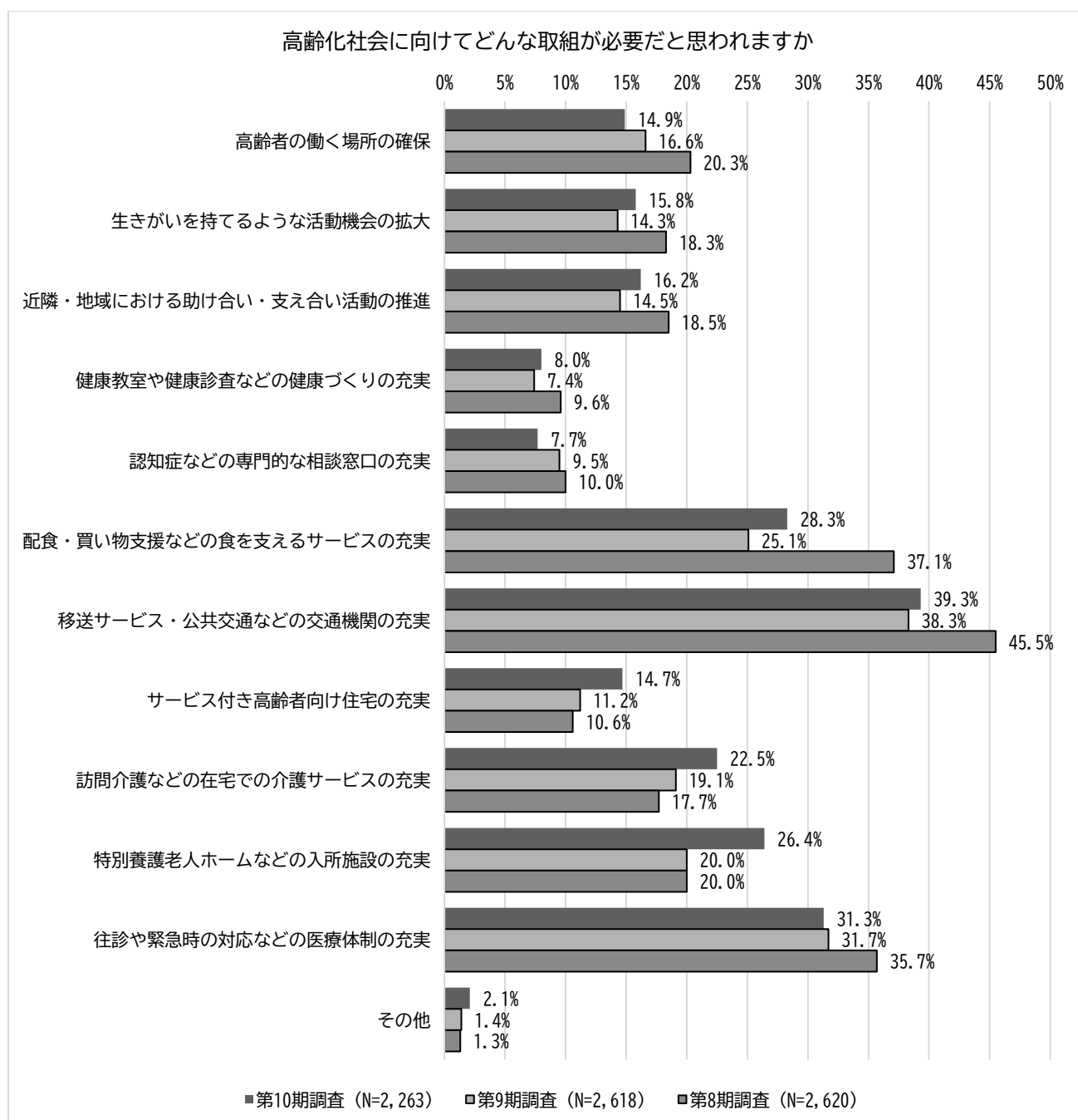
④ 家族構成別の傾向

有意な差はみられません。

⑤ 介護状況別の傾向

「移送サービス・公共交通などの交通機関の充実」は「介護は不要」が 41.4%に対し、「介護は必要」は

29.0%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 12.4 ポイント上回り、「高齢者の働く場所の確保」は「介護は不要」が 16.2%に対し、「介護は必要」は 7.7%と、「介護は不要」が「介護は必要」を 8.5 ポイント上回り、「サービス付き高齢者向け住宅の充実」は「介護は必要」が 18.7%に対し、「介護は不要」は 14.3%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 4.4 ポイント上回っています。



		回答数	高齢者の働く場所の確保	生きがいを持てるような活動機会の拡大	近隣・地域における助け合い・支え合い活動の推進	健康教室や健康診査などの健康づくりの充実	認知症などの専門的な相談窓口の充実	配食・買い物支援などの食を支えるサービスの充実
	全体	(N=734)	14.9%	15.8%	16.2%	8.0%	7.7%	28.3%
性別	男性	(N=280)	19.4%	16.4%	19.2%	8.9%	8.0%	26.8%
	女性	(N=449)	11.1%	15.4%	13.7%	7.2%	7.4%	29.5%
年齢区分	前期高齢者	(N=307)	21.5%	19.0%	16.2%	8.3%	7.5%	29.1%
	後期高齢者	(N=422)	10.1%	13.5%	16.3%	7.7%	7.8%	27.6%
家族構成	ひとり暮らし	(N=363)	13.8%	14.0%	16.8%	8.8%	6.6%	31.4%
	ひとり暮らし以外	(N=1,842)	15.3%	16.1%	16.3%	7.9%	8.1%	28.0%
介護状況	介護は不要	(N=624)	16.2%	16.1%	16.7%	7.9%	7.6%	28.2%
	介護は必要	(N=92)	7.7%	14.8%	14.5%	9.0%	9.4%	29.4%

		移送サービス・公共交通などの交通機関の充実	サービス付き高齢者向け住宅の充実	訪問介護などの在宅での介護サービスの充実	特別養護老人ホームなどの入所施設の充実	往診や緊急時の対応などの医療体制の充実	その他
	全体	39.3%	14.7%	22.5%	26.4%	31.3%	2.1%
性別	男性	36.1%	12.4%	23.3%	27.0%	30.8%	2.5%
	女性	41.8%	16.6%	21.9%	25.9%	31.7%	1.7%
年齢区分	前期高齢者	44.2%	17.2%	22.0%	29.4%	33.6%	2.2%
	後期高齢者	35.5%	12.8%	22.9%	24.2%	29.6%	2.0%
家族構成	ひとり暮らし	37.5%	17.6%	20.4%	28.9%	31.7%	3.3%
	ひとり暮らし以外	39.9%	14.3%	22.9%	26.2%	31.5%	1.8%
介護状況	介護は不要	41.4%	14.3%	22.0%	26.9%	31.9%	2.0%
	介護は必要	29.0%	18.7%	25.2%	25.2%	29.0%	2.6%

＜＜その他(自由記述)＞＞

有効回答数 2,263 票中 47 件の回答がありました。ご意見ご要望の多いものを以下に掲載します。

(1 票の中に複数の項目にまたがる回答もあるため、各項目の回答件数の合計は 47 件より多くなっています。)

	項 目	件 数
1	移送サービス・公共交通の充実	10
2	情報の周知・広報の充実	4
3	生活支援	4
4	経済的負担の軽減	4
5	入所施設・住まいの充実	3
6	生きがい・健康づくりの充実	3
7	家族のあり方	3
8	最後(看取り・葬儀)への備え	2
9	民生委員の活動	2
10	環境整備	2
11	相談窓口の充実	1
12	その他・感想	17
	合計(延べ件数)	55

①移送サービス・公共交通の充実

- 「交通手段のバスの本数を増やしてほしい」「乗り合いタクシーが妙見口駅へ行ってくれたら助かります」といった、具体的な交通の利便性向上を求める声が寄せられました。
- 「能勢町から山下駅までのバス便があれば通院、買物、友人、親せきに会う時、他市へ行く時、便利」「土日含めて町内のみならず町外と交流できる公共交通を充実確保してほしい」といった、生活の質の維持や社会とのつながりを重視する意見がありました。

②情報の周知・広報の充実

- 「周知の広報の更なる充実を希望」「保健福祉サービスのことをもっと知りたい」といった、行政サービスに関する既存の広報活動のさらなる強化や、より詳細な情報提供を求める意見がありました。
- 「サービス内容が分かりやすいサイトや LINE での情報発信サービスの申し込みができると助かります」といった、ウェブサイトの改善や SNS の活用など、情報のわかりやすさとアクセスの利便性向上を期待する意見がありました。
- 「予防や情報提供の強化、地域の特性をしっかりと見据えてほしい」といった、単なる情報の周知にとどまらず、地域の実情や住民ニーズを的確に捉えた上での情報提供のあり方を求める指摘が見られました。

③生活支援

- 「家のまわりの草刈、清掃」や「移動販売サービス」といった、高齢者自身では対応が困難な日常生活上の困りごとの解決や、身近な場所での買い物環境の整備を求める意見がありました。
- 「町内のスーパーが食料など配置してくださり何とか生きていけています。本当に助かっています」といった、食料支援などの具体的な物資提供が生活の維持に大きく寄与しており、行政や関係機関による継続的な支援を望む意見がありました。
- 「今後高齢者の一人生活が増えると日常生活や通院等にサポートが必要になってくる」といった、独居高齢世帯の増加という将来的な課題を見据え、日常生活や通院を支えるためのより手厚いサポート体制の構築を求める指摘がみられました。

④経済的負担の軽減

- 「移送サービスの料金免除」や「無料バス(能勢町～山下)を1日に数回運行してほしい。マイクロバス(10人乗り程度)、乗り合いタクシー、ふれあい号の予算をけずって運用する」といった、外出支援の無償化や無料バスの運行など、高齢者の移動に伴う金銭的負担の解消を具体的に要望する声が寄せられました。
- 「介護保険料が高い」といった、日常生活を維持する上での公的負担の重さを指摘し、限られた収入の中で安心して暮らし続けるための配慮を求める意見がありました。
- 「葬儀にかかる費用も少なくなればうれしい」といった、看取りから葬儀に至るまでの人生の最終段階において発生する経済的な不安を軽減し、最期まで安心して過ごせる仕組みづくりを望む指摘が見られました。

⑤入所施設・住まいの充実

- 「自宅で長く過ごしたくても無理な時、老人向け施設が必要になるのでは?」といった、独居世帯の増加という将来的な課題を見据え、在宅生活の継続が困難になった際の受け皿となる施設の必要性を訴える意見がありました。

- 「能勢は高齢者施設がないので、他の地域の施設に行くしかない。なぜ施設を増やせないのかいつも思っている」といった、町内の施設不足により住み慣れた地域を離れざるを得ない現状を指摘し、高齢者向け施設の拡充を強く求める意見がありました。

⑥生きがい・健康づくりの充実

- 「軽く身体を動かすことをもっと大切にするべきだし、それに向けて、本気で取り組む態勢・施策が必要。難しいことだけど、やらないと！」といった、住民が主体的に健康づくりに取り組める環境の整備や、行政による実効性のある本格的な支援体制の構築を強く求める声がありました。
- 「集える公園(花、ベンチ等)」といった、高齢者が安心して外出でき、住民同士が気軽に交流できるようなコミュニティの場の提供や、インフラ整備を望む意見がありました。
- 「知的講義(経済、歴史、英語(他の語学でも)など、大学の講義みたいなのがあればと思う」といった、教養を高める機会の提供など、知的な好奇心を満たし生きがいにつながるような生涯学習の充実を期待する指摘が見られました。

⑦家族のあり方

- 「家族(子ども)が親の面倒をみない世の中になってしまったことが残念」「子どもがいる人は世話もしてもらう」といった、家族による扶養や介護のあり方が変化している現状に対する嘆きや、親を子が支えるという本来あるべき関係性の維持を期待する意見がありました。
- 「親、兄弟、近親者が世話できる環境整備」といった、家族や親族が互いに世話し合えるような社会環境の構築など、身近な血縁者による支え合いを可能にするための体制整備を求める指摘が見られました。

⑧最期(看取り・葬儀)への備え

- 「自宅での看取りは難しい。最終段階になった時、スムーズに受け入れてくれる制度があれば皆さん助かると思う。葬儀にかかる費用も少なくなればうれしい」といった、在宅での看取りの困難さを指摘し、人生の最終段階における円滑な受け入れ制度の確立や経済的負担の軽減を期待する指摘が見られました。

⑨民生委員の活動

- 「地域の民生委員の方がより活動しやすい環境づくりと予算のアップ」といった、民生委員が地域で円滑に活動を継続するための環境整備や、活動を支える予算の拡充を求める意見がありました。
- 「民生委員の活動について、この10年以上顔を見たことがない。民生委員に対し行政としてどう指導しているのか」といった、地域住民から活動実態が見えにくい現状を指摘し、行政による委員への適切な指導や管理体制のあり方を問う声が見られました。

⑩環境整備

- 「防犯カメラ設置」といった、防犯体制の強化による地域での安全・安心の確保や、犯罪を未然に防ぐ生活環境の整備を求める意見がありました。

問 11-11 町の保健福祉サービスや高齢者施策などについて、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

有効回答数 2,263 票中 228 件の回答がありました。ご意見ご要望の多いものを以下に掲載します。

(1 票の中に複数の項目にまたがる回答もあるため、各項目の回答件数の合計は 228 件より多くなっています。)

	項 目	件 数
1	移送サービス・公共交通の充実	66
2	交流・集いの場の充実	21
3	医療体制の充実	20
4	入所施設の充実	17
5	相談窓口・情報周知の充実	17
6	地域づくり	10
7	買い物支援の充実	9
8	経済的不安・公的負担の軽減	7
9	健康づくり・介護予防の推進	5
10	日常生活の支援	4
11	就労場所の確保	4
12	高齢者向け住宅の確保	3
13	調査票への意見	11
14	その他・感想	73
	合計(延べ件数)	267

①移送サービス・公共交通の充実

- 「買い物、通院等の足は不可欠(自動車免許返納の時期が近付いており不安しかない)」「車の運転ができなくなったら町を出ていくつもり」といった、運転免許証の返納を契機とした将来の生活維持に対する強い不安や、移動手段の確保を住み続けるための条件とする訴えが多く見られました。
- 「町内だけの移送サービスだけではなく、町外に出たい時(病院)、日生中央か山下駅まで移送サービスしてくれるとありがたい」「乗合タクシーが自宅まで来てくれない」といった、最寄り駅や町外の医療機関へのアクセス向上を目的とした運行範囲の拡大や、自宅前での乗降など、より利便性の高いサービスを求める声がありました。
- 「コミュニティバスなど 1 時間に 1 本でも常に動いているバスがほしい」「予約制の移動サービスを緊急時の移送もお願いします」といった、運行本数の増加や予約制の改善、緊急時の対応など、高齢者が社会とのつながりを維持するために必要な時に柔軟かつ定期的に利用できる公共交通体系の整備を期待する意見がありました。

②交流・集いの場の充実

- 「高齢者が気軽に集えて、コーヒーを飲んだりおしゃべりをしたりできる場所を作ってください」「囲碁・将棋・マージャン等のできる建物」といった、趣味の活動や日常的なおしゃべりを通じて高齢者が日常的に交

流できる、身近な拠点の整備や娯楽設備の充実を求める声が寄せられました。

- 「高齢者は地域で孤立しがちなので、高齢者同士や異世代との交流等が盛んに提供できる場が必要」「地域に出向いて交流の場(食事会、お楽しみ会など)を設けてほしい。町の施設まで出向くのは難しい高齢者が多いため」といった、社会的な孤立を防止するための多世代交流の促進や、移動手段の確保が困難な層に配慮した地域密着型の交流機会の創出を期待する意見がありました。
- 「元気な老人が活躍できる場の設定」「私は老人会の世話役をしていますが金銭的な補助をお願いしたい」といった、高齢者が培ってきた経験を活かせる活動機会の提供や、地域コミュニティを支える自主的な活動を継続するための公的支援を望む意見がみられました。

③医療体制の充実

- 「町内に専門的な医療機関がなく、町外への移動もバスの本数が少なく、せめてコミュニティバスを最寄りの電鉄の駅まで行ってほしい」「歯科・眼科・耳鼻科をはじめ、理美容院など、常時開院でなくとも良いが、高齢者が利用できる方策を望む(高齢で遠方や町外まで行く事ができなくなる)」といった、町内における専門医療の不足や、通院に伴う移動の困難さを解消するための環境整備を求める声が寄せられました。
- 「夜に医師がいないのなら朝まで待って9時以降に病院に運んでくださるようなシステム」「1人暮らしになった時、24 時間体制で電話対応をしてもらえると安心(緊急時(救急未満)や健康相談など)」といった、夜間や緊急時の柔軟な救急搬送体制の構築、および独居高齢者が不安なく過ごせるための相談・連絡体制を期待する意見がありました。
- 「役場・買い物・医療機関・金融などが徒歩圏内であるような町づくり」「往診」といった、医療施設が身近にある生活圏の整備とともに、住み慣れた自宅での生活を維持するための在宅医療サービスの拡充を望む意見が見られました。

④入所施設の充実

- 「町内でいつでも入所できる老人福祉施設が必要!」「『特別養護老人ホーム』の増設を町内に是非お願いしたい」といった、住み慣れた地域で最期まで過ごせるよう、町内における高齢者向け入所施設の不足解消とさらなる拡充を求める声が多く寄せられました。
- 「自宅で介護ができないようになれば、速やかに施設へ入所可能か不安です」といった、家族による在宅介護の限界や自身の将来に対する不安を背景に、介護が必要になった際に円滑かつ速やかに施設を利用できる受け入れ体制の整備を望む意見がありました。
- 「年金に応じて入所可能な施設が増えたらと思います」「知的障がい者が独居となった場合の入所施設支援」といった、経済的な負担能力への配慮や、障がいのある方の独居世帯への対応など、住民一人ひとりの生活実態や多様なニーズに即したきめ細やかな支援のあり方を求める意見が見られました。

⑤相談窓口・情報周知の充実

- 「介護が必要になった時、何をどこに確認するのか等がわからない」「いつどこで誰が対応してくれるのかマニュアルの作成をお願いしたいし無償配布をしてほしい」といった、介護が必要になった際の具体的な手順や対応窓口をわかりやすくまとめた手引書の作成・配布など、情報の「見える化」を求める意見がありました。
- 「中々足を運んで相談するのは勇気がいるので自宅でスマホや PC で対応してもらえるのなら」「何か困ったとき、相談・サポートなど気軽に頼める環境づくりを望みます」といった、ICT の活用による相談の心理的・物理的ハードルの低減や、住民が孤立することなく安心して頼れる相談体制の構築を期待する意見が見られました。

- 「介護保険申請後の結果が非該当になった通知を見た後の本人や家族は、その先の対応処理の仕方が気になる。そのまま残念だったとだけで終わらない対応の充実を望みたい」「何事を相談しても質問しない限りは教えないということが多い。知識がない、情報もないから次々と質問も出てこないの（中略）何か対策やヒントなりでも提供してほしい」といった、行政からの能動的な情報提供や、一度の相談・申請で終わらせない継続的かつ親身なフォローアップを求める意見がありました。

⑥地域づくり

- 「運転ができなくなる→徒歩で暮らしていける町づくり（役場・買い物・医療機関・金融などが徒歩圏内であるような町づくり）」といった、将来的な運転困難を見据え、日常生活に必要な諸機能が身近に集約され、高齢者が徒歩でも自立して安心して暮らせるコンパクトな生活圏の整備を求める声がありました。
- 「防犯カメラを設置すべきだと親族に言われている。都会では当たり前にある。家が点在する能勢のほうを狙われたらひとたまりもない」といった、家が点在する地域特性を踏まえた防犯体制の強化により、高齢世帯が犯罪被害への不安を感じることなく、安全に住み続けられる環境づくりを期待する意見がありました。
- 「高齢者・障がい者・発達障がい者などの弱い方々が安心して安全に暮らせるように特化した能勢町になればと思います」といった、多様な特性を持つ住民が互いに理解し合い、誰一人取り残されることなく安全に生活できる、包摂的で「人に優しい」地域社会の実現を望む意見が見られました。

⑦買い物支援の充実

- 今は必要ないですが、車の運転ができなくなった時の買い物、移動手段が一番心配」といった、加齢に伴い自家用車での移動が困難になる将来を見据え、食料品や日用品の確保が困難になることへの不安と、安定した配送・移動手段の確保を求める声がありました。
- 「買い物に出れない人のためにも移動販売車は必要だと思います。安否確認にもなり現状回っておられるところもあるようですが、他の県での取組を見て必要だと思いました」といった、移動販売車による巡回が買い物支援の枠を超え、独居高齢者等の異変にいち早く気づくための地域の見守り・安否確認機能として重要な役割を担うことへの期待が寄せられました。
- 「外出難民、買い出し難民の解消」「徒歩で暮らしていける町づくり（役場・買い物・医療機関・金融などが徒歩圏内であるような町づくり）」といった、車がなくても日常生活が完結できるような生活機能の集約や、身近な場所での買い物環境の整備による、高齢者の自立した生活継続を望む意見がみられました。

⑧経済的不安・公的負担の軽減

- 「今現在夫婦での年金では十分生活できないし、一人になった時には年金で生活できないので心配です」「仕事を退職した後の生活に不安あり、年金のみでは生活苦です」といった、現在の年金受給額では将来の生活維持が困難であるという不安や、退職後の経済的な困窮を訴える声が寄せられました。
- 「後期高齢者保険料が高額すぎるため、負担料を考慮してください」「乗合タクシー・バスを乗り継ぐにしても、料金が高く大きな負担になる」といった、医療保険料の重い負担感に加え、通院や移動に伴う金銭的コストが日常生活を圧迫している現状を指摘し、公的負担の軽減を求める意見がありました。
- 「能勢町いきいき商品券よりも現金のほうがほしいと思った」「バスも電車も無料」といった、使途が限定される商品券よりも利便性の高い現金給付を望む声や、交通機関の完全無償化を求めるなど、より実効性の高い経済的支援のあり方を期待する意見が見られました。

⑨健康づくり・介護予防の推進

- 「高齢者の運動、活動の場所。生きがい・楽しみになるようなレクリエーション企画をしてほしい」「元氣な老人

が活躍できる場の設定」といった、健康づくりを単なる病気予防に留めず、高齢者が主体的に楽しみながら活動し、自らの経験を活かして社会で活躍できるような「生きがい」につながる場の提供を求める声がありました。

- 「地域での活動で現在において健康体操が実施されていないので、民生委員さんへ是非働きかけてほしいと思います」「気軽に参加できる趣味や健康づくりなど病気の予防に重点を置いた高齢者施策」といった、身近な地域で住民が気軽に参加できる体操や趣味の活動の充実とともに、行政による積極的な働きかけや予防を重視した施策の推進を期待する意見がありました。
- 「老人の働く場を提供してほしい。体を動かす事が健康第一と考えるから(人との付き合いが大事)」「健康という目的ばかりでは楽しみが少ないのではないかと思う」といった、単に数値を改善するための健康づくりではなく、就労や他者との交流を通じて自然に体を動かせるような、高齢者の社会参加を促す多様なアプローチを望む意見がみられました。

⑩日常生活の支援

- 「歩行困難になった場合のゴミの出し方はどうすれば?」「有料でも良いのでゴミ出しをしてくれる人はいないか」といった、加齢や怪我により身体機能が低下した際のゴミ出しに対する具体的な不安とともに、有償サービスを含めた継続的な個別支援の仕組みづくりを求める意見がありました。
- 「掃除や片付けの手伝い」「便利屋の配置(高所作業、買い物その他)(社協に)」といった、家屋内の清掃や高所作業など、高齢者が自力で行うことが難しい日常の困りごとを解決するため、社会福祉協議会等による包括的かつ柔軟な「便利屋」的支援の充実を望む意見がみられました。

⑪就労場所の確保

- 「高齢者が生き生きと働ける場所づくり」といった、働くことを通じて社会とのつながりや他者との交流を維持し、心身の健康と生きがいを確保するための多様な就労拠点の整備を求める声がありました。
- 「シルバー人材センターに行ったが、センターの活動が小さいと思います」といった、既存の就労支援機関の活動規模や支援内容が必ずしも十分ではないと感じており、高齢者の就労ニーズに寄り添った既存組織のさらなる活性化や機能強化を求める意見がありました。
- 「元気な老人が活躍できる場の設定」「学校は地域の人材(高齢者)を活用する教育の推進」といった、高齢者が培ってきた豊かな経験や技能を地域教育などに還元し、社会の担い手として多世代と関わりながら貢献できる機会の創出を期待する意見がみられました。

⑫高齢者向け住宅の確保

- 「高齢者向けの町営住宅」「町営の老人介護付住宅などがあれば良いかなと思う」「特別養護老人ホームを能勢町につくってほしいです」といった、加齢に伴う生活不安に対応し、安心して住み続けられるよう、介護サービスが附帯した住宅やショートステイ等の機能を持つ町営住宅の整備を求める意見がありました。
- 「徒歩で暮らしていける町づくり(役場・買い物・医療機関・金融などが徒歩圏内であるような町づくり)」といった、将来の運転困難を見据え、日常生活に必要な諸機能が身近に集約された場所への高齢者向け住宅の確保を望む意見がみられました。

1. 地域包括支援センターの認知度の向上と、依然として残る課題(特に男性への周知)

総合相談窓口である地域包括支援センターについて、「どのような相談ができるか知っている」と回答した割合は全体で 29.8%となり、第9期調査(24.2%)から 5.6 ポイント増加しており、住民への認知度は徐々に高まってきていることが確認できます。

一方で、依然として約 7 割の高齢者が「名称や場所のみ知っている」または「知らない」状況にあります。とりわけ男性は「どのような相談ができるか知っている」割合が 21.0%と低く(女性は 37.4%)、支援が必要になった際に適切な窓口へつながりにくいリスクを引き続き抱えています。向上しつつある認知度をさらに高め、必要な高齢者を確実な支援へとつなぐためにも、特に男性や無関心層に向けたアウトリーチ(出向く支援)などの積極的な周知活動が求められます。

2. ひとり暮らしに顕著な生活課題と「自力での抱え込み」、公的・民間サービスの未活用

生活動作の中で困っていることとして、全体では「遠い場所への外出(15.4%)」や「庭の手入れ(14.4%)」が上位に挙がっています。家族構成別に見ると、ひとり暮らしは「簡単な修理や電球替え(19.6%、ひとり暮らし以外8.0%)」や「庭の手入れ(23.4%、同12.6%)」「大掃除(19.3%、同11.1%)」などで、同居家族がいる層を大きく上回って困りごとを抱えています。

これらの困りごとの解決方法として、全体では「家族や親戚の手助け(36.0%)」が最多ですが、ひとり暮らしに限ると「自力で何とかしている」が 38.7%でもっとも多くなっており(ひとり暮らし以外は 33.7%)、「家族や親戚の手助け」は 28.8%にとどまります。頼れる同居家族がいない単身世帯が、介護保険等の公的サービス(1.1%)や民間・シルバー人材センター等(計 4.5%)をほとんど活用せず、日常のちょっとした困りごとを自力で抱え込んでいる実態が浮き彫りになっています。

3. 人生の最終段階(終末期)における「話し合い(ACP)」の不足と、ひとり暮らしの「在宅看取りへの諦め」

人生の最期について考えたことがある高齢者は 70.8%にのぼり(ひとり暮らしは 74.7%)、関心の高さがうかがえますが、自分の医療・ケアの希望について周囲の信頼する人や専門職と「話し合ったことはない」が 71.6%を占めています。

最期を迎えたい場所について、ひとり暮らしは「自宅」を希望する割合が 22.3%と、ひとり暮らし以外(27.9%)よりも低く、逆に「病院や施設」を希望する割合が 16.8%(同 9.7%)と高くなっています。

自宅での最期が難しいと思う理由について、全体では「家族に迷惑をかけるから(66.3%)」がもっとも多くなっていますが、ひとり暮らしにおいては「介護してくれる家族や地域のサポートがないから」が 27.4%にのぼり、同居家族ありの層(14.0%)を大きく上回っています。頼れる家族がいないため、住み慣れた自宅での最期を諦めざるを得ない単身世帯の不安がうかがえます。

4. 「移動手段・移送サービス」へのニーズ

これからの高齢化社会に向けて必要な取組として、「移送サービス・公共交通などの交通機関の充実」が 39.3%と最も多く選択されています。自由記述における要望でも「移送サービス・公共交通の充実」が多く挙げられており、本町の高齢者が抱える最大の不安・課題が「移動手段の確保」であることが示されています。

【第10期計画検討に向けた検討課題】

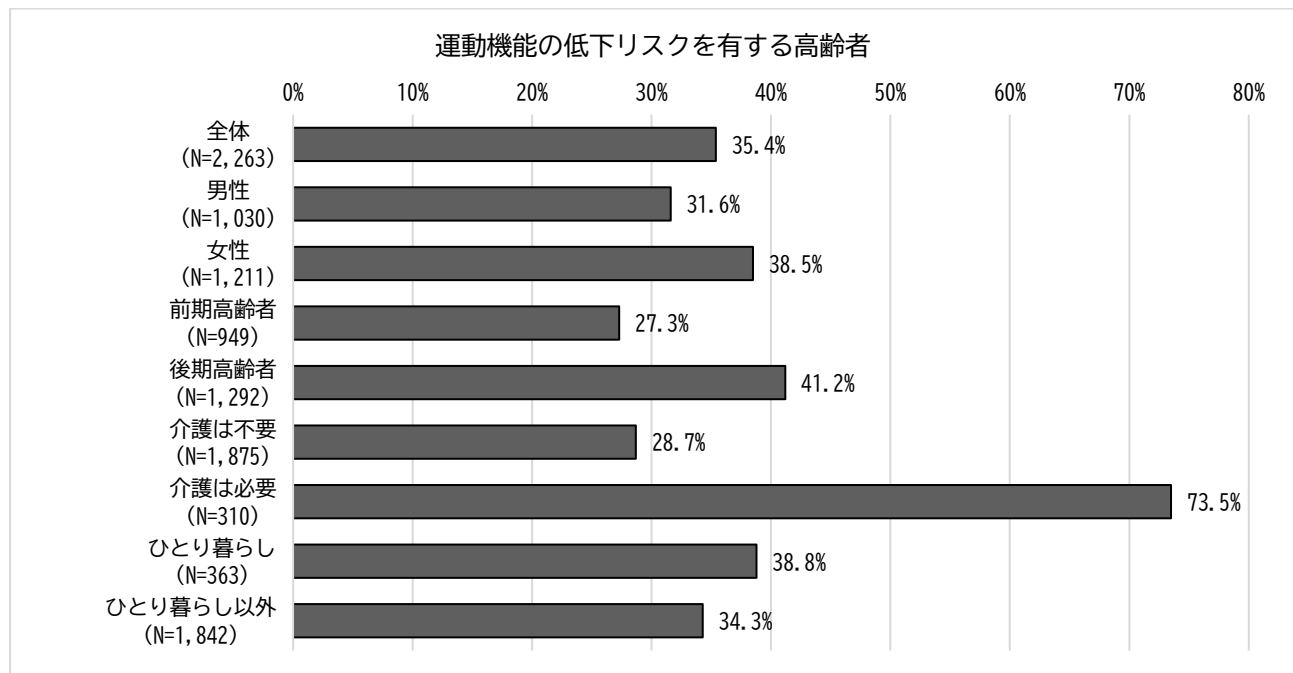
- 相談窓口の役割を、特に無関心層や男性に向けて積極的に周知するとともに、支援が必要な人へ早期に介入できる体制を強化することが求められます。
- 家族依存からの脱却を図り、単身世帯の「自力での抱え込み」を防ぐため、シルバー人材センターや民間サービス、ボランティアによる生活支援(庭の手入れや電球交換など)の利用促進と、サービス提供主体の育成・マッチングを行うことが重要です。
- 最期まで自分らしく生きるため、元気なうちから家族や専門職と医療・ケアの希望を話し合う「人生会議(ACP)」の普及・啓発を積極的に進めること。特に、身寄りのない高齢者でも安心して地域で暮らし続けられるような看取り・サポート体制の検討が求められます。
- 日常の買い物や通院、社会参加を支えるため、移送サービスや公共交通のあり方を見直し、高齢者の移動手段の確保が課題です。

リスクを有する高齢者

運動機能の低下リスクを有する高齢者

運動器機能リスクを有する高齢者は 35.4%となっています。

男女別では、女性が 38.5%に対し、男性は 31.6%と、女性が男性を 6.9 ポイント上回り、年齢区分別では後期高齢者が 41.2%に対し、前期高齢者は 27.3%と、後期高齢者が前期高齢者を 13.9 ポイント上回り、介護状況別では「介護は必要」が 73.5%に対し、「介護は不要」は 28.7%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 44.8 ポイント上回り、家族構成別ではひとり暮らしが 38.8%に対し、ひとり暮らし以外は 34.3%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を 4.5 ポイント上回っています。

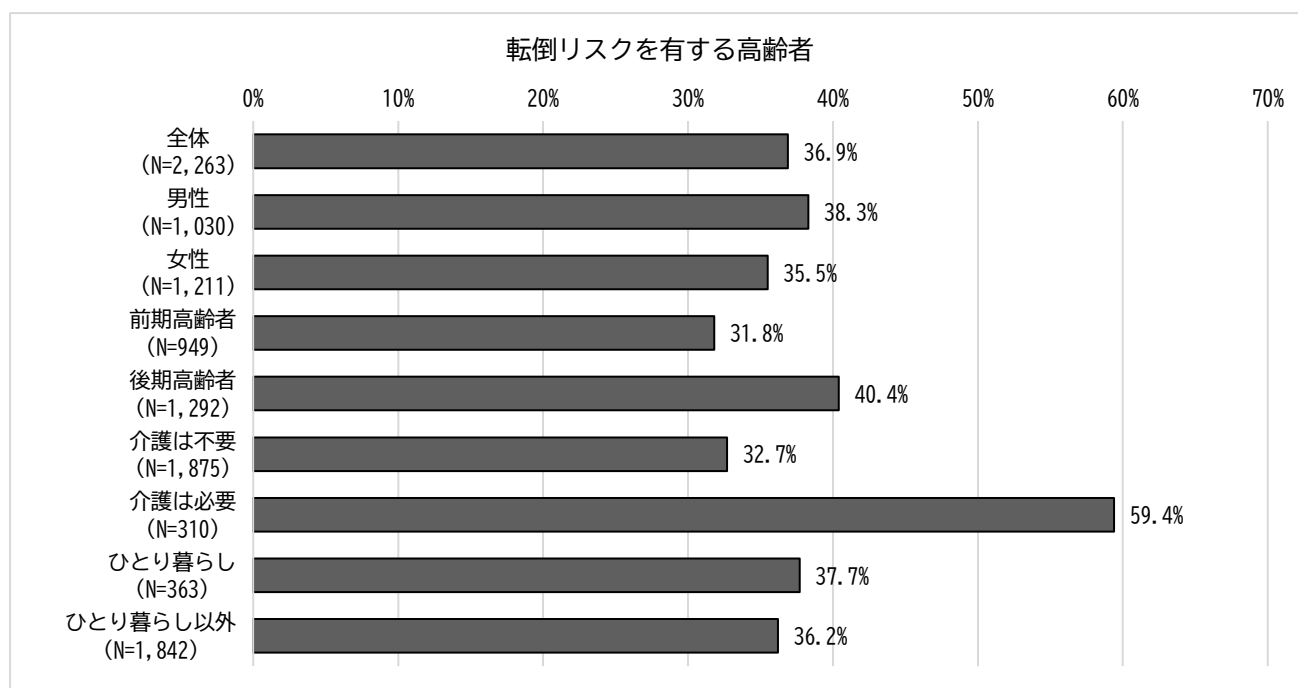


	調査項目	選択肢	判定方法
問2-1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない	3問以上が該当
問2-2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない	
問2-3	15分位続けて歩いていますか	3. できない	
問2-4	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある	
問2-5	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である	

転倒リスクを有する高齢者

転倒リスクを有する高齢者は 36.9%となっています。

男女別では、有意な差はみられず、年齢区分別では後期高齢者が 40.4%に対し、前期高齢者は 31.8%と、後期高齢者が前期高齢者を 8.6 ポイント上回り、介護状況別では「介護は必要」が 59.4%に対し、「介護は不要」は 32.7%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 26.7 ポイント上回っており、家族構成別では有意な差はみられません。

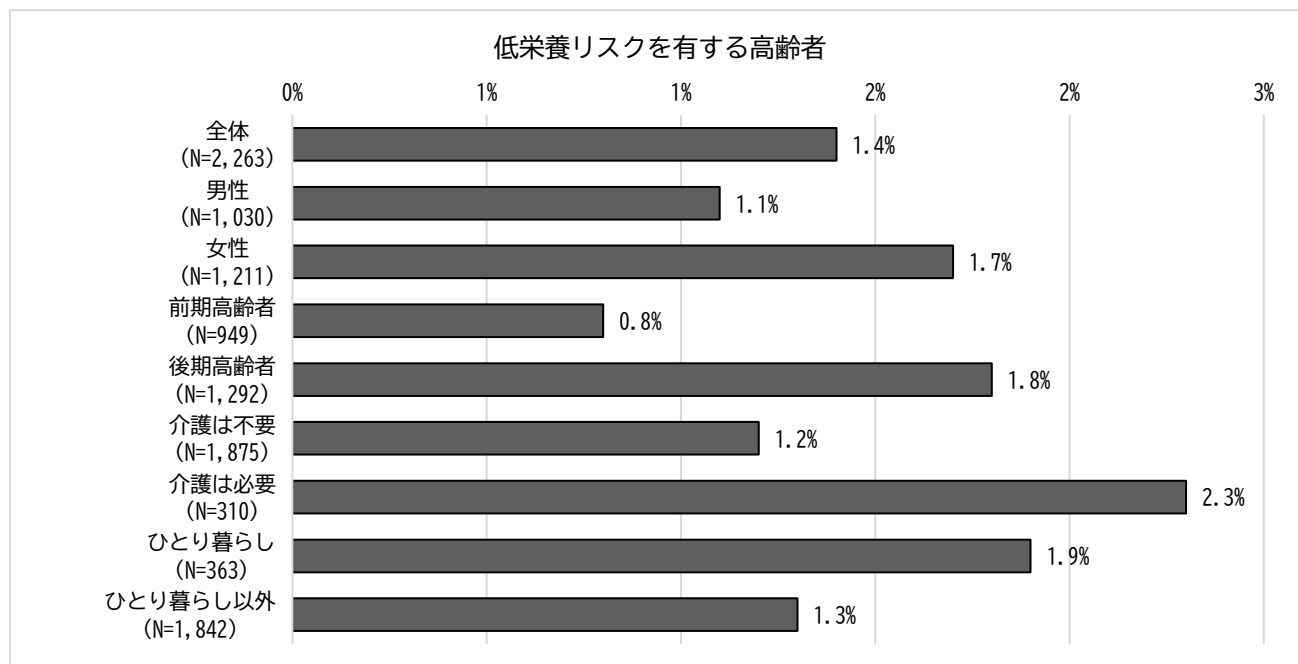


問2-4「過去1年間に転んだ経験がありますか」に「1. 何度もある」「2. 1度ある」のどちらかに回答した場合に該当

低栄養リスクを有する高齢者

栄養改善リスクを有する高齢者は1.4%となっています。

属性別の比較では、男性より女性が、前期高齢者より後期高齢者が、介護は不要な高齢者より介護が必要な高齢者の方が、ひとり暮らし以外よりひとり暮らしの方が、低栄養リスクが高い傾向を示しています。

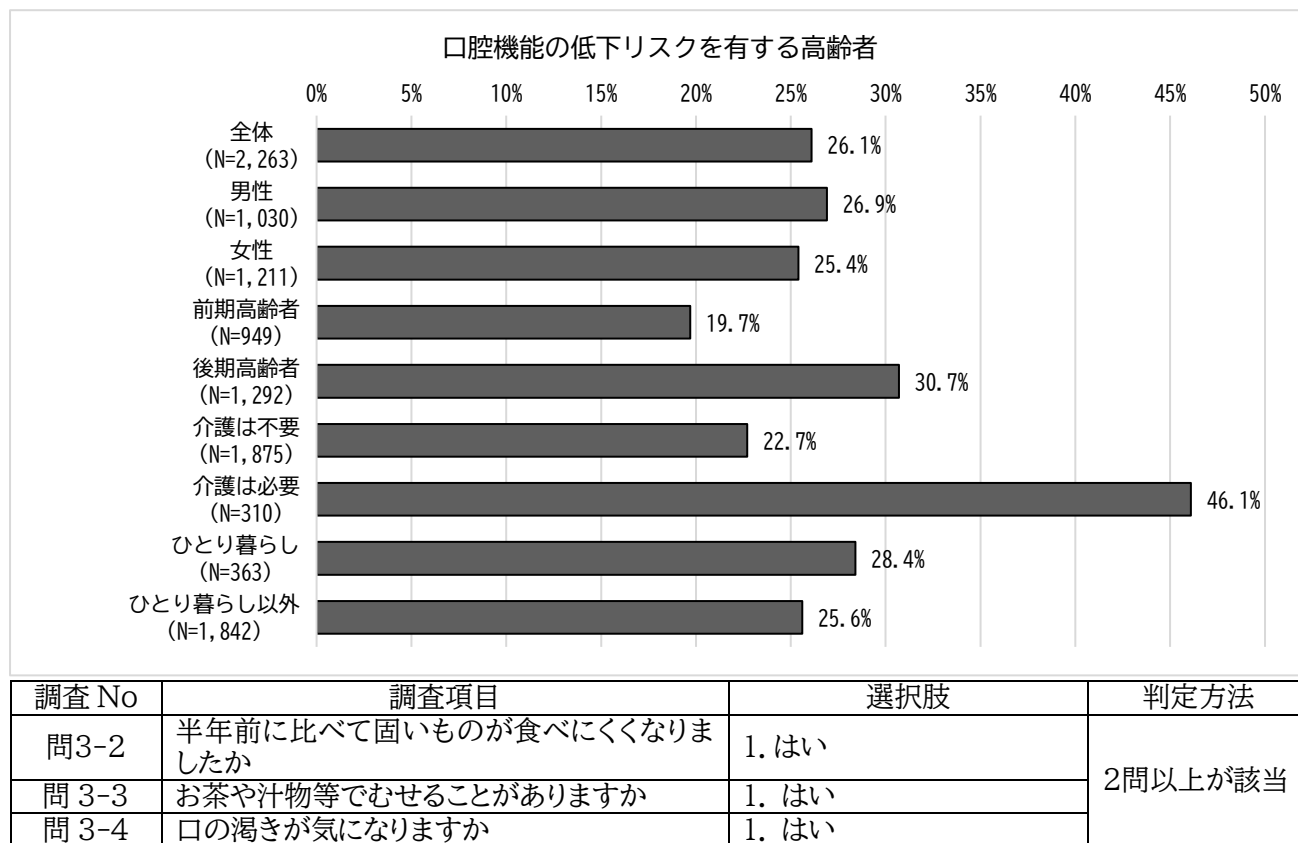


調査 No	調査項目	選択肢	判定方法
問 3-1	身長・体重を教えてください	BMI < 18.5	すべてに該当
問 3-11	6 か月間で 2～3kg 以上の体重減少がありましたか	1. はい	

口腔機能の低下リスクを有する高齢者

口腔機能の低下リスクを有する高齢者は 26.1%となっています。

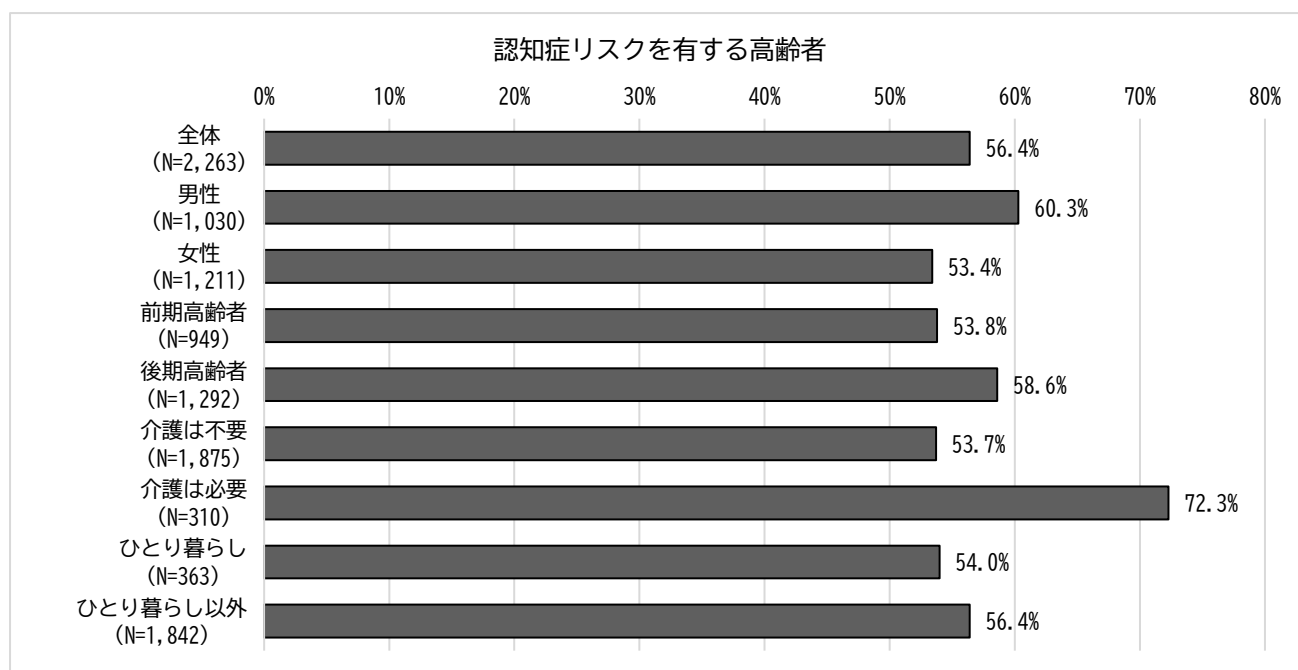
男女別では有意な差はみられず、年齢区分別では後期高齢者が 30.7%に対し、前期高齢者は 19.7%と、後期高齢者が前期高齢者を 11.0 ポイント上回り、介護状況別では「介護は必要」が 46.1%に対し、「介護は不要」は 22.7%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 23.4 ポイント上回っており、家族構成別では有意な差はみられません。



認知症リスクを有する高齢者

認知症リスクを有する高齢者は 56.4%となっています。

男女別では、男性が 60.3%に対し、女性は 53.4%と、男性が女性を 6.9 ポイント上回り、年齢区分別では後期高齢者が 58.6%に対し、前期高齢者は 53.8%と、後期高齢者が前期高齢者を 4.8 ポイント上回り、介護状況別では「介護は必要」が 72.3%に対し、「介護は不要」は 53.7%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 18.6 ポイント上回っており、家族構成別では有意な差はみられません。

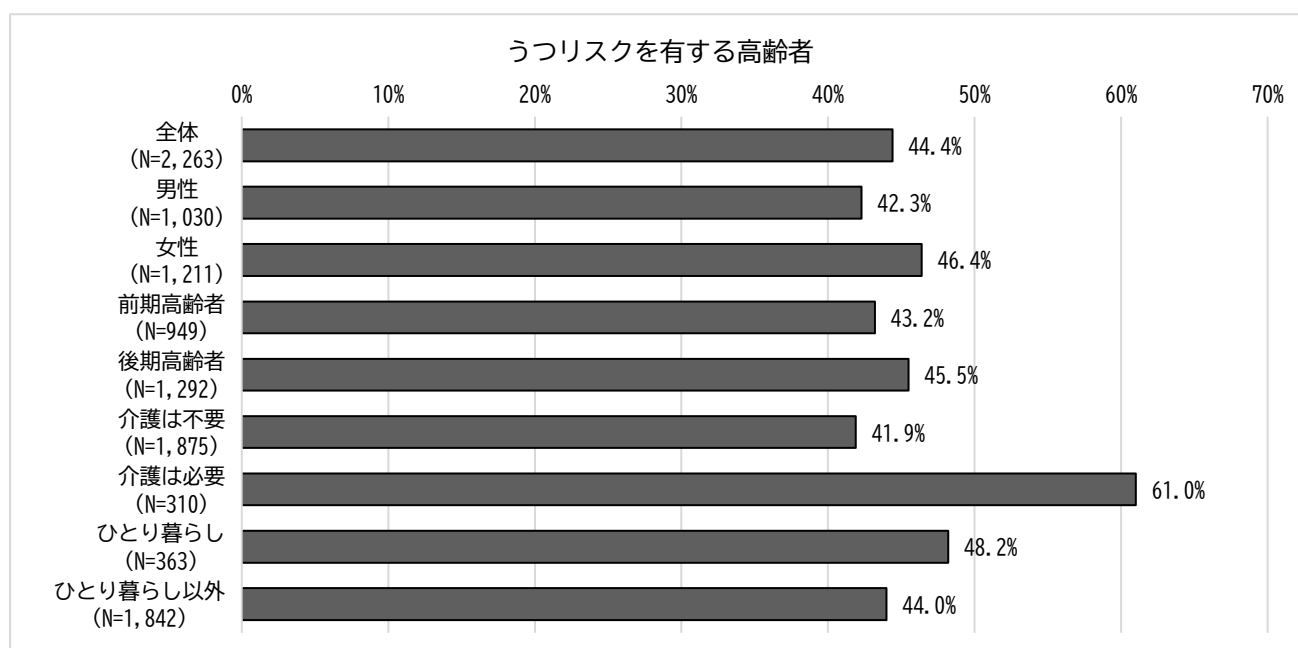


調査 No	調査項目	選択肢	判定方法
問4-1	物忘れが多いと感じますか	1. はい	1問以上が該当
問 4-2	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	「2. いいえ」	
問 4-3	今日が何月何日かわからない時がありますか	「1. はい」	

うつのリスク高齢者の割合

うつリスクを有する高齢者は 44.4%となっています。

男女別では、女性が 46.4%に対し、男性は 42.3%と、女性が男性を 4.1 ポイント上回り、年齢区分別では有意な差はみられず、介護状況別では「介護は必要」が 61.0%に対し、「介護は不要」は 41.9%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 19.1 ポイント上回り、家族構成別ではひとり暮らしが 48.2%に対し、ひとり暮らし以外は 44.0%と、ひとり暮らしがひとり暮らし以外を 4.2 ポイント上回っています。

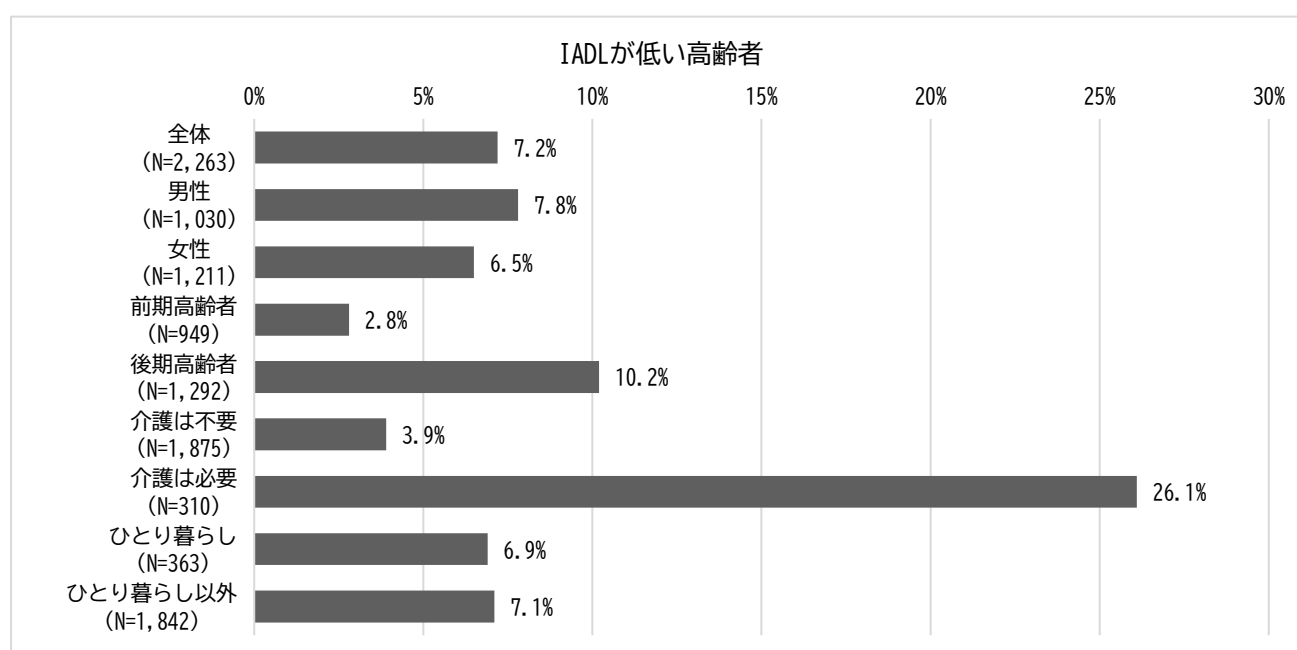


	調査項目	選択肢	判定方法
問 8-3	この 1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい	いずれか 1 つでも選択した場合は該当
問 8-4	この 1 か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい	

IADL が低い高齢者の割合

IADL が低い高齢者は 7.2%となっています。

男女別では、有意な差はみられず、年齢区分別では後期高齢者が 10.2%に対し、前期高齢者は 2.8%と、後期高齢者が前期高齢者を 7.4 ポイント上回り、介護状況別では「介護は必要」が 26.1%に対し、「介護は不要」は 3.9%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 22.2 ポイント上回っており、家族構成別では有意な差はみられません。

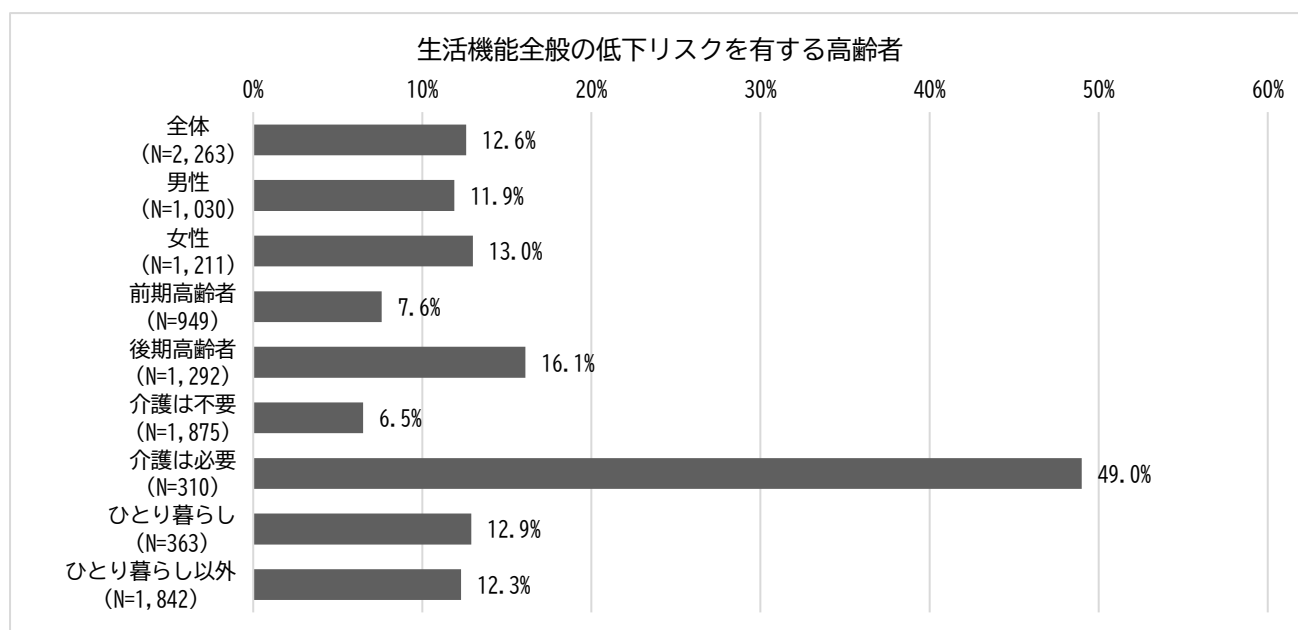


	調査項目	選択肢	判定方法
問4-4	バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	1. できるし、している 2. できるけどしていない	選択肢を選択した場合を 1 点とし、計 3 点以下で該当
問4-5	自分で食品・日用品の買物をしていますか		
問4-6	自分で食事の用意をしていますか		
問4-7	自分で請求書の支払いをしていますか		
問4-8	自分で預貯金の出し入れをしていますか		

生活機能全般の低下リスクを有する高齢者

生活機能全般の低下リスクを有する高齢者は 12.6%となっています。

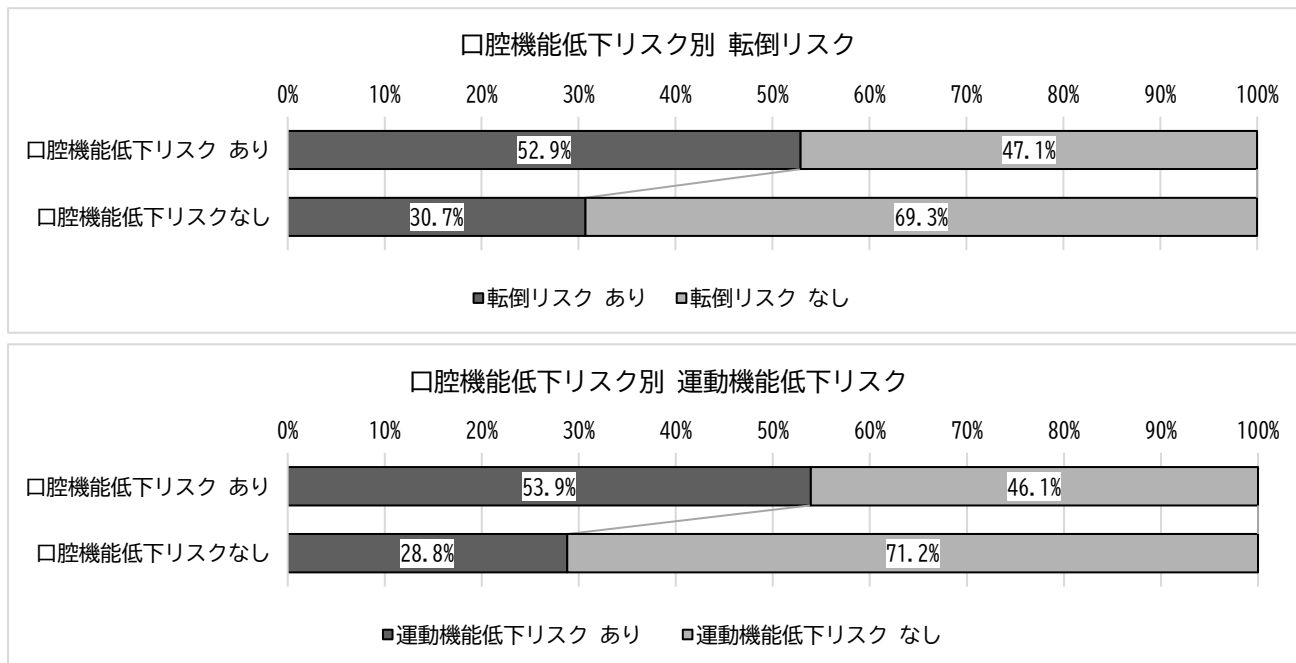
男女別では、有意な差はみられず、年齢区分別では後期高齢者が 16.1%に対し、前期高齢者は 7.6%と、後期高齢者が前期高齢者を 8.5 ポイント上回り、介護状況別では「介護は必要」が 49.0%に対し、「介護は不要」は 6.5%と、「介護は必要」が「介護は不要」を 42.5 ポイント上回っており、家族構成別では有意な差はみられません。



調査 No	調査項目	選択肢	判定方法
問 2-1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	「3. できない」	10問以上 が該当
問 2-2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	「3. できない」	
問 2-3	15 分位続けて歩いていますか	「3. できない」	
問 2-4	過去 1 年間に転んだ経験がありますか	「1. 何度もある」 「2. 1 度ある」	
問 2-5	転倒に対する不安は大きいですか	「1. とても不安である」 「2. やや不安である」	
問 2-6	週に 1 回以上は外出していますか	「1. ほとんど外出しない」 「2. 週 1 回」	
問 2-7	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	「1. とても減っている」 「2. 減っている」	
問 3-1	身長・体重	MBI<18.5	
問 3-2	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	「1. はい」	
問 3-3	お茶や汁物等でむせることがありますか	「1. はい」	
問 3-4	口の渇きが気になりますか	「1. はい」	
問 3-11	6 か月間で 2～3kg 以上の体重減少がありましたか	「1. はい」	
問 4-1	物忘れが多いと感じますか	「1. はい」	
問 4-2	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	「2. いいえ」	
問 4-3	今日が何月何日かわからない時がありますか	「1. はい」	
問 4-4	バスや電車を使って 1 人で外出していますか(自家用車でも可)	「3. できない」	
問 4-5	自分で食品・日用品の買物をしていますか	「3. できない」	
問 4-8	自分で預貯金の出し入れをしていますか	「3. できない」	
問 4-13	友人の家を訪ねていますか	「2. いいえ」	
問 4-14	家族や友人の相談にのっていますか	「2. いいえ」	

口腔機能低下と転倒リスク、運動機能低下リスクの相関関係

口腔機能低下リスクのある高齢者は転倒リスクや運動機能低下リスクのある高齢者が多く、口腔機能低下リスクのない高齢者は転倒リスクや運動機能低下リスクが少なくなっています。口腔ケアは運動機能を維持するための重要なポイントであることがわかります。



考察

1. 認知面・精神面におけるリスクの広がり

全リスクの中でもっとも割合が高いのが「認知症リスク(56.4%)」であり、次いで「うつリスク(44.4%)」となっています。本町の高齢者の半数以上が物忘れ等の認知機能低下の兆候を抱え、4割以上が心理的な落ち込みや意欲低下を感じながら生活している状態です。身体機能の低下だけでなく、認知面・精神面でのケアと早期アプローチが極めて重要な課題であることがわかります。

2. 運動器機能・転倒リスクの高さと「女性」の脆弱性

要介護化の直接的な引き金になりやすい「転倒リスク」は36.9%、「運動機能の低下リスク(運動器機能リスク)」は35.4%と、いずれも3割半ばを超えています。属性別にみると、運動器機能リスク(女性38.5%、男性31.6%)やうつリスク(女性46.4%、男性42.3%)において女性が男性を上回っています。さらに、低体重(女性10.3%、男性3.4%)や週1回以下の外出にとどまる閉じこもりリスク(女性26.7%、男性20.1%)においても女性の方が割合が高く、複数の主要な指標において女性が男性よりも高いリスク(脆弱性)を抱える傾向が確認できます。

3. 後期高齢期におけるリスクの急増(フレイルの顕在化)

ほとんどのリスク指標において、前期高齢者よりも後期高齢者のリスク割合が高くなっています。例えば、運動器機能リスクは前期27.3%から後期41.2%へ、口腔機能の低下リスクは前期19.7%から後期30.7%へと大きく上昇しています。また、IADL(手段的日常生活動作)が低い高齢者の割合は前期2.8%から後期10.2%へ、生活機能全般の低下リスクは前期7.6%から後期16.1%へと急増しており、

75 歳の後期高齢期頃から、身体機能や生活機能が複合的に低下していく「フレイル(虚弱)」の状態がデータに表れています。

4. 要介護状態と各リスクの「負の連鎖」

「介護は必要」な層は、「介護は不要」な層に比べて全てのリスクが圧倒的に高くなっています。特に、生活機能全般の低下リスク(「介護は必要」49.0%、「介護は不要」6.5%)、運動器機能リスク(「介護は必要」73.5%、「介護は不要」28.7%)、うつリスク(「介護は必要」61.0%、「介護は不要」41.9%)でその差が顕著です。外出機会の喪失や閉じこもりが身体機能の低下を招き、それが更なる意欲低下(うつ)や認知機能の低下、転倒を引き起こすという「リスクの負の連鎖」が生じていることが推察されます。

【第 10 期計画検討に向けた検討課題】

特定のリスクに対するアプローチにとどまらず、心身の多様なリスク(フレイル)に対して包括的に介入する施策が求められます。特に、全高齢者の半数以上が該当した「認知症リスク」への対応として、些細な認知機能の低下を早期に把握し、適切な医療や支援へとつなぐ見守りネットワークの強化が不可欠です。また、リスクが急増する後期高齢者への移行期や、身体的・社会的な脆弱性を抱えやすい女性高齢者に対して、通いの場等を通じた「運動器機能向上」と「社会参加(孤立防止・うつ予防)」を一体的に推進するアプローチが重要となります。